



高松市美術館／高松市塩江美術館  
年報 ANNUAL REPORT

／ 平成 30 (2018) 年度

／ 令和元 (2019) 年度

／ 令和 2 (2020) 年度

## 目次

### 高松市美術館

- 004 平成30(2018)年度
- 040 令和元(2019)年度
- 082 令和2(2020)年度

### 高松市塩江美術館

- 122 平成30(2018)年度
- 128 令和元(2019)年度
- 140 令和2(2020)年度

### 参考資料

- 152 施設概要
- 153 組織図
- 153 高松市美術館条例
- 155 高松市塩江美術館条例
- 156 沿革
  
- 158 高松市美術館友の会

## 高松市美術館凡例

収集作品のデータは、原則として以下の通りに記した。

収集区分(購入、寄贈、寄託)

分類(平面、映像、立体、工芸・漆工、工芸・金工)

作家名(50音順)

作品名

制作年

技法・材質

寸法(平面=縦×横/立体=高さ×幅×奥行き、高さ×直径の順)

また作品リストは、以下の通りに記した。

作家名

作品名

制作年

所蔵先(記載がないものは高松市美術館蔵)

# 高松市美術館

／ 平成30(2018)年度

／ 令和元(2019)年度

／ 令和2(2020)年度

## 京都市美術館名品展 京の美人画100年の系譜

Master piece from the Kyoto Municipal Museum of art Art A Century of Kyoto Bijin-ga

京都市美術館は、1933(昭和8)年に大礼記念京都美術館として開設され、1952(昭和27)年に現在の名称となりました。同館は近現代美術を展示する西日本最大の施設のひとつとして、現在にいたるまで大きな役割を果たしてきました。

明治以降の京都を中心とした数多くのコレクションは日本近代の美術・工芸の流れを物語るものとして高く評価されています。

そのコレクションの中でも本展では「美人画」に着目。女性像は古くから描かれてきましたが、明治以降、美術の中心的な主題として花開くとともに変動する社会の中で多様化していきます。大正から昭和にかけては、時代を象徴するモダンガールも登場し、和洋渾然とした装いやモダンな調度品に囲まれた女性の豊かな生活が描かれています。女性の描写は、とりもおさず時代を映し出すものであったといえるでしょう。

本展では京都市美術館所蔵の日本画から精選した、上村松園《人生の花》、土田麦僊《平牀》、前田青邨《観画》、菊池契月《南波照間》など約70点の名品を通して、明治・大正・昭和にいたる女性像のさまざまな表現と変遷を紹介しました。

The Kyoto Municipal Museum of Art was founded in 1933 as the Kyoto Enthronement Memorial Museum of Art and changed its name to the current one in 1952. The museum has played a significant role as one of the largest museums in western Japan to exhibit modern and contemporary art.

Most of its enormous collection of Japanese art created in the post-Meiji era originates in Kyoto and is highly valuable in narrating the history of arts and crafts in modern Japan.

Bijin-ga was developed as a central theme in the art after the Meiji era, and the style diversified as society changed. For instance, the "modern girl" symbolized the status of women in the Taisho - Showa era, and the art depicted a fulfilling lifestyle of women surrounded by modern furniture with a dress that blended the Japanese and western styles together. The depiction of women is truly a reflection of the times.

This exhibition introduced various styles of female paintings and how they changed throughout the Meiji, Taisho and Showa era through approximately seventy masterpieces including Shoen Uemura's *The flowers of Life* and Bakusen Tsuchida's *Korean Bench*. Seison Maeda's *Looking at Picture*, Keigetsu Kikuchi's *The Isle of Haihateroma (a utopia in an Okinawa legend)* selected from the Japanese paintings collection of the Kyoto Municipal Museum of Art.

- ◆会期 2018年4月21日(土)～6月3日(日) 38日間
- ◆主催 高松市美術館
- ◆特別協力 京都市美術館
- ◆入場料 一般1,000円、大学生500円、高校生以下無料
- ◆入場者数 7,024人
- ◆担当学芸員 橘 美貴



(チラシ表)



(チラシ裏)



(図録)



(パンフレット)



(B2ポスター)



(B3ポスター)



開展式



記念講演会①



記念講演会②



学芸員ギャラリートーク



学芸員ギャラリートーク



和装ウィーク



◆開展式

日時：4月21日(土) 10:00～10:15  
 場所：2階展示室前ロビー  
 参加者数：52人

◆講演会

記念講演会①「近代京都の美人と「美人画」」  
 日時：4月21日(土) 13:30～15:00  
 講師：中谷至宏(京都市美術館学芸員)  
 場所：1階講堂  
 参加者数：60人

記念講演会②「美人画で見つける日本画の話」  
 日時：5月20日(日) 13:30～15:00  
 講師：森山知己(日本画家)  
 場所：1階講堂  
 参加者数：80人

◆イベント

「和装ウィーク」  
 開催期間：4月28日(土)～5月6日(日)  
 対象：和装でご来館の方  
 料金：通常観覧料の半額(一般500円、大学生250円)

アートで遊ぼう(p.28)  
 ワークショップ「日本画の装飾性と材料」(p.31)  
 ミニコンサート「美人画と和楽器の調べ」(p.32)  
 友の会スペシャルイベントお茶会  
 「ほっと茶(ちゃ)の会(え)」(p.158)

◆ギャラリートーク

日時：4月28日(土) 14:00～  
 講師：橘美貴(当館学芸員)  
 場所：2階展示室  
 料金：無料(観覧券要)  
 参加者数：58人

日時：6月2日(土) 14:00～  
 講師：尾形絵里子(当館学芸員)  
 場所：2階展示室  
 料金：無料(観覧券要)  
 参加者数：33人

日時：会期中の日曜日 10:30～(10回)  
 講師：美術館ボランティアcivi(シヴィ)  
 料金：無料(観覧券要)  
 参加者数：延べ356人

◆主な新聞・雑誌等関連記事

四国新聞	4月19日、4月26日、5月1日、 5月3日「京都の美人画集結」、 5月17日「女性の「理想と現実」、 5月22日、5月24日、5月31日 5月3日
ウィークリーえひめ	5月3日
朝日新聞	5月15日「疑惑の美人画」
広報たかまつ	4月1日号、5月15日号
調査月報	4月号vol.373、5月号vol.374
月刊オフスタイル	5→6月号vol.35
月刊ナイスタウン	6月号No.493
西日本ラジオ	
瀬戸内海放送	
西日本放送	
NHK	

◆図録

『京の美人画 100年の系譜 京都市美術館名品集』  
 監修：京都市美術館  
 執筆：尾崎真人(京都市美術館学芸課課長)、  
 吉中充代(京都市美術館学芸課課長補佐)、  
 後藤結美子(京都市美術館学芸員)、  
 中原星登(京都市美術館学芸員)、大森奈津子(京都市美術館学芸員)  
 発行者：安田英晃  
 発行所：株式会社青幻社プロモーション  
 発売元：株式会社青幻社  
 印刷・製本：株式会社サンエムカラー  
 デザイン：大西未生(ザイン)  
 翻訳：クリストファー・スティヴンズ  
 編集：福岡優子(株式会社青幻社)  
 仕様：18.2×25.7cm、240頁

◆ポスター・チラシ・パンフレット

デザイン：ツムラ・グラフィック

◆作品リスト(p.14)

高松コンテンポラリーアート・アニュアル vol.07 つながりかえる夏  
Takamatsu Contemporary Art Annual vol.07/Connecting Returning Summer

年に一度の現代アートのグループ展「高松コンテンポラリーアート・アニュアル」。2009年よりスタートし、8回目の開催となる今回のテーマは「つながりかえる夏」です。

当年に開館30周年を迎えた高松市美術館。そこで、今一度“開かれた美術館”を意識し、世代を越えた幅広い層にアクセスしてもらえるよう、4人の作家による複数の回路で美術(館)を多方面に「つなげ」「ひらき」「ふりかえり」しました。

まず、藤浩志(1960年生、秋田県在住)は、「カエルのキャンペーン」(1994年、ライブ&インスタレーション、高松市美術館エントランスホール)以来、再び高松へ“つながりかえり”、使われなくなったおもちゃによる作品《1億5000万年前から受け継がれる》を展開しました。また創造都市・高松が推進する事業「高松市障がい者アートリンク」でアーティストとして事業所に通う千葉尚実(1979年生、香川県在住)は、“関わる”ことによって意味や価値が生成し、変化していくユニークな作品を提示してくれました。

そして、30年前の8月6日に開館した当館では、この日が原子爆弾が広島に投下された日でもあることから、毎年祝い事と鎮魂が重なり合う日でもあります。そんな中、代表作「戦争のかたち」や「TORII」シリーズ等を発表している下道基行(1978年生、愛知県在住)の参加は、美術を介した記憶の回路により私たちの心に明かりを灯しました。最後に、山城大督(1983年生、愛知県在住)の演劇的な装いは、声という肉体を伴い、無邪気な戯れの中、切ない感情をも呼び覚ましてくれました。

The yearly Takamatsu Contemporary Art Annual started in 2009. This year, the eighth annual took as its theme “Connecting, Returning Summer.”

In connection with the 30th anniversary of the initiation of the Takamatsu Art Museum, aware of the open nature of our organization, we had invited four artists to connect, open, and looked back in a broadly accessible, multi-circuit, multi-angle examination of art.

First of them is Hiroshi Fuji (1960; resident of Akita Prefecture) who held a live installation exhibition called “Frog Campaign” in 1994 in the entrance hall of the Takamatsu Art Museum. On the exhibition, he returned to Takamatsu for connections and homecoming with his work called “A Heritage from 150million Years Ago,” which reutilizes discarded toys. Naomi Chiba (1979; resident of Kagawa Prefecture) works through The Takamatsu Art Link for the Disabled in connection with the development of Takamatsu as a creative city. She displayed highly unusual works generating and varying meaning and valued through her connection as an artist with support facilities for the disabled.

August 6 is the day on which the Takamatsu Art Museum opened 30 years ago. It is also the day of the atomic bombing of Hiroshima. It was therefore an occasion for both celebration and memorial services for the repose of the souls of the victims of the bombing. The participation in our annual of Motoyuki Shitamachi (1978, resident of Aichi Prefecture), who has exhibited such distinctive works as “The Shape of War” (Senso no katachi) and the Torii series, was likely to illuminate our minds through art mediation in the memory circuit. Finally, Daisuke Yamashiro (1983; resident of Aichi Prefecture) evoked heartrending emotions in an innocent playfulness with theatrical accoutrements accompanied by the physical voice.

- ◆会期 2018年7月27日(金)～9月2日(日) 33日間
- ◆主催 高松市美術館
- ◆助成 公益財団法人花王芸術・科学財団
- ◆協力 株式会社流、sonihouse、障害者支援施設ウインドヒル
- ◆入場料 一般800円、大学生500円、高校生以下無料
- ◆入場者数 4,981人
- ◆担当学芸員 毛利直子



(チラシ表)



(チラシ裏)



(図録)



(B2ポスター)



(B3ポスター)



アーティスト・トーク



アーティスト×市長×館長トーク



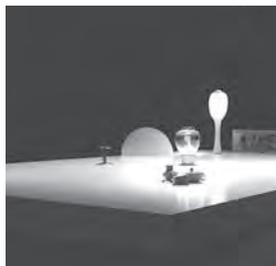
藤浩志



藤浩志作品設営



下道基之



山城大督



千葉尚実



ウィンドヒル

◆開展式

日時：7月27日(金) 10:00～10:15  
場所：2階展示室前ロビー  
参加者数：61人

◆講演会

「アーティスト・トーク」  
日時：7月28日(土) 10:30～12:00  
出演：下道基行、千葉尚実、山城大督(出品作家)  
場所：1階講堂  
参加者数：48人

◆開館30周年記念イベント

アーティスト×市長×館長トークショー  
「つながり・つながる美術館を目指して」  
日時：8月11日(土) 11:00～12:00  
出演：藤浩志(出品作家)、大西秀人(高松市長)、篠原資明(当館館長)  
場所：1階講堂  
参加者数：96人

◆イベント

子どものアトリエ「おみく神社を作ろう」(p.28)  
山城大督ワークショップ  
「感受性のワークショップーびじゅつを体でたのしもう！」(p.31)  
ミニコンサート「Midsummer Daydream～真夏の昼の夢～」(p.32)  
高松丸亀町商店街振興組合連携事業  
「かえっこフェスティバル」(p.35)  
友の会スペシャルイベント「文字で遊ぼう」(p.158)

◆ギャラリートーク

日時：7月28日(土) 14:15～  
講師：尾形絵里子(当館学芸員)  
場所：2階展示室  
料金：無料(観覧券要)  
参加者数：12人

日時：8月18日(土) 14:15～  
講師：尾形絵里子(当館学芸員)  
場所：2階展示室  
料金：無料(観覧券要)  
参加者数：12人

日時：会期中の日曜日 10:30～(6回)  
講師：美術館ボランティアcivi(シヴィ)  
料金：無料(観覧券要)  
参加者数：延べ41人

◆主な新聞・雑誌等関連記事

月刊オフスタイル 7→8月号 vol.36  
四国新聞 8月2日、8月3日、8月9日、  
「美術家の多彩な作家紹介」8月23日  
毎日新聞 夕刊「過去と現在つなぎ風景」  
ラジオCMS 8月20日～31日「美術館からの招待状」  
朝日新聞 8月24日「思いつく17作品」  
広報たかまつ 7月15日号

◆図録

『高松コンテンポラリーアート・アニュアル vol.07  
つながりかえる夏』  
編集：毛利直子、尾形絵里子、福田千恵(当館学芸員)  
デザイン：ブルーワークスPHOTO & DESIGN Office  
撮影：青地大輔  
印刷：株式会社中央印刷所  
発行：高松市美術館  
仕様：16.7×24.2cm、64頁

◆ポスター・チラシ

デザイン：ブルーワークスPHOTO & DESIGN Office

◆作品リスト(p.15)

## 音丸耕堂展—華麗なる彫漆世界

Kodo Otomaru

「彫漆」とは、器物の表面に漆を幾重にも塗り重ねて層を作り、その上から模様を彫るもので、江戸時代末期の高松で活躍した讃岐漆芸の祖・玉椿象谷が中国の技法を研究し、讃岐漆芸の技法として確立しました。

音丸耕堂(1898-1997)は、象谷、石井馨堂ら先人の優れた技術を継承するとともに、豊かな色漆を駆使した大胆な意匠の作品を生み出した、讃岐漆芸を代表する作家です。

1898(明治31)年に高松に生まれ、1910(明治43)年石井馨堂の内弟子として修業、1914年頃独立し、この頃独学で玉椿象谷の彫漆作品を研究しました。1921(大正10)年に彫金家の大須賀喬らと香風会を結成し展覧会を開催するなど、漆芸作家として精力的に活動。1932(昭和7)年に第13回帝展に初入選後、入選を繰り返し、1942(昭和17)年第5回新文展で《彫漆月之花手箱》(高松市美術館蔵)が特選となりました。1955(昭和30)年重要無形文化財保持者(彫漆)に認定され、また同年に日本工芸会の創立に参加するなど、日本の工芸界に多大な影響を与えた作家として知られています。

耕堂の最大の特徴は、豊富な色彩表現にあります。もともと漆の色彩は、朱、黒、黄、緑、褐色の五色に限られていましたが、耕堂は新素材のレーキ顔料をいち早く取り入れ、難しい中間色や鮮やかな色漆を駆使した作品を制作しました。漆による色彩の表現領域を格段と広げ、その斬新なデザイン感覚により、彼の作品は見る者を魅了し続けています。

本展では、高松市美術館開館30周年、そして音丸の生誕120周年を記念し、その仕事を通覧しました。

Choshitsu (carved lacquer) is an artistic technique which consists in carving patterns through several layers of lacquer applied to objects and dried. Zokoku Tamakaji (1806-69), a pioneer of Sanuki lacquer art active in the late Edo period in Takamatsu, who studied Chinese techniques established it as one of the Sanuki lacquer techniques.

A leading figure in Sanuki lacquer art, Otomaru combined the technical heritage from Tamakaji and Keido Ishii with a rich sense of color and bold designs.

Born in Takamatsu in 1898, Otomaru trained as an apprentice with Ishii from 1910 and from 1914 began studying Tamakaji's lacquer works independently. In 1921, together with metalcraft artist Takashi Osuga and others, he formed the group Kofukai and began holding exhibitions and working enthusiastically as a lacquer artist. In 1932, he was accepted for display in the 13th Imperial Exhibition. After this initial acceptance, he displayed regularly in these exhibitions. In 1942, his carved-lacquer box entitled "Cosmetic box with moon-flower design, Choshitsu" received a special award in the 5th New Ministry of Education Art Exhibition (the work is now in the collection of the Takamatsu Art Museum). A well-known, major influence on the world of Japanese crafts, he was designated an Important Intangible Cultural Property holder (in the carved-lacquer division) in 1955 and in the same year participated in the founding of the Japan Kōgei Association.

Rich coloring characterizes his work. Though generally lacquer colors were limited to vermilion, black, yellow, green, and brown, Otomaru was one of the first to introduce new lake pigments to express difficult intermediate and brilliant tones. His works continue to captivate with the way he expands lacquer color range and his keen sense of design.

Commemorating the 30th anniversary of the opening of the Takamatsu Art Museum and the 120th anniversary of Otomaru's birth, this exhibition evoked the full appeal of his artistic world.

- ◆会期 2018年9月15日(土)～10月21日(日) 32日間
- ◆主催 高松市美術館
- ◆共催 四国新聞社
- ◆助成 一般財団法人自治総合センター
- ◆入場料 一般 800円、大学生 500円、高校生以下無料
- ◆入場者数 4,220人
- ◆担当学芸員 橋美貴



(チラシ表)



(チラシ裏)



(図録)



(B2ポスター)



(B3ポスター)



開展式



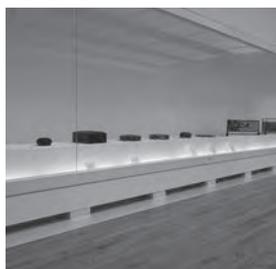
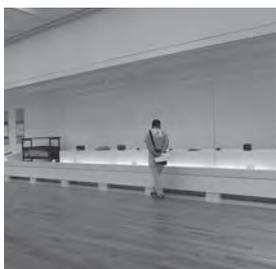
記念講演会①



記念講演会②



学芸員ギャラリートーク



◆開展式

日時：9月15日(土) 10:00～10:15  
場所：2階展示室前ロビー  
参加者数：80人

◆講演会

記念講演会1「弟子たちから見た音丸耕堂」  
日時：9月15日(土) 13:30～15:00  
講師：北岡省三(漆芸家)  
場所：1階講堂  
参加者数：90人

記念講演会2  
「音丸耕堂作品の修復報告と文化財修復の重要性について」  
日時：10月7日(日) 13:30～15:00  
講師：松本達弥(漆芸家)  
場所：1階講堂  
参加者数：50人

◆イベント

アートであそぼう(p.28)  
エントランス・ミニコンサート  
「Un tableau de laque japonais ～一枚の漆絵から～」(p.33)  
友の会スペシャルイベント  
「菓子木型で作る和三盆干菓子ワークショップ」(p.158)

◆ギャラリートーク

日時：10月6日(土) 14:30～  
講師：橘 美貴(当館学芸員)  
場所：2階展示室  
料金：無料(観覧券要)  
参加者数：18人

日時：会期中の日曜日10:30～(9回)  
講師：美術館ボランティアcivi(シヴィ)  
料金：無料(観覧券要)  
参加者数：延べ299人

◆主な新聞・雑誌等関連記事

四国新聞	8月21日、 9月2日列品解説④「彫漆紅花緑葉硯箱」、 9月6日「華麗なる彫漆世界」、9月13日、 10月4日列品解説⑥「彫漆月之花手箱」、 10月18日列品解説⑤「彫漆布袋葵文手箱」
朝日新聞	10月3日「音丸耕堂 漆の美」
朝日新聞	夕刊10月12日「彫漆の可能性を求めて」
オフスタイル	9→10月号
広報たかまつ	9月1日号、9月15日号
MueMue	10月号
ナイスタウン	10月号
産経新聞	
NHK	
西日本放送	
瀬戸内海放送	
ビジネスかがわ	

◆図録

『音丸耕堂展—華麗なる彫漆世界』  
執筆：北岡省三、松本達弥、石田智子(当館学芸員)、  
橘 美貴(当館学芸員)  
編集：高松市美術館  
写真：高橋 章 他  
デザイン：北尾 崇 (HON DESIGN)  
印刷：株式会社太陽社  
発行：高松市美術館  
仕様：29.7×21cm、94頁

◆ポスター・チラシ

デザイン：北尾 崇 (HON DESIGN)

◆作品リスト(pp.15-16)

## 起点としての80年代

Starting Points: Japanese Art of the '80s

1970年代のコンセプチュアルでストイックな表現に対する反動から、80年代の日本では絵画や彫刻の復権が唱えられ、好調な経済状況を背景として、色彩豊かで伸び伸びとした筆遣いの「ニュー・ペインティング」などが広まりました。しかし、90年以降の美術は、むしろ「おたく」など80年代のサブカルチャーに影響を受けた表現が主流となります。そのため、それ以降、80年代の美術は参照されることが少なくなってしまいました。近年、「具体」や「もの派」など1970年代までの戦後日本美術に関する研究が国内外で急速に進んでいます。今こそ、70年代と90年代のはざまにある80年代の日本美術について深く見つめる時期に来ていると言えます。約30年を経た今日から振り返ると、80年代は、今日の美術において重要なインスタレーションという形式、作品制作への参加や社会との関係への意識、オルタナティブ・スペース、メディア・アート、「美術」という制度を相対化する視点、日常性や軽やかさを大切にしている感性などが新たに生まれた、充実した時代であったことがわかります。

本展では今日の視点から80年代の日本の美術を見詰め直し、「起点」となる作品を紹介しました。

As a repercussion of the conceptual and stoic art of the 1970s, Japan in the '80s bore witness to movements that urged the reinstatement of the painting and sculpture media. What came to prevail as a result was "New Painting" characterized by vibrantly colorful and dynamic brushstrokes that reflected the flourishing economic circumstances of the times. In the '90s, art thrived on the energy of '80s subcultures such as "otaku," but as a consequence, '80s art faded from art historical discourse. In recent years both in Japan and abroad, rapid progress has been made in research on Postwar Japanese art up until the 1970s including "Gutai" and "Mono-ha." Hence, we now find ourselves compelled to examine Japanese art of the intervening decade—the '80s. Looking back, over 30 years later, we will see that art forms and concepts fundamental to today's art blossomed in the '80s, such as the art installation, viewer participation in the artwork, valuing relationship with society, the concept of alternative space, media art, perspectives of relativizing the institution of "art," and the sensitivity to find significance in mundanity and lightness.

This exhibition reconsidered Japanese art of the 1980s through contemporary perspectives and introduced works that represent "Starting Points."

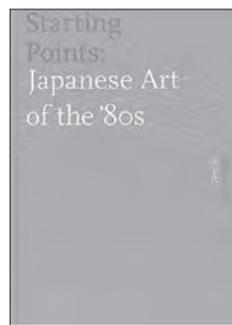
- ◆会期 2018年11月3日(土・祝)～12月16日(日) 38日間
- ◆主催 高松市美術館
- ◆助成 一般財団法人地域創造
- ◆入場料 一般1,000円、大学生500円、高校生以下無料
- ◆入場者数 2,603人
- ◆担当学芸員 牧野裕二



(チラシ表)



(チラシ裏)



(図録)



(B2ポスター)



(B3ポスター)



中原浩大作品設置



中原浩大公開制作



日比野克彦公開制作



《J-TRIP 茶室》



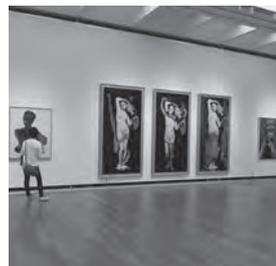
TOTOMOMO+work=shop



戸谷成雄



今村 源



森村泰昌

◆開展式

日時：11月3日(土・祝) 10:00～10:15  
 場所：2階展示室前ロビー  
 参加者数：42人

◆イベント

中原浩大公開制作  
 日時：11月3日(土・祝) 11:00～12:00  
 出演：中原浩大(特別展出品作家)  
 場所：1階エントランスホール  
 参加者数：52人

日比野克彦《J-TRIP 茶室》公開制作  
 日時：①11月9日(金) 13:00～19:00  
 ②11月10日(土) 10:00～18:00  
 出演：日比野克彦(特別展出品作家)  
 場所：1階エントランスホール  
 参加者数：延べ230人

TOTOMOMO+work=shop (p.31)  
 高松工芸ウィーク共催事業  
 『《J-TRIP 茶室》完成記念茶会』(p.33)  
 ミニコンサート「80年代ヒット曲」(p.33)

◆ギャラリートーク

日時：11月10日(土) 14:00～  
 講師：牧野裕二(当館学芸員)  
 場所：2階展示室  
 料金：無料(観覧券要)  
 参加者数：21人

日時：会期中の日曜日・祝日 14:00～(8回)  
 講師：美術館ボランティアcivi(シヴィ)  
 料金：無料(観覧券要)  
 参加者数：延べ93人

◆主な新聞・雑誌等関連記事

日本経済新聞	10月20日「80年代日本美術 歴史化の試み」
ままといっしょ	2018秋冬号
オフスタイル	11→12月号 vol.38
四国新聞	11月8日「現代アートの源流探る」
山陽新聞	夕刊11月16日
読売新聞	夕刊11月29日
	「80年代現代アート多彩な表現」
MueMue	12月号 vol.234
読売新聞	12月2日「1980年代の美術見詰め直す」
産経新聞	12月4日「80年代の美術にフォーカス」
朝日新聞	12月11日「80年代アートで回顧」
朝日新聞	夕刊12月14日「80年代とはなんだ」
	12月18日「新しい波の輪郭 鮮やかに」
名古屋美術館ニュース	2019年春 展評

◆図録

『起点としての80年代』  
 執筆：飯沢耕太郎、北澤憲昭、小池一子、篠原資明、島 敦彦、  
 建昌 哲、谷 新、峯村敏明、以倉 新、伊藤 鮎、  
 牧野裕二(当館学芸員)、鷲田めるる  
 編集：金沢21世紀美術館、高松市美術館、静岡市美術館、  
 伊藤雅俊(株式会社マイブックサービス)  
 翻訳：ベンジャー桂、クリストファー・スティヴンズ  
 アート・ディレクション&デザイン：南 琢也  
 デザイン：岸本倫子  
 印刷・製本：株式会社山田写真製版所  
 発行所：株式会社マイブックサービス  
 仕様：30.3×22.5cm、212頁

◆ポスター・チラシ

デザイン：南 琢也

◆作品リスト(pp.16-17)

## やなぎみわ 神話機械

MIWA YANAGI : Myth Machines

1990年代から現在に至るまで、現代美術のみならず演劇界でも忘れられないシーンを創り出してきた美術家やなぎみわ(1967~)の、最新作を含めた10年ぶりの個展「やなぎみわ 神話機械」を開催しました。

本展では、やなぎのこれまでの代表的なシリーズや舞台の仕事を紹介するほか、2016年から日本神話と桃をテーマに福島の果樹園で取り組んできた写真シリーズ〈女神と男神が桃の木の下で別れる〉を、日本で初めてまとまった形で紹介しました。これは『古事記』に登場するイザナギとイザナミの物語に由来するもので、生と死の国の境に植えられていた桃の木をモチーフに、人間の運命についての思考を深める新たなシリーズです。

また、本展に向け2017年に、やなぎと京都・高松・前橋・福島の大学等5校が連携協力する「モバイル・シアター・プロジェクト」が立ち上がり、美術と機械工学と舞台芸術がクロスオーバーする展示空間には、4機のマシンによる新たな神話世界が生み出されました。

美術と舞台を往還することで生まれるやなぎ作品は、スペクタクル性とドキュメンタリー性が交錯し、虚実を幾重にも越境していくものです。本個展は、全国5会場(高松、前橋、福島、神奈川、静岡)を巡回しました。

From the 1990s to the present day, the artist Miwa Yanagi (1967-) has created unforgettable scenes, not only in contemporary visual art but also in theater. We presented her first individual exhibition in 10 years, one that includes some of her newest works: Miwa Yanagi: Myth Machines.

In addition to presenting Yanagi's major series and stage work, we was offered Japanese art lovers their first opportunity to view the photographic series *The Goddess and the God Part under a Peach Tree* which Yanagi has been working on since 2016, a series that was photographed in fruit orchards in Fukushima and takes Japanese mythology and peach trees as its themes. This new series is based on the stories of Izanagi and Izanami, who appear in the eighth century chronicle *Kojiki*. The peach trees that *Kojiki* describes as having been planted on the border between the land of life and the land of death are a motif of this series, which is a deep contemplation of the fate of humanity.

In 2017, in the period leading up to this exhibition, Yanagi joined forces with five universities and other institutions in Kyoto, Takamatsu, Maebashi, and Fukushima to produce the Mobile Theater Project. It was a crossover exhibition space, combining visual art, mechanical engineering, and performance art, where four machines created a new mythological world.

Yanagi's work, created as she moves back and forth between visual art and the stage, is an inextricable mixture of spectacle and documentary, and it crosses the boundaries between truth and fiction on many levels. In this long-awaited first exhibition in ten years, we came closer than ever before to closing in on the wellsprings of Yanagi's boundless creativity. This exhibition traveled to five venues in Japan (Takamatsu, Maebashi, Fukushima, Kanagawa, and Shizuoka).

- ◆会期 2019年2月2日(土)~3月24日(日) 45日間
- ◆主催 高松市美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会
- ◆協賛 ライオン、大日本印刷、損保ジャパン日本興亜
- ◆協力 京都造形芸術大学、京都工芸繊維大学、ROBOCON挑戦プロジェクト、香川高等専門学校、群馬工業高等専門学校、福島県立福島工業高等学校、一色事務所、堀内カラー
- ◆入場料 一般1,000円、大学生500円、高校生以下無料
- ◆入場者数 4,122人
- ◆担当学芸員 毛利直子



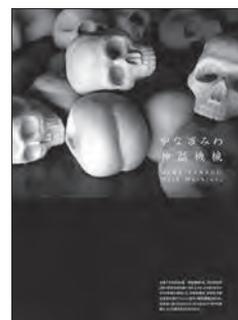
(チラシ表)



(チラシ裏)



(図録)



(報告書)



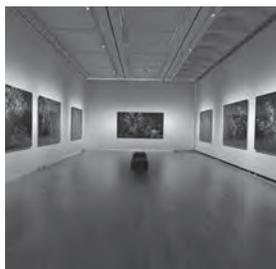
(B2ポスター)



(B3ポスター)



トークショー



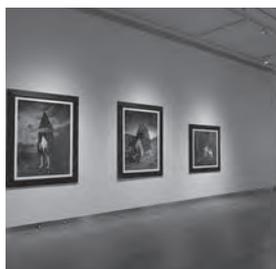
《女神と男神が桃の木の下で別れる》



《神話機械》



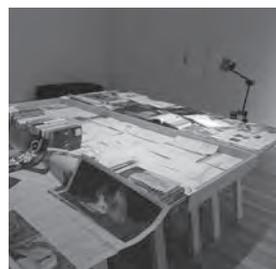
《エレベーターガール》



《フェアリーテール》



《神話機械》



《演劇アーカイブ》

◆ライブパフォーマンス"MM" (ゲネプロ) / 内覧会

日時：2月1日(日) 16:00～17:15 / 17:30～19:00

場所：2階展示室

参加者数：140人(福島県立福島工業高等学校生徒による報告会有り)

◆講演会

やなぎみわトークショー

日時：3月9日(土) 14:00～15:30

場所：1階講堂

参加者数：125人

◆イベント

やなぎみわワークショップ「機械と朗読」(p.31)

ロボット教室 (p.31)

ライブパフォーマンス"MM" (p.33)

ミニコンサート「Five Women Musicians」(p.33)

◆ギャラリートーク

日時：2月16日(土) 14:30～

講師：毛利直子(当館学芸員)

場所：2階展示室

料金：無料(観覧券要)

参加者数：42人

日時：会期中の日曜日10:30～(10回)

講師：美術館ボランティアcivi(シヴィ)

料金：無料(観覧券要)

参加者数：延べ175人

◆主な新聞・雑誌等関連記事

美術の窓 1月号・2月号

美術展びあ2019

ディスカバージャパン

いけ花龍生 2月号

月刊MOE 3月号

オフスタイル 1-2月号

香川こまち 2月号

ナイスタウン 2月号

ままといっしょ 2月1日発行号

広報たかまつ 2月1日号

朝日新聞夕刊(関西圏) 2月8日

朝日新聞デジタル

ビジネス香川 vol.258

コープこうべ

アートコレクターズ 2月号

芸術新潮 2月号

読売新聞大阪夕刊 3月4日

毎日新聞夕刊 2月25日

地域創造レター 3月号

『Seoul Art Guide』 3月号

(※韓国の美術月間雑誌)

NHK総合(香川県向け)

12月15日(金)11:30～12:00

「おひるのクローバー」、

18:10～19:00「ゆう6かがわ」

NHKラジオ(香川県向け)

ウェブ版 美術手帖

TRANS-KOBE

(公式Facebook、Instagram)

Walkerplus

情報サイト MIRAI

ART iT アートイット

高松市創造都市推進Facebook

コンフォルトウェブマガジン

(隔月刊コンフォルト)

◆主な新聞・雑誌等関連記事

美術展ナビ(開幕ニュース記事)

※読売新聞社が運営する美術展紹介サイト

朝日新聞/デジタル版

ホルペインアーチストナビ

ARTIST DATABASE

artscape

Net TAM

JDN

チラシミュージアム

Musca

かがわアートナビ

◆図録

『やなぎみわ 神話機械』

著者：やなぎみわ

執筆：毛利直子(当館学芸員)、荒木康子(福島県立美術館)、

安藤礼二(文芸評論家)、高山 宏(英文学者)

編集：毛利直子(当館学芸員)、辻 瑞生(アーツ前橋)、

荒木康子(福島県立美術館)、森谷佳永(神奈川県民ホールギャラ

リー)、植松 篤(静岡県立美術館)

翻訳：カレン・サンドネス+岡口夏織

ブックデザイン：木村三晴

発行者：羽鳥和芳

発行所：株式会社羽鳥書店

印刷・製本所：株式会社サンエムカラー

仕様：28.5×21cm、128頁

◆報告書

『やなぎみわ 神話機械』

編集：やなぎみわ(美術家)、毛利直子(当館学芸員)

報告文：牧野裕二・福田千恵(当館学芸員)、辻 瑞生(アーツ前橋)、

荒木康子・大北 孝・橋本恵里(福島県立美術館)、森谷佳永(神奈

川県民ホールギャラリー)、植松 篤(静岡県立美術館)、逸見知弘

(香川高等専門学校機械工学科准教授)、政岡恵太郎(香川高等専門

学校機械電子工学科OB)、平社信人(群馬工業高等専門学校機械工

学科ロボット工学研究室准教授)、吉田 健(福島県立福島工業高等

学校情報工学科科長)

批評文：住友文彦(アーツ前橋館長)、

住吉智恵(アートプロデューサー/ライター)

デザイン：木村三晴

発行者：「やなぎみわ 神話機械」報告編集チーム

仕様：28.5×21cm、16頁

◆ポスター・チラシ

デザイン：木村三晴

◆作品リスト(p.17)

## 作品リスト

京都市美術館名品展  
京の美人画100年の系譜

所属先：全て京都市美術館蔵

第1章 美人画誕生  
江戸から明治へ

1. 吉原真龍  
娘手踊り図  
江戸後期

2. 祇園井特  
立美人図  
寛政-文政年間

3. 幸野樺嶺  
呉服漢織之図  
明治14(1881)年

4. 上村松園  
春日長  
制作年不詳

5. 上村松園  
人生の花  
明治32(1899)年

6. 竹内梧風  
アレタ立に(下絵)  
明治42(1909)年

7. 千種掃雲  
蓮池  
明治42(1909)年

第2章 京都に咲く  
一文学・謡曲に生きる女性たち

8. 神坂雪佳  
小督  
大正期

9. 橋本関雪  
長恨歌  
昭和4(1929)年

10. 佐藤光華  
大原の人  
昭和9(1934)年

11. 窈本一洋  
鶴  
昭和11(1936)年

12. 植中直斎  
堀川夜襲  
昭和19(1944)年

第3章 描かれた少女たち

13. 梶原緋佐子  
姉妹  
大正5(1916)年頃

14. 岡村宇太郎  
娘  
大正末年頃

15. 窈本武雄  
少女の図  
昭和3(1928)年

16. 菊池契月  
春昼  
制作年不詳

17. 菊池契月  
少女  
昭和7(1932)年

18. 喜多川玲明  
背戸の夏  
昭和9(1934)年

19. 三谷十糸子  
朝  
昭和12(1937)年

20. 三谷十糸子  
月の出を待つ  
昭和57(1982)年

第4章 母子像と裸婦像

21. 小林古径  
いでゆ(下絵)  
大正7(1918)年

22. 泰テルヲ  
母子  
大正末期

23. 秋野不矩  
砂上  
昭和11(1936)年

24. 向井久万  
男児生る  
昭和16(1941)年

25. 広田多津  
母子  
昭和20(1945)年

26. 三輪晁勢  
青い部屋  
昭和29(1954)年

27. 三輪良平  
坐像  
昭和33(1958)年

28. 三輪晁勢  
椰子の実  
昭和47(1972)年

29. 広田多津  
裸婦  
平成元(1989)年

第5章 日常生活の中で

30. 土田麦僊  
橘  
明治40(1907)年頃

31. 菊池契月  
供燈  
大正後期

32. 菊池契月  
胡蝶  
大正後期

33. 梶原緋佐子  
暮れゆく停留所  
大正7(1918)年

34. 甲斐庄楠音  
青衣の女  
大正8(1919)年

35. 石川晴彦  
山茶花を持てる女  
大正15(1926)年

36. 菊池契月  
早苗  
昭和9(1934)年

37. 中村大三郎  
女人像(下絵)  
昭和9(1934)年

38. 中村大三郎  
女人像  
昭和9(1934)年

39. 由里本景子  
婦人像  
昭和10(1935)年頃

40. 秋野不矩  
紅裳  
昭和13(1938)年

41. 梶原緋佐子  
静閑  
昭和13(1938)年

42. 北沢映月  
明裳  
昭和15(1940)年

43. 金島桂華  
画室の客  
昭和29(1954)年

第6章 モダニズム

44. 伊藤小坡  
夏  
大正9(1920)年

45. 野長瀬晩花  
水汲みにいく女  
大正14(1925)年

46. 菊池契月  
南波照間(小下絵)  
昭和3(1928)年

47. 菊池契月  
南波照間  
昭和3(1928)年

48. 三谷十糸子  
独楽  
昭和5(1930)年

49. 三宅凰白  
花旦  
昭和5(1930)年

50. 勝田哲  
朝  
昭和8(1933)年

51. 土田麦僊  
平牀(下絵)  
昭和8(1933)年

52. 土田麦僊  
平牀  
昭和8(1933)年

53. 三宅凰白  
秋林小景  
昭和9(1934)年  
紙本着色

54. 丹羽阿樹子  
セーラー服の三人  
昭和戦前期

55. 丹羽阿樹子  
養楽  
昭和11(1936)年

56. 前田青都  
観画  
昭和11(1936)年

57. 磯田又一郎  
水のほとり  
昭和47(1972)年

第7章 京に生きる

58. 岡本大更  
京の町へ  
大正5(1916)年

59. 宇田荻都  
太夫  
大正9(1920)年

60. 由里本 景子  
大原女  
昭和前期

61. 梶原緋佐子  
女芸人  
昭和5(1930)年

62. 板倉星光  
春雨  
昭和5(1930)年

63. 甲斐庄 楠音  
舞妓  
昭和7-10(1932-1935)年

64. 林 司馬  
舞妓  
昭和9(1934)年

65. 西垣籌一  
部屋  
昭和13(1938)年

66. 三輪良平  
舞妓  
昭和35(1960)年

67. 大日躬世子  
舞扇  
昭和41(1966)年

68. 海老名正夫  
出を待つ  
昭和54(1979)年

高松コンテンポラリーアート・  
 アニュアル vol.07  
 つながりかえる夏

所属先：記載のないものは作家蔵

下道基行

シリーズ『torii』

S01 《台中、台湾》  
 2006年  
 石川文化振興財団

S02 《サハリン、ロシア》  
 2006年-  
 石川文化振興財団

S03 《サイパン、アメリカ》  
 2006年-  
 国立国際美術館

S04 《テニアン、アメリカ》  
 2006-12年  
 個人蔵

S05 《巨文島、韓国》  
 2006-12年  
 国立国際美術館

S06 《サハリン、ロシア》  
 2006年-  
 個人蔵

S07 《サイパン、アメリカ》  
 2006年-  
 石川文化振興財団

S08 《テニアン、アメリカ》  
 2006年-  
 石川文化振興財団

S09 《台中、台湾》  
 2006年-  
 石川文化振興財団

シリーズ『津波石』

S10 《津波石》  
 2015年-  
 高松市美術館

山城大督

Y01 《トーキング・ライツ》  
 2016年

藤 浩志

F01《1億5000万年前から受け継がれる》  
 2018年

千葉尚美

C01 《卒業アルバムから》  
 2013-18年

C02 《おひとつ積んでみませんか?》  
 2018年

C03 《おみくじ》  
 2018年

高松市障がい者アートリンク事業障害  
 者支援施設ウインドヒル×千葉尚美

C04 《移動式屋台「わたくいとあ  
 んせのお店。」》  
 2015年-  
 障害者支援施設ウインドヒル

C05 《絵にタイトルをつけてみよう》  
 2015年-  
 障害者支援施設ウインドヒル

音丸耕堂—華麗なる彫漆世界

第1章 初期

1. 音丸耕堂  
 彫漆紅花緑葉料紙文庫  
 大正12(1923)年  
 香川県立ミュージアム

2. 音丸耕堂  
 彫漆紅花緑葉硯箱  
 大正13(1924)年  
 香川県立ミュージアム

3. 音丸耕堂  
 堆朱紅花緑葉仏手柑香合  
 昭和2(1927)年  
 香川県立ミュージアム

4. 音丸耕堂  
 堆朱板文庫昆虫之圖  
 昭和38(1928)年

5. 音丸耕堂  
 彫漆七面鳥香盆  
 昭和3(1928)年

6. 音丸耕堂  
 堆黒讃岐富士香合  
 昭和4(1929)年

7. 音丸耕堂  
 讃岐彫堆漆紅花緑葉香合  
 昭和4(1929)年

8. 音丸耕堂  
 堆朱香盒 雀の御宿

9. 音丸耕堂  
 堆黒游蟹図料紙文庫  
 昭和4(1929)年  
 香川県立ミュージアム

10. 音丸耕堂  
 堆黒游蟹図硯箱  
 昭和4(1929)年  
 香川県立ミュージアム

11. 音丸耕堂  
 堆黒玉簪香盆  
 昭和5(1930)年  
 広島県立美術館

12. 音丸耕堂  
 讃岐彫海老文手箱  
 昭和時代  
 香川県立ミュージアム

第2章 中央での活躍—帝展以降

13. 音丸耕堂  
 彫漆菓子盆  
 昭和7(1932)年

14. 音丸耕堂  
 彫漆食籠  
 昭和7(1932)年

15. 音丸耕堂  
 彫漆双鯉之圖料紙箱  
 昭和9(1934)年

16. 音丸耕堂  
 朝顔の図彫漆宝石管  
 昭和15(1940)年  
 京都国立近代美術館

17. 音丸耕堂  
 彫漆月之花手箱  
 昭和17(1942)年

18. 音丸耕堂  
 彫漆椿文手箱  
 昭和18(1943)年

19. 音丸耕堂  
 彫漆溪の秋手箱  
 昭和18(1943)年  
 香川県立ミュージアム

20. 音丸耕堂  
 彫漆蘇鐵文食籠  
 昭和23(1948)年

21. 音丸耕堂  
 堆朱南瓜文色紙箱  
 昭和24(1949)年

22. 音丸耕堂  
 彫漆水葵小屏風  
 昭和24(1949)年

23. 音丸耕堂  
 彫漆八仙花香合  
 昭和25(1950)年

24. 音丸耕堂  
 堆漆茶器 佗介文  
 昭和25(1950)年頃

25. 音丸耕堂  
 彫漆山雲風炉先屏風  
 昭和26(1951)年  
 香川県立ミュージアム

26. 音丸耕堂  
 彫漆銀蘭文茶入  
 昭和27(1952)年頃

第3章 多様化と単純化

27. 音丸耕堂音丸耕堂  
 彫漆草花文様八段食籠  
 昭和32(1957)年

28. 音丸耕堂  
 彫漆薺文茶入  
 昭和34(1959)年頃  
 東京国立近代美術館

29. 音丸耕堂  
 彫漆草花文菓子器  
 昭和35(1960)年頃  
 東京国立近代美術館

30. 音丸耕堂  
 彫漆貝母文菓子器  
 昭和35(1960)年頃  
 東京国立近代美術館

31. 音丸耕堂  
 彫漆銀連糸茶入  
 昭和38(1963)年  
 東京国立近代美術館

32. 音丸耕堂  
 乾漆蟻螂菓子盆  
 昭和41(1966)年  
 香川県立ミュージアム

33. 音丸耕堂  
 延齢草文茶入  
 昭和41(1966)年  
 香川県立ミュージアム

34. 音丸耕堂  
 彫漆延齢草水指  
 昭和41(1966)年頃  
 京都国立近代美術館

35. 音丸耕堂  
 堆漆紅梅香合  
 昭和44(1969)年頃  
 東京国立近代美術館

36. 音丸耕堂  
 堆漆香合 夜梅  
 昭和44(1969)年頃  
 東京国立近代美術館

37. 音丸耕堂  
 彫漆延齢草棚  
 昭和45(1970)年  
 香川県立ミュージアム

38. 音丸耕堂  
 彫漆水仙手箱  
 昭和50(1975)年

39. 音丸耕堂  
 彫漆延齢草文手箱  
 昭和53(1978)年  
 香川県立ミュージアム

40. 音丸耕堂  
 彫漆布袋葵文手箱  
 昭和53(1978)年  
 文化庁

第4章 華麗なる彫漆世界

41. 音丸耕堂  
 堆朱茶杓  
 昭和55(1980)年  
 香川県立ミュージアム

42. 音丸耕堂  
 彫漆梅花う津き茶器  
 昭和56(1981)年  
 香川県立ミュージアム

43. 音丸耕堂  
 彫漆桔梗水指  
 昭和56(1981)年  
 香川県立ミュージアム

44. 音丸耕堂  
 彫漆千鳥茶器  
 昭和57(1982)年  
 香川県立ミュージアム

45. 音丸耕堂  
 堆漆沈丁華茶器  
 昭和58(1983)年  
 香川県立ミュージアム

46. 音丸耕堂  
 彫漆蔓龍胆文箱  
 昭和61(1986)年  
 香川県立ミュージアム

47. 音丸耕堂  
 堆漆菊文香合  
 平成元年(1989)年頃  
 東京国立近代美術館

48. 音丸耕堂  
 彫漆宵待草水指  
 平成2(1990)年

49. 音丸耕堂  
 彫漆色紙箱 カトレヤ  
 平成4(1992)年  
 東京国立近代美術館

50. 音丸耕堂  
 彫漆カトレア菓子器  
 平成5(1993)年  
 香川県立ミュージアム

## 作品リスト

51. 音丸耕堂  
彫漆蝸牛文水指  
平成8(1996)年  
香川県立ミュージアム

52. 音丸耕堂  
彫漆拒魔犬水指  
制作年不詳

53. 音丸耕堂  
堆漆蛙香合  
平成8(1996)年  
香川県立ミュージアム

54. 音丸耕堂  
堆漆鸚鵡香合  
制作年不詳  
個人蔵

55. 音丸耕堂  
堆漆雛鶴香合  
制作年不詳  
個人蔵

56. 音丸耕堂  
堆漆嫁ヶ君香合  
制作年不詳  
個人蔵

57. 音丸耕堂  
炉縁  
制作年不詳  
個人蔵

### 《資料》

58. 音丸耕堂  
木彫香盒 蛙  
昭和22-28(1947-53)年

59. 音丸耕堂  
木彫香合  
制作年不詳  
個人蔵

60. 音丸耕堂  
彫漆餘事  
昭和22-28(1947-53)年

61. 音丸耕堂  
墨彩一帳(色紙12枚)  
制作年不詳  
香川県立ミュージアム

62. 音丸耕堂  
あこ  
制作年不詳  
個人蔵

63. 音丸耕堂  
ねずみとレタス  
制作年不詳  
個人蔵

64. 音丸耕堂  
いね  
制作年不詳  
個人蔵

### 《関連出品》

1. 玉椿象谷  
印笥  
制作年不詳

2. 石井馨堂  
紅花緑葉香合  
昭和6(1931)年

3. 高木吉直  
飯山香合  
大正11(1922)年

4. 大須賀喬  
鳳凰文銀小壺  
昭和12(1937)年

5. 磯井如真  
乾漆蒔罽水指 瀬戸内海之図  
昭和24(1949)年

6. 北原千鹿  
宵月香爐  
昭和23(1948)年頃

### 《その他》

1. 文化庁企画  
『「彫漆—音丸耕堂のわざ—」  
昭和55年度工芸技術記録映画』  
昭和53(1978)年

2. 北岡省三  
《加飾工程見本(彫漆)八寸丸盆》  
平成25(2013)年  
香川県漆芸研究所

### 起点としての80年代

#### L.メディアムを巡って

1. 岡崎乾二郎  
あかさかみつけ  
1981年

2. 岡崎乾二郎  
かっぱばし  
1981年  
個人蔵

3. 岡崎乾二郎  
うぐいすだに  
1981年

4. 岡崎乾二郎  
そとかんだ  
1981年

5. 岡崎乾二郎  
でんえんちようふほんまち  
1981年

6. 岡崎乾二郎  
のがた  
1981年

7. 岡崎乾二郎  
たまち  
1981年

8. 諏訪直樹  
波瀾図 No.1  
1980年  
三重県立美術館

9. 諏訪直樹  
波瀾図 No.2  
1980年  
三重県立美術館

10. 辰野登恵子  
WORK 80-P-20  
1980年  
個人蔵

11. 辰野登恵子  
WORK 86-P-13  
1986年

12. 辰野登恵子  
WORK 89-P-13  
1989年  
千葉市美術館

13. 戸谷成雄  
『《彫るから》塔状のもの  
1982年  
MTMコレクション

14. 戸谷成雄  
中庭II  
1990年

15. 中原浩大  
夢殿  
2014-18(オリジナル) / 1984年  
作家蔵

16. 中原浩大  
金碗  
1985年  
作家蔵

17. 中村一美  
湿润気候の樹林II  
1984年  
豊田市美術館

18. 中村一美  
モレーン  
1987年

### II.日常とひそやかさ

19. 今村 源  
'88-12、'89-6より  
1988,89年

20. 杉山知子  
the midnight oasis  
1983年  
作家蔵

21. 日比野克彦  
PRESENT AIRPLANE  
1982年  
岐阜県美術館

22. 日比野克彦  
PRESENT SOCCER  
1982年  
作家蔵

23. 日比野克彦  
PRESENT SHOE  
1982年  
作家蔵

24. 日比野克彦  
ERROR  
1982年  
岐阜県美術館

25. 日比野克彦  
TYPEWRITER  
1983年

26. 日比野克彦  
PANTS  
1981年  
岐阜県美術館

27. 日比野克彦  
SWEATY JACKET  
1982年  
岐阜県美術館

28. 日比野克彦  
GLOVE  
1983年  
岐阜県美術館

D-1 日比野克彦  
「時代はサーカスの象にのって'84」  
(作：寺山修司、演出：萩原朔美、  
舞台美術・出演：日比野克彦)  
記録写真  
1984年  
作家蔵

D-2 日比野克彦  
「時代はサーカスの象に  
のって'84」ポスター  
1984年  
作家蔵

D-3 日比野克彦  
「HIBINO THEATRO」記録写真  
1985年  
作家蔵

D-4 日比野克彦  
「ONE DAY OF HIBINO」記録写真  
1986年  
作家蔵

29. 舟越 桂  
積んである読みかけの本のように  
1983年

30. 舟越 桂  
森へ行く日  
1984年  
作家蔵

- 31.舟越 桂  
冬の本  
1988年  
作家蔵
- 32.吉澤美香  
無題(茶だんす)  
1982年  
千葉市美術館
- 33.吉澤美香  
無題(三脚)  
1982年  
千葉市美術館
- 34.吉澤美香  
無題(掃除機)  
1982年  
千葉市美術館
- 35.吉澤美香  
無題(テーブル)  
1982年  
千葉市美術館
- 36.吉澤美香  
ろ-9 RO-9  
1989年  
千葉市美術館
- III. 関係性
- 37.川俣 正  
デストロイド・チャーチ・プロジェクト、プラン(C-2)  
1986年
- 38.川俣 正  
デストロイド・チャーチ・プロジェクト、テクニカルノートNo.1  
1987年  
個人蔵
- 39.川俣 正  
デストロイド・チャーチ・プロジェクト、テクニカルノートNo.2  
1987年  
個人蔵
- D-5.川俣 正  
デストロイド・チャーチ・プロジェクト、記録写真  
1987年
- 40.藤本由紀夫  
NORMAL BRAIN / READY MADE  
1980年  
作家蔵
- 41.藤本由紀夫  
SEPARATION-CONJUNCTION  
1984-98年  
作家蔵
- 42.藤本由紀夫  
CUBE SUGAR  
1986-88年  
作家蔵
- 43.藤本由紀夫  
HERMETIC SCALE (DIAMETER)  
1988年  
作家蔵
- 44.藤本由紀夫  
EARS WITH CHAIR  
1990, 2018年  
作家蔵
- 45.松井智恵  
「あの一面の森に箱を置く」  
(信濃橋画廊、987年)で展示された  
作品の部分、記録写真、  
映像による再構成  
2018年  
作家蔵
- 追加出品.  
松井智恵  
根 支持  
1986年
- 追加出品.  
松井智恵  
根 水盤  
1986年
- 46.宮島達男  
Monism / Dualism  
1989年  
京都国立近代美術館
- 47.宮島達男  
パフォーマンス NA. AR.  
(Voice)の記録写真  
1982年  
Akio Nagasawa Gallery
- 48.宮島達男  
パフォーマンス NA. AR.  
(Rain)の記録写真  
1982年  
Akio Nagasawa Gallery
- 49.宮島達男  
パフォーマンス NA. AR.  
(Line)の記録写真  
1984年  
Akio Nagasawa Gallery
- D-6.宮島達男  
《Performance Box》  
NATURE AND ARTIFICIALITY (RAIN)  
DVD、写真、ドローイング、ネガ、  
案内状、メモ  
作家蔵
- IV. 記憶・アーカイブ・物語
- 50.石原友明  
約束 I  
1984年
- 51.石原友明  
Untitled  
1985年
- 52.大竹伸朗  
家系図  
1986-88年  
セゾン現代美術館
- 53.大竹伸朗  
網膜 #9(ブラウン・ヘッド)  
1988-90年  
セゾン現代美術館
- 54.大竹伸朗  
網膜 #39(投げ縄)  
1990-91年
- 55.森村泰昌  
肖像(ゴッホ)  
1985年
- 56.森村泰昌  
ポートレート(赤 I)  
1986年
- 57.森村泰昌  
ポートレート(黒)  
1986年
- 58.森村泰昌  
肖像(泉 1, 2, 3)  
1986-90年
- 59.森村泰昌  
だぶらかし(マルセル)  
1988年
- 60.横尾忠則  
うまい作り話  
1982年
- やなぎみわ 神話機械
- 所属先:記載のないものは作家蔵
- 《エレベーターガール》
1. 次の階を探して I  
1996年  
高松市美術館
2. 案内嬢の部屋 1F  
1997年  
京都市美術館蔵
- 《マイ・グランドマザーズ》
3. YUKA  
2000年
4. MIE  
2000年
5. SACHIKO  
2000年
6. MINAMI  
2000年
7. REGINE+YOKO  
2001年
8. ERIKO  
2001年
9. MINEKO  
2002年  
高松市美術館
10. SHIZUKA  
2004年
11. KAHORI  
2004年
12. MITSUE  
2009年
- 《フェアリーテール》
13. 無題 I  
2004年
14. 無題 II  
2004年
15. グレーテル  
2004年
16. 白雪  
2004年
17. 眠り姫  
2004年
18. ラプンツェル  
2004年
19. 無題 IV  
2005年  
高松市美術館
20. トルーデおばさん  
2005年
21. エレンディラ II  
2006年
- 《女神と男神が桃の木の下で別れる》
22. 川中島 I, II, III  
2016年
23. あかつき I, II, III  
2017年
24. まどか I, II, III  
2017年
25. きらら I, II, III  
2018年
- 映像
26. グロリア&レオン  
2004年  
(25' 52")
27. ララバイ  
2010年  
(13'16")
- 演劇アーカイブ
28. やなぎみわ演劇プロジェクト  
vol.1 1924 Tokyo-Berlin  
vol.2 1924 海戦  
vol.3 1924 人間機械  
2011年、2012年初演
29. PANORAMA ~パノラマ  
2012年初演
30. ゼロ・アワー  
2013年初演
31. やなぎみわステージトレッラー  
プロジェクト《日輪の翼》  
2016年初演
32. モバイル・シアター・プロジェクト  
《神話機械》  
a タレイア(メインマシン)  
b テルプシカラー(振動マシン)  
c メルボメネー(のたうちマシン)  
d ムネーメー(投擲マシン)  
2019年
33. 桃を投げる  
2018年
34. 命名  
2019年
35. アルゴの船首像  
2019年
36. 無題 I  
2015年
37. 無題 II  
2015年
38. IZANAMI  
2018年
- 39-40. 神話機械のためのドローイング  
2018年

## 第1期常設展

- ◆会期 2018年4月10日(火)～6月24日(日) 66日間
- ◆入場料 一般200円、大学生150円、  
65歳以上・高校生以下無料
- ◆入場者数 3,812人
- ◆担当学芸員 石田智子

- ◆ギャラリートーク  
日時：6月9日(土) 14:00～  
講師：牧野裕二  
参加者数：10人



(パンフレット/常設1)



(パンフレット/常設2)

### 【常設展示室1】

#### かわる、かたち Changing, Shapes

「かわる、かたち」をテーマに、新収蔵作品を含む22点(16作家)を紹介。

No.	作家名	作品名	制作年	No.	作家名	作品名	制作年
1.	立石大河亜	車内富士	1992	12.	岩崎貴宏	Out of Disorder (Snow Mountain)	2010
2.	フランスス・ペーコン	座れる人物	1983	13.	宮島達男	Lifeface vol.1	1991
3.	クリスト	梱包されたボン・ヌフ	1985	14.	宮島達男	空集合	1992
4.	クリスト	梱包されたライヒスターク	1972	15.	宮島達男	Time in Blue No.16	1996
5.	草間彌生	Airmail Accumulation	1961	16.	宮島達男	Counter Line No.1	1988
6.	草間彌生	Untitled	1961	17.	宮島達男	MODEL (36) No.9	1993
7.	斎藤義重	トロウツド	1973 (原作1939)	18.	野村仁	ドライアイス	1969/2006
8.	李禹煥	刻みより No.97	1972	19.	宮永愛子	ポスト-景色	2010
9.	大竹伸朗	A.シュワップ #1	1989	20.	橋本雅也	モウソウチク	2014
10.	照屋勇賢	Forest Cloud	2011	21.	山中信夫	ある1つの点 No.4, No.5	1981-82
11.	南条嘉毅	羅城門	2017	22.	鯉江良二	土に還る	1989

### 【常設展示室2】

#### 素地で楽しむ漆 Appreciate "Urushi" Lacquerware from Base Materials

漆芸の魅力を下支えする素地に注目し、多彩な手法が用いられた漆芸作品25点(10作家)を紹介。

No.	作家名	作品名	制作年	No.	作家名	作品名	制作年
1.	香川宗石	藍胎存清 盛器		15.	磯井正美	摺胎 蒔罫 雲気文 花瓶	1963
2.	太田 儔	藍胎蒔罫 茶箱 春彩	1989	16.	西岡春雪	摺胎朱塗 食籠	2001
3.	太田 儔	藍胎箱 波文	1989	17.	磯井如真	乾漆 花瓶	1937
4.	太田 儔	藍胎蒔罫 食籠 朱と白	1990	18.	磯井如真	乾漆 花瓶	1944
5.	太田 儔	藍胎蒔罫 双色紙箱 潮騒	1991	19.	磯井如真	乾漆 蒔罫水指 瀬戸内海之圖	1949
6.	太田 儔	藍胎蒔罫 双短冊箱 豊壽喜之圖	1992	20.	磯井如真	乾漆 花器	1952
7.	太田 儔	藍胎蒔罫 盛器 チェリーポート	1998	21.	磯井如真	青銅塗花瓶	1955頃
8.	太田 儔	藍胎蒔罫 茶箱 春風	1998	22.	辻 照二	乾漆 蒔絵 箱	1983
9.	太田 儔	藍胎蒔罫 八角食籠 虫の図	2000	23.	辻 照二	乾漆彩色蒔絵短冊箱	1993
10.	太田 儔	藍胎蒔罫箱 赤い貝殻	2002	24.	真子実也	乾漆 鳥の精	1974
11.	太田加津子	乾漆蒔罫 水指 独楽文	2002	25.	窪田 恒	乾漆黒呂仕上げ 雨の巡礼	1982
12.	大谷早人	藍胎蒔罫 文箱	1989				
13.	大谷早人	藍胎蒔罫箱 網代文	1997				
14.	大谷早人	藍胎蒔罫 十二角食籠 蝶蜻蛉	2013				

## 第2期常設展

- ◆会期 2018年6月30日(火)～9月24日(月・祝) 75日間  
 ◆入場料 一般200円、大学生150円、  
 65歳以上・高校生以下無料  
 ◆入場者数 5,098人  
 ◆担当学芸員 尾形絵里子

- ◆イベント  
 青木陵子ワークショップ「観察する日」(p.31)  
 ◆ギャラリートーク  
 日時：9月1日(土) 14:00～  
 講師：尾形絵里子  
 参加人数：21人



(パンフレット/常設1)



(パンフレット/常設2)

## 【常設展示室1】

## 181枚の記憶—高松市美術館特別展の歩み— 181 Pieces of Memories—Footsteps of Takamatsu Art Museum's Special Exhibition—

開館30周年記念として、181枚の特別展チラシとともに美術館コレクションの中核を成す作品を展示。また、青木陵子のドロ잉連作「ワイルドフラワーのたね」を青木氏本人に特別に展示。

No.	作家名	作品名	制作年	No.	作家名	作品名	制作年
1.	木村忠太	アムステルダム港	1976	10.	森村泰昌	ボデゴン(鼻つき洋梨)	1992
2.	川島 猛	N.Y.20	1965	11.	青木陵子	ワイルドフラワーのたね	2010
3.	菅井 汲	フェスティヴァルF	1971	12.	小谷元彦	Arabesque Woman with a Heart	2009
4.	速水史朗	おばけ	1986-91	13.	須田悦弘	チューリップ	2002
5.	リキテンシュタイン	夢想	1965	14.	大竹伸朗	ジャリおじさんと時間	1993
6.	フンデルトワッサー	心を移した恋人を愛しつつ 待つのはつらい	1971	15.	橋爪 彩	Les amies	2016
7.	池田満寿夫	化粧する女	1964	16.	ヤノベケンジ	ガイガーチェック:ワールドワイド No.5	1998
8.	イサム・ノグチ	山つくり	1982	17.	ヤノベケンジ	ミニ・アトムスーツ	2003-2013
9.	流 政之	ながれバチ	1987	18-20.	蛸川実花	Acid Bloom	2003

## 【常設展示室2】

## 和とモダン—金工家・北原千鹿— Japanese Style and Modern Design by Senroku Kitahara, Metal Artist

開館30周年を記念し、工芸史を語るうえで欠かせない高松市出身の金工家・北原千鹿を中心に、モダンデザインの金工作品を紹介。

No.	作家名	作品名	制作年	No.	作家名	作品名	制作年
1.	津田信夫	一点玲瓏	1934	16.	山脇洋二	照明器	1931
2.	高村豊周	把手 花入	昭和初期	17.	後藤 学	山葡萄 鍛鉄 置物	
3.	高村豊周	青銅花入		18.	北原千鹿	双鱼置物	1933
4.	佐々木象堂	鑄銅 花葉文 花入	昭和初期	19.	北原千鹿	鳩	1939
5.	北原千鹿	葡萄文水差	1923	20.	北原千鹿	鍍金毛彫鹿文長角盆	
6.	北原千鹿	花燭台	1926	21.	北原千鹿	鹿文金彩花瓶	1936
7.	北原千鹿	紙切	昭和初期	22.	北原千鹿	壁飾 鹿	
8.	北原千鹿	漆彩色銀菓函		23.	北原千鹿	下絵 紺地鍍金透歯染紋 手函	1925
9.	北原千鹿	漆 彩色銀 洋酒盃	昭和初期	24.	北原千鹿	紺地鍍金透歯染紋 手函	1925
10.	北原千鹿	燭台	1928	25.	北原千鹿	下図 蛙 壁掛	1934
11.	北原千鹿	鉄香爐	1930	26.	北原千鹿	下絵 蛙群聴教金銅華鬘	1947
12.	大須賀喬	黄銅花器	1930	27.	北原千鹿	宵月香爐	
13.	鴨 政雄	花瓶	1929	28.	北原千鹿	下絵 法冠 聖観音菩薩	1949
14.	鴨 政雄	花器 蛾と月見草	1937	29.	北原千鹿	法冠	1949
15.	山脇洋二	煙草入れ	1927	30.	新田藤太郎	北原千鹿氏座像	1953

### 第3期常設展

- ◆会期 2018年9月29日(土)～12月24日(月・祝) 75日間
- ◆入場料 一般200円、大学生150円、  
65歳以上・高校生以下無料
- ◆入場者数 4,063人
- ◆担当学芸員 牧野裕二

- ◆ギャラリートーク  
日時：12月1日(土) 14:00～  
講師：牧野裕二  
参加者数：20人



(パンフレット/常設1)



(パンフレット/常設2)

#### 【常設展示室1】

#### 1990年代以降の日本現代美術 Japanese Contemporary Art since the 1990s

特別展「起点としての80年代展」関連1990年代及び2000年代の日本現代美術の流れを辿り、80年代に「起点」として始まった美術同向がその後のように受け継がれ、展開していったかを21作家28点の作品で紹介。

No.	作家名	作品名	制作年	No.	作家名	作品名	制作年
1.	会田 誠	BRUTUS	1992(96加筆)	17.	須田悦弘	チューリップ	2002
2.	池田亮司	data.scan	2009	18.	束芋	Japanese Little Kitchen	2003
3.	イケムラレイコ	Pacific Red	2006	19.	できやよい	カッペリ	2003
4-8.	小沢 剛	なすび画廊	1994-96	20.	照屋勇賢	You-I Flat Work Large	2009
9.	O JUN	湖畔	2009	21.	奈良美智	Milky Lake	2001
10.	O JUN	津波	2010	22.	名和晃平	PixCell [ Shoe #6 (L) ]	2006
11.	小谷元彦	Arabesque Woman with a Heart	2009	23.	名和晃平	PixCell [ LEGO -F1(Ferrari) # 1 ]	2008
12.	加藤 泉	無題	2008	24.	福田美蘭	Sight-Seeing	1990
13.	金氏徹平	Day Tripper (Sculpture of Photograph of paint #4)	2010	25.	村上隆	Red Rope	2001
14.	鬼頭健吾	tower	2007	26.	村上隆	Game	2001
15.	さわひらき	eight minutes	2005	27.	ヤノベケンジ	ミニ・アトムスーツ	2003-2013
16.	杉戸 洋	Atelier Augarten 中断の時	2006	28.	山口 晃	大山崎交通乃圖	2008

#### 【常設展示室2】

#### 讃岐漆芸 その始まりから現代まで The History of Sanuki Lacquer Art

讃岐漆芸の祖である玉椿象谷から現代活躍する人間国宝に至る讃岐漆芸の系譜を、所蔵品から選りすぐった26作家の作品35点により紹介。

No.	作家名	作品名	制作年	No.	作家名	作品名	制作年
1.	玉椿象谷	狭貫彫堆黒 松ヶ浦香合(隠し文字：松)	1851	19.	谷澤不二松	金魚文 彫漆鉢	1942
2.	玉椿象谷	狭貫彫堆黒 松ヶ浦香合(隠し文字：は)	1851	20.	香川宗石	讃岐漆 存清花蝶紋 色紙箱	1965頃
3.	玉椿象谷	狭貫彫堆黒 松ヶ浦香合(隠し文字：天)	1851	21.	音丸耕堂	彫漆月之花手箱	1942
4.	玉椿象谷	堆朱 御筆薬笥	1851	22.	音丸耕堂	彫漆八仙花 香合	1950頃
5.	玉椿象谷	彩色蒔摺 水指棚	1853	23.	山下楊哉	彫漆手筥 菜花文	1954
6.	玉椿雪堂	蒔摺文庫	1897頃	24.	岡田草人	蒔摺雪柳之圖手筥	1947
7.	玉椿蔵谷	堆黒香合	1910頃	25.	明石朴景	春秋麗日	1979
8.	藤川黒斎	存清花文鞍		26.	真子実也	乾漆 鳥の精	1974
9.	藤川蘭斎	存清 饌盒	1890頃	27.	磯井正美	蒔摺 清明 盛器	1988
10.	藤川秋郊	藍胎紅地堆黒 菊花硯箱	1895	28.	磯井正美	蒔摺 むらさき箱	1990
11.	石井馨堂	堆朱蜀葵山鶴圖香盆	1910頃	29.	太田 儔	藍胎蒔摺 短冊箱 夏ぐみ	1996
12.	石井馨堂	堆朱線香筒 虫之図		30.	太田 儔	藍胎蒔摺 茶箱 春風	1998
13.	高橋皖山	風月三昆 福祿壽 圖 紅華緑葉香合	1919	31.	太田加津子	藍胎蒔摺 盛器 草花文	1983
14.	佐々竹僊	堆漆香盆 花物之図	1943	32.	山下義人	蒔摺箱 山笑う	2011
15.	鎌田稼堂	堆朱月茶入盒		33.	北岡省三	堆漆小箱 緑風	1995
16.	森 象堂	堆黄松葉花瓶	1920頃	34.	大谷早人	藍胎蒔摺 文箱	1989
17.	磯井如真	乾漆 花瓶	1937	35.	藤田正堂	彫漆蒔摺 蓋物 律	2012
18.	磯井如真	蒔摺 筆筥 銀葉アカシヤ之圖	1957				

## 第4期常設展

- ◆会期 2019年1月5日(土)～3月31日(日) 74日間  
※中学生キュレーター企画「視点を変えてみる」  
1月5日(土)～3月13日(水)  
「第36回日本伝統漆芸展」 3月16日(土)～3月31日(日)  
※3月14日(木)、3月15日(金)は展示替えの為、休室。
- ◆入場者料 一般200円、大学生150円、  
65歳以上・高校生以下無料

- ◆入場者数 4,180人(第36回日本伝統漆芸展入場者数を含む)  
◆担当学芸員 橋美貴、中学生キュレーター6人  
◆ギャラリートーク  
日時:3月2日(土) 14:00～  
講師:橋美貴、中学生キュレーター6名  
参加者数:30人



(パンフレット/常設1)



(パンフレット/常設2)



(伝統漆芸展)

## 【常設展示室1】

## 中学生キュレーター企画「視点を変えてみる」 "Changing the Point of View" Curated by Middle School Students

中学生キュレーターは公募したメンバー6名による企画。計4回のレクチャー・ミーティングを開催。「こたつから作品をみたい」というアイデアのもと、展示室内にこたつを設置。

No.	作家名	作品名	制作年	No.	作家名	作品名	制作年
1.	押江千衣子	ツツク	1997	4.	岡田修二	水辺33	2006
2.	池田龍雄	池田龍雄 初期ペン画集		5.	小川信治	恋文	2006
		シリーズ化物の系譜—ショーバイ(II)	1955	6.	蔡國強	Project for Venice : Sink and Rise, 1995	1995
		シリーズ化物の系譜—出勤	1956	7.	塩田千春	トラウマ/日常	2007
		シリーズ禽獣記—覇鳥	1957	8.	内藤礼	死者のための枕	2013
		シリーズ禽獣記—パーティ	1958	9.	奈良美智	Milky Lake	2001
		シリーズ虫類図譜—あや虫		10.	三島喜美代	Newspaper 72	1972-73
3.	エルスワース・ケリー	9つの正方形	1976-1977				

## 第36回日本伝統漆芸展

日本伝統漆芸展は、伝統の継承と現代生活への応用を目指し、日本伝統工芸展の漆芸部会展として開催。第36回となる本展は、東京・輪島・高松・広島・熊本の5会場を巡回し、受賞作品8作品を含む入選作品全91点を展示した。

- ◆会期 2019年3月16日(土)～3月31日(日)  
◆主催 高松市美術館、公益社団法人日本工芸会  
◆後援 文化庁・香川県香川県教育委員会・朝日新聞社、公益財団法人岡田茂吉美術文化財団、四国新聞社、NHK高松放送局、KSB瀬戸内海放送・OHK岡山放送、RNC西日本放送・RSK山陽放送、TSCテレビせとうち
- ◆入場者数 1,291人
- ◆列品解説  
日時:3月16日(土) 13:00～ 日時:3月30日(土) 13:00～  
講師:北岡省三(漆芸家) 講師:佐々木正博(漆芸家)  
参加者数:23人 参加者数:12人

## 【常設展示室2】

## 日本工芸会と香川の作家たち Japan Kogei Association and Artists of Kagawa

「日本工芸会」で活躍した作家や、日本伝統工芸・日本伝統漆芸展に出品された作品28点を紹介。

No.	作家名	作品名	制作年	No.	作家名	作品名	制作年
1.	伊賀寛泰	彩漆蒔罫飾箱 秋彩	1990	15.	大谷早人	藍胎蒔罫箱 網代文	1997
2.	石原雅員	彫漆小筆筒 花苑	2004	16.	音丸耕堂	彫漆草花文様八段食籠	1957
3.	磯井如真	飾棚竹林之図	1958	17.	香川宗石	讃岐漆 存清花蝶紋 色紙箱	1965頃
4.	磯井正美	蒔罫 思草 色紙箱	1987	18.	北岡省三	堆漆小箱 緑風	1995
5.	磯井正美	蒔罫 紫 水指	1990	19.	佐々木正博	乾漆蒔罫 草華文 短冊笥	2000
6.	磯井正美	蒔罫 梅花結実 箱	2004	20.	高橋静道	藍胎蒔罫草花文硯笥 雪柳	
7.	磯井正美	蒔罫 梅花冬蝶 水指	2004	21.	竹内幸司	乾漆喰籠	1993
8.	磯井正美	蒔罫 橘花創成盛器	2006	22.	辻照二	乾漆彩色時絵短冊箱	1993
9.	磯井正美	蒔罫 寿盡し 寿司桶	2008	23.	西岡春雪	繩胎朱塗 食籠	2001
10.	磯井正美	蒔罫 扇面文 箱	2014	24.	藤田正堂	彫漆蒔罫流文盛器	2002
11.	太田加津子	蒔罫 硯箱	1969	25.	藤田正堂	彫漆蒔罫 蓋物 律	2012
12.	太田加津子	乾漆蒔罫 水指 独楽文	2002	26.	向井武志	蒔絵箱 揺	1998
13.	太田 備	藍胎蒔罫 色紙箱	1974	27.	山下義人	蒔罫箱 水煙る	1987
14.	太田 備	藍胎蒔罫 盛器 チェリーポート	1998	28.	山下義人	蒔罫色紙箱 波がさね	1988

(1) 新収蔵作品

収集対象を香川の美術と戦後の美術に大きく分け、香川の美術では伝統的な漆工と金工に重点を置いて収集し、戦後の美術としては、油彩画と彫刻を収集することとし、国内作家については、1945年以降の現代美術に的を絞り、外国作家は日本の戦後美術史の流れに多大な影響を与えた20世紀初頭から現代にいたる作品を版画で系統的に収集する。

新収蔵作品点数						
区分	洋画	日本画	彫刻	工芸	書	計
購入	6	—	2	2	—	10
寄贈	4	—	2	3	—	9
計	10	—	4	5	—	19

収蔵作品総点数						
区分	洋画	日本画	彫刻	工芸	書	計
購入	640	24	229	394	12	1,299
寄贈	150	22	31	136	4	343
計	790	46	260	530	16	1,642

平成30(2018)年度新収蔵作品一覧

鴻池朋子

《揺れる島》

2011年  
 アクリル、墨、金箔、  
 雲肌麻紙・木パネル  
 135×175cm  
 購入



鴻池朋子

《皮絵 オオカミ》

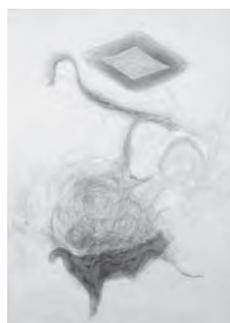
2015年  
 アクリル、水彩、  
 水溶性ワックスパステル・  
 牛皮  
 280×270cm  
 購入



松井智恵

《根 支持》

1986年  
 鉛筆、色鉛筆、  
 水彩絵具、  
 オイルパステル、  
 ワックス・紙  
 110×81.5cm  
 購入



松井智恵

《根 水盤》

1986年  
 鉛筆、色鉛筆、  
 水彩絵具、  
 オイルパステル、  
 ワックス・紙  
 110×81.5cm  
 購入



日比野克彦

《TYPEWRITER》

1982年  
 アクリル、色鉛筆、  
 墨・段ボール  
 102.5×131.9cm  
 購入



下道基行

《津波石》

2015年-  
 DVD  
 可変  
 購入



藤 浩志

《Toys Saurus 1480R17》

2017年  
ミクストメディア  
(玩具パーツ多数、  
スケッチ4枚付)  
可変  
購入



今村 源

《'88-12、'89-6より》

1988, 89, 2018年  
針金、紙粘土、塩化ビニール、  
柿、コンクリート、FRP  
可変  
購入



谷澤不二松

《紫陽花之圖 彫漆手筥》

1940年頃  
漆、木  
15 × 30.5 × 38cm  
購入



北原千鹿

《浮上彫松竹梅文銀小器》

1946-50年頃  
銀  
3 × 9.9cm  
購入



日比野克彦

《J-TRIP 茶室》

2018年  
アクリル、墨、色鉛筆・紙、段ボール等  
207 × 278cm 他8点  
寄贈



吉澤美香

《りー45》

1995年  
工業用インク・アクリル板  
138.5 × 110.5cm  
寄贈



吉澤美香

《ぬー9》

1996年  
水性クレヨン・紙  
36.5 × 26.9cm  
寄贈



(1) 新収蔵作品

吉澤美香

《ぬ-31》

1997年  
水性クレヨン・紙  
36.1×26.5cm  
寄贈



藤 浩志

《Toys Saurus 6100R09 - Last Head》

2009年  
ミクストメディア  
28×50×79cm  
寄贈



藤 浩志

《Anger Dog 980B18》

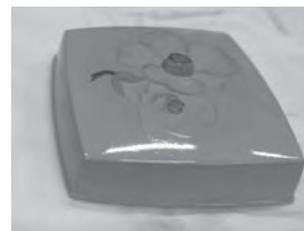
2018年  
ミクストメディア  
59×21×98cm  
寄贈



辻 照二

《蒔絵香盒》

漆、木  
3.4×8.3×8.3cm  
寄贈



磯井正美

《蒔番 嚙 平棗》

漆、木  
5.7×8.6cm  
寄贈



磯井正美

《蒔番 棗》

漆、木  
4.8×6.7cm  
寄贈



(2) 寄託作品

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	規格
1.	曾谷朝絵	Circles	2015	油彩・綿布/パネル	37.5×99.5cm
2.	曾谷朝絵	宙 sora - plot	2013	水彩・紙	26×36cm
3.	町田久美	かぎあな	2014	色鉛筆、ダーマトグラフ・紙	14.9×14.8cm

## (3) 貸出作品

**夏季所蔵品展「夏季所蔵品展 抽象アートと性格判断」** 貸出先：ふくやま美術館 貸出期間：2017/6/28～9/10

ピエト・モンドリアン《赤と黄と青のある菱形のコンポジション》

ピエト・モンドリアン《赤と黄と青のあるコンポジション》

※2017年度貸出

**戦後美術の現在形 池田龍雄展—精円幻想** 貸出先：練馬区立美術館 貸出期間：2018/4/26～6/17

池田達雄《シリーズ化物の系譜—ショーバイ(II)》

池田達雄《シリーズ禽獣記—覇鳥》

池田達雄《未開地》

池田達雄《シリーズ禽獣記—パーティ》

池田達雄《シリーズ虫類図譜—あや虫》

**驚異の超絶技巧！明治工芸から現代アートへ** 貸出先：岐阜県現代陶芸美術館 貸出期間：2018/6/30～8/26

山口県立美術館 2018/9/7～10/21

富山県水墨美術館 2018/11/16～12/24

あべのハルカス美術館 2019/1/26～4/14

橋本雅也《ダッチアイリス》

稲崎栄利子《雄鶏》

**起点としての80年代** 貸出先：金沢21世紀美術館 貸出期間：2018/7/7～10/21

静岡市美術館 2019/1/5～3/24

岡崎乾二郎《あかさかみつけ》

岡崎乾二郎《うぐいすだに》

岡崎乾二郎《のがた》

岡崎乾二郎《そとかんだ》

岡崎乾二郎《たまち》

岡崎乾二郎《でんえんちょうふほんまち》

辰野登恵子《WORK 86-P-13》

戸谷成雄《中庭II》

中原浩大《金碗》

中村一美《モレーン》

舟越 桂《積んである読みかけの本のように》

川俣正《デストロイド・チャーチ・プロジェクト(カッセル・ドクメンタ8)、プランC-2》

石原友明《約束I》

石原友明《Untitled》

大竹伸朗《網膜#39(投げ縄)》

森村泰昌《肖像(ヴァン・ゴッホ)》

森村泰昌《ポートレート(赤I)(黒)》

森村泰昌《肖像(泉1・2・3)》

森村泰昌《だぶらかし(マルセル)》

横尾忠則《うまい作り話》

**たかまつ今昔—創造都市高松の原点を探る—** 貸出先：高松市歴史資料館 貸出期間：2018/7/14～9/2

玉椿象谷《堆朱 紅葵饗合》

玉椿象谷《堆朱 御筆築箱》

**めがねと旅する美術展** 貸出先：青森県立美術館 貸出期間：2018/7/20～9/2

島根県立石見美術館 2018/9/15～11/12

静岡県立美術館 2018/11/23～2019/1/27

中村 宏《聖火千里行》

## (3) 貸出作品

<b>URUSHI 伝統と革新展</b>	貸出先：石川県立美術館	貸出期間：2018/9/15～10/14
	そごう美術館	2019/1/1～1/27
	MOA美術館	2019/3/5～4/16

音丸 淳《彫漆桔梗文水指》  
 佐々木文夫《藍胎蒔罫 盛器》  
 太田 備《藍胎蒔罫 茶箱 浅春》  
 山下義人《蒔罫箱 山笑う》  
 大谷早人《藍胎蒔罫 十二角食籠 蝶蜻蛉》

<b>1968年—激動の時代の芸術</b>	貸出先：千葉市美術館	貸出期間：2018/9/19～11/11
	北九州市立美術館 分館	2018/12/1～2019/1/27
	静岡県立美術館	2019/2/10～2019/3/24

伊藤隆康《負の楕円》  
 及川正通《書を捨てよ！町へ出よう！（天井桟敷）》  
 柏原えつとむ《Silencer 68-1》  
 河口龍夫《無限空間におけるオブジェとイメージの相関関係または8色の球体》  
 関根伸夫《位相No.4》  
 タイガー立石《はじめに革命ありき》  
 山口勝弘《サイン・ポール》  
 横尾忠則《大山デブコの犯罪（天井桟敷）》  
 横尾忠則《毛皮のマリー（天井桟敷）》  
 横尾忠則《由比正雪（劇団状況劇場）》  
 横尾忠則《新宿泥棒日記》

<b>イサム・ノグチと岡本太郎—越境者たちの日本—</b>	貸出先：川崎市岡本太郎美術館	貸出期間：2018/10/6～2019/1/14
-------------------------------	----------------	--------------------------

イサム・ノグチ《Untitled(無題)》

<b>台湾・香川 漆芸交流展</b>	貸出先：香川県漆芸研究所	貸出期間：2018/11/10～11/25
--------------------	--------------	-----------------------

石井馨堂《紅花緑葉香盆 水草虫之図》  
 石原雅員《彫漆小筆筒 花苑》  
 磯井如真《里芋之圖 彫漆花瓶》  
 磯井如真《茄子 香盒》  
 磯井如真《木彫 佛手柑香盒》  
 磯井如真《蒔罫彫漆茜空手箱》  
 大島唯史《深秋》  
 太田加津子《藍胎蒔罫 盛器 草花文》  
 太田備《藍胎存清 短冊箱 連翹之圖》  
 大谷早人《藍胎蒔罫箱 網代文》  
 音丸耕堂《堆朱南瓜文色紙箱》  
 北岡省三《彫刻短冊箱 碧麗》  
 佐々竹僊《狹貴彫 手篋 瑞雲鳴鳳之圖》  
 佐々木正博《乾漆蒔罫 草華文 短冊箱》  
 高橋皖山《采果並福寿之図 堆朱香炉盆》  
 真子実也《こころみ》  
 藤田正堂《彫漆蒔罫 流文盛器》  
 藤川蘭斎(文綺堂)《存清重箱》  
 安本一夫《實叢》  
 山下義人《蒔罫箱 くれない》

**冬の所蔵作品展「マン・レイとデュシャン」**

貸出先：広島県立美術館

貸出期間：2019/1/2～4/14

マルセル・デュシャン《L.H.O.O.Q》

マルセル・デュシャン《トランクの箱》

**Oh!マツリ☆ゴト 昭和・平成のヒーロー&ピーポー**

貸出先：兵庫県立美術館

貸出期間：2019/1/12～3/17

立石タイガー《哀愁列車》

**イケムラレイコ 土と星 Our Planet**

貸出先：国立新美術館

貸出期間：2019/1/18～4/1

イケムラレイコ《Pacific Red》

**モダンデザインが結ぶ暮らしの夢展**

貸出先：高崎市美術館

貸出期間：2019/2/2～2020/3/31

東北歴史博物館

2019/7/13～9/1

パナソニック汐留ミュージアム

2020/1/11～3/22

イサム・ノグチ《Untitled(無題)》

**(4) 保存と修復**

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	規格
1.	青木陵子	ワイルドフラワーのたね	2010	インク、色鉛筆・紙 他	37.4×26.3cm 他 30点
2.	橋爪 彩	Les amies	2016	油彩・パネルにエマルジョン地	100×130cm

**(5) 図書**

書籍					
区分	図書	雑誌	逐次 刊行物	図録	計
購入	45	51	0	5	101
寄贈	114	60	148	544	866
計	159	111	148	549	967

(1) 鑑賞・ワークショップ

- ◆子ども鑑賞プログラム特別鑑賞会「にほんがのせかい」  
 ※特別展「京都市美術館名品展 京の美人画100年の系譜」関連  
 日時：5月19日(土) 9:00～9:30  
 講師：橋美貴(当館学芸員)  
 受講料：無料(要観覧券)  
 対象：4～10歳  
 場所：2階展示室  
 参加者数：3人



子どものアトリエ

場所：記載のないものは3階講座室

- ◆瀬戸の砂で海を描こう  
 坂出～高松沖で採取し着色した砂を、30cm角の板にボンドで貼り、海中の様子を描いた。  
 日時：7月21日(土) ①10:00～12:00、②13:30～15:30  
 講師：y工房さとうゆうじ(彫刻家)・ゆき(布作家)  
 受講料：500円(材料費：500円)  
 対象：小学生～中学生  
 参加者数：延べ37人
- ◆おみく神社を作ろう  
 それぞれが考えた「おみくじ」を半紙に毛筆で書いた後、段ボール箱でおみくじを入れる箱を作った。  
 ※特別展「高松コンテンポラリーアート・アニュアルvol.07」関連  
 日時：7月22日(日) ①10:00～12:00、②13:30～15:30  
 講師：千葉尚実(美術家)  
 受講料：500円  
 対象：小学生～中学生  
 参加者数：延べ28人
- ◆飾れる☆ひもひもコラージュをつくろう！  
 A6サイズの板にピンを刺し、糸やリボンを絡めて、カラフルなコラージュ作品を制作した。  
 日時：1月20日(日) 10:00～12:00  
 講師：太田絵美子(彫刻家・芸術士)  
 受講料：500円(材料費：100円)  
 対象：不問  
 参加者数：8人
- ◆クレヨン☆スクラッチで描こう  
 20×22cmの画面にクレヨン塗り重ね、プラスチック製のフォークで引っ掻いてスクラッチ技法を体験した。最後に、画面中央にライオンの顔を置き、スクラッチ部分をたてがみに見立てた。  
 日時：3月3日(日) 10:00～11:30  
 講師：うにのれおな(イラストレーター)  
 受講料：500円  
 対象：5歳～小学生  
 参加者数：12人



アートであそぼう

鑑賞教育の充実を図るための鑑賞プログラム。ゲームや遊びを取り入れながら、当館学芸員とともに美術作品を鑑賞した。

日時：毎回9:30～11:00  
 対象：小学1～6年生  
 場所：中2階子ども+(プラス)

イベント名	開催月日	参加者数
京の美人画100年の系譜	4月28日(土)	6
第1期常設展	6月2日(土)	2
音丸耕堂展—華麗なる彫漆	10月6日(土)	2
		計13人



## こども+ (プラス)

子どもをはじめ、来館者が気軽にアートを楽しむことのできる空間として、リニューアルにより新設された「こども+ (こどもアートスペース)」において、アートプログラムを開催。

## ◆イベント

「ふらっとアート」

日時：毎週木・土曜日 12:00～16:00

企画：川染奈緒(当館学芸員)

	開催期間	参加者数
1. 「ひも通しであそぼう!」/ 「折染め体験をしよう」	4月～6月	134
2. 「くじびき! つくるんアート」	7月～8月	145
3. 「おばけに大変身! ハロウィンのお面をつくろう!」/ 「ビー玉ころころアート!」	9月～10月	126
4. 「ビリビリ! 段ボールアート!」/ 「べたべた! ねんどであそぼう!」	11月～1月	161
5. 「つるし飾りをつくろう!」	2月～3月	123
		計689人



1



2



3



4

## (2) 学校との連携

## ◆藤 浩志《1億5000万年前から受け継がれる》展示ワークショップ

藤 浩志とともに、プラスチック製のおもちゃを接着、並べるなどし、作品を完成させた。

※特別展「高松コンテンポラリーアート・アニュアルvol.07」関連

日時：7月20(金)～23日(月)

参加者：高松工芸高等学校25人、附属高松中学校8人、紫雲中学校5人、

下笠居中学校10人、龍雲中学校22人、教員5人

場所：2階展示室

参加者数：延べ106人



## ◆日比野克彦《J-TRIP 茶室》公開制作アシスタント

※特別展「起点としての80年代」関連

日時：11月9日(金)、10日(土)

参加者：高松工芸高等学校1人

場所：1階エントランスホール

## ◆中学生職場体験学習

期間：9月～11月

参加者数：延べ40人(高松市龍雲中学校 他11校)

## 美術館学習

サンクリスタル学習参加校のうちで、引き続いて美術館での学習を希望する小学校を受け入れ(サンクリスタル高松ー美術館間の交通費を負担)、展覧会の団体鑑賞や施設見学、アートゲームなどの活動を行った。

(参考：サンクリスタル学習以外の美術館学習 参加校：35校、参加者数：1,166人)

参加校	開催月日	参加者数(引率者含む)
牟礼北小学校	6月26日(火)	58
古高松小学校	8月29日(水)	101
香南小学校	9月21日(金)	70
林小学校	9月26日(水)	144
三溪小学校	10月4日(木)	73
牟礼南小学校	10月12日(金)	37
檀紙小学校	11月22日(木)	94
前田小学校	1月18日(金)	50
植田小学校	2月21日(木)	12
計9校		639人

(1) 講演会

◆記念講演会①「近代京都の美人と「美人画」」  
※特別展「京の美人画100年の系譜」関連(p.5)

◆記念講演会②「美人画で見つける日本画の話」  
※特別展「京の美人画100年の系譜」関連(p.5)

◆アーティスト・トーク  
※特別展「高松コンテンポラリーアート・アニユアルvol.07」関連(p.7)

◆開館30周年記念イベント  
アーティスト×市長×館長トークショー「つながり・つなげる美術館を目指して」  
※特別展「高松コンテンポラリーアート・アニユアルvol.07」関連(p.7)

◆記念講演会1「弟子たちから見た音丸耕堂」  
※特別展「音丸耕堂展—華麗なる彫漆世界」関連(p.9)

◆記念講演会2「音丸耕堂作品の修復報告と文化財修復の重要性について」  
※特別展「音丸耕堂展—華麗なる彫漆世界」関連(p.9)

◆「石川直樹 地球冒険トーク」  
石川氏が、自身が写真家になった経緯や近年の登山体験などを映像や写真を交えながら紹介した。  
日時：11月25日(日) 10:00～11:30  
講師：石川直樹(写真家)  
場所：1階講堂  
受講料：300円  
対象：小学3年生～6年生  
参加者数：15人



◆開館30周年記念イベント  
原田マハトークショー「アートでなければなんでもない 80'sアートの覚醒」  
アート小説というジャンルを切り開いた、ベストセラー作家の原田マハ氏が、自身の体験を軸に80年代美術の魅力について語った。  
日時：11月3日(土・祝) 14:00～15:30  
場所：1階講堂  
参加者数：170人



◆やなぎみわトークショー  
※特別展「やなぎみわ 神話機械」関連(p.13)

まぶさび教室

篠原資明(当館館長)を講師とした館長講座「まぶさび教室」を開講した。

日時：毎回11:00～12:00  
対象：高校生以上  
場所：1階講堂  
受講料：無料

シーズン4「日本美術は動く」	開催月日	参加者数
イヴ・クラインと地中海の空	5月12日(土)	50
調度いいインスタレーション	6月2日(土)	37
縦にも横にも巻けます	7月7日(土)	50
旅のお供に	9月1日(土)	56
世界を駆け巡るカワイイ	10月6日(土)	40
		計233人



シーズン4

シーズン5「着た・見た・考えた」	開催月日	参加者数
アートはヤワコい	11月10日(土)	40
超少女たち	12月1日(土)	40
ゴルティエとマドンナ	1月12日(土)	40
黒の衝撃	2月9日(土)	34
二つのポストモダン	3月2日(土)	34
		計188人



シーズン5

## (2) ワークショップ

場所：記載のないものは3階講座室

### ◆日本画ワークショップ「日本画の装飾性と材料」

ハガキサイズの紙に胡粉で装飾的な模様を描いた。

※特別展「京の美人画100年の系譜」関連

日時：5月20日(日) 9:00～12:00

講師：森山知己(日本画家)

対象：小学4年生以上

受講料：500円(材料費：300円)

参加者数：14人



### ◆青木陵子ワークショップ「観察する日」

青木氏の作品を鑑賞した後、植物や食器等を水彩絵の具を使って描いた。

※常設展「181枚の記憶—高松市美術館特別展の歩み—」関連

日時：8月25日(土) 13:30～15:30

講師：青木陵子(美術家)

対象：未就学児以上

受講料：500円

参加者数：9人



### ◆山城大督ワークショップ

「感受性のワークショップーびじゅつを体でたのしもう！」

床に寝転ぶ、氷やゴムボールを触る、親子兄弟で抱きしめあう等を通して様々な感触を味わった。

※特別展「高松コンテンポラリーアート・アニアルvol.07」関連

日時：9月2日(日) 15:00～16:30 ※7/29開催予定だったが、台風のため延期。

講師：山城大督(美術家)

受講料：1組500円

対象：3歳～小学2年生とその保護者

参加者数：30人



### ◆開館30周年記念イベント

ワークショップ「井上涼とぬりえアニメをつくろう！」

アニメーションを制作するワークショップを行った。

日時：9月29日(土) 13:00～16:00

講師：井上涼(アニメーション作家)

場所：1階講堂

参加者数：24人



### ◆TOTOMOMO+work=shop

杉山氏が紙に描いた壺の絵を細かく分割し、会場を訪れた参加者が描いた小さな絵と交換した。

※特別展「起点としての80年代」関連

日時：12月1日(土) 10:00～17:00

講師：杉山知子(美術家)

場所：中2階ロビー

受講料：無料

対象：不問

参加者数：50人



### ◆やなぎみわワークショップ「機械と朗読」

やなぎ氏が用意した脚本(『ハムレット』(ウィリアム・シェイクスピア)と「ハムレットマシン」

(ハイナー・ミュラー)を基に構成)を、展示作品「神話機械」のマシンの動きに合わせて読み上げた。

※特別展「やなぎみわ 神話機械」関連

日時：3月10日(日) 13:30～16:00

講師：やなぎみわ(出品作家)

場所：1階講堂・2階展示室

受講料：500円

対象：中学生以上

参加者数：15人



### ◆ロボット教室

2018年度NHK高専ロボコン全国大会に出場したロボットの実演と高専生が作ったミニロボットの操縦体験を行った。

※特別展「やなぎみわ 神話機械」関連

日時：3月16日(土) 13:00～15:00

協力：香川高等専門学校高松キャンパス機械システム研究部

場所：1階エントランスホール

対象：小学生以下

参加者数：150人



## (2) ワークショップ

### ◆佐竹久美ワークショップ「手縫いで作る革製のコインケース」

2本の針を使って縫う「サドルステッチ」ほか、革細工の基礎を学びながら、コインケースを作った。

日時：3月17日(日) ①9:30～12:00、②13:30～16:00

講師：佐竹久美(革職人)

対象：中学生～大人

参加者数：延べ15人



### ◆パスタ建築ワークショップ

4人1組になり、それぞれが受け持った指示(「高くする」「強くする」等)に従って、パスタをホットボンドで接着し、複数による設計図のない創造過程を体験した。(山口情報芸術センター[YCAM]教育普及開発プログラム)

日時：3月31日(日) ①10:00～12:00、②13:30～15:30

講師：YCAM(山口情報芸術センター)職員

場所：中2階ロビー

対象：小学4年生～大人

参加者数：延べ24人



## (3) パフォーマンス・その他

場所：記載のないものは1階エントランスホール

### ◆ミニコンサート「美人画と和楽器の調べ」

※「京の美人画100年の系譜」関連

日時：4月28日(土) 13:30～14:00

演奏者：松下雄介、篠田哲篠

参加者数：163人



### ◆開館30周年記念イベント

#### 三輪真弘による高松市美術館開館30周年祝賀演奏会「愛の讃歌」

日本の現代音楽界を代表する作曲家・三輪真弘氏が、美術館開館30周年を寿ぐコンサートをプロデュース。ナガレバチ周りの特設舞台で「ガムランアンサンブルのための「愛の讃歌」」が披露されたほか、新曲サヌカイトによる「石器人たちによる、モノリス礼賛/子音廻し」が世界初演された。

日時：7月14日(土) 18:00～19:00

作曲・構成：三輪真弘

フォルマント音声合成：左近田展康

出演：岡野勇仁(MIDIアコーディオン)、マルガサリ(ガムランアンサンブル)、佐久間新+佐久間ウィヤンタリ(ダンス)、平川めぐみ、香川県立高松工芸高校のみなさん

入場料：2,500円

参加者数：117人



### ◆ミニコンサート「Midsummer Daydream～真夏の昼の夢～」

※特別展「高松コンテンポラリーアート・アニヴァーサリーvol.07」関連

日時：8月4日(土) 13:30～14:00

演奏者：香川大学ウィンド・アンサンブル

参加者数：121人



### ◆高松市美術館開館30周年記念イベント

#### 高松丸亀町商店街振興組合連携事業「かえっこフェスティバル」

※特別展「高松コンテンポラリーアート・アニヴァーサリーvol.07」関連(p.35)

### ◆開館30周年記念イベント

#### アニメーション上映「井上 涼 歌う美術館」

テレビ番組『びじゅチューン!』をきっかけに、子どもから大人まで幅広い人気を集めるアニメーション作家・井上 涼氏の作品を上映。「井上涼とぬりえアニメをつくらう!」(p.31)で制作したアニメーションも展示。

日時：9月29日(土)～10月8日(月・祝) 9:30～19:00

場所：2階展示室

参加者数：1,337人



### (3) パフォーマンス・その他

◆ミニコンサート「Un tableau de laque japonais ～一枚の漆絵から～」

※特別展「音丸耕堂展—華麗なる彫漆世界」関連

日時：10月6日(土) 13:30～14:00

演奏者：香川大学学生

参加者数：94人



◆開館30周年記念イベント

コンサート「秋のお楽しみコンサート in 高松」

アニメーション作家の井上 涼氏による歌と映像のコンサートを行った。

日時：10月8日(月・祝) 14:00～15:00

出演：井上 涼(アニメーション作家)

場所：2階展示室

参加者数：357人



◆高松工芸ウィーク共催事業「J-TRIP 茶室」完成記念茶会」

※特別展「起点としての80年代」関連

日時：11月11日(日) 10:00、11:00、12:00、13:00、14:00

亭主：中条晴之(中条文化振興財団)

参加費：700円

参加者数：延べ40人



◆ミニコンサート「80年代ヒット曲」

※特別展「起点としての80年代」関連

日時：12月8日(土) 13:30～14:00

演奏者：藤田哲志(フルート)、藤田亜子(サクソ)、大山まゆみ(ピアノ)

参加者数：94人



◆ライブパフォーマンス"MM"

※特別展「やなぎみわ 神話機械」関連

日時：2月2日(土)・3日(日) 19:00開演

構成・演出：やなぎみわ

出演：高山のえみ

音楽：内橋和久

場所：2階展覧会場

参加者数：216人



撮影：表恒匡

◆ミニコンサート「Five Women Musicians」

※特別展「やなぎみわ 神話機械」関連

日時：2月23日(土) 13:30～14:00

演奏者：西浦弘美(ヴァイオリン)、中村怜子(トランペット)、

高橋愛美(ホルン)、真砂美輪(トロンボーン)、大山まゆみ(ピアノ)

参加者数：121人



#### 美術館の日

平成21年度より美術館の開館記念日(1988年8月7日)に近い8月第1土曜日を「美術館の日」と定め、展覧会の観覧料を無料にしたほか、「ふらっとアート」やミニコンサートなど、市民が気軽に美術館を訪れて楽しめる催しを開催。

8月4日(土)	参加者数
特別展	810
展示室での鑑賞を促す鑑賞カード	72
ふらっとアート	99
メッセージアート	101
	計1,082人



エントランスホール



メッセージアート

(4) 出前講座

開催月日	場所	講師(当館学芸員)	参加者数
6月16日(土)	林コミュニティセンター	早川美穂・川染奈緒	25
6月19日(火)	中田井いきいきサロン	早川美穂・川染奈緒	11
8月21日(火)	老人介護支援センターなでしこ香川	早川美穂・川染奈緒	10
8月22日(水)	屋島放課後児童クラブ	早川美穂・川染奈緒	90
8月31日(金)	おいでまい屋島中	早川美穂・川染奈緒	15
11月14日(水)	高松市社会福祉協議会	早川美穂・川染奈緒	50
12月13日(木)	おいでまい屋島西	早川美穂・川染奈緒	8
1月27日(日)	かがわ総合リハビリテーション福祉センター	早川美穂・川染奈緒	8
			計217人



(5) インターンシップ・ボランティア

- ◆香川県立高松工芸高等学校インターンシップ  
日程：7月4日(水)～7月6日(金)、7月9日(月)  
参加者数：1人
- ◆香川県立三木高等学校インターンシップ  
日程：7月29日(日)、8月4日(土)、8月11日(土)  
参加者数：1人
- ◆高松市インターンシップ  
日程：8月15日(水)～8月19日(日)  
参加者数：4人
- ◆藤 浩志《1億5000万年前から受け継がれる》展示ボランティア (p.29)  
日程：7月20日(金)～23日(月)  
参加者数：一般6人
- ◆「藤 浩志 かえっこフェスティバル」運営ボランティア  
日程：8月4日(土)  
参加者数：40人
- ◆高松短期大学学生ボランティア  
期間：10月～12月  
参加者数：延べ31人

博物館実習

博物館学芸員資格取得希望者を対象に、施設・展覧会・他館の見学、講義(美術館と作品収集、作品及び二次資料の保全管理、教育普及、ボランティア活動)、実習(作品取り扱い、ワークショップ補助)を毎年8月初旬に行っている。

日程：7月31日(火)～8月5日(日)  
参加者数：9人(京都精華大学3人、同志社女子大学1人、京都女子大学1人、長岡造形大学2人、徳島文理大学2人)

ボランティアcivi(シヴィ)

市民の美術活動の支援と展覧会観覧者の利便を図るため、美術作品解説ボランティアを平成11年度に設置した。毎月定例会(原則第1土曜日)を開き活動を続けている。

◆登録者数：17人

◆ギャラリートーク

特別展	開催数	参加者数
京の美人画100年の系譜(p.5)	10	356
高松コンテンポラリーアート・アニュアルvol.07(p.7)	7	107
音丸耕堂一華麗なる彫漆世界(p.9)	9	299
起点押しての80年代(p.11)	8	93
やなぎみわ 神話機械(p.13)	10	175
	計44回	1,030人



◆その他の活動

開催月日	活動内容
10月20日(土)	「高本敦基 作業手伝い」(高松コンテンポラリーアート・アニュアルvol.06)アシスタント
11月26日(月)	「亀井洋一郎ワークショップつぶすかたちレリーフをつくらう！」(高松コンテンポラリーアート・アニュアルvol.06)参加
1月28日(水)	「平川めぐみワークショップ なりたいじぶんになるヘンテコ・ファッションショー！」アシスタント

## (6) 商店街との連携

- ◆開館30周年記念イベント 高松丸亀町商店街振興組合連携事業「かえっこフェスティバル」  
出品作家・藤 浩志氏が発案した「かえっこ」を商店街との連携により、エントランスホール等で開催した。7/15～8/11商店街にてポイント交換券配布、8/11美術館エントランスホールにておもちゃ交換など。※特別展「高松コンテンポラリーアート・アニュアルvol.07」関連

日時：7月15(日)～8月11日(土)

場所：1階エントランスホール、高松丸亀町商店街

参加者数：1,200人



- ◆開館30周年記念イベント 高松丸亀町商店街振興組合連携事業  
「ハロウィンと芸術士と美術館！「ハロウィンの衣装を作ろう！」」  
布やビニールを使って、ハロウィンの仮装衣装を作った。

日時：10月21日(日) 9:30～16:00

講師：平川めぐみ(衣装デザイナー)

受講料：500円(材料費：500円)

対象：未就学児～高校生(小学3年生以下は保護者同伴)

参加者数：13人



- ◆開館30周年記念イベント 高松丸亀町商店街振興組合連携事業  
「ハロウィンと芸術士と美術館！ハロウィン・ダンス&ウォークショー」

高松市が推進する「芸術士」との協働により、商店街で賑わうハロウィン祭りと連動したイベントを開催。ダンサーのカタタチサト(芸術士)とのダンス、仮装してエントランスホールに設置したランウェイを歩いた。

日時：10月28日(土) ①11:00～12:00 ②13:00～14:00

場所：1階講堂

参加者数：延べ24人



- ◆開館30周年記念イベント 高松丸亀町商店街振興組合連携事業「ハロウィンと芸術士と美術館！」

日時：10月28日(土) 10:00～15:00

場所：1階エントランスホール

参加者数：延べ600人

「おばけに大変身！ハロウィンのお面をつくろう！」

団ボールや色紙、毛糸などを使って怖～いおばけのお面を作った。

「なりきり写真を撮ろう！」

平川めぐみが衣装デザイナーが作った衣装が試着できるフォトスポットを設置した。

「魔女を見つけてTrick or Treat!と声をかけると折り紙プレゼント」



### サポートショップ

会期中の特別展チケットの半券、又は有効期間中の定期観覧券(年間パスポート)を提示すると、参加店舗で割引などの特典を受けることができる高松市美術館サポートショップ事業を平成24年度から実施している。また、平成25年度から新たに、各サポートショップに「高松市美術館サポートショップ利用者割引券」を設置し、サポートショップ利用のお客様がその割引券を美術館に持参すると特別展観覧料が割引になる相互割引制度を導入し、平成30年度も継続している。

- ◆参加店舗数 120店舗

- ◆割引利用者 延べ91人

- ◆高松市美術館サポートショップマップ

発行：2018年3月



(マップ表)



(マップ裏)

## (1) 図録

### ◆「収蔵品図録Ⅴ」刊行

平成20年度以降に購入した作品や過去図録に未収録作品等を掲載した。

3月31日(日)

編集：高松市美術館(橘美貴、牧野裕二、尾形絵里子、早川美穂、川染奈緒)

発行：高松市美術館

デザイン：伏見真

印刷：株式会社美巧社

発行：2019年3月



## (2) その他の印刷物

### ◆年間スケジュール

発行：2018年3月



## (3) ホームページ・SNS

高松市美術館ホームページは、当館の活動について利用者に分かりやすく情報を届けている。また、ホームページ以外にも、昨今のインターネットの利用形態の変化に対応するため、Facebook上の高松市創造都市推進局のアカウントにて、展覧会や関連イベントの情報など、高松市美術館とその活動を広く伝えられるよう日々情報発信している。

### ◆ホームページ

URL：<https://www.city.takamatsu.kagawa.jp/museum/takamatsu/>

アクセス件数：179,629件

### ◆Facebook (@creativetakamatsu)

年間投稿件数：50件

フォロワー数：—

**篠原資明**

## ◆執筆

「アートは再利用する」『高松コンテンポラリーアート・アニヴァーサリーvol.07 つながりかえる夏』図録(2018年11月16日)

## ◆その他

館長講座「まぶさび教室」(p.30)

地域創造大賞(総務大臣賞)表彰式出席、グランドアーク半蔵門(東京都)(2019年1月18日)

シンポジウム「80年代の美術は今につながるか」静岡市美術館(2019年2月10日)

**毛利直子**

## ◆執筆

「ノグチ・丹下が香川に投じた一石の波紋——「20世紀の総合芸術家 イサム・ノグチ 彫刻から身体・庭へ」／「山本忠司展」(artspace)(WEB)(2018年7月1日)

「高松コンテンポラリーアート・アニヴァーサリーvol.07 つながりかえる夏——下道基行、山城大督、藤浩志、千葉尚実」(artspace)(WEB)(2018年10月15日)

「つながりかえるとは」『高松コンテンポラリーアート・アニヴァーサリーvol.07 つながりかえる夏』図録(2018年11月16日)

「乗り入れの箱」『やなぎみわ 神話機械』図録(2019年3月15日)

## ◆その他

「手話の街」(仮称)準備のためのワークショップ「ローカルとグローバルを結ぶ：高松市美術館と瀬戸内国際芸術祭」講演(東京都)(2018年8月12日)

高松アーティスト・イン・レジデンス選考委員

詩と絵が出会う詩集絵本「いっしょに」選考委員

高知県立美術館資料収集審査会委員

「企画紹介」美術連絡協議会2018年度総会(2018年10月31日)

**牧野裕二**

## ◆執筆

「中原浩大とは何か—イメージ、持ち物、こども」『起点としての80年代』図録(2018年7月7日)

「つながりかえるレイクイエム」『高松コンテンポラリーアート・アニヴァーサリーvol.07 つながりかえる夏』図録(2018年11月16日)

「高松市美術館」『やなぎみわ 神話機械』報告書(2020年6月5日)

## ◆その他

講演会「童画家・村山知義と童話作家・村山篤子—奇跡のコラボレーション」法恩寺(高松市)(2018年9月21日)

**石田智子**

## ◆執筆

「音丸耕堂の官展出品品について—伝統と革新の間」『音丸耕堂展—華麗なる彫漆世界』(2018年9月15日)

**橘美貴**

## ◆執筆

「菊地契月《少女》」『調査月報No.373』(2018年)

「音丸耕堂展列品解説④⑤⑥」『四国新聞』(2018年9月20日、10月4日、10月18日)

『調査月報No.382』(2019年1月号)

「「視点を変えてみる」——中学生キュレーターたちと展覧会を企画する」(artspace)(WEB)(2019年3月1日)

**尾形絵里子**

## ◆執筆

「時間の層の積み重ね」『高松コンテンポラリーアート・アニヴァーサリーvol.07 つながりかえる夏』図録(2018年11月16日)

## ◆その他

第33回文化財防虫防菌処理実務講習会(2018年10月9日~10月10日)

全国美術館会議 第33回学芸員研修会(2019年3月22日)

**福田千恵**

## ◆執筆

「ザワザワザワ」『高松コンテンポラリーアート・アニヴァーサリーvol.07 つながりかえる夏』図録(2018年11月16日)

「高松市美術館」『やなぎみわ 神話機械』報告書(2020年6月5日)

(1) 主催事業

			特別展					
			京の美人画	アニュアル07	音丸耕堂	80年代	やなぎみわ	計
有料	通常	一般	3,686	1,623	2,009	1,010	1,700	10,028
		大学生	77	163	51	61	188	540
	割引	一般	656	141	177	153	230	1,357
		大学生	7	7	4	4	14	36
	前売	一般	231	57	145	51	135	619
		大学生	19	3	6	1	2	31
	共通定期観覧券		779	175	319	214	293	1,780
小計		5,455	2,169	2,711	1,494	2,562	14,391	
無料	高校生		80	201	84	113	344	822
	中学生		80	509	205	71	172	1,037
	小学生		174	502	367	232	106	1,381
	就学前		40	286	17	38	68	449
	小計		374	1,498	673	454	690	3,689
免除	大学生 他		85	33	22	52	0	192
	引率者		7	15	43	17	27	109
	障がい者介添人		478	192	221	123	178	1,192
	行政視察		0	28	0	0	3	31
	小計		570	268	286	192	208	1,524
招待券等			625	1,046	550	463	662	3,346
観覧者総数			7,024	4,981	4,220	2,603	4,122	22,950
1日当たり入場者数			185	151	132	69	92	123
夜間(火～土曜日の17時～19時)			159	229	93	87	217	785

			常設展					
			第1期	第2期	第3期	第4期	計	
有料	通常	一般	351	758	549	801	2,459	
		大学生	27	78	30	54	189	
	割引	一般	31	82	50	54	217	
		大学生	1	3	0	1	5	
	共通定期観覧券		234	203	173	219	829	
	小計		644	1,124	802	1,129	3,699	
無料	高校生		37	130	128	171	466	
	中学生		69	426	66	109	670	
	小学生		146	408	390	194	1,138	
	就学前		26	135	43	47	251	
	小計		278	1,099	627	521	2,525	
免除	大学生 他		92	4	33	0	129	
	引率者		11	20	42	24	97	
	長寿		391	371	501	608	1,871	
	障がい者介添人		165	134	120	153	572	
	行政視察		0	5	0	10	15	
小計		659	534	696	795	2,684		
招待券等			2,231	2,341	1,938	1,735	8,245	
観覧者総数			3,812	5,098	4,063	4,180	17,153	
1日当たり入場者数			58	68	54	58	60	
夜間(火～土曜日の17時～19時)			132	201	177	143	653	

図書コーナー													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入室者数	362	437	231	309	597	434	399	379	285	160	408	290	4,225
開室日数	22	22	22	22	23	24	22	22	21	20	21	22	263

こども+													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入室者数	55	89	155	226	271	242	75	85	103	159	168	137	1,765
開室日数	25	26	26	26	27	26	26	26	24	24	24	27	307

## (2) 貸館

一般・企画展示室			
展覧会名	会期	日数	入場者数
第10回一榮会書展	2018/6/8～6/10	3	651
第77回創元展香川巡回展	6/12～6/17	6	1,362
独立美術四国会展	7/3～7/8	6	558
第23回硯友展	7/10～7/15	6	1,754
第45回毎日書道学会展	9/7～9/9	3	774
第48回高校書道教員作品展	9/14～9/17	4	449
日本風景写真協会創立15周年記念選抜展	10/10～10/14	5	709
第31回日工会工芸美術四国会展	10/16～10/21	6	814
第45回高松市民美術展	10/25～10/28	4	1,546
創立40周年記念高松工芸高校美術科展	12/21～12/27	6	1,155
第53回日本墨彩画院展	12/21～12/26	4	731
平成30年度高松市教育文化祭	2019/1/11～1/14	4	6,521
第15回香川県小・中学校総合文化祭	1/11～1/14	4	5,984
第35回香川県高等学校総合文化祭展覧会美術工芸展	1/17～1/20	4	697
第35回香川県高等学校総合文化祭展覧会書道展	1/17～1/20	4	533
計15		69	24,238

市民ギャラリー			
展覧会名	会期	日数	入場者数
グループPearl展	2018/4/10～4/15	6	551
第52回旅の思い出展	4/24～4/29	6	496
後藤のりこ40周年記念染織展	5/15～5/20	6	838
第2回友墨会展	5/22～5/27	6	739
第7回グループ尚作品展	6/5～6/10	6	475
「集」展2018	6/21～6/24	4	621
大吉ファミリー展	7/31～8/5	6	777
齊平高松展	8/17～8/19	3	348
第45回文化書道四国連合会書道展	8/25～8/26	2	400
星野文昭絵画展	8/28～9/2	6	515
第45回チャーチル会高松展	9/4～9/9	6	609
Aアートクラブ油絵展	9/11～9/17	7	743
フクロウ絵画展	9/19～9/24	6	709
じーばクラブ水彩画展	9/26～9/30	5	444
ヨーロッパポーセリン展	10/2～10/7	6	1,025
グループひかり絵画展	10/10～10/14	5	531
写真道場なんのき村写真展	10/16～10/21	6	686
新協香川第15回近作展	10/23～10/28	6	1,022
高松高校美術部OB/OG展「一期一絵」	10/30～11/4	6	551
美しい翼'18作品展	11/6～11/11	6	849
第21回双樹展	11/13～11/18	6	442
(絵に書を)井上志幽・義子展	11/22～11/25	4	700
創元会香川支部展	11/27～12/2	6	816
第16回鷹松日本画研究会作品展	12/6～12/9	4	534
第24回サロン・トワール「彩」絵画展	12/11～12/16	6	975
第40回香川県高等学校美術・工芸教員作品展	2019/1/12～1/14	3	747
星野文昭絵画展	1/16～1/20	5	303
高松油彩美学展	1/22～1/27	6	559
高松水彩美学展	1/29～2/3	6	727
第8回英明高等学校美術デザイン系展	2/5～2/11	7	1,022
第36回新構造社香川支部展	2/26～3/3	6	553
絵画同好会アイス作品展	3/5～3/10	6	487
グループ版展	3/12～3/17	6	557
計33		181	21,351

講堂													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用人数	140	200	1	140	152	155	25	130	319	90	150	90	1,592
利用回数	6	3	3	12	6	16	3	6	6	3	3	6	73

講座室													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用人数	878	554	1,109	725	676	1,031	643	613	672	576	680	564	8,721
利用回数	51	51	61	53	35	60	53	54	45	51	61	56	631

瀬戸内国際芸術祭2019県内連携事業

高松市美術館コレクション+ (プラス) ギボウのヒミツ — O JUN、鬼頭健吾、田淵太郎とともに

Setouchi Triennale 2019: Collaborative Project in Kagawa

TAKAMATSU ART MUSEUM Collection + (Plus) The Secrets of Techniques -With O JUN, Kengo Kito, & Taro Tabuchi-

特定のテーマのもと美術館コレクションとゲスト作家による作品を組み合わせで紹介する「高松市美術館コレクション+ (プラス)」。今回は「技法」に注目し、作品制作の際に用いられる多彩な技法を紹介し、日本の現代アートの魅力に迫りました。

ゲスト作家は3人。[絵画]の章では、人物や風景などを余白を大きくとりながら描き、静けさの中にユーモアや不穏さなどが奇妙に同居するO JUN (おーじゅん/1956年東京都生)を紹介。過去から近年までの作品により独自の世界を概観する他、石田尚志による映像作品《REFLECTION》(高松市美術館蔵)が上映される空間で縦3.9、横2.3mの大作が公開制作されました。

[立体]の章では、フラフープや手鏡など日常的な物質を用いて色彩や光が乱舞するめくるめく空間を作り上げる鬼頭健吾 (きとうけんご/1977年愛知県生)を紹介。鬼頭がリスペクトしてやまない「具体」の作家・田中敦子の代表作《電気服》(高松市美術館蔵)と鬼頭の作品が組み合わせられ展示されました。

[陶芸]の章では、シンプルな形状の器物から、割れを大胆に生じさせたオブジェまで、白磁の可能性を追求し続ける田淵太郎 (たぶちたろう/1977年香川県生)を紹介。田淵がセレクトした戦後日本の前衛陶芸と田淵の作品が組み合わせられ展示されました。

The regular event entitled Takamatsu Art Museum Collection+ (Plus) The Secrets of Techniques-With O JUN, Kengo Kito, & Taro Tabuchi-combines our collection with works by guest artists to deal with specific themes. Concentrating on techniques, the present show pursued the appeal of contemporary Japanese art by introducing the diverse methods employed in the production of their works by three artists.

In the painting section, we presented the works of O JUN (born in Tokyo in 1956) whose pictures of human beings and scenes employ expansive blank spaces in an odd combination of humor and calm in quietness. By means of a distinctive world view demonstrated in works from the past to the present, in the space for the film presentation called Reflection (Takamatsu Art Museum Collection), a large work (3.9 meters vertical by 2.3 meters horizontal) was publicly created.

In the section on three-dimensional work, Kengo Kito (born in Aichi Prefecture in 1977) makes use of such everyday articles as hula-hoops and hand mirrors to create spaces, in which color and light flit wildly about. His work was exhibited with one entitled Electric Dress (electric clothes; Takamatsu Art Museum Collection) by a Gutai (non-abstract) artist Atsuko Tanaka, for whom Kito has the highest respect.

In the ceramics section, we displayed works by Taro Tabuchi (born in Kagawa Prefecture in 1977), who pursues the possibilities of white porcelain in works ranging from simple vessels to objets d'art involving bold breakage. Tabuchi himself selected examples of avant-garde postwar Japanese ceramics to display in combination with his own works.

- ◆会期 2019年4月20日(土)～5月26日(日) 33日間
- ◆主催 高松市美術館
- ◆協力 ミヅマアートギャラリー、ケンジタキギャラリー、rin art association
- ◆入場料 一般800円、大学生500円、高校生以下無料
- ◆入場者数 3,441人
- ◆担当学芸員 牧野裕二



(チラシ表)



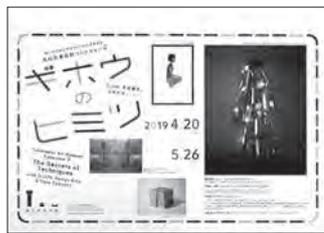
(チラシ裏)



(図録)



(B2ポスター)



(B3ポスター)



アーティスト・トーク



O JUN × 石田尚志対談



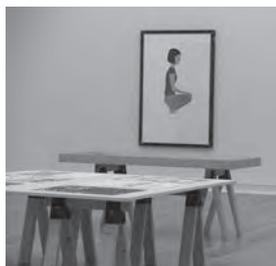
鬼頭健吾公開制作



O JUN 公開制作



学芸員ギャラリートーク



O JUN



鬼頭健吾



田淵太郎

◆開展式

日時：4月20日(土) 10:00～10:15  
場所：2階展示室  
参加者数：56人

◆講演会

アーティスト・トーク  
日時：4月20日(土) 11:00～12:00  
出演：OJUN、田淵太郎、鬼頭健吾(出品作家)  
場所：1階講堂  
参加者数：78人

OJUN × 石田尚志 対談  
日時：4月30日(火・振休) 15:00～16:00  
出演：O JUN(出品作家)、石田尚志(画家・映像作家)  
場所：2階展示室  
参加者数：40人

◆イベント

鬼頭健吾公開制作  
日時：4月20日(土) 14:00～16:00  
場所：1階エントランスホール  
参加者数：53人

O JUN 公開制作  
開催期間：4月27日(土)～30日(火・振休)  
各10:00～16:00(30日は15:00まで)  
場所：2階展示室  
参加者数：特別展入場者を含む

ミニコンサート  
「歌の技法～フランス、ドイツ、日本の歌曲を味わう～」(p.74)

友の会スペシャルイベント  
「田淵太郎ワークショップ・七輪でやきもの！」(p.158)

◆ギャラリートーク

日時：4月21日(土) 14:00～  
講師：牧野裕二(当館学芸員)  
場所：2階展示室  
料金：無料(観覧券要)  
参加者数：14人

日時：会期中の日曜日(4月21日を除く) 14:00～(5回)  
講師：美術館ボランティアcivi(シヴィ)  
料金：無料(観覧券要)  
参加者数：延べ57人

◆主な新聞・雑誌等関連記事

webサイトMIRAI	3月28日
朝日新聞	4月21日「現代アート 技法魅せます」
四国新聞	4月25日、5月2日、 5月9日「現代アートの技法に迫る3作家と 収藏品コラボ」 5月16日、5月23日
日本経済新聞	6月28日「外に発信 付加価値高める」
広報たかまつ	4月15日号
調査月報	4月号No.385、5月号No.386
オフスタイル	5→6月号vol.41
ナイスタウン	5月号No.504

◆図録

『ギボウのヒミツ — O JUN、鬼頭健吾、田淵太郎とともに』  
編集：牧野裕二(高松市美術館)  
デザイン：鈴木モトフミ(dattgraphics)  
撮影：木暮伸也(O JUN・鬼頭健吾制作風景)  
高橋章(田淵太郎制作風景/展示風景)  
発行：高松市美術館  
仕様：25.6×18.2cm、20頁

◆ポスター・チラシ

デザイン：鈴木モトフミ(dattgraphics)

◆作品リスト(p.50)

瀬戸内国際芸術祭2019 [tk14]

## 宮永愛子：漕法

Setouchi Triennale 2019 [tk14] MIYANAGA Aiko: Rowing Style

日本の現代美術の次代を担う宮永愛子による、四国初の大規模個展を開催。

常温で昇華するナフタリンなどを素材に「変わりながらも存在し続ける世界」を表現する現代アーティスト・宮永愛子。近年国際的に大きな注目を集める彼女は、瀬戸内国際芸術祭2019の出品作家としても選出されました。

本展では、瀬戸内海の景色や、そこで暮らす人々の時間をテーマに、代表的な《手紙》や《life》など9つのインスタレーションを展開。また、叩くと音の鳴る香川名石「サヌカイト」を素材とした新作《漕法II》を発表。ある家族が四世代にわたり収集した約13トンのサヌカイトを潮流のように並べ、地球史的な時間と人間の私的な時間が混ざる生命の流れを表現した。

MIYANAGA Aiko's first large-scale solo exhibition at Shikoku; an artist at the forefront of Japanese contemporary art. Using naphthalene; a material that sublimates at room temperature, Miyanaga expresses "the world that continues to exist through constant change". Miyanaga is an artist who receives a lot of international attention, and has been selected to participate in the Setouchi Triennale 2019.

In the exhibition, nine different installations explored such themes as the landscapes of the Seto Inland Sea and the flow of time for those who live there. Included were some of the artist's representative works, including *Tegami (Letter)*, and *life*. A new work was also presented: *Rowing Style II*, which used 13 tons of sanukite, a local stone that resonates with a bell-like tone when struck, that had been collected by a single family over four generations. The stones were arrayed like sea currents to express the flow of life within which mingle geohistorical time and personal human time.

- ◆会期 2019年7月17日(水)～9月1日(日) 42日間
- ◆主催 高松市美術館
- ◆助成 一般財団法人自治総合センター、株式会社資生堂
- ◆協力 株式会社ミツマアートギャラリー、信越化学工業株式会社、日新レジン株式会社、ラーソン・ジュール・ニッポン株式会社、株式会社キョーダイ社、Art & NEPAL
- ◆入場料 一般1,000円、大学生500円、高校生以下無料
- ◆入場者数 10,174人
- ◆担当学芸員 尾形絵里子



(チラシ表)



(チラシ裏)



(図録)



(B2ポスター)



(B3ポスター)



アーティスト・トーク



坂本龍一氏来館



《Strata》



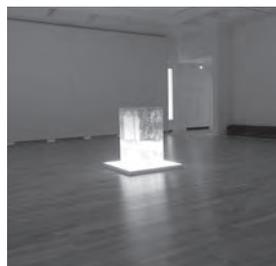
《漕法 I》



《手紙》



《life》



《waiting for awakening -chair-》



《漕法 II》

◆開展式・内覧会

日時：7月16日（火）14:00～17:00  
場所：2階展示室  
参加者数：216人

◆講演会

アーティスト・トーク 宮永愛子×小野正嗣  
日時：7月20日（土）14:00～15:30  
出演：宮永愛子（出品作家）、小野正嗣（作家）  
場所：1階講堂  
参加者数：205人

◆イベント

ナイトミュージアム『『琥珀色のキラキラ』上映』／  
『宮永愛子×中野量太トークショー』（p.74）  
ミニコンサート「SONGS -海と空のこえ-」（p.74）  
友の会美術鑑賞旅行「瀬戸内国際芸術祭2019ツアー  
ヘアサロン壽ー夕暮れの島」（p.159）

◆ギャラリートーク

日時：7月21日（日）14:00～  
講師：尾形絵里子（当館学芸員）  
場所：2階展示室  
料金：無料（観覧券要）  
参加者数：14人

日時：会期中の日曜・祝日7月21日を除く）10:30～（7回）  
講師：美術館ボランティアcivi（シヴィ）  
料金：無料（観覧券要）  
参加者数：延べ183人

◆主な新聞・雑誌等関連記事

JCB THE TREMIUM	6月号
四国新聞	7月11日、 7月17日「『時の流れ』幻想的に」、 7月18日、8月1日、8月22日
朝日新聞	8月13日「壮大な時間 変化し続ける世界」
オフスタイル	7→8月号
広報たかまつ	7月15日号、9月15日号
調査月報	7月号No.388、8月号No.389
西日本放送	8月6日夕方ニュース
ホットベッパ	8月号
月刊美術	8月号
いけばな龍生	8月号
芸術新潮	8月号
美術の窓	8月号
ナスタウン	8月号
香川こまち	8月号

◆主な新聞・雑誌等関連記事

Silicone News	vol.158, vol.159
西日本ラジオ	
生放送・電話中継	
FM倉敷	
生放送・電話中継	
信越化学HP	
FM高松	
ケーブルメディア四国	「美術館からの招待状」8月17日～9月1日
La Vie	
新美術新聞	
ウェブ版「美術手帖」	
「美術手帖」Magazin	
ウォーカープラス	
インターネットミュージアム	
ARTLOGUE	
キナリノ	
Bur@rt(アート情報サイト)	
美術手帖	12月号
美術館びあ	2019-2020号

◆図録

『宮永愛子：漕法』  
著者：宮永愛子  
執筆：小川洋子、篠原資明（高松市美術館）、  
尾形絵里子（高松市美術館）  
装丁・デザイン：名久井直子  
写真：上野則宏、木奥恵三、宮島 径、豊永政史、表 恒匡、  
Leo Bieder  
その他写真提供：宮永愛子  
翻訳：パメラ三木、アントワーン・ペラン、  
クリストファー・スティヴンズ、松浦直美、杉山結子、  
近藤亮太  
編集：古屋 歴（株式会社青幻舎）  
編集協力：棟久雅夫（ミヅマアートギャラリー）、  
尾形絵里子（高松市美術館）  
文献目録：井上奈緒（高松市美術館）  
協力：三瀬末雄（ミヅマアートギャラリー）  
印刷：株式会社サンエムカラー  
発行者：安田英樹  
発行所：株式会社青幻舎  
仕様：27×21.5cm 128頁

◆ポスター・チラシ

デザイン：名久井直子

◆作品リスト(p.51)

瀬戸内国際芸術祭 2019 県内連携事業

## 高松コンテンポラリーアート・アニュアル vol.08 / 社会を解剖する

Setouchi Triennale 2019: Collaborative Project in Kagawa

Takamatsu Contemporary Art Annual vol.08 / Dissect the Society.

年に1度の高松コンテンポラリーアート・アニュアル。9回目となる今回は「社会を解剖する」をテーマに、5名のアーティストが参加しました。

手芸などの技法を用いて、暖かくも儚い作品を生み出す確井ゆい(1980年/東京生まれ)は女性としての目線で日常や過去を捉えなおし、盛 圭太(1981年/北海道生まれ)は糸による大規模なドローイング「バグ・レポート」で社会のバグ(誤り・欠陥)を表しました。照沼敦朗(1983年/千葉生まれ)は世界を見渡すことを望む男の子と現実が見えすぎることを嫌悪する女の子「ミエテルノゾム君」と「ミエナイノゾミちゃん」の目を通して社会を描き出しました。また、加藤 翼(1984年/埼玉生まれ)は大勢の人の協力を得ながら行う「引き興し」などのプロジェクトを通して、人や土地とのつながりを視覚化しました。発泡スチロール製の家を背負いながら各地を歩くことで公と私の関係を考察してきた村上 慧(1988年/東京生まれ)は今回、本展覧会の看板を住居にして、現代社会に溢れる広告と私生活の関係に着目しました。

各アーティストはそれぞれのアプローチで社会に切り込み「解剖する」ことで、その仕組みや実態を明らかにしました。彼らの作品は、社会における私たち自身の立ち位置について再考をうながしました。

The "Takamatsu Contemporary Art Annual" is an annual group exhibition of contemporary art. This was the 9th time for be held since it started in 2009 as vol.00. The theme this time is "Dissect the Society". Here, we present five artists who create their art by taking a hard look at society and sometimes immersing themselves in what they see.

Yui Usui (born 1980 in Tokyo), who creates warm and ephemeral works using techniques such as handicrafts, redefined daily life and the past from the perspective of a woman. Keita Mori (born 1981 in Hokkaido) depicted society's bugs (errors /defects) in "Bug Report", a large-scale drawing made of yarn. Atsuro Terunuma (born 1983 in Chiba,) portrayed society through the eyes of a boy who wants to look around the world "Mieteru Nozomu-kun", and a girl "Mienai Nozomi-chan" who hates being able to see too much reality. Also, Tsubasa Kato (born 1984 in Saitama) visualized the connection between people and land through projects such as "Hikiokoshi" that are carried out with the cooperation of many people. Satoshi Murakami (born 1988 in Tokyo) who has been considering the relationship between the public and the self by walking around the country carrying a polystyrene foam house, created a residential stay using the signboard of this exhibition as his house.

Each artist cut into society with their own approach, and "dissected" it to reveal the structure and actual situation in society. Their works showed sides of society that we may usually overlook and encourage us to reconsider our own stance.

- ◆会期 2019年9月28日(土)～11月4日(月・祝) 33日間
- ◆主催 高松市美術館
- ◆助成 公益財団法人朝日新聞文化財団
- ◆協力 無人島プロダクション
- ◆入場料 一般800円、大学生500円、高校生以下無料
- ◆入場者数 3,251人
- ◆担当学芸員 橘 美貴



(チラシ表)



(チラシ裏)



(図録)



(B2ポスター)



(B3ポスター)



開展式



アーティスト・トーク



公開滞在制作



公開制作



学芸員ギャラリートーク



碓井ゆい



照沼敦朗



加藤翼

◆開展式

日時：9月28日(土) 10:00～10:15  
 場所：2階展示室  
 参加者数：66人

◆講演会

アーティスト・トーク  
 日時：9月28日(土) 14:00～15:30  
 出演：出品作家  
 場所：1階講堂  
 参加者数：55人

◆イベント

公開滞在制作「高松コンテンポラリーアート・アニュアルvol.08  
 の看板に一週間住む」  
 会期：9月20日(金)～9月26日(木)  
 制作：村上 慧(出品作家)  
 場所：1階玄関前

盛 圭太公開制作  
 会期：9月28日(土)・29日(日)  
 制作：盛 圭太(出品作家)  
 場所：2階展示室  
 参加者数：特別展入場者数に含む

ミニコンサート「現代の争『紡ぐ』一筆・17絃・25絃の響き」(p.74)  
 友の会スペシャルイベント  
 「クロージングトーク～社会を解剖して～」(p.158)

◆ギャラリートーク

日時：9月29日(日) 14:00～  
 講師：橘 美貴(当館学芸員)  
 場所：2階展示室  
 料金：無料(観覧券要)  
 参加者数：15人

日時：会期中の日曜日・祝日(9月29日を除く) 10:30～(8回)  
 講師：美術館ボランティアcivi(シヴィ)  
 料金：無料(観覧券要)  
 参加者数：延べ108人

◆主な新聞・雑誌等関連記事

オフスタイル	9→10月号vol.43
広報たかまつ	9月15日号
美術手帖	9月号
朝日新聞	9月21日「看板の中 住んでみた」
四国新聞	9月26日、 10月1日「アートで社会を「解剖」、 10月3日、10月10日、10月24日、 10月31日
地域創造レター	10月号No.294
美術の窓	10月号No.433
香川こまち	10月号
ナイスタウン	11月号
月刊ギャラリー	
ホットベッパ	
ウォーカープラス	
関西ウォーカー	
ケーブルメディア四国	「美術館からの招待状」
アートスケープ	10月15日

◆図録

『高松コンテンポラリーアート・アニュアル vol.08 /  
 社会を解剖する』  
 編集：橘 美貴、牧野裕二(高松市美術館学芸員)  
 デザイン：矢野恵司  
 撮影：木奥恵三、矢野恵司  
 印刷：藤田印刷株式会社  
 発行：高松市美術館  
 仕様：16.7×24.2cm、63頁

◆ポスター・チラシ

デザイン：矢野恵司

◆作品リスト(p.51)

## 安野光雅 空想と風景 絵本原画の魅力

Mitsumasa Anno: Visions and Landscapes —The Appeal of Picture-book Originals

画家、絵本作家、装丁家、デザインなど、半世紀以上にわたり多彩な活動を続ける安野光雅(1926-2020年/島根県津和野町生まれ)の作品は、その時々により画風を変え、私たちを驚かせます。また、科学、数学、文学などに造詣が深いことでも知られ、作品には豊かな知識と想像力から生まれた、たくさんの不思議が散りばめられています。その業績は国内外で評価され、国際アンデルセン賞(1984年)、菊池寛賞(2008年)ほか、さまざまな賞が贈られています。

本展では、「空想」と「風景」をテーマに、約130点の原画を展示紹介しました。絵本デビュー作である『ふしぎなえ』から、クスリと笑いを誘うような機知に富んだ『空想工房の絵本』、細部まで緻密に描かれたヨーロッパの風景、さらに、安野が青年期に陸軍船舶兵として赴任した王越村(香川県坂出市)を含む日本の風景まで、安野光雅が創り出す空想と風景、その多様な世界をお楽しみいただきました。

We are now holding "Mitsumasa Anno: Visions and Landscapes-The Appeal of Picture-book Originals," introducing the works of Mitsumasa Anno, an internationally renowned painter and picture book illustrator.

Mitsumasa Anno( born in Tsuwano, Shimane Prefecture, 1926-2020) had created a wide variety of works for over half century as an painter and picture book illustrator, bookbinder, designer, etc. He changed his painting style from time to time, and was also known for his deep knowledge of science, mathematics, and literature, his works are filled with wonders born of his rich knowledge and imagination. Those works has been recognized domestically and internationally, and Anno received various awards such as the Hans Christian Andersen Medal and the Kikuchi Kan Prize, etc. This exhibition featured approximately 130 works with the themes of "fantasy" and "landscapes."

The original, charming picture book illustrations are on display such as those from Anno's debut picture book, "Mysterious Pictures (Fushigi na E)," one of his most famous works, "Anno's Journey (Tabi no Ehon)," etc. The exhibition also introduced numerous landscapes that Anno painted when he was sent there as a soldier in the Japanese army. We enjoyed the diverse world of "fantasy" and "landscapes" that Anno created.

- ◆会期 2019年11月12日(火)～12月22日(日) 36日間
- ◆主催 高松市美術館
- ◆共催 四国新聞社
- ◆特別協力 津和野町立安野光雅美術館
- ◆企画協力 アートキッチン
- ◆入場料 一般1,000円、大学生500円、高校生以下無料
- ◆入場者数 7,429人
- ◆担当学芸員 福田千恵



(チラシ表)



(チラシ裏)



(100円割引チラシ)



(B3ポスター)



開展式



講演会



おはなし会



学芸員ギャラリートーク



こども向け「いっしょに見てみよう」



◆開展式

日時：11月12日(火) 10:00～10:15  
 場所：1階エントランスホール  
 参加者数：101人

◆講演会

講演会「安野光雅さんは、空想と好奇心の先生だった」  
 日時：12月8日(日) 14:00～15:30  
 出演：辻川幸一郎(映像作家)  
 聞き手：林綾野(キュレーター)  
 場所：1階講堂  
 参加者数：123人

◆イベント

ふらっとアート「ちぎり紙プールであそぼう」、  
 「ちぎり紙でじゃばら絵本をつくろう」(p.70)  
 学校との連携事業「おおきなもの だいさくせん！」(p.71)  
 ワークショップ「風景を描いてみよう！」(p.73)  
 ワークショップ「ものがたり絵本をつくろう」(p.73)  
 ミニコンサート「音でたどる、風景」(p.74)  
 「段ボールのお城めいろで遊べるよ！」(p.75)  
 高松本とおはなしの部屋さんによるおはなし会(p.75)

安野光雅さんの本の展示

内容：市内他施設と連携し、関連図書を展示した。  
 会期：①10月27日～11月29日、②12月3日～12月28日  
 場所：①高松市夢みらい図書館、②高松市中央図書館

◆ギャラリートーク

日時：11月17日(日) 14:00～  
 講師：福田千恵(当館学芸員)  
 場所：2階展示室  
 料金：無料(観覧券要)  
 参加者数：39人

日時：会期中の日曜日(11月17日、12月8日を除く) 10:30～(5回)  
 講師：美術館ボランティアcivi(シヴィ)  
 料金：無料(観覧券要)  
 参加者数：延べ106人

◆ギャラリートーク

こども向け「いっしょに見てみよう」  
 日時：①11月16日(土)、②12月21日(土) 各14:00～  
 講師：福田千恵(当館学芸員)  
 場所：2階展示室  
 料金：無料(観覧券要)  
 参加者数：延べ73人(①25人、②48人)

◆主な新聞・雑誌等関連記事

香港エクスプレス機内誌	9月～12月
四国新聞	10月17日、11月3日「「安野ワールド」に浸る」 11月7日、 11月8日「不思議と緻密の現在世界」、 11月13日「不思議な絵にくぎ付け」、 11月14日列品解説③「ふしぎなえ」、 11月21日列品解説④「野の花と小人たち ひがんばな」、11月22日「美術鑑賞楽しむ 工夫」、11月28日列品解説⑤「旅の絵本II (改定版)」、12月5日
朝日新聞	12月19日「ふしぎな仕掛け いっぱい」
オフスタイル	11→12月号
広報たかまつ	11月1日号、11月15日号
ビジネス香川	11月7日号
写真工房アンセル	11月号
ワイヤーママ	12月号
リビング新聞	12月6日
月間MOE	12月号
美術館びあ	2019-2020号
高知新聞社	
ナイスタウン	12月号
香川こまち	12月号
キナリノ	
ディリースポーツ四国	
美術手帖	
ケーブルメディア四国	「美術館からの招待状」

◆ポスター・チラシ

デザイン：大池 翼(ツバサグラフィックス)

◆作品リスト(pp.51-52)

## 開校100年 きたれ、バウハウス —造形教育の基礎—

100th Anniversary of the Founding of Bauhaus Come to Bauhaus! -The Basis of Education in Art and Design-

1919年、ドイツの古都ヴァイマールに、建築家ヴァルター・グロピウスにより造形学校「バウハウス」が開校され、平成30年、その誕生から100年目を迎えました。ナチスの弾圧を受け1933年に閉鎖されるまで、わずか14年という短い活動期間でしたが、実験精神に満ちあふれたこの学校は、造形教育に革新をもたらし、今日にいたるまでアートとデザインに大きな影響を及ぼしています。バウハウスでは、ヴァシリー・カンディンスキー、パウル・クレーなど時代を代表する芸術家たちが教師として指導に当たって、優れたデザイナーや建築家が育ち、画期的なデザインが生まれました。とりわけ入学した学生が最初に受ける基礎教育で教師たちが試みた授業はユニークなものでした。

本展覧会では、バウハウスの基礎教育を中心に各教師の授業内容を紹介するとともに、その一端を体験していただきました。さらに、そこから発展した様々な工房(金属、陶器、織物、家具、印刷・広告、舞台など)での成果や資料など約300点を展示。また、実際にバウハウスに入学した日本人留学生・水谷武彦、山脇巖、山脇道子、大野玉枝、4名の活動を一堂に紹介する初めての機会となりました。

The Bauhaus, art and design school was opened by architect Walter Gropius in 1919 in the richly historical German city of Weimar. In 2019, this school celebrated 100th of its opening. Under Nazi oppression, the school was forced to close in 1933, cutting its history short at just 14 years. Nevertheless, this school, with its very experimental spirit, created a transformation in art and design education and has continued to wield in hence worldwide in the fields of art and design. Wassily Kandinsky, Paul Klee, and other eminent artists who helped define their era were Bauhaus teachers who fostered some of the best designers and architects, and Bauhaus artists created innovative designs. Particularly unique at the school were the approaches teachers used in the basic education classes that students first received upon matriculation.

This exhibit looked first at the basic education classes each teacher taught at the Bauhaus, and gave visitors opportunity to experience the part of it. We then introduced 300 items including works and materials from the Bauhaus workshops into which students advanced, including metalworking, ceramics, textiles, furniture, printing / advertising, set design, and more. It was also the first opportunity to introduce the activities of four students from Japan who studied at the Bauhaus; Takehiko Mizutani, Iwao Yamawaki, Michiko Yamawaki, and Tamae Ohno.

- ◆会期 2020年2月8日(土)～3月22日(日) 38日間
- ◆主催 高松市美術館、バウハウス100周年委員会
- ◆後援 ドイツ連邦共和国総領事館、スイス大使館、ハンガリー大使館、一般社団法人日本建築学会
- ◆特別協力 ミサワホーム株式会社、東京国立近代美術館
- ◆協力 桑沢デザイン研究所、大阪芸術大学、株式会社アトリエ ニキティキ、香川大学創造工学部、香川県立高松工芸高校デザイン科
- ◆企画協力 株式会社アートインプレッション、株式会社ミサワホーム総合研究所
- ◆協賛 アウディジャパン株式会社、株式会社インターオフィス
- ◆入場料 一般1,000円、大学生500円、高校生以下無料
- ◆入場者数 6,621人
- ◆担当学芸員 牧野裕二



(チラシ表)



(チラシ裏)



(図録)



(B2ポスター)



(B3ポスター)



開展式



記念講演会①



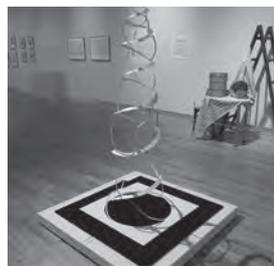
体験コーナー



学芸員ギャラリートーク



フォトスポット用お面



## ◆開展式

日時：2月8日(土) 10:00～10:15  
場所：2階展示室  
参加者数：107人

## ◆講演会

記念講演会1「バウハウスの授業と学生生活」  
日時：2月8日(土) 13:30～15:00  
講師：杉田佳穂氏(ミサワバウハウスコレクション学芸員、  
展覧会監修者)  
場所：1階講堂  
参加者数：112人

記念講演会2  
「高松から始まる戦後モダニズム-建築家・山口文象と  
旧高松市立美術館」(中止)  
日時：3月7日(土) 13:30～15:00  
講師：梅宮弘光氏(神戸大学大学院人間発達環境学研究科教授)  
場所：1階講堂  
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

## ◆イベント

「見る。触れる。体験コーナー」  
場所：2階展示室  
参加者数：入場者数に含む。  
※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、2月29日より閉鎖。

ワークショップ「バウハウスであそぼう！」(p.73)  
再現授業「ヨハネス・イッテンのデッサン」(中止) (p.73)  
ミニコンサート「20世紀音楽とバウハウス」(中止) (p.75)

## ◆ギャラリートーク

日時：2月15日(土) 14:00～  
講師：牧野裕二(当館学芸員)  
場所：2階展示室  
料金：無料(観覧券要)  
参加者数：46人

日時：会期中の日曜日・祝日 14:00～(5回)  
講師：美術館ボランティアcivi(シヴィ)  
料金：無料(観覧券要)  
参加者数：延べ122人

## ◆主な新聞・雑誌等関連記事

広報たかまつ	1月15日号
オフスタイル	1→2月号
四国新聞	1月31日「独造形学校の仮面面白い」、 2月6日、2月7日「仮面に秘めたデザイン」、 2月13日、2月20日、2月27日、 3月5日「バウハウスの軌跡伝える」、 3月6日、3月12日、3月19日
読売新聞	2月9日「バウハウス14年の歴史」
朝日新聞	3月7日「バウハウス授業と作品と」
調査月報	2月号、3月号
香川こまち	2月号
美術展びあ2020	
ケーブルメディア四国	「美術館からの招待状」

## ◆図録

『開校100年 きたれ、バウハウス —造形教育の基礎—』  
監修：深川雅文、杉田佳穂  
執筆：長田謙一、杉田佳穂、宮島久雄、利光 功、貞包博幸、柏木 博、  
富田英夫、木村理恵子、深川雅文、長谷川 新、下村朝香、  
梅宮弘光、常見美紀子、川谷承子、高橋麻帆、橘 美貴、星野立子、  
牧野裕二  
翻訳：原田明和  
編集：深川雅文、杉田佳穂、下村朝香、成相 肇、市川飛砂、  
株式会社アートインプレッション  
デザイン：NOSIGNER  
制作：印象社  
発行：株式会社アートインプレッション  
仕様：22×22cm、264頁

## ◆ポスター・チラシ

デザイン：上田英司(シルシ)

## ◆作品リスト(pp.52-55)

作品リスト

コレクション+ギホウのヒミツ  
— O JUN、鬼頭健吾、  
田淵太郎とともに

所属先：記載のないものは作家蔵

O JUN + コレクション

- c1. 湖畔  
2009年  
高松市美術館
- c2. 津波  
2010年  
高松市美術館
- o1. 題名なし  
2016年
- o2. 山  
2016年
- o3. 川  
2016年
- o4. Night Swimming  
2019年
- o5. 園丁  
2015年
- o6. 貝のふた  
2019年
- o7. 夜叉が池  
2011-2013年  
個人蔵
- o8. モデルの女  
2017年
- o9. 題名なし  
2010年
- o10. 山と沼  
2019年  
個人蔵
- o11. 高松日乗図絵  
2016年
- o12. 川二入ル  
2013年  
個人蔵
- o13. 入江  
2019年
- o14. カーテンと飛行機  
2019年
- o15. 参考資料/道具類
- o16. 参考資料/制作風景  
撮影日：2019年3月6日  
撮影：木暮伸也

- c30. 石田尚志  
REFLECTION  
2009年  
高松市美術館
- c31. 石田尚志  
夏の絵  
2010年  
高松市美術館
- 高松市美術館コレクション
- c3. 奈良美智  
Time of My Life 2001より  
1998-2001年
- c4. 橋爪 彩  
Les amies  
2016年
- c5. 高松次郎  
影 No.294  
1970年
- c6. 加藤 泉  
無題  
2008年
- c7. 小西紀行  
無題  
2013年
- c8. 棚田康司  
木の花は星形の台に立つ  
2014年
- c9. 森村泰昌  
肖像(ゴッホ)  
1985年
- c10. 郭 徳俊  
ブッシュ 2001と郭  
2001年
- c11. 郭 徳俊  
オハマと郭  
2009年  
写真・パネル
- c12. 西村記人  
半透明の彼女等は  
2005年  
田淵太郎+コレクション
- t1. Barbaric White Landscape  
2004年
- t2. Barbaric White C II  
2019年
- t3. Barbaric White C I  
2019年
- t4. Barbaric White R I  
2019年
- t5. Barbaric White R II  
2017年
- t6. Barbaric White P I  
2019年  
高松市美術館
- t7. Barbaric White B  
2019年
- t8. Barbaric White O  
2019年

- t9. Barbaric White V  
2019年
- t10. Barbaric White B II  
2017年  
高松市美術館
- t11. Barbaric White Vase  
2019年
- t12. 参考資料/制作風景  
撮影日：2019.3/22,  
29,30 4/2,13  
撮影：高橋章
- t13. 参考資料/道具類
- c13. 熊倉順吉  
炎  
1982年
- c14. 八木一夫  
黒陶  
1960年
- c15. 八木一夫  
面目  
1978年
- c16. 八木一夫  
メッセージ  
1972年
- c17. 林 康夫  
作品'67-11
- c18. 鈴木 治  
山の上にかかる高い雲  
1982年
- c19. 小川待子  
K-2000  
2000年  
高松市美術館コレクション
- c20. 李 禹煥  
線より #760160  
1976年
- c21. 李 禹煥  
点より  
1976年
- c22. 岡本太郎  
生成  
1961年
- c23. 白髪一雄  
地威星百勝将韓浴  
1961年
- c24. 白髪一雄  
天威星雙鞭呼延灼  
1964年
- c25. 金山 明  
Mar. 5  
1957年
- c26. 堂本尚郎  
連続の溶解 一つの正方形 1/5  
1968年
- c27. 宮脇愛子  
作品  
1962年

- 鬼頭健吾+コレクション
- k1. INTERSTELLAR  
2016年
- k2. untitled (hula-hoop)  
2019年
- k3. carwheel galaxy  
2019年
- k4. carwheel galaxy  
2019年
- k5. 参考資料/道具類
- k6. 参考資料/制作風景  
撮影日：2019年3月6日  
撮影：木暮伸也
- k7. Meteorites against  
Unwearable Lightness  
2019年
- c28. 田中敦子  
電気服  
1956(1986)年  
高松市美術館
- c29. 田中敦子  
作品  
1962年  
高松市美術館

## 宮永愛子：漕法

所属先：記載のないものは作家蔵

1. 留め石  
2015年
2. 海に聞いた話  
2019年
3. Strata  
2018-2019年
4. 漕法 I  
2008-2019年
5. 手紙  
2013-2019年
6. life  
2018-2019年
7. waiting for awakening  
-chair-  
2017年
8. waiting for awakening  
-wall clock-  
2018-2019年  
(一部：高松市美術館)
9. 漕法 II  
2019年  
(一部：高松市美術館)

高松コンテンポラリー  
アート・アニユアルVol.08/  
社会を解剖する

所属先：記載のないものは作家蔵

- 確井ゆい
01. 空(から)の名前  
2013年
02. gastronomy map  
2018年
- 盛 圭太
03. Strings  
2017年  
マルセイユ現代美術センター  
(マルセイユ)蔵
04. 眠たい名前  
2012年  
ギャラリー・カトリヌ・ブットマン蔵  
助成：公益財団法人野村財団
05. Bug report  
2019年
06. Bug report  
2015年  
ギャラリー・カトリヌ・ブットマン蔵
07. Bug report  
2018年  
ギャラリー・カトリヌ・ブットマン蔵
- 照沼敦朗
08. ミエナイノゾミちゃんと  
ユウモクセイ  
2018年  
高松市美術館
09. ミエテルノゾム君とユウモクセイ  
2018年  
高松市美術館
10. 見えるか？ドローイング  
2008-2009年
11. 思いの丈ロケット  
2019年
12. 海上夢開国号  
2019年
13. 煩惱Yパーキング  
2018-2019年
14. ミエナイノゾミちゃん、  
昨日今日明日過去未来  
2019年
15. 終りのない初まりの夢 拡大版  
2018年
16. ミエナイノゾミちゃんと  
ユウモクセイ  
2018年
17. ミエテルカ  
2016年  
高松市美術館
18. ミエテルカ  
2011年
19. 終りのない初まりの夢  
ドローイング  
2011年

20. 終りのない初まりの夢  
2014年21. ミエテルノゾム君  
2011年22. ミエテルノゾム君  
ドローイング  
2011-2019年

加藤 翼

23. Tepee Rocket  
2013年24. Black Snake  
2017年25. Boarding School  
2013年26. Abandon(El Paso)  
2013年27. Abandon(New Orleans)  
2013年28. Abandon(Luna)  
2013年29. Abandon (Monument Valley)  
2013年30. Abandon(Arizona)  
2013年31. Abandon(Grand Canyon)  
2013年32. Abandon(Devils Tower)  
2013年33. Underground Orchestra  
2017年34. Abandon(South Dakota)  
2013年35. Abandon(North Dakota)  
2013年36. Abandon(Detroit)  
2013年37. Abandon(Florida)  
2013年

村上 慧

38. 広告看板の家  
2019年39. 喫煙所  
2019年安野光雅 空想と風景  
絵本原画の魅力

第1章 ふしぎを楽しむ

1-7. さかさま  
(4.5p/6.7p/10.11p/14.15p/  
18.19p/22.23p/24.25p)  
1969年  
福音館書店

8-15. ふしぎなえ  
(とびら/2.3p/6.7p/10.11p/  
14.15p/18.19p/22.23p/  
26.27p)  
1968年  
福音館書店

16-23. ふしぎなさーかす  
(表紙/4.5p/8.9p/10.11p/  
14.15p/18.19p/22.23p/26.27p)  
1971年  
福音館書店

第2章 ひろがる空想

24-37. 空想工房の絵本  
(悪魔/ミョウガ/ソロモンの鍵/  
ABC/組木細工/混線/マッチの種/  
斜塔/落日/コンニャク/  
遠くの地球/十四面体/竿秤/  
月を盗む)  
2014年  
山川出版社

第3章 空想と物語

38-51. おおきなもののすきなおうさま  
(表紙/2.3p/4.5p/6.7p/8.9p/  
10.11p/12.13p/14.15p/16.17p/  
18.19p/20.21p/22.23p/24.25p/  
26.27p)  
1976年  
講談社

第4章 ふしぎな森と花の世界

52-69. 野の花と小人たち  
(れんげ/ほたるぶくろ[野の花] /  
なわしろいちご/ひがんばな/  
のぶどう/からすうり/  
やまのいも/いぬふぐり/  
なすな[野の花] /たんぼぼ/  
しろつめくさ/しろむしよけくさ/  
つりふねそう/ひめしおん/  
りんどう/つるうめもどき/  
えのころくさ/つくし)  
1976年  
岩崎書店

70-75. おたより しぜんのに  
1976-1979年  
鈴木出版

76-83. もりのえほん  
(とび/4.5p/8.9p/12.13p/16.17p/  
20.21p/24.25p/28.29p)  
1977年  
福音館書店

## 作品リスト

### 第5章 空想と風景

#### 84-105. 旅の絵本II (改定版)

(表紙/場面1/場面2/場面3/場面4/  
場面5/場面6/場面7/場面8/場面9/  
場面10/場面11/場面12/場面13/  
場面14/場面15/場面16/場面17/  
場面18/場面19/場面20/場面21)  
2006年  
福音館書店

#### 106-109. イタリアの陽ざし

(ドゥオモ広場/マテラ/  
アルベロベルロ/パレルモ)  
1997年  
朝日新聞出版社

#### 110-113. イギリスの村

(村の小道/ベットワース/ネス湖畔の館/  
国立絵画館に近いピカデリーサーカス)  
1982年  
朝日新聞出版社

#### 114-116. オランダの花

(アンネの家の前から/デルフト市庁舎  
広場/ズンデルトのはずれの農家)  
1988年  
朝日新聞出版社

#### 117-119. ヨーロッパの街から村へ

(南フランスの田舎[アレー フランス] /  
葡萄畑の中の教会[ソールヌ フランス] /  
サクレル寺院[バリ フランス] )  
1999年  
朝日新聞出版社

#### 120-124. 中国地方スケッチの旅 (中国路)

(倉敷市 美観地区 [岡山県倉敷市] /  
宍道湖のシジミ採り [島根県松江市] /  
浜田の海辺 [島根県浜田市] /  
青海島 大日比の港 [山口県長門市] /  
王越村 [香川県坂出市王越町])  
2015年  
安野光雅美術館

#### 125. 津和野

(雲の歌風の曲)  
(津和野の風 蒸気機関車)  
2005年  
岩崎書店

#### 126-130. 津和野

(南谷大橋から/喜時雨の農家/青野  
林道から/女学校あと/機関庫)  
1980年  
岩崎書店

### 開校100年きたれ、バウハウス —造形教育の基礎—

※作家・作品名のみ記載  
※欠番は高松未陳作品  
※番号のないものは参考資料等

#### I 学校としてのバウハウス

1. ヴァルター・グロピウス(文)、  
リオネル・ファイニンガー(挿画)  
バウハウス宣言/ヴァイマル  
国立バウハウスの基本計(文)大聖堂(挿画)
2. ヴァルター・グロピウス  
学校便覧:教師と教育カリキュラム
3. 編集: W.グロピウス、L.モホイ=ナジ  
機関誌『バウハウス』第1巻第1号  
その他13点
4. ヴァルター・グロピウス  
『国際建築』バウハウス叢書1巻  
その他13点
5. ヘルベルト・パイヤー  
学校案内
6. ヘルベルト・パイヤー  
バウハウス・デッサウのレターヘッド
7. 撮影者不詳  
デッサウの予備課程の教室
8. イレーネ・パイヤー  
バウハウスの食事風景
9. T.ルクス・ファイニンガー  
スポーツ
10. T.ルクス・ファイニンガー  
粘土の造形を行うオスカー・シュレンマー
11. 撮影者不詳  
プロイヤーの椅子の上の赤ん坊
12. 撮影者不詳  
製図の授業(ロッテ・ベーゼ)
13. 撮影者不詳  
J.アルバースとG.ハッセンブルーク
14. 撮影者不詳  
カンディンスキーの授業
15. ビウス・パール  
ミス・ファン・デル・ローエと学生たち  
バウハウス、デッサウにて
16. 撮影者不詳  
アルバースの授業(予備課程)  
バウハウス、デッサウにて
17. フリッツ・シュライパー  
学生たち(アトエのバルコニー)  
バウハウス、デッサウにて
18. 撮影者不詳  
学生たち(アトリエのバルコニー)
19. フェリックス・クレ  
ヴァイマルのアトリエでの  
パウル・クレ
20. フランツ・エーアリッヒ  
バウハウスのカーニバルへの招待状

#### II バウハウスの教育

22. フランツ・ジンガー  
男性の裸身 イッテンの授業

23. マルティン・ヤーン  
リズムのスタディ イッテンの授業

「巨匠の絵画分析」より  
(『ユートピア 現実のドキュメント』所収、  
クラウス・リプリント[1980年を複製])

- 25-26. 作者不詳  
バランスの習作 モホイ=ナジの授業

27. ヨハネス・ツァベル  
バランスの習作モホイ=ナジの授業

制作: 専門学校桑沢デザイン  
研究所 触覚板(体験コーナー)

28. エーリッヒ・ムロツェック  
テクスチャーのスタディ アルバースの授業

29. エーリッヒ・ムロツェック  
立方体のスタディ アルバースの授業

30. ヘルベルト・シュルマン  
面のグラデーションによる分割  
アルバースの授業

31. アルトゥール・シュミット  
素材の構造(ガラス、木、鉄、剛毛)  
アルバースの授業

- 32-33. アリー・シャロン  
紙による素材演習 アルバースの授業  
その他1点

- 34-37. 作者不詳  
紙による素材演習 アルバースの授業  
その他3点

- 38-39. マルガレータ(グレーテ)・ライヒャルト  
操り人形 アルバースの授業  
その他1点

組み合わせ文字(体験コーナー)

- 40-42. カール=ヘルマン・ハウプト  
人体のスタディ クレーの授業

43. カール=ヘルマン・ハウプト  
図形のスタディ クレーの授業

44. ヨースト・シュミット(?)  
I-1線(最も原始的な手段)  
クレーの授業のノート  
その他3点

45. ヒルデ・ラインドル  
図形のスタディ クレーの授業

- 46-47. カール・シールツェック  
図形のスタディ(初級平面造形)クレーの授業

50. エーリッヒ・ムロツェック  
色彩演習 カンディンスキーの授業

- 51-52. カール=ヘルマン・ハウプト  
分析的デッサン カンディンスキーの授業

53. ゲルト・バルツァー  
分析的デッサン カンディンスキーの授業

- 54-56. エーリッヒ・ムロツェック  
分析的デッサン カンディンスキーの授業  
その他2点

分析的デッサンの静物(再現)  
椅子、籐製籠、脚立、布、机

57. カール・シールツェック  
裸体素描 シュレンマーの授業・1学期  
その他2点

58. テオ・バルマー  
文字の配置2シュミットの授業
- 60-61. イレーネ・ホフマン  
レタリングシュミットの授業  
その他1点
- 62-65. アルトゥール・シュミット  
レタリングシュミットの授業  
その他3点
- 66-67. カール・シールツェック  
レタリングシュミットの授業  
その他1点
68. アルトゥール・シュミット  
プロポーション・スタディ(横断面)  
シュミットの授業・裸体素描
69. エーリッヒ・ムロツェック(?)  
裸体とモデル人形のデッサン  
シュミットの授業
70. エーリッヒ・ムロツェック  
人体(歩く、走る、座る)シュミットの授業
- ルートヴィヒ・ヒルシュフェルト=マック  
混色独楽
- 制作：大阪芸術大学  
回転混色装置 カラースピナー 3点  
(体験コーナー)
- III 工房教育と成果
72. マルセル・ブロイヤール  
肘掛け椅子
73. マルセル・ブロイヤール  
クラブチェア B3(ヴァシリー)
74. マルセル・ブロイヤール  
クラブ・アームチェア B3(ヴァシリー)
75. マルセル・ブロイヤール  
折りたたみ椅子 B4
76. マルセル・ブロイヤール  
サイドチェア B6
77. マルセル・ブロイヤール  
サイドチェア B5
78. マルセル・ブロイヤール  
肘掛け椅子 B11
79. マルセル・ブロイヤール  
ネスト・テーブル B9-B9c
80. マルセル・ブロイヤール  
サイドチェア B32
81. マルセル・ブロイヤール  
スツール B56
82. マルセル・ブロイヤール  
丸テーブル B28
83. マルセル・ブロイヤール  
サイド・テーブル B18
84. マルセル・ブロイヤール  
ラウンジチェア B25
85. エーリッヒ・コンゼミユラー(撮影)  
スツール B9
86. エーリッヒ・ボルヒェルト  
バウハウスの椅子に座っている女
87. カール・シールツェック  
キッチンキャビネットの改良
88. グスタフ・ハッセンブフルーク  
寝椅子のデザイン
89. クルト・シュミット  
銅管家具カタログ  
トーネット社
- 協力：株式会社インターオフィス  
バルセロナチェア、ワシリーラウンジチェア  
(体験コーナー)
90. クリスツィアン・デル  
コーヒーポット、ミルクピッチャー、  
砂糖入れ
91. クリスツィアン・デル  
ワインのデカンター
92. マリアンネ・ブラント  
灰皿
93. マリアンネ・ブラント  
ティーケトル(保温台付き)
94. ヨゼフ・アルバース  
ティーグラス(マドラー、受け皿付き)
95. ハインリッヒ・ノイ  
小皿
96. ヴィルヘルム・ヴァーゲンフェルト  
グレーヴィー入れ
97. マリアンネ・ブラント  
ティーセット
98. レオ・グレヴェニッヒ  
ティーポット
99. ヴォルフガング・トゥンベル(茶こし)、  
ヴィルヘルム・ヴァーゲンフェルト(受け皿)  
茶こしと受け皿
100. ヨゼフ・クナウ(茶こし)、  
オットー・リットヴェーガー(ホルダー)  
茶こしとホルダー
101. ヴァルター・グロビウス  
ドアノブ
102. ヴィルヘルム・ヴァーゲンフェルト  
テーブルスタンドライト
103. ヒン・ブレーデンディーク/マリアンネ・ブ  
ラント  
カンデム・テールスタンド  
ライト(シェード上部が改変されている)
104. マリアンネ・ブラント/ハンス・ブルツィレ  
ンベル  
ペンダント型照明器具
105. フリードリッヒ・マルビー  
ポットのデザイン
106. ハインリッヒ・ジークフリート・ボルマン  
天井灯の設計スケッチ
107. ハインリッヒ・ジークフリート・ボルマン  
天井灯の設計スケッチ  
バウハウス・デッサウ・建築科
108. ハインリッヒ・ジークフリート・ボルマン  
電気スタンドの脚の設計スケッチ
109. ゲアハルト・マルクス、  
マックス・クレハン  
水差し
110. オットー・リンディッヒ  
蓋付水差し
111. テオドール・ボークラー  
コンビネーション・ティーポット
- 112-113. オットー・リンディッヒ  
ココアポット
114. テオドール・ボークラー  
蓋付き鉢
115. オットー・リンディッヒ  
コーヒーポット L19/4025
116. テオドール・ボークラー  
カップとソーサーと皿 L40/41/42
117. 撮影者不詳  
カップとソーサー L40/41 陶器工房の写真  
(デザイン：テオドール・ボークラー)  
その他7点
118. グンタ・シュテルツル  
壁掛け
- 119-121,123,125.  
グンタ・シュテルツル  
テキスタイルのデザイン  
その他3点
126. レナ・マイヤー=ベルクナー  
テキスタイルのデザイン(絨毯)
129. ルス・コンゼミユラー  
テキスタイルのデザインとサンプル
131. 作者不詳  
テキスタイルのサンプルとデザイン
132. 作者不詳  
テキスタイルのサンプル
133. 作者不詳  
テキスタイルのサンプル(壁張用布)
136. 作者不詳  
テキスタイルのサンプル(椅子張用布)
139. シュテファン・シュヴァルツ  
ポリテックス社「バウハウス・テキスタイル」  
パンフレット
140. 作者不詳  
織物の仕様書(テーブル掛け)
142. ヘルベルト・バイヤー  
展覧会パビリオン案
143. ハンス・ゲオルク・  
クノップラウフ  
色彩演習 シェーパーの授業(?)・4学期
145. ヨースト・シュミット  
ラッシュ社「壁紙カタログ表紙」  
「未来はバウハウス壁紙のもの」
146. ヒルデ・ラインドル  
壁紙のデザイン
- 148-150,152. 作者不詳  
ラッシュ社「バウハウス壁紙」1079  
壁紙見本ドイツ商品学より  
その他2点

作品リスト

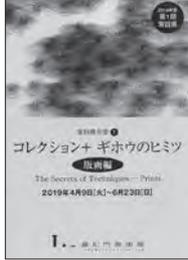
154. ヨースト・シュミット  
ゾマーフェルト邸の木彫装飾  
その他2点
155. ハンス・ハフェンリヒター  
ひざまずく女
156. ハンス・ハフェンリヒター  
女性のトルソ
157. ヨゼフ・ハルトヴィッヒ  
チェス・セット
158. ハイנטツ・レーヴ  
透明なものへの突入…
160. ハイנטツ・レーヴまたは  
ヨースト・シュミット  
ヨースト・シュミットのスタジオにて  
その他2点
161. ヨースト・シュミット  
人物(ランナー)の習作
163. ヨースト・シュミット  
曲線による有機的形態
165. ハイנטツ・レーヴとエドムント・コルライン  
光の彫刻  
その他2点
166. ハイנטツ・レーヴとエドムント・コルライン  
光の彫刻
167. イレーネ・ホフマン  
広告の習作《ジャズ》
169. エーリッヒ・ムロツェック  
広告の習作《DIN》
171. エーリッヒ・ムロツェック  
広告の習作  
《ヴェルト・ヘルツァー》
174. エーリッヒ・ムロツェック  
広告の習作  
《エルベ・コルンハウス》
175. エーリッヒ・ムロツェック  
広告の習作《洗剤》
177. 作者不詳  
広告の習作《カトライナーコーヒー》
179. エーリッヒ・ムロツェック  
広告の習作《マラブ・ポスターカラー》
181. ヨースト・シュミット  
デッサウ市の案内パンフレット
182. ヨースト・シュミット  
デッサウ市の案内パンフレット(裏表紙)
183. アルトゥール・シュミット  
活版印刷の実験《ラッシュ壁紙》
- 印刷試行：和田由里子(Paper Parade)、  
解説：守田篤史(Paper Parade)  
「活版印刷の実験《ラッシュ壁紙》」の分析
185. アルトゥール・シュミット  
活版印刷の実験《15a》
- 印刷試行：和田由里子(Paper Parade)、  
解説：守田篤史(Paper Parade)  
「活版印刷の実験《15a》」の分析
187. アルトゥール・シュミット  
活版印刷の実験《HUGOJUNKERS》
- 印刷試行：和田由里子(Paper Parade)、  
解説：守田篤史(Paper Parade)  
「活版印刷の実験《HUGOJUNKERS》」の分析
- 189-190. 撮影者不詳  
「ガスと水」展：ユンカースのブース  
展示デザイン：ヨースト・シュミット 他  
その他1点
- 191-192. 撮影者不詳  
ドイツ保存食品業界「保健衛生展示会」  
展示デザイン：ヨースト・シュミット  
その他1点
193. ヨハネス・イッテン  
第1葉：チロルの風景  
版画集《ヨハネス・イッテン、  
オリジナルリトグラフ》(10点組)  
その他4点
194. ヴァシリイ・カンディンスキー  
小さい世界 1 版画集《小さい世界》(12点組)  
その他5点
195. リオネル・ファイニンガー  
海辺の別荘  
《新西欧版画集第1集  
パウハウス・マイスター篇・I  
その他13点
197. イレーネ・バイヤー(撮影)  
シュレンマー作「均衡」
198. 撮影者不詳  
シュレンマー作「後知恵」
199. T. ルクス・ファイニンガー(撮影)  
空間の踊り(人体による空間の定義)
200. T. ルクス・ファイニンガー(撮影)  
シュレンマー作「棒の踊り」
201. T. ルクス・ファイニンガー(撮影)  
デッサウ校舎屋上での  
パウハウス舞台パフォーマンス
202. T. ルクス・ファイニンガー(撮影)  
シュレンマー作人像小箱
- アレクサンダー(クサンティ)・シャヴィンスキー  
「サーカス」
204. 撮影者不詳  
シャヴィンスキー作「サーカス」
208. ハイנטツ・レーヴ  
「罪と罰」ドストエフスキー  
舞台装飾の構想スケッチ
209. クルト・シュミット  
「メカニック・バレエ」の舞台デザイン
211. 撮影者不詳  
クルト・シュミット作  
マリオネット劇「小さなせむし男の冒険」
212. 撮影者不詳  
クルト・シュミット作  
マリオネット劇「小さなせむし男の冒険」  
医者と召使
213. 撮影者不詳  
クルト・シュミット作「配電盤の男」
- 制作：バヴァリア・アトリエ  
監督：マルグレーテ・ハステイング、フランツ・シェ  
ンプス、ハンネス・ヴァインクラ  
音楽：エーリッヒ・フェルストル  
芸術監督：ルートヴィヒ・グローテ、クジャンティ・  
シャヴィンスキー、トゥート・シュレンマー  
三つ組のバレエ
214. カール・シールツェック  
エンゲマンの授業・1学期  
幾何学描写1(透視図法)  
その他3点
215. ヨゼフ・ハルトヴィッヒ  
住宅のプラン
217. ヴァルター・グロピウス  
住宅案「大きな積み木箱」模型(1:80)  
住宅案「大きな積み木箱」  
模型(1:80) 積み木
218. ヴァルター・グロピウス  
二戸建住宅  
「マイスターハウス」の模型(1:80)
219. ヴァルター・グロピウス  
パウハウス・デッサウ校舎 模型
220. ヴァルター・グロピウス  
「ジードルンク・テルテン(集合団地)」  
タイプI型住宅 模型(1:80)
221. ヴァルター・グロピウス  
「ジードルンク・テルテン(集合団地)」  
タイプIV型住宅 模型(1:80)
- 制作：富田英夫、真重亜沙美、小坂 崇  
Hannes Meyer 1889-1954  
ハンネス・マイヤーのアンビルト建築のCG再現  
映像
- IV「総合」の位相
222. ペーター・ケラー  
安楽椅子「赤の立方体」
223. ペーター・ケラー  
揺りかご
224. ファルカシュ・モルナール  
住宅案「赤の立方体」模型(1:125)
225. フリッツ・シュライファー  
1923年のパウハウス展」のポスター
226. ヨースト・シュミット  
1923年の「パウハウス展」のポスター
227. ヴァシリイ・カンディンスキー  
「パウハウス展」絵葉書  
その他3点
229. ヘルベルト・バイヤー(表紙デザイン)  
『ヴァイマル国立パウハウス  
1919-1923』1923年パウハウス展  
展覧会カタログパウハウス出版
230. カール・ヤコブ・ユッカー/  
ヴィルヘルム・ヴァーゲンフェルト  
テーブルスタンドMT9/ME1
231. ヴァルター・グロピウス  
肘掛椅子
232. ヴァルター・グロピウス  
ヴァイマル・パウハウスの校長室模型
233. ゲオルク・ムッヘ  
「アム・ホルンの実験住宅」模型(1:50)
234. テオドル・ポークラー  
台所用容器
235. アルマ・ジートホフ=ブッシャー  
子供用玩具戸棚 模型(1:1)
236. アルマ・ジートホフ=ブッシャー  
はしご椅子 模型(1:1)

237. マルセル・ブロイヤー  
木椅子
238. ギュラ・バップ  
フロアランプ
239. ヘルベルト・バイヤー  
緊急紙幣
240. ゲルトルト・アルント  
カーペット
- アルマ・ジートホフ＝ブッシャー  
パウハウス パウスピール
241. ラースロー・モホイ＝ナジ  
無題
244. ラースロー・モホイ＝ナジ  
フォトグラム
249. ラースロー・モホイ＝ナジ  
エレノ
252. ラースロー・モホイ＝ナジ  
光の戯れ 黒-白-灰色
255. ヴァルター・ペーターハンス  
レモン、テュール、羽毛のある静物
260. ヘルベルト・シュルマン  
無題 ペーターハンスの授業
265. 山脇 巖  
カートン紙と鉄
270. 山脇 巖  
ポートレート (パウハウスの学生)
- V パウハウスの日本人学生
- 水谷武彦  
三美術家倶楽部 断面図 卒業制作 (16点組) より  
創美会作品展アルバム
274. 水谷武彦  
趣味講座「新興独逸とパウハウス」  
『アサヒグラフ』昭和5年4月9日号掲載  
その他1点
- 清家 清  
水谷の授業「構成原理」ノート
279. 水谷武彦  
「構成原理 教材 (複製)」
281. 水谷武彦  
立体V
283. 水谷武彦  
(絵画 023)
285. リーフレット  
「グロピウスとパウハウス展」  
(東京国立近代美術館、1954)
286. 水谷武彦  
「20世紀を飾ったパウハウス」  
『新建築』1950年11月号掲載
287. 水谷武彦  
「構成基礎教育(1) 東京美術  
学校校友会『校友会月報』  
第30巻第4号掲載
- 水谷武彦  
水谷武彦による紙工作の再現「紙による構成はど  
れだけの重さを支え得るか」(水谷「パウハウス  
の工作教育」『美学研究』第5号(1931年)掲載)
- 水谷武彦  
水谷武彦による紙工作の再現「穴を持った紙」  
(水谷「パウハウスの工作教育」『美学研究』  
第5号(1931年)掲載)
- 水谷武彦  
水谷武彦による紙工作の再現  
(水谷「パウハウスの工作教育」『美学研究』  
第5号(1931年)掲載)
290. 山脇 巖  
「パウハウスへの打撃」  
『国際建築』1932年12月号掲載
- 藤田 巖 山脇 巖・道子  
工場地に建つ演劇研究所 卒業制作  
工場地に建つ演劇研究所  
断面図 卒業制作 (23点組) より  
アルバム「パウハウスとパウハウスの人々  
1931-33、デッサウ＝ベルリン」(参考映像)
292. 山脇 巖  
園池公功著『ソヴェト演劇の印象』装丁
293. 山脇 巖  
「住居と仕事場」『新建築』  
1935年8月号掲載
295. 山脇 巖  
『樺』アトリエ社
296. 山脇 巖  
舞台スケッチ「沈鐘」第2場  
ゲルハルト・ハウプトマン作
298. 山脇 巖  
舞台スケッチ「ホフマン物語」  
第13場 ジャック・オッフエンバック作
301. 山脇 巖  
鋼管椅子 (峰邸)
302. 山脇 巖  
ドアハンドル (峰邸)
303. 山脇 巖  
煉瓦タイル (峰邸玄関)
304. 山脇 巖  
在独山脇巖氏より  
和田助教授宛 (海外消息)  
東京美術学校校友会『校友会月報』  
第31巻第1号掲載
305. 山脇道子  
テキスタイルのサンプル  
その他2点
306. 山脇道子  
「とろけた東京」  
『アサヒカメラ』第16巻第2号掲載
307. 山脇道子  
山脇道子 パウハウス手織物個展  
案内カード
308. 表紙：山脇道子  
『アサヒカメラ』  
1938年臨時増刊 春の特別号
309. 山脇道子  
みちこ・ておりき 購入案内
310. 山脇道子  
「建築用織物について」  
『工芸ニュース』第17巻第11号掲載
- 山脇道子  
(参考) 機織機と猫
311. 大野玉枝  
帯 (作り帯)
313. 大野玉枝  
帯
315. 大野玉枝  
マフラー
- 年表バナー

## 第1期常設展

- ◆会期 2019年4月9日(火)～6月23日(日) 67日間
- ◆入場料 一般200円、大学生150円、65歳以上・高校生以下無料
- ◆入場者数 3,989人
- ◆担当学芸員 橘美貴、尾形絵里子

- ◆イベント  
筆塚稔尚ワークショップ「ブチ・エッチング体験！」(p.73)  
レトロ印刷JAMワークショップ「SURIMACCAでスクリーン体験」(p.73)
- ◆ギャラリートーク  
日時：5月6日(土) 14:00～  
講師：尾形絵里子  
参加者数：19人



(パンフレット/常設1)



(パンフレット/常設2)

### 【常設展示室1】

#### コレクション+ギホウのヒミツ 版画編 The Secrets of Techniques — Prints

本展覧会ではコレクション7点(4作家)とあわせて、香川県出身の版画家・筆塚稔尚氏に御協力いただき、「木版画」「銅版画」「シルクスクリーン」の技法を作品11点、道具や版とともに紹介。新にコレクションとなった現代美術作品11点(5作家)も併せて展示。

No.	作家名	作品名	制作年	No.	作家名	作品名	制作年
1.	カンディンスキー	小さな世界V	1922	16.	筆塚稔尚	雨のつまさき-3	2017※
2.	カンディンスキー	小さな世界VI	1922	17.	キース・ヘリング	Statue of Liberty	1986
3.	カンディンスキー	小さな世界VII	1922	18.	筆塚稔尚	muragimo	2007※
4.	カンディンスキー	小さな世界VIII	1922	1.	日比野克彦	TYPEWRITER	1982
5.	筆塚稔尚	忘れてきた言葉	2003※	2.	松井智恵	根支持	1986
6.	筆塚稔尚	雲に道を聞く-2	2004※	3.	松井智恵	根水盤	1986
7.	筆塚稔尚	破片の表情-5	2004※	4.	吉澤美香	リ-45	1995
8.	筆塚稔尚	フェルナンドーラの泉/混沌	2004※	5.	吉澤美香	ぬ-9	1996
9.	筆塚稔尚	棘-3	2005※	6.	吉澤美香	ぬ-31	1997
10.	パブロ・ピカソ	貧しき食事	1904	7.	鴻池朋子	揺れる島	2011
11.	ジョルジュ・ブラック	コンポジション(静物I)	1911	8.	鴻池朋子	皮絵 オオカミ	2015
12.	筆塚稔尚	無言-2	2002※	9.	藤浩志	Toys Saurus 1480R17	2017
13.	筆塚稔尚	Willing / そらのみち	2009※	10.	藤浩志	Toys Saurus 6100R09-Last Head	2009
14.	筆塚稔尚	Willing-3	2009※	11.	藤浩志	Anger Dog 980B18	2018
15.	筆塚稔尚	驟り雨	2017※				※作家蔵

### 【常設展示室2】

#### コレクション+ギホウのヒミツ 漆芸編 The Secrets of Techniques — Laquer ware

香川漆芸は玉楮象谷が築いた蒔醬、彫漆、存清の3技法、その後、象谷塗や後藤塗が誕生。本展覧会では高松工芸高校デザイン科によるかわいらしいキャラクター「漆のようせい」たちとともに、香川漆芸の技法と多彩な作品24点(16作家)を展示。

No.	作家名	作品名	制作年	No.	作家名	作品名	制作年
1.	明石朴景	蒔醬 待春 手爐	1960	13.	音丸耕堂	彫漆八仙花 香合	1950頃
2.	磯井如真	蒔醬 干菓子盆	1949	14.	谷澤不二松	草花文 彫漆盆	1933
3.	磯井正美	蒔醬 つばき文箱	1994	15.	谷澤不二松	水葵之圖 彫漆香盆	1938
4.	磯井正美	蒔醬 根都古具佐箱	1996	16.	谷澤不二松	紫陽花之圖 彫漆手筥	1940頃
5.	太田加津子	藍胎蒔醬 盛器 草花文	1983	17.	山下楊哉	彫漆色紙筥	
6.	太田 儻	藍胎蒔醬 茶箱 春風	1998	18.	横山 操	彫漆白い鳥香盆	
7.	太田 儻	藍胎蒔醬 茶箱 春彩	1989	19.	磯井如真	存清六角香盆	1940頃
8.	岡田草人	蒔醬雪柳之圖手筥	1947	20.	玉楮象谷	存清香盒	1842
9.	佐々木正博	乾漆蒔醬 草華文 短冊筥	2000	21.	玉楮象谷	存清網代杯	
10.	山下義人	蒔醬箱 くれない	2005	22.	藤川黒斉	存清角膳 花鳥図	
11.	岡田草人	彫漆花鳥文筥	1965	23.	文綺堂蘭斎(藤川蘭斎)	存清 饌盒	1890頃
12.	音丸耕堂	彫漆椿文手箱	1943	24.	後藤太平	彫抜 棗円式 茶具入	

## 第2期常設展

- ◆会期 2019年6月29日(土)～9月23日(月・祝) 76日間  
 ◆入場料 一般200円、大学生150円、  
 65歳以上・高校生以下無料  
 ◆入場者数 10,045人  
 ◆担当学芸員 橋美貴

- ◆ギャラリートーク  
 日時：9月7日(土) 14:00～  
 講師：橋美貴  
 参加人数：31人



(パンフレット/常設1)



(パンフレット/常設2)

## 【常設展示室1】

## Colors - いろいろないろ Colors — Various Colors

本展では、「色」に着目し、単色の作品、いくつかの色を組み合わせた作品、たくさん色を使った作品などを紹介。

No.	作家名	作品名	制作年	No.	作家名	作品名	制作年
1.	舘嘔	192 gradation rainbow	1985	10.	橋本雅也	モウソウチク	2014
2.	岡田謙三	オレンジから (From Orange)	1975	11.	橋本雅也	タッチアイリス	2016
3.	小野耕石	Hundred Layers of Colors	2016	12.	福岡道雄	北風(2)	1978
4.	斎藤義重	ポーパン	1971	13.	福岡道雄	モジリ	1978
5.	ジャスパー・ジョーンズ	0-9	1969	14.	福岡道雄	河原	1982
6.	高松次郎	紙の単体 #363	1972	15.	村上友晴	無題	1975
7.	鄭相和	Untitled 89-6-2	1989	16.	山田正亮	Work C93	1961-62
8.	堂本尚郎	臨界：水	1986	17.	山田正亮	Work D.297	1978
9.	流麻二果	辻を逃れる	2015	18.	李禹煥	筆より1-8	1973

## 【常設展示室2】

## 現代工芸 - 真子実也を中心に Contemporary Art Crafts — Centerring on Manago Jitsuya

本展では、今年生誕100周年を迎える真子実也の作品を中心に、現代工芸に取り組んだ8作家14作品を紹介。

No.	作家名	作品名	制作年	No.	作家名	作品名	制作年
1.	明石朴景	漆器 蒔罽 菖蒲文 小屏風	1950	8.	酒井敬之助	器	1957
2.	明石朴景	乾漆 火の山 平壺	1960	9.	真子実也	或る日	1961
3.	明石朴景	追憶	1980	10.	真子実也	漆パネル ころも	1962
4.	大島唯史	巨堰		11.	真子実也	スクリーン むつごと	1967
5.	大西忠夫	櫛気	1963	12.	真子実也	想	1972
6.	加島信夫	アマリリス 小屏風	1955	13.	真子実也	乾漆 鳥の精	1974
7.	窪田 恒	未知への憧憬	1978	14.	三村比呂志	律	

### 第3期常設展

- ◆会期 2019年9月28日(土)～12月22日(日) 74日間
- ◆入場料 一般200円、大学生150円、65歳以上・高校生以下無料
- ◆入場者数 6,325人
- ◆担当学芸員 毛利直子

- ◆イベント 「リレートーク」(p.72)
- ◆ギャラリートーク 日時：10月5日(土) 13:30～ 講師：毛利直子 参加者数：29人



(パンフレット/常設1)



(パンフレット/常設2)

#### 【常設展示室1】

#### 美術館今昔ものがたり 瀬戸内国際芸術祭の作家たち

Tales of now and then about Takamatsu Art Museum —The collection from present and past times Gallery1:The artists from Setouchi Triennale

瀬戸内国際芸術祭参加作家から23人の作品を展示し、島とは異なる作品のバリエーションを紹介。

No.	作家名	作品名	制作年	No.	作家名	作品名	制作年
1.	浅井裕介	世界の根っこにある大事な唄	2015	13.	内藤 礼	死者のための枕	2013
2.	宇川直宏	DJ JOHN CAGE&200 OF		14.	名和晃平	PixCell [Shoe#6(L)]	2006
3.	大岩オスカル	THE 1000 WORLDWIDE DJS #1	2014	15.	南条嘉毅	羅城門	2017
4.	大竹伸朗	ジャリおじさんと時間	1993	16.	日比野克彦	TYPEWRITER	1982
5.	大竹伸朗	ジャリおじさんと女たち	1992	17.	藤 浩志	Anger Dog 980 B18	2018
6.	小沢 剛	なすび画廊—昭和40年会	1994	18.	宮島達男	Counter line No.1	1988
7.	金氏徹平	Day Tripper (Sculpture of Photograph of Paint #4)	2010	19.	宮永愛子	ポスト—景色	2010
8.	川島 猛	N.Y.100	1968	20.	森村泰昌	だぶらかし(マルセル)	1988
9.	鴻池朋子	揺れる島	2011	21.	柳 幸典	ワンダリング・ポジション	1997
10.	塩田千春	トラウマ/日常	2007	22.	ヤノベケンジ	ミニ・アトムスーツ	2003-13
11.	杉本博司	U.A. リトルネック、ニューヨーク	1976	23.	依田洋一朗	二本立て	2004
12.	須田悦弘	チューリップ	2002	24.	李 禹煥	点より	1976

#### 【常設展示室2】

#### 美術館今昔ものがたり 黎明期の高松美術館

Tales of now and then about Takamatsu Art Museum —The collection from present and past times Gallery2:In its dawning era of Takamatsu Art Museum

1949(昭和24)年の誕生から2019(令和元)年で開館70周年を迎えるに当たって、栗林公園にあった旧美術館時代を15作家の作品26点で振り返る。

No.	作家名	作品名	制作年	No.	作家名	作品名	制作年
1.	市村 力	はと	1963	14.	明石朴景	蒔醬 水仙華紋篋	1947
2.	猪熊弦一郎	赤い服と猫	1949	15.	明石朴景	蒔醬紅梅紋篋	1948
3.	大森朔衛	陸A	1962	16.	磯井如真	宝玉筆筒	1947
4.	木村忠太	昭和20年8月15日のコンポジション	1945	17.	磯井如真	乾漆蒔醬水指 瀬戸内海之圖	1949
5.	谷本重義	他人の耳	1977	18.	音丸耕堂	堆朱南瓜文色紙箱	1949
6.	藤川栄子	室内	1955	19.	音丸耕堂	彫漆水葵小屏風	1949
7.	国方林三	裸婦	1935	20.	音丸耕堂	彫漆草花文様八段食籠	1957
8.	国方林三	細浜宗次郎氏像	1953	21.	鴨 政雄	トカゲと蝶紋花瓶	1952
9.	新田藤太郎	川野嘉平氏像	1950	22.	鴨 政雄	彫金 蝶とバラ 花瓶	1958
10.	新田藤太郎	北原千鹿氏座像	1953	23.	北原千鹿	鹿文金彩花瓶	1936
11.	新田藤太郎	玉椿象谷座像		24.	北原千鹿	法冠 聖観世音菩薩	1949
12.	藤川勇造	腰かける裸婦	1932	25.	玉椿象谷	印笥	
13.	藤川勇造	海鳥を射る	1932	26.	玉椿象谷	御用篋	

## 第4期常設展

- ◆**会期** 2020年1月5日(日)～3月29日(日) 74日間  
 ※「現代アートにおける「時間」」  
 1月5日(日)～3月11日(水)  
 「第37回日本伝統漆芸展」  
 3月14日(土)～3月29日(日)  
 ※3月12日(木)、3月13日(金)は展示替えの為、休室。
- ◆**入場料** 一般200円、大学生150円、  
 65歳以上・高校生以下無料

- ◆**入場者数** 4,310人(第37回日本伝統漆芸展入場者数を含む)  
 ◆**担当学芸員** 尾形絵里子  
 ◆**ギャラリートーク**  
 日時:1月25日(土)14:00～  
 講師:尾形絵里子  
 参加者数:3人



(パンフレット/常設1)



(パンフレット/常設2)



(伝統漆芸展)

## 【常設展示室1】

## 現代アートにおける「時間」 “Time” in contemporary art

本展では、目に見えない「時間」をテーマに、現代アート作品(8作家12点)を紹介。

No.	作家名	作品名	制作年	No.	作家名	作品名	制作年
1.	荒木高子	砂の聖書	1983	7.	宮島達男	MODEL (36) No.9	1993
2.	鯉江良二	土に還る	1989	8.	宮島達男	Time in Blue No.16	1996
3.	さわひらき	eight minutes	2005	9.	宮島達男	Lifeface vol.1	1991
4.	下道基行	津波石	2015-	10.	宮島達男	空集合	1992
5.	南条嘉毅	信濃川	2012	11.	若林 奮	100粒の雨滴II	1976
6.	宮島達男	Counter Line No.1	1988	12.	山口晃	中西夏之氏公開制作乃圖	2003

## 第37回日本伝統漆芸展

日本伝統漆芸展は、伝統の継承と現代生活への応用を目指し、日本伝統工芸展の漆芸部会展として開催。第37回となる本展は、東京・輪島・高松・広島の4会場を巡回し、受賞作品7作品を含む入選作品全89点を展示した。

- ◆**会期** 2020年3月14日(土)～3月29日(日)  
 ◆**主催** 高松市美術館、公益社団法人日本工芸会  
 ◆**後援** 文化庁・香川県香川教育委員会・朝日新聞社、公益財団法人岡田茂吉美術文化財団、四国新聞社、NHK高松放送局、KSB瀬戸内海放送・OHK岡山放送、RNC西日本放送・RSK山陽放送、TSCテレビせとうち
- ◆**入場者数** 1,243人  
 ◆**列品解説(中止)**  
 日時:3月14日(土)13:00～ 日時:3月22日(土)13:00～  
 講師:大谷早人(監査及び審査委員/理事) 講師:石原雅員(漆芸家)  
 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

## 【常設展示室2】

## 蒔罫 太田 儔氏を偲んで Kinma - In memory of OTA Hitoshi

本展では、2019年11月に惜しまれながら逝去した太田 儔を偲び、当館が所蔵する作品全19点を展示し、作家活動を振り返った。あわせて太田とゆかりのある漆芸家や、彼も属していた伝統工芸の普及と発展に尽力する「日本工芸会」で活躍している漆芸家による作品12点も紹介。

No.	作家名	作品名	制作年	No.	作家名	作品名	制作年
1.	太田 儔	籃胎蒔罫 瀬戸内の棚	1978	17.	太田 儔	籃胎蒔罫八角食籠 虫の図	2000
2.	太田 儔	籃胎蒔罫波の棚	1979	18.	太田 儔	籃胎蒔罫箱 赤い貝殻	2002
3.	太田 儔	木地蒔罫 食籠	1970	19.	太田 儔	籃胎蒔罫 茶箱 春彩	1989
4.	太田 儔	蒔罫 喰籠 竹林の図	1971	20.	磯井如真	蒔罫 筆筥 銀葉アカンヤ之圖	1957
5.	太田 儔	籃胎蒔罫 文箱 竹林	1973	21.	磯井正美	蒔罫存清 萌芽 水指	1976
6.	太田 儔	籃胎蒔罫 色紙箱	1974	22.	磯井正美	蒔罫存清 備讃瀬戸 箱	
7.	太田 儔	籃胎 存清 短冊箱 連翹之圖	1987	23.	太田加津子	蒔罫 硯箱	1969
8.	太田 儔	籃胎蒔罫 茶箱 浅春	2004	24.	太田加津子	籃胎蒔罫 盛器 草花文	1983
9.	太田 儔	籃胎箱 波文	1989	25.	太田加津子	籃胎蒔罫 盛器 波文	1986
10.	太田 儔	籃胎蒔罫 食籠 朱と白	1990	26.	大谷早人	籃胎蒔罫箱 網代文	1997
11.	太田 儔	籃胎蒔罫 双色紙箱 潮騒	1991	27.	大谷早人	籃胎蒔罫 十二角食籠 蝶蜻蛉	2013
12.	太田 儔	籃胎蒔罫 双色紙箱 豊寿喜	1992	28.	佐々木文夫	讃岐塗 蒔罫手箱	1960
13.	太田 儔	籃胎蒔罫 双短冊箱 豊壽喜之圖	1992	29.	高橋静道	彫漆蒔罫 煌葉文短冊箱	1985
14.	太田 儔	籃胎蒔罫 短冊箱 夏ぐみ	1996	30.	中島光夫	堆漆 合せ菱文 短冊箱	1992
15.	太田 儔	籃胎蒔罫 盛器 チェリーポート	1998	31.	山下義人	蒔罫箱 くれない	2005
16.	太田 儔	籃胎蒔罫 茶箱 春風	1998				

(1) 新収蔵作品

収集対象を香川の美術と戦後の美術に大きく分け、香川美術では伝統的な漆工と金工に重点を置いて収集し、戦後の美術としては、油彩画と彫刻を収集することとし、国内作家については、1945年以降の現代美術に的を絞り、外国作家は日本の戦後美術史の流れに多大な影響を与えた20世紀初頭から現代にいたる作品を版画で系統的に収集する。

新収蔵作品点数						
区分	洋画	日本画	彫刻	工芸	書	計
購入	4	—	7	—	—	11
寄贈	—	—	1	42	—	43
計	4	—	8	42	—	54

収蔵作品総点数						
区分	洋画	日本画	彫刻	工芸	書	計
購入	644	24	236	394	12	1,310
寄贈	150	22	32	178	4	386
計	794	46	268	572	16	1,696

令和元(2019)年度新収蔵作品一覧

風間サチコ

《バベル》

2019年  
油性インク・和紙、パネル  
130×181cm  
購入



照沼敦朗

《ミエナイノゾミちゃんとうウモクセイ》

2018年  
アクリル・カンヴァス  
157×700cm  
購入



照沼敦朗

《ミエテルノゾム君とウウモクセイ》

2019年  
アクリル・カンヴァス  
157×700cm  
購入



照沼敦朗

《ミエテルカー》

2016年  
アニメーション  
8分16秒  
購入



大西伸明

《Stepladder》

2018/2020年  
アクリル、樹脂に着色  
174.5×68.5×91cm  
購入



大西伸明

《Plummet》

2018/2020年  
アクリル、樹脂に着色  
11×7×7cm  
購入



大西伸明

《Glass》

2018年  
アクリル樹脂  
10×9×9cm  
購入



田淵太郎

《Barbaric White B II》

2017年  
磁土、穴窯焼成  
30×47.5cm  
購入



田淵太郎

《Barbaric White PI》

2019年  
磁土、穴窯焼成  
8×35.5×55cm  
購入



宮永愛子

《waiting for awakening -wall clock-》

2019年  
ナフタリン、樹脂、  
ミクストメディア  
89×45×23cm  
購入



宮永愛子

《lens -sanukite-》

2019年  
ガラス、サヌカイト  
4×23×16.5cm  
購入



大西伸明

《shoha burokku》

2008年  
樹脂に着色  
190×190×230cm  
寄贈



(1) 新收藏作品

玉椿蔵黒  
《堆黒香盒》  
漆  
2.8×7.2cm  
寄贈



川上石雲  
《讃岐彫 堆黒香盒 忘貝圖》  
1931年  
漆  
3.3×8cm  
寄贈



石井馨堂  
《紅花緑葉 桐鳳凰之圖 香盒》  
1928年  
漆  
5×8cm  
寄贈



石井馨堂  
《堆黒香盒》  
漆  
2.6×7cm  
寄贈



石井馨堂  
《堆朱香盒 葦蟹之図》  
1927年  
漆  
3×6.3cm  
寄贈



石井馨堂  
《堆黒香盒》  
漆  
2.7×4.5cm  
寄贈



石井馨堂  
《讃岐彫》  
漆  
2.5×7.3×7.3cm  
寄贈



石井馨堂  
《堆朱香盆》  
1924年  
漆  
3.5×34×29.5cm  
寄贈



高橋皖山  
《手向山圖 堆黒香合》  
漆  
2.2 × 6.2cm  
寄贈



高橋皖山  
《堆黒香合》  
1918年  
漆  
2.2 × 7.6cm  
寄贈



森象堂  
《堆朱香合 竹之図》  
漆  
2.1 × 6.4cm  
寄贈



森象堂  
《蒟醬 棗》  
漆  
7 × 6.7cm  
寄贈



森象堂  
《狹貫彫 香合 蝶之圖》  
漆  
2.2 × 7.6cm  
寄贈



鎌田稼堂  
《堆朱 唐子香合》  
漆  
2 × 6cm  
寄贈



鎌田稼堂  
《忘貝 香合》  
漆  
2.8 × 8.5cm  
寄贈



鎌田稼堂  
《堆漆 若草香合》  
漆  
2.7 × 7.4cm  
寄贈



(1) 新収蔵作品

鎌田稼堂  
《鶴香盒》  
漆  
2.7×7.3cm  
寄贈



鎌田稼堂  
《堆黄 海老 香合》  
漆  
2.5×7cm  
寄贈



佐々竹僊  
《讃岐彫堆黒 肉池 風月三昆之圖》  
漆  
3.3×8×8cm  
寄贈



音丸耕堂  
《堆黒琳和靖香合》  
漆  
4×7.4cm  
寄贈



音丸耕堂  
《彫漆 茶入 雲鶴》  
漆  
5.2×9.2×9.2cm  
寄贈



山下光雪  
《蟹香合》  
漆  
3.2×8.7cm  
寄贈



山下楊哉  
《堆黒香合 露臺》  
漆  
3×6cm  
寄贈



浅田真水  
《群鶴香合》  
漆  
4.6×6cm  
寄贈



池内荷芳  
《彫漆 虫之畠香盒》  
漆  
2.2 × 7.2cm  
寄贈



池内荷芳  
《堆黒甲虫香盒》  
1932年  
漆  
2.5 × 7.2cm  
寄贈



池内荷芳  
《白檀材 翁面帯止》  
1939年  
白檀  
1.5 × 6.2 × 2.5cm  
寄贈



池内荷芳  
《彫漆 梅之圖平棗》  
漆  
6.6 × 8.5cm  
寄贈



池内荷芳  
《蒔番 金魚文小箱》  
漆  
6.3 × 9.7 × 7.5cm  
寄贈



池内荷芳  
《洋蘭文小筥》  
1959年  
鍍金、木  
4 × 10.5 × 10.3cm  
寄贈



岡部敬象  
《彫漆 茶入》  
漆  
6.3 × 8.5cm  
寄贈



岡部敬象  
《彫漆 蓋置》  
漆  
4.5 × 6.3cm  
寄贈



(1) 新収蔵作品

岡部敬象

《堆漆香合》

漆  
2.5 × 5.5 × 4.5cm  
寄贈



北岡省三

《彫漆渦文香合》

漆  
4.7 × 7.4cm  
寄贈



神崎軒水

《堆朱華甲香盒》

1921年  
漆  
3.5 × 8.6cm  
寄贈



神崎軒水

《堆朱魚籃觀音香合》

1921年  
漆  
3 × 8.4cm  
寄贈



神崎軒水

《堆黒風月三昆虫香盒》

漆  
2.8 × 8.7cm  
寄贈



山本象石

《小宮》

1954年  
漆  
3.4 × 9 × 21cm  
寄贈



逸見東洲

《堆黒蠶螂香合》

漆  
2.3 × 7.4cm  
寄贈



内藤俊一

《裏菊桐》

漆  
7.4 × 4.7cm  
寄贈



内藤俊一  
《堆朱 立田香盒》  
漆  
2.5 × 6.6cm  
寄贈



富山昇斎  
《木彫 棗》  
漆  
5.6 × 9.5cm  
寄贈



## (2) 貸出作品

<b>ニューヨーク・アートシーン —ロスコ、ウォーホルから草間彌生、バスキアまで— 滋賀県立近代美術館コレクションを中心に</b>	貸出先：鳥取県立博物館	貸出期間：2019/4/13～5/19
	和歌山県立近代美術館	2019/6/8～9/1
	徳島県立近代美術館	2019/9/14～11/4
	埼玉県立近代美術館	2019/11/14～2020/1/19

ジャスパー・ジョーンズ《Watchman(見張り)》  
 フランク・ステラ《ダブル グレイ ス克蘭ブル》  
 ジャスパー・ジョーンズ《旗Ⅰ》  
 ジェームズ・ローゼンクイスト《マリリン》  
 マルセル・デュシャン《階段を降りる裸婦 No.2》  
 ジャクソン・ポロック《Jackson Pollock 1951》  
 ジャスパー・ジョーンズ《ハトラス》  
 ジャスパー・ジョーンズ《ナンバーズ》  
 桑山忠明《無題 赤》  
 草間彌生《Airmail Accumulation》  
 依田寿久《Untitled》  
 近藤竜男《Two Arces : N. 86》

<b>やなぎみわ 神話機械</b>	貸出先：アーツ前橋	貸出期間：2019/4/19～6/23
	福島県立美術館	2019/7/6～9/1
	神奈川県民ホールギャラリー	2019/10/20～12/1
	静岡県立美術館	2019/12/10～2020/2/24

やなぎみわ《次の階を探して！》  
 やなぎみわ《MINEKO》  
 やなぎみわ《Untitled IV》

<b>大竹伸朗 ビル景 1978-2019</b>	貸出先：熊本市現代美術館	貸出期間：2019/4/13～6/16
	水戸芸術館現代美術ギャラリー	2019/7/13～10/6

大竹伸朗《車窓》

<b>石井馨堂・音丸耕堂展</b>	貸出先：香川県漆芸研究所	貸出期間：2019/7/27～8/21
-------------------	--------------	---------------------

石井馨堂《讃岐彫 堆朱料紙文庫 菊桐鳳凰之図 下絵》  
 石井馨堂《讃岐彫 堆朱硯箱 菊鳳凰之図 下絵》  
 石井馨堂《讃岐彫 堆朱料紙文庫硯箱 拓本》

<b>未来と芸術展：AI、ロボット、都市、生命 —人は明日どう生きるのか</b>	貸出先：森美術館	貸出期間：2019/11/19～2020/2/27
--	----------	---------------------------

森村泰昌《肖像(ヴァン・ゴッホ)》

<b>岡崎乾二郎 視覚のカイソウ</b>	貸出先：豊田市美術館	貸出期間：2019/11/23～2020/2/24
----------------------	------------	---------------------------

岡崎乾二郎《あかさかみつけ》  
 岡崎乾二郎《うぐいすだに》  
 岡崎乾二郎《そとかんだ》  
 岡崎乾二郎《斧を磨いて針にする》

### (3) 保存と修復

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	規格
1.	草間彌生	untitled	1966	コラージュ・紙	50×45cm
2.	中村一美	モレーン	1987	油彩・カンヴァス	260×360cm

### (4) 図書

書籍					
区分	図書	雑誌	逐次 刊行物	図録	計
購入	88	45	2	17	152
寄贈	29	53	50	190	322
計	117	98	52	207	474

(1) 鑑賞・ワークショップ

子どものアトリエ

場所：記載のないものは3階講座室

◆夏休み！美術館ワークショップ「風景を着る。海・空Tシャツ」  
 空と海を構成する元素記号をステンシルシートを使ってTシャツにプリントした。  
 日時：7月27日(土) ①10:30～12:30、②14:00～16:00  
 講師：高本敦基(美術家)  
 場所：中2階ロビー  
 受講料：500円(プリントしてよいTシャツ、または別途Tシャツ代1,000円)  
 対象：小学生以上  
 参加者数：延べ31人



◆夏休み！美術館ワークショップ「カラフルな遊び場をつくろう」  
 色を塗った割り箸をホットボンドで接着し、2階建ての「あそび場」(ミニチュア)を作った。  
 日時：7月28日(日) ①10:00～12:00、②13:30～15:30  
 講師：y工房さとうゆうじ(彫刻家)、さとうゆき(布作家)  
 受講料：500円(材料費：500円)  
 対象：小学生～中学生  
 参加者数：延べ37人



◆上野あづさ「ここがわたしのぼしょ！～みんなの家づくり～」(中止)  
 日時：3月14日(土) 10:00～12:00  
 講師：上野あづさ(美術家)  
 場所：中2階ロビー  
 受講料：500円  
 対象：3歳～未就学児  
 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

こども+ (プラス)

子どもをはじめ、来館者が気軽にアートを楽しむことのできる空間として、リニューアルにより新設された「こども+ (こどもアートスペース)」において、アートプログラムを開催。

◆イベント  
 「ふらっとアート」  
 日時：毎週木・土曜日 12:00～16:00  
 企画：川染奈緒(当館学芸員)

	開催期間	参加者数
1. 「空までとどけ！のぼり人形をつくろう！」	4月～6月	378
2. 「とびだせ！びっくり人形」	7月～9月	400
3. 「ちぎり紙プールであそぼう」／「ちぎり紙でじゃばら絵本をつくろう」	10月～12月	321
4. 「紙織コースターをつくろう」／「水ねんどで顔をつくろう」	1月～2月	179

計1,278人



1



2



3



4

## (2) 学校との連携

### ◆「鬼頭健吾作品展示アシスタント」

フラフープを連結させるインスタレーションの制作協力。  
 ※特別展「高松市美術館コレクション+ ギボウのヒミツ」関連  
 日時：4月16日(火)・17日(水)  
 参加者：高松工芸高等学校美術科1・2年生  
 場所：2階展示室  
 参加者数：延べ24人



### ◆「おおきなものだいさくせん」

安野光雅の絵本「おおきなものの すきな おうさま」をテーマに作品を制作し、展示した。  
 ※特別展「安野光雅 空想と風景 絵本原画の魅力」関連  
 展示期間：11月12日(火)～12月22日(日)  
 参加者：古高松南小学校(3年生、116人)、古高松小学校(2・4年生、4人)  
 木太小学校(3年生、81人)、白山小学校(1～3年生、132人)  
 香川大学教育学部附属高松小学校(1年生～6年生、30人)  
 場所：2階展示室廊下及び中2階ロビー  
 参加者数：363人



### ◆「フォトスポット用お面制作」

オスカー・シェンマー風のお面の制作協力。  
 ※特別展「開校100年 きたれ、バウハウス—造形教育の基礎—」関連  
 日時：1月30日(木) 他  
 参加者：高松工芸高校デザイン科2年生  
 場所：高松工芸高校(制作)、美術館2階展示室廊下(展示)  
 参加者数：30人



### ◆「関連企画「開館70年 よみがえる旧・高松美術館 模型公開」旧美術館建築模型製作」

山口文象設計による旧高松美術館の模型を3Dプリンターにより製作。  
 ※特別展「開校100年 きたれ、バウハウス—造形教育の基礎—」関連  
 日時：1月～2月7日(金)  
 製作者：大場晴夫教授(香川大学創造工学部)  
 場所：美術館2階展示室廊下(展示)



### ◆中学生職場体験学習

期間：9月～12月  
 参加者数：延べ18人(高松市立国分寺中学校 他6校)

## 美術館学習

サンクリスタル学習参加校のうちで、午後より引き続いて美術館での学習を希望する小学校を受け入れ(サンクリスタル高松—美術館間の交通費を負担)、作品鑑賞や施設見学、アートゲームなどの活動を行った。

(参考：サンクリスタル学習以外の美術館学習 参加校：14校、参加者数：541人)

参加校	開催月日	参加者数(引率者含む)
牟礼北小学校	6月14日(金)	85
屋島小学校	7月2日(火)	91
牟礼小学校	7月11日(木)	54
川東小学校	9月4日(水)	61
屋島西小学校	9月13日(金)	69
三溪小学校	9月20日(金)	71
木太北部小学校	12月4日(水)	73
香南小学校	1月17日(金)	64
植田小学校	2月18日(火)	20
計9校		588人

## (1) 講演会

- ◆アーティスト・トーク  
※特別展「ギホウのヒミツーO JUN、鬼頭健吾、田淵太郎とともに」関連 (p.41)
- ◆O JUN×石田尚志 対談  
※特別展「ギホウのヒミツーO JUN、鬼頭健吾、田淵太郎とともに」関連 (p.41)
- ◆アーティスト・トーク 宮永愛子×小野正詞  
※特別展「宮永愛子：漕法」関連 (p.43)
- ◆アーティスト・トーク  
※特別展「高松コンテンポラリーアート・アニュアルvol.08」関連 (p.45)
- ◆リレー・トーク  
「高松市美術館開館70周年をお祝いして振り返りみる」をテーマに講演。  
※第3期常設展「美術館今昔ものがたり」関連 (p.58)  
日時：11月3日(日) 13:30～15:00  
講師：谷本重義(画家、「洋画講座」元講師、安井賞受賞作家)、  
明石安哲(コラムニスト(四国新聞シニア編集室))、中條亜希子(高松市歴史資料館学芸員)  
参加者数：48人
- ◆講演会「安野光雅さんは、空想と好奇心の先生だった」  
※特別展「安野光雅 空想と風景 絵本原画の魅力」関連 (p.47)
- ◆記念講演会1「バウハウスの授業と学生生活」  
※特別展「開校100年 きたれ、バウハウス—造形教育の基礎—」関連 (p.49)
- ◆記念講演会2「高松から始まる戦後モダニズム—建築家・山口文象と旧高松市立美術館」  
※特別展「開校100年 きたれ、バウハウス—造形教育の基礎—」関連 (p.49)



### まぶさび教室

篠原資明(当館館長)を講師とした館長講座「まぶさび教室」を開講した。

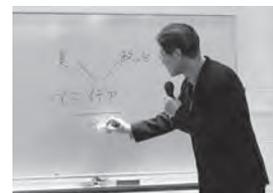
日時：毎回11:00～12:00  
対象：高校生以上  
場所：1階講堂  
受講料：無料

シーズン6「ヤワコい日本のワタシ」	開催月日	参加者数
空海	5月11日(土)	50
慈円	6月1日(土)	49
利休	7月6日(土)	71
蕪村	9月7日(土)	50
森村泰昌	10月5日(土)	41
		計261人



シーズン6

シーズン7「泰西ヤワコい探し」	開催月日	参加者数
グラシアン：イエズス会のマニエリスト	11月2日(土)	35
ルソー：祝祭と民主主義	12月7日(土)	46
ヴァレリー：テスト氏の美と政治	1月11日(土)	39
サティ：絵描きの音楽家	2月1日(土)	58
コクトー：超絶ヤワコい	3月7日(土)	※中止
		計178人



シーズン7

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止

## (2) ワークショップ

場所：記載のないものは3階講座室

### ◆筆塚稔尚ワークショップ「ブチ・エッチング体験！」

自分で作ったデザインを腐蝕の技術をつかって名刺サイズの紙に印刷。常設展示室で作品解説も  
行い、版画技術を広める共にコミュニケーションを図った。

※第1期常設展「ギホウのヒミツ／版画編」関連

日時：5月3日（金・祝）13:30～15:30

講師：筆塚稔尚（版画家・第1期常設展出品作家）

受講料：500円（材料費：1,000円）

対象：中学生以上

参加者数：9人



### ◆レトロ印刷JAMワークショップ「SURIMACCAでシルクスクリーン体験」

簡単にシルクスクリーンを体験できるキット「SURIMACCA」をつかって、自分で作成した原稿を  
もとに、Tシャツや袋にプリントした。

※第1期常設展「ギホウのヒミツ／版画編」関連

日時：①5月4日（土）10:00～11:30、②5月5日（日）13:30～15:00

講師：レトロ印刷JAM

受講料：500円（材料費：1,000円）

対象：小学生以上

参加者数：延べ29人



### ◆「目からウロコ！の鑑賞教室」

対話を介した鑑賞体験をとおして、みる、考える、話す、聴く力について学んだ。

日時：10月14日（月・祝）13:00～16:00

講師：伊達隆洋（京都造形芸術大学准教授）

場所：1階講堂

対象：20歳以上

受講料：500円

参加者数：33人



### ◆「風景を描いてみよう」

公園の中にある、心に留まる風景（光や植物の様子）を丁寧に探し、水彩絵の具を使って描いた。

※特別展「安野光雅 空想と風景 絵画原画の魅力」関連

日時：11月23日（土・祝）10:30～16:00

講師：押江千衣子（画家）

場所：高松市立中央公園

受講料：500円

対象：小学生以上

参加者数：13人



### ◆「ものがたり絵本をつくろう」

円、三角形、四角形の色画用紙を組み合わせて画面を作り、物語を考えた。

※特別展「安野光雅 空想と風景 絵画原画の魅力」関連

日時：①12月1日（日）10:00～12:00、②12月7日（土）13:30～16:00

講師：①早川美穂（当館学芸員）、②福田千恵（当館学芸員）

受講料：無料

対象：①3歳～小学2年生、②対象：小学3年生～大人

参加者数：延べ33人



### ◆「バウハウスであそぼう！」

バウハウスの授業で出された課題をもとに、造形的な遊びを実施。

※特別展「開校100年 きたれ、バウハウス ―造形教育の基礎―」関連

日時：2月22日（土）10:00～12:00

講師：山端篤史（造形作家）

場所：中2階ロビー

受講料：500円

対象：小学生以上

参加者数：17人



### ◆再現授業「ヨハネス・イッテンのデッサン」(中止)

※特別展「開校100年 きたれ、バウハウス ―造形教育の基礎―」関連

日時：2月29日（土）14:00～15:30

講師：岡本康明（元・京都造形芸術大学芸術館館長、教授）

語り・音楽構成：下地由希子（プレアデス主宰）

場所：1階講堂

受講料：無料

対象：小学生以上

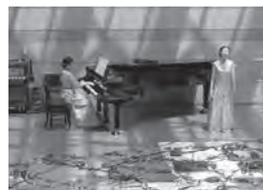
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止

## (2) ワークショップ

- ◆**下道基行ワークショップ「見えない風景」(中止)**  
言葉による地図を作成し、他者が作った言葉の地図を使って、目的地を目指す。  
日時：3月29日(日) 10:30～15:30  
講師：下道基行(美術家)  
場所：高松市美術館及びその周辺  
受講料：500円  
対象：中学生以上  
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止

## (3) パフォーマンス・その他

- ◆**ミニコンサート「歌の技法～フランス、ドイツ、日本の歌曲を味わう～」**  
※特別展「高松市美術館コレクション+ ギボウのヒミツ」関連  
日時：5月25日(土) 13:30～14:00  
演奏者：宮本早苗(ソプラノ)、大山 晃(バリトン)、大山宙透(フルート/ピッコロ)、  
大山まゆみ(ピアノ)  
場所：1階エントランスホール  
参加者数：83人



- ◆**ミニコンサート「SONGS ー海と空のこえー」**  
※特別展「宮永愛子：漕法」関連  
日時：8月3日(土) 13:30～14:00  
演奏者：香川大学ウィンド・アンサンブル  
場所：1階エントランスホール  
参加者数：138人



- ◆**ナイトミュージアム 宮永愛子×中野量太**  
※特別展「宮永愛子：漕法」関連  
参加者数：延べ89人  
「琥珀色のキラキラ」(監督・脚本：中野量太)上映  
2008年文化庁若手映画作家育成プロジェクトに選出、制作され、高い評価を得た短編映画。  
日時：8月24日(土) 18:00～18:30  
場所：美術館1階講堂



トークショー

- ◆**「宮永愛子×中野量太」トークショー**  
出品作家・宮永愛子氏と香川にゆかりのある映画監督・中野量太氏とのスペシャル対談。  
日時：8月24日(土) 19:00～20:00  
場所：美術館2階展示室  
料金：無料(要観覧券)

- ◆**ミニコンサート「現代の箏 『紡ぐ』ー箏・17絃・25絃の響きー」**  
※特別展「高松コンテンポラリーアート・アニユアルvol.08 「社会を解剖する」」関連  
日時：10月12日(土) 13:30～14:00  
演奏者：山本雅史(箏)、西森敬二(尺八)  
場所：1階エントランスホール  
参加者数：89人



- ◆**ミニコンサート「音でたどる、風景」**  
※特別展「安野光雅 空想と風景 絵本原画の魅力」関連  
日時：11月30日(土) 13:30～14:00  
演奏者：豊永久美子(ソプラノ)、西垣和美(ヴァイオリン)、大山まゆみ(ピアノ)  
場所：1階エントランスホール  
参加者数：123人



### (3) パフォーマンス・その他

#### ◆「段ボールのお城めいろで遊べるよ！」

安野光雅の絵本「おおきなもののすきなおうさま」をイメージした、約11m×6mの段ボール製の迷路を設置。

※特別展「安野光雅 空想と風景 絵本原画の魅力」関連

日時：11月12日(火)～1月13日(月・祝)

場所：1階エントランスホール

参加者数：延べ3,554人



#### ◆高松本とおはなしの部屋さんによるおはなし会

絵本の読み聞かせ。

※特別展「安野光雅 空想と風景 絵本原画の魅力」関連

日時：①11月24日(日)、②12月14日(土) 14:00～

語り手：高松本とおはなしの部屋

場所：中2階こども+ (プラス)

参加者数：延べ41人



#### ◆ミニコンサート「20世紀音楽とパウハウス」(中止)

※特別展「開校100年 きたれ、パウハウス ―造形教育の基礎―」関連

日時：3月15日(日) 13:30～14:00

演奏者：波多翼(ピアノ)

場所：1階エントランスホール

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

### 美術館の日

平成21(2009)年度より、美術館の開館記念日(1988年8月7日)に近い8月第1土曜日を「美術館の日」と定め、展覧会の観覧料を無料にしたほか、ゲームを用意した「ふらっとアート」やミニコンサートなど、市民が気軽に美術館を訪れて楽しめる催しを開催。

8月3日(土)	参加者数
特別展	1,048
常設展	926
展示室での鑑賞を促す探検カード参加者	187
ふらっとアート参加者	105
	計2,266人



常設展



探検カード

(4) 出前講座

開催月日	場所	講師(当館学芸員)	参加者数
6月8日(土)	林コミュニティセンター	早川美穂・川染奈緒	25
9月19日(木)	川東コミュニティセンター	早川美穂・川染奈緒	30
10月25日(金)	新番町小学校	早川美穂・川染奈緒	30
11月9日(土)	かがわ総合リハビリテーション福祉センター	早川美穂・川染奈緒	8
11月13日(水)	高松市社会福祉協議会	早川美穂・川染奈緒	48
1月26日(日)	社会福祉法人洋々会 あじの里	早川美穂・川染奈緒	10
			計149人



(5) インターンシップ・ボランティア

◆香川県立高松工芸高校インターンシップ

日程：7月9日(火)～7月12日(金)  
参加者数：6人

◆高松市インターンシップ

期間：8月21日(水)～8月25日(日)  
参加者数：5人

◆徳島文理大学「博物館展示論」

日程：9月18日(水)  
場所：1階講堂  
参加者数：9人

◆高松短期大学学生ボランティア

日程：11月  
参加者数：延べ6人

◆高松市美術館図書整理ボランティア

日程：8月、9月、11月、1月、2月  
参加者数：8人

博物館実習

博物館学芸員資格取得希望者を対象に、施設・展覧会・他館の見学、講義(美術館と作品収集、作品及び二次資料の保安全管理、教育普及、ボランティア活動)、実習(作品取り扱い、ワークショップ補助)を毎年8月初旬に行っている。

日程：7月30日(火)～8月4日(日)

参加者数：6人(愛知県立芸術大学1人、金沢美術工芸大学1人、京都造形芸術大学大学院1人、甲南女子大学1人、同志社女子大学1人、立命館大学1人)

ボランティアcivi(シヴィ)

市民の美術活動の支援と展覧会観覧者の利便を図るため、美術作品解説ボランティアを平成11年度に設置した。毎月定例会(原則第1土曜日)を開き活動を続けている。

◆登録者数：15人

◆ギャラリートーク

特別展	開催数	参加者数
ギボウのヒミツーOJUN、鬼頭健吾、田淵太郎とともに(p.41)	5	57
宮永愛子：漣法(p.43)	7	183
高松コンテンポラリーアート・アニュアルvol.08(p.45)	8	108
安野光雅 空想と風景 絵本原画の魅力(p.47)	5	106
開校100年 きたれ、バウハウス—造形教育の基礎—(p.49)	5	122
		計30回 576人



◆その他の活動

開催月日	活動内容
6月1日(土)	研修旅行(モリムラ@ミュージアム)
7月27日(土)	ワークショップ「風景を着る。海空Tシャツ」(講師：高本敦基)アシスタント
7月28日(日)	ワークショップ「カラフルな遊び場をつくろう」(講師：さとうゆうじ)アシスタント
8月3日(土)	ワークショップ「美術館の日」(高松市美術館、高松市塩江美術館にて)アシスタント
11月9日(土)、10日(日)	特別展「安野光雅展」展示作業アシスタント
11月23日(土・祝)	ワークショップ「風景を描いてみよう」(講師：押江千衣子)アシスタント
12月23日(月・祝)	特別展「安野光雅展」撤収作業アシスタント
2月22日(日)	ワークショップ「バウハウスであそぼう！」(講師：山端篤史)アシスタント
2月22日(日)	ワークショップ「親子でアート」アシスタント
3月14日(日)	ワークショップ「じぶんが入れるお家をつくろう！作ったお家をならべて町もつくるよ！」アシスタント(中止)※
3月14日(日)	研修会「[みる 考える 聴く]報告会」(講師：福田千恵(高松市美術館))(中止)※
3月29日(月)	ワークショップ「カメラを使わない写真的体験」(講師：下道基行)アシスタント(中止)※

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

## (6) 商店街との連携

### サポートショップ

会期中の特別展チケットの半券、又は有効期間中の定期観覧券（年間パスポート）を提示すると、参加店舗で割引などの特典を受けることができる高松市美術館サポートショップ事業を平成24年度から実施している。また、平成25年度から新たに、各サポートショップに「高松市美術館サポートショップ利用者割引券」を設置し、サポートショップ利用のお客様がその割引券を美術館に持参すると特別展観覧料が割引になる相互割引制度を導入し、令和元年度も継続している。

- ◆参加店舗数 125店舗
- ◆割引利用者 延べ145人
- ◆高松市美術館サポートショップマップ  
発行：2019年3月



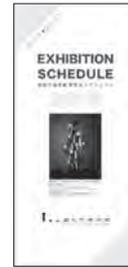
(マップ表)



(マップ裏)

## (1) その他の印刷物

- ◆年間スケジュール  
発行：2019年3月



- ◆しびのーと36号  
発行：2019年4月



## (2) ホームページ・SNS

高松市美術館ホームページは、当館の活動について利用者に分かりやすく情報を伝える媒体である。また、ホームページ以外にも、昨今のインターネットの利用形態の変化に対応するため「ソーシャルネットワークサービス(SNS)」等インターネット上の各種ウェブサービスの利用を行い、展覧会や関連イベントの情報など、高松市美術館とその活動を広く伝えられるように日々情報発信している。

- ◆ホームページ  
URL：<https://www.city.takamatsu.kagawa.jp/museum/takamatsu/>  
アクセス件数：199,697件
- ◆Facebook (@takamatsuartmuseum) 2019年4月1日開設  
年間投稿件数：98件  
フォロワー数：450人
- ◆Instagram (@takamatsu\_art\_museum) 2019年4月1日開設  
年間投稿件数：62件  
フォロワー数：300人

**篠原資明**

## ◆執筆

「アイコの第三球物語」『宮永愛子：漕法』図録(青幻社) 高松市美術館 他(2019年8月20日)  
「アートのくつきあい」方」『高松コンテンポラリーアート・アニヴァーサリーvol.08 / 社会を解剖する』図録 高松市美術館(2019年11月)

## ◆その他

館長講座「まぶさび教室」(p.72)

**毛利直子**

## ◆その他

高松アーティスト・イン・レジデンス選考委員  
詩と絵が出会う詩集絵本「いっしょに」選考委員  
高知県立美術館資料収集審査会委員  
芸術文化振興基金文化団体活動専門委員会委員  
美術連絡協議会2019年度総会(2019年10月31日)  
2019年美連協大賞受賞(「乗り入れの箱」『やなぎみわ 神話機械』図録 株式会社羽鳥書店)(p.37)

**牧野裕二**

## ◆執筆

「高松市美術館の30年」『博物館研究』vol.54No.5 (No.611)(2019年4月25日)  
「盛圭太一糸のほころ美」『高松コンテンポラリーアート・アニヴァーサリーvol.08 / 社会を解剖する』図録 高松市美術館(2019年11月)  
「作家略歴」『開校100年 きたれ、パウハウス 一造形教育の基礎一』図録(株式会社アートインプレッション)高松市美術館 他(2019年)  
「依田家の50年展によせて」『日日はアート ニューヨーク、依田家の50年展』図録 三鷹市美術ギャラリー

## ◆その他

推薦作家作家論(高本敦基)『VOCA展2020』図録 上野の森美術館

**橋 美貴**

## ◆執筆

「瀬戸内の風景—瀬戸内国際芸術祭2019」(artspace)(WEB)(2019年7月1日)  
「アーティストたちの客観性—高松コンテンポラリーアート・アニヴァーサリーvol.08 / 社会を解剖する」(artspace)(WEB)(2019年10月15日)  
「物語を紡ぎ、文化の変容に立ち会う—四国の二つの展覧会より」(artspace)(WEB)(2020年3月1日)  
「確井ゆい—揺らぎうるもの」『照沼敦朗—2人の世界と風刺の言葉』「加藤翼—声による繋がり」「村上慧—日常の検証」  
『高松コンテンポラリーアート・アニヴァーサリーvol.08 / 社会を解剖する』図録 高松市美術館(2019年11月)  
「作家略歴」『開校100年 きたれ、パウハウス 一造形教育の基礎一』図録(株式会社アートインプレッション)高松市美術館 他(2019年)

**尾形絵里子**

## ◆執筆

「碧に漕ぎだす」『宮永愛子：漕法』図録(青幻社) 高松市美術館 他(2019年8月20日)

**福田千恵**

## ◆執筆

「安野光雅展 列品解説④⑤⑥」『四国新聞』(2019年11月14日、11月21日、11月28日)

## ◆その他

講習「コミュニケーション・スキルアップの3日間！」(京都芸術大学 アート・コミュニケーション研究センター)(2019年8月10日～8月12日)

(1) 主催事業

			特別展					
			コレクション+	宮永愛子	アニュアル08	安野光雅	パウハウス	計
有料	通常	一般	1,157	2,881	1,023	3,568	3,469	12,098
		大学生	77	316	61	90	367	911
	割引	一般	721	2,895	999	638	307	5,560
		大学生	28	237	64	7	15	351
	前売	一般	22	57	19	330	231	659
		大学生	0	0	0	4	7	11
共通定期観覧券		199	246	168	362	302	1,277	
小計		2,204	6,632	2,334	4,999	4,698	20,867	
無料	高校生		103	171	53	138	279	744
	中学生		65	505	95	133	94	892
	小学生		292	409	122	503	454	1,780
	就学前		107	221	67	403	202	1,000
	小計		567	1,306	337	1,177	1,029	4,416
免除	大学生 他		65	0	34	85	0	184
	引率者		18	8	24	33	16	99
	障がい者・介添人		168	246	126	344	196	1,080
	行政視察		0	15	12	19	0	46
	小計		251	269	196	481	212	1,409
招待券等			419	1,967	384	772	682	4,224
観覧者総数			3,441	10,174	3,251	7,429	6,621	30,916
1日当たり入場者数			104	242	99	206	174	170
夜間(火～土曜日の17時～19時)			150	867	146	212	201	1,576

			常設展					
			第1期	第2期	第3期	第4期	計	
有料	通常	一般	675	1,029	499	616	2,819	
		大学生	28	129	12	45	214	
	割引	一般	94	104	158	52	408	
		大学生	3	5	0	1	9	
	共通定期観覧券		158	193	214	186	751	
	小計		958	1,460	883	900	4,201	
無料	高校生		63	206	76	158	503	
	中学生		64	418	98	43	623	
	小学生		305	755	350	304	1,714	
	就学前		75	198	109	66	448	
	小計		507	1,577	633	571	3,288	
免除	大学生 他		65	9	107	19	200	
	引率者		17	25	37	27	106	
	長寿		469	506	638	577	2,190	
	障がい者・介添人		152	176	167	99	594	
	行政視察		0	12	30	0	42	
小計		703	728	979	722	3,132		
招待券等			1,821	6,280	3,830	2,117	14,048	
観覧者総数			3,989	10,045	6,325	4,310	24,669	
1日当たり入場者数			60	132	85	61	86	
夜間(火～土曜日の17時～19時)			186	675	388	190	1,439	

図書コーナー													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入室者数	115	354	279	316	494	305	312	246	283	288	356	117	3,465
開室日数	26	27	26	26	28	25	27	26	24	24	25	3	287

こども+													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入室者数	261	212	320	158	409	222	244	335	340	473	443	0	3,417
開室日数	26	27	26	26	28	25	27	26	24	24	25	0	284

## (2) 貸館

一般・企画展示室			
展覧会名	会期	日数	入場者数
第12回青澄かな書作展	2019/4/6～4/7	2	2,947
第46回高松市民美術展	4/9～4/14	6	1,636
第28回由源香川書展	5/31～6/2	3	2,211
第78回創元展	6/4～6/9	6	1,420
第50回記念青龍書展	6/12～6/16	5	2,135
第30回道香社書作展	6/21～6/23	3	825
独立美術四国会展	7/2～7/7	6	803
第61回墨華書道展	9/7～9/11	5	2,120
第46回毎日書道学会展	9/13～9/15	3	726
第32回日工会工芸美術四国会展	9/18～9/23	6	838
第11回一楽会書展	9/20～9/23	4	707
令和元年度高松市教育文化祭展覧会	2020/1/10～1/13	4	6,197
第16回香川県小・中学校総合文化祭 展覧会	1/10～1/13	4	6,197
第36回香川県高等学校総合文化祭 美術・工芸展	1/16～1/19	4	635
第36回香川県高等学校総合文化祭書道部門	1/16～1/19	4	591
第54回日本墨彩画院展	1/21～1/26	6	732
計16		71	30,720

市民ギャラリー			
展覧会名	会期	日数	入場者数
第12回青澄かな書作展・併設子ども書道・硬筆展	2019/4/6～4/7	2	1,713
グループPearl展	4/9～4/14	6	911
第46回チャールズ会高松展	4/16～4/21	6	601
第53回旅の思い出展	4/23～4/28	6	450
滝 勇一展	5/1～5/5	5	730
星野文昭絵画展	5/8～5/12	5	272
「集」展 2019	6/20～6/23	4	702
キルト・イン・ディンプル作品展 in 高松	7/17～7/21	5	780
グループ尚作品展	7/23～7/28	6	718
慈光の風	7/30～8/4	6	769
土のアート(中川敏子追悼展)	8/6～8/12	7	952
内藤恵子展	8/13～8/18	5	671
第46回文化書道四国連合会書道展	8/24～8/25	2	558
鈴木龍子展	9/10～9/15	6	1,192
第33回思可傘展	9/18～9/23	6	764
フクロウ絵画展	9/25～9/29	5	682
第3回友墨会展	10/1～10/6	6	705
創元会香川支部 油彩画展	10/8～10/13	6	935
グループひかり絵画展	10/16～10/20	5	454
新協美術会香川支部第16回近作展	10/22～10/27	6	868
第25回サロン・エウスン絵画展	10/29～11/4	7	1,160
第37回 新構造社香川支部展	11/6～11/10	5	532
双樹会油彩画展	11/12～11/17	6	705
女子美術大学同窓会香川支部作品展	11/26～12/1	6	746
アトリエ榎笠作品展	12/10～12/15	6	540
高松工芸高等学校 美術科作品展	12/17～12/22	6	663
第41回香川県高等学校美術・工芸教員作品展	2020/1/17～1/19	3	510
坂口由香の世界	1/21～1/26	6	539
じーばクラブ水彩画展	1/28～2/2	6	603
富村華峰遺墨展	2/7～2/9	3	666
言の葉書会展	2/13～2/16	4	606
第9回英明高等学校美術デザイン系展	2/18～2/24	7	1,082
高松水彩美学展	2/26～3/1	5	552
建築家・田中敏博の手仕事展	3/10～3/15	6	444
グループ版展	3/17～3/22	6	556
計35		187	25,331

講堂													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用人数	2,160	0	0	100	530	40	0	100	85	0	0	0	3,015
利用回数	3	0	0	2	3	1	0	1	2	0	0	0	12

講座室													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用人数	581	536	672	787	438	663	600	580	495	572	678	261	6,863
利用回数	39	35	46	44	27	42	43	42	32	36	45	19	450

## 絵本原画ニャー！猫が歩く絵本の世界

Meow! —Cats Walk in the World of Picture Books

絵本にはたくさんの動物が登場します。なかでも猫は人気者です。絵本の猫たちはいろんな形をしています。太い線で描かれたり、細い線で描かれたり様々です。リアルだったり、シンプルだったり、一匹たりとも同じ猫はいません。

本展では、注目の若手作家からベテラン作家まで15組の絵本作家たちによる絵本の中の猫たちを紹介しました。

約250点に及ぶ原画やスケッチ、制作資料からは、作家の息づかいまで感じることができました。さまざまな色や形に表現された猫たちを通して、「絵」のおもしろさ、豊かさを楽しむことができました。

Many animals appear in picture books. Among them, cats are especially popular. Cats in picture books take various shapes—Some are depicted using thick lines, while others are depicted using thin lines. No two cats are the same.

This exhibition introduced cats in picture books illustrated by fifteen picture book artists.

The breath of the artists was felt through approximately 250 original pictures, sketches, and documents. We enjoyed the fun and richness of pictures through cats in various colors and forms.

- ◆会期 2020年4月18日(土)～6月14日(日) 33日間  
※新型コロナウイルス感染拡大防止による臨時休館：4月22日(水)～5月10日(日) 17日間  
※当初の会期：4月18日(土)～5月31日(日)
- ◆主催 高松市美術館
- ◆特別協力 あかね書房、岩崎書店、岩波書店、WAVE出版、偕成社、学研プラス、くもん出版、好学会、講談社、こぐま社、小峰書店、小学館、小さな絵本美術館、ちひろ美術館、童心社、福音館書店、富山房、ブロンズ新社、文溪堂、リトルモア
- ◆協力 中川素子(絵本学会元長、文教大名誉授)、福永信(小説家)
- ◆企画協力 青幻舎プロモーション
- ◆入場料 一般1,000円、大学生500円、高校生以下無料
- ◆入場者数 3,369人
- ◆担当学芸員 橘美貴



(チラシ表)



(チラシ裏)



(100円割引チラシ)



(図録)



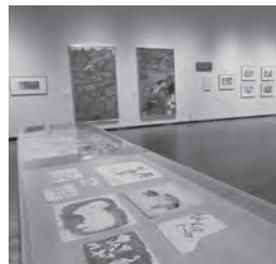
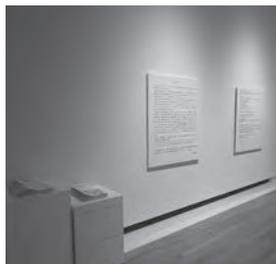
(B2ポスター)



(B3ポスター)



フォトスポット



◆開展式(中止)

日時：4月18日(土) 10:00～10:15  
 出演：筒井大介(野分編集室・本展図録編集)  
 場所：2階展示室前  
 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止

◆講演会(中止)

記念講演会「猫絵本の作り方 編集の現場から」(中止)  
 日時：4月18日(土) 14:00～15:30  
 講師：筒井大介(野分編集室・本展図録編集)  
 場所：1階講堂  
 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止

トークショー「絵本をつくるということ」(中止)  
 日時：5月2日(土) 14:00～15:00  
 講師：きくちちき(出品作家)  
 場所：1階講堂  
 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止

◆イベント(中止)

ワークショップ「どんな猫ができるかな」(中止) (p.111)  
 ワークショップ「クレヨンで描いた“ねこのごはん”～ねこのえさをつくるよ!」(中止) (p.111)  
 ミニコンサート「猫と戯れる音楽家たち」(中止) (p.113)

◆ギャラリートーク(中止)

日時：4月19日(日) 14:00～  
 講師：橘美貴(当館学芸員)  
 場所：2階展示室  
 料金：無料(観覧券要)  
 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止

日時：会期中の日曜日・祝日(4月19日を除く) 14:00～  
 講師：美術館ボランティアcivi(シヴィ)  
 料金：無料(観覧券要)  
 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止

◆主な新聞・雑誌等関連記事

ままといっしょ	春号
てくてく通信	春号
広報たかまつ	4月号、5月号
ワイヤーママ	5月号
四国新聞	5月13日「絵本の猫 生き生きと」
読売新聞	5月17日「猫の絵本原画展 来場者に癒やし」
朝日新聞	5月19日「絵本の猫 表情豊かだニャー」

◆図録

『絵本原画ニャー!猫が歩く絵本の世界』  
 企画：青幻舎プロモーション  
 執筆・構成：福永信  
 編集：筒井大介(野分編集室)  
 編集補：福岡優子(青幻舎プロモーション)  
 デザイン：椎名麻美  
 猫のあしあと：片岡まみこ  
 撮影：市門大我、古川泰造、鈴木藍  
 協力：中川素子  
 発行者：安田英樹  
 発行所：株式会社青幻舎プロモーション  
 発行元：株式会社青幻舎  
 発行年：2019年  
 印刷・製本：株式会社ムーブ  
 サイズ：210mm×150mm  
 ページ数：160ページ

◆ポスター・チラシ

デザイン：椎名麻美

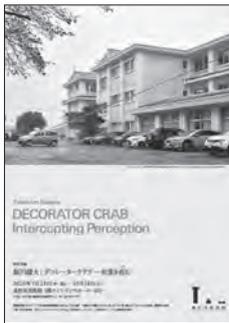
◆出品リスト (p.94)

特別企画 飯川雄大 デコレータークラブ—知覚を拒む  
Takehiro Iikawa DECORATOR CRAB Intercepting Perception

2017年に高松アーティスト・イン・レジデンスに参加した現代アーティストの飯川雄大が3年ぶりに高松で展示を行いました。本展では「知覚を拒む」のテーマのもと、「デコレータークラブ」シリーズ(2007-)の新作を展開しました。デコレータークラブとは周辺にある藻や貝殻を体中に貼り付けて擬態する蟹(和名:モクズシヨイ)のこと。飯川は情報にあふれる現代を、捉えがたいこの蟹の実態にあてはめ、人と情報の関係を問い直してきました。写真に収めたくても全貌を捉えられない《ピンクの猫の小林さん》(2016-)、一見無関係と思われる物どうしをロープでつなげ、思いがけない構造を視覚化する《遠近の設計図》(2019-)、そのほか鑑賞者が目の前の壁を押し進めることで、別の空間に新たな事象が起こる《0人もしくは1人以上の観客に向けて》(2019-)など、飯川の作品は私たちの周りにある情報が全体の一部でしかなく、人の認識が不確かであることを思い出させます。それは驚きをとめない、日常生活の中で疑うことのない認識や情報について改めて考える機会となりました。

Iikawa Yudai, a contemporary artist who participated in Takamatsu Artist in Residence in 2017, exhibited in Takamatsu for the first time in three years. In this exhibition, we had developed a new work of the "Decorator Club" series (2007-) under the theme of "Rejecting Perception". A decorator club is a crab (Japanese name: Mokuzushoi) that mimics the surrounding algae and shells by sticking them all over the body. Iikawa has applied the information-filled modern times to the reality of this crab, which is difficult to grasp, and has re-questioned the relationship between people and information. "Pink cat Kobayashi-san" (2016-), who can't capture the whole picture even if he wants to capture it in a photograph, and "Perspective blueprint" (a perspective design drawing) that visualizes unexpected structures by connecting seemingly unrelated objects with ropes. In addition, Iikawa's works such as "Towards 0 or 1 or more spectators" (2019-), where a new event occurs in another space when the viewer pushes the wall in front of him. It reminds us that the information around us is only a part of the whole, and that people's perceptions are uncertain. It was a surprise and an opportunity to rethink the unquestionable perceptions and information in our daily lives.

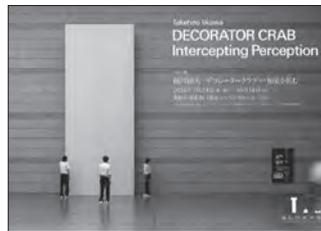
- ◆会期 2020年7月23日(木・祝)～10月18日(日) 88日間
- ◆会場 美術館1階エントランスホール他
- ◆主催 高松市美術館
- ◆協力 カミイケタクヤ、Art & Nepal、有限会社キューアンドエー、株式会社ティーハウス建築設計事務所
- ◆入場料 無料
- ◆参加者数 延べ15,053人
- ◆担当学芸員 橘美貴



(チラシ表)



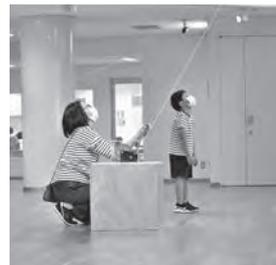
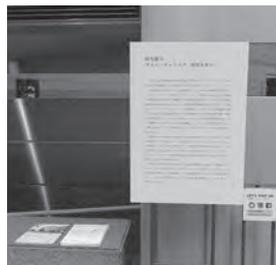
(チラシ裏)



(図録)



講演会



◆講演会

アーティストトーク「知覚を拒む」  
 日時：9月5日(火) 13:00～14:00  
 講師：飯川雄大(美術家)  
 司会：橋 美貴(当館学芸員)  
 場所：1階エントランスホール  
 参加者数：40人

◆イベント

ワークショップ「偶然を見つけよう!!」(p.111)

◆主な新聞・雑誌等関連記事

ままといっしょ	春号
てくてく通信	春号
広報たかまつ	4月号、5月号
ワイヤーママ	5月号
四国新聞	5月13日「絵本の猫 生き生きと」
読売新聞	5月17日「猫の絵本原画展 来場者に癒やし」
朝日新聞	5月19日「絵本の猫 表情豊かだニャー」

◆図録

『高松市美術館コレクション+ 身体とムービング』図録に  
 展示風景、作家ステートメントを収録。

◆ポスター・チラシ

デザイン：飯川雄大

◆出品リスト (p.94)

## 高松市美術館コレクション+(プラス) 身体とムービング

Takamatsu Art Museum Collection + "Body and Moving"

美術館コレクションとゲストによる作品を組み合わせ、紹介する「高松市美術館コレクション+(プラス)」。今回のテーマは、「身体」と「ムービング」です。

まず第一室では、「制作行為における身体と動き」に着目。兵庫県尼崎市が所蔵する白髪コレクションを全国の美術館で紹介する「白髪一雄発信プロジェクト」と共同し、足で描くアクション・ペインティングという独創的な制作スタイルで国際的な注目と高い評価を集めた白髪一雄(1924 - 2008)の初期から晩年に至る作品の魅力に迫りました。そして、白髪も参加した「具体美術協会」のリーダー・吉原治良(1905 - 1972)の「これまでになかったものを創れ」という教えのもとで行われた、若き美術家たちの実践と探求を、田中敦子(1932 - 2005)の《電気服》をはじめとした当館の“具体”コレクションによって紹介しました。

二室目は、「旅や移動とともにある制作行為」に着目し、絵画や映像作品を紹介しました。当館所蔵作品のほか、ゲスト作家として近藤亜樹(1987 - )と中園孔二(1989 - 2015)を迎えました。近藤の絵画には「生きる行為と喜び」が溢れており、かつて暮らした小豆島にまつわる命を慈しむ作品に心揺さぶられました。また、若くして高松の海でその人生を終えた中園の、高速度に湧くイメージと身体への反応による作品群は、見る人に瑞々しく訴えかけてくれました。

加えて、「んまつー波斯」(スポーツマンの逆読み)のコンテンポラリーダンスカンパニー、宮崎市在住)の「高松くっぴんりお」を開催し、体育×美術×ダンスといった異分野を越える経験によって広く豊かに本展を楽しんでいただきました。

Takamatsu Art Museum Collection + introduces a blend of pieces from the museum's collection as well as work by guest artists. The theme this time was "body" and "moving".

In the first room, we focused on "body and movement in the act of creation". In collaboration with the Kazuo Shiraga Project, which showcases the collection housed by Amagasaki City, Hyogo Prefecture at museums nationwide, we approached the charm of Kazuo Shiraga's (1924 - 2008) work from an early period to his later years. His art has attracted international attention and high praise, with an original style of production, "action painting," which involved painting with his feet. Then, through our collection of Gutai art, which includes Atsuko Tanaka's (1932 - 2005) "Electric Dress," we introduced the practices and pursuits of young artists carried out under the teachings of Jiro Yoshihara (1905 - 1972), leader of the Gutai group in which Shiraga also participated, who instructed them to "create what has never existed before."

In the second room, we introduced paintings and video pieces with a focus on "the act of creation alongside travel and movement". In addition to work housed by the museum, we also welcomed work from guest artists Aki Kondo (1987-) and Koji Nakazono (1989 - 2015). Kondo's paintings are overflowing with "the joy of living," and her work, which shows affection for life on Shodo Island where she once lived, sways the heart. Then, the works of Nakazono (whose life ended at sea in Takamatsu at a young age), created through images springing forth at high speed and the reaction of his body, will appeal to the viewer with freshness and youth.

In addition, we held Namstrops' ("sportsman" read backwards, residing in Miyazaki City) Takamatsu Scipmylo. We enjoyed this exhibition broadly and richly, through experiencing the different fields of physical education, art, and dance.

- ◆会期 2020年7月23日(木・祝)～9月6日(日) 40日間
- ◆主催 高松市美術館、尼崎市
- ◆特別協力 公益財団法人 尼崎市文化振興財団、株式会社ログキャビン、小山登美夫ギャラリー、シュウゴアーツ
- ◆協力 アートランジット株式会社
- ◆入場料 一般800円、大学生500円、高校生以下無料
- ◆入場者数 2,786人
- ◆担当学芸員 毛利直子



(チラシ表)



(チラシ裏)



(図録)



(B2ポスター)



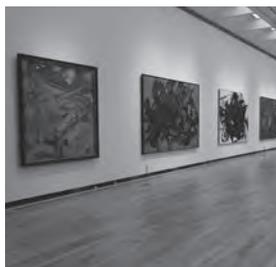
(B3ポスター)



講演会



学芸員ギャラリートーク



尼崎市「白髪一雄発信プロジェクト」



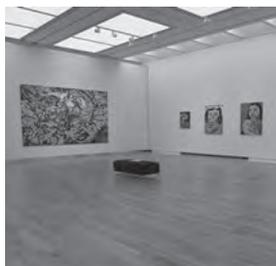
撮影：宮脇慎太郎



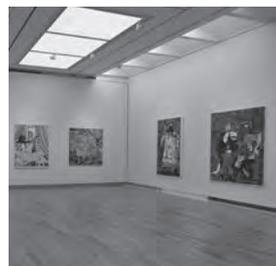
んまつー波斯



白髪一雄《小豆島スケッチ》



近藤亜樹



中園孔二

◆講演会

「白髪一雄“フットペインティング”の見どころ」  
 日時：7月26日(日) 14:00～15:30  
 講師：平井章一(関西大学文学部教授)  
 場所：1階講堂  
 参加者数：27人

◆イベント

ワークショップ「高松くっぴりお」(p.111)  
 パフォーマンス「空想オリンピックshort version」観戦(p.113)  
 映画《HIKARI》(2015年、33分35秒)上映(p.113)

◆ギャラリートーク

日時：8月9日(日) 14:00～  
 講師：毛利直子(当館学芸員)  
 場所：2階展示室  
 料金：無料(観覧券要)  
 参加者数：20人

日時：8月23日(日) 14:00～  
 講師：橘美貴(当館学芸員)  
 場所：2階展示室  
 料金：無料(観覧券要)  
 参加者数：13人

◆主な新聞・雑誌等関連記事

調査月報	7月1日 No.400
朝日新聞	7月23日 「激しい明滅 光をまとう田中敦子「電気服」」
四国新聞	7月23日、8月13日、8月20日、8月27日、 8月6日、 8月27日「躍動感ある表現伝える 高松市美術館 絵画や映像作品展示」、 9月3日
ケーブルテレビ	8月16日
朝日新聞	8月25日「現代美術 躍動の80点 高松市美術館で特別展」
広報たかまつ	8月号
ギャラリー	8月号
メディアピック	9月1日「田中敦子「電気服」展示中」
広報たかまつ	9月号 「逆・逆・逆をおもしろがろう！ 「んまつー波斯」の高松くっぴりお
美術の窓	9月号
Walker プラス	7月号 「体育・美術・ダンスがミックスした 独創的な特別展」
香川こまち	8月号
インターネットミュージアム	
Web版美術手帖	

◆図録

『高松市美術館コレクション+ 身体とムービング』  
 編集：橘美貴、福田千恵、牧野裕二、毛利直子(高松市美術館)  
 デザイン：鈴木モトフミ(dattgraphics)  
 撮影：Ken Kato、Kenji Takahashi、稲田禎洋、飯川雄大、  
 宮脇慎太郎  
 写真提供：尼崎市、シュウゴアーツ、小山登美夫ギャラリー、  
 高松市美術館  
 発行：高松市美術館  
 発行年：2020年  
 仕様：25.6×18.2cm、20頁

◆ポスター・チラシ

デザイン：鈴木モトフミ(dattgraphics)

◆出品リスト(pp.94-95)

世界が絶賛した浮世絵師 北斎展 師とその弟子たち＝北斎からアンリ・リヴィエールまで  
Hokusai —Worldly Acclaimed Ukiyo-e Artist

江戸時代に活躍した浮世絵師・葛飾北斎(宝暦10年[1760]～嘉永2年[1849])は、現在でも日本のみならず世界的に高い人気を誇っています。30数回の改号、93回もの引っ越し、常に借金に追われる生活など波瀾万丈な90年の生涯で、膨大な数の作品を世に遺しました。「富嶽三十六景」に代表されるような、大胆な構図や巧みな線、北斎色ともいえる象徴的な色使いといった独創的な画風は、同時代の絵師たちに大きな影響を与えました。また、幕末の開国後に、貿易品とともにヨーロッパにわたった北斎作品を、現地の芸術家たちは高く評価し、そのモチーフや構図を自身の作品に取り入れました。日本でも人気の高い印象派の画家の絵画にも北斎の影響が多く見られることはよく知られています。

本展では、葛飾北斎の代表作「富嶽三十六景」から、初期の役者絵、妖怪絵のほか、西洋の技術である銅版画に感銘を受けたことにより生まれた洋風風景画、貴重な肉筆画など多様な作品を展示しました。くわえて北斎の教えを受けた弟子たちの作品や、「富嶽三十六景」に着想を得たと云われるフランス人版画家のアンリ・リヴィエールの『エッフェル塔三十六景』を併せて紹介しました。

北斎芸術の全貌を明らかにする約190点を通じて、世界が絶賛する北斎の魅力に迫る展覧会でした。

Ukiyo-e artist Katsushika Hokusai, who was active during the Edo period, is still quite popular not only in Japan, but around the world. With 30 name changes and 93 moves over the course of his 90-year lifetime full of ups and downs, always chased by debt, he left behind a vast number of artworks. His original style, consisting of bold compositions and dexterous linework as exemplified by *Thirty-six Views of Mount Fuji*, as well as a symbolic use of color, greatly influenced painters of the same period. Then, after the country's opening at the end of the Edo period, Hokusai's work spread to Europe alongside trade goods, where it was highly appraised by local artists who then incorporated his motifs and compositions into their own art. It is well-known that Hokusai's influence is often seen in the paintings of Impressionist painters, which are also quite popular in Japan.

In this exhibition, in addition to Katsushika Hokusai's masterpiece, *Thirty-six Views of Mount Fuji*, his early portraits of actors, and paintings of yokai, we also exhibited a variety of work including landscape paintings created after he was deeply impressed by Western techniques of copper engraving, as well as precious hand-drawn images. Additionally, we introduced the work of disciples who were taught by Hokusai, as well as French printmaker Henri Rivière's *36 Views of the Eiffel Tower*, inspired by *Thirty-six Views of Mount Fuji*.

Through about 190 pieces which brought his art into full view, this exhibition drew close to the charm of Hokusai, whom the world admires so greatly.

- ◆会期 2020年9月12日(土)～10月18日(日) 32日間
- ◆主催 高松市美術館
- ◆後援 四国新聞社
- ◆監修 中右 瑛(国際浮世絵学会常任理事)
- ◆企画協力 NHKエンタープライズ近畿、ステップ・イースト
- ◆入場料 一般1,000円、大学生500円、高校生以下無料
- ◆入場者数 21,864人
- ◆担当学芸員 石田智子



(チラシ表)



(チラシ裏)



(B2ポスター)



(B3ポスター)



記念講演会1



記念講演会2



展示解説会



1万人記念



フォトスポット



◆講演会

記念講演会1「北斎、波瀾万丈九十年の人生」

日時：9月12日(土) 13:30～15:00

講師：中右 瑛(本展監修、国際浮世絵学会常任理事)

場所：1階講堂

参加者数：47人

記念講演会2「模写して探る、北斎の技」

日時：10月17日(土) 13:30～15:00

講師：向井大祐(日本画家)

場所：1階講堂

参加者数：50人

展示解説会①

「北斎の生涯とその作品」

日時：9月20日(日) 14:00～14:40、15:00～15:40

講師：石田智子(当館学芸員)

場所：1階講堂

参加者数：延べ63人

展示解説会②

「北斎の弟子たち、海を渡った北斎作品とリヴィエール」

日時：10月4日(日) 14:00～14:40

講師：石田智子(当館学芸員)

場所：1階講堂

参加者数：48人

◆イベント

託児サービス

内容：未就学児の保護者が展覧会を楽しむため、託児サービスを実施した。

日時：①9月19日(土)②10月9日(金) 各10:00～12:00

参加者数：延べ13人

スタンプを集めてリピート割引

展覧会場で配布したスタンプカードにスタンプを集めると、次回来館時に2020年度特別展観覧料が割引。中2階こども+、1階常設展示室にてスタンプ台を設置。

参加者数：延べ68人

おうちでアート・コラボ企画

高松市美術館 YouTube チャンネルの北斎展の動画を見た方に記念品をプレゼントした。

ポケット学芸員

スマートホンにアプリ「ポケット学芸員」をダウンロードすると、展示解説を音声で聞くことができるサービスを提供した。

◆イベント

ワークショップ「浮世絵摺りを体験してみよう！」(p.111)

ミニコンサート「異文化への憧憬」(p.113)

◆主な新聞・雑誌等関連記事

リビングたかまつ 9月25日

ままといっしょ 秋号

広報たかまつ 9月号

調査月報 9月号No.402

高知新聞 9月7日

四国新聞 9月3日「江戸の奇才 全貌に迫る」

9月10日、9月13日「富嶽三十六景 間近で

高松市美術館 葛飾北斎が開幕、

9月17日列品解説④葛飾北斎「富嶽三十六

景 神奈川沖浪裏」、9月24日列品解説⑥アン

ソニー・リヴィエール「エッフェル塔三十六

景『扉絵』、10月1日列品解説⑤葛飾北斎「三

竦の図」(絹本着色)、10月4日「北斎展来

場1万人突破開館から19日で達成、

10月8日、10月15日

10月7日「北斎のあの絵 間近で鑑賞高松市

美術館で特別展」

朝日新聞 10月号

香川こまち 10月号

ナイスタウン 10月号

ケーブルメディア四国 美術館からの招待状

NHK 北斎展を自宅を楽しむ番組

MUSUCA

ウェブ版美術手帖

ウォーカープラス

RSK

博物館研究 No.628～629

美術の窓 10月号

ギャラリー 10月号

芸術新潮 10月号

◆ポスター・チラシ

デザイン：有限会社ドリームネットワークアクティビティ

◆出品リスト (pp.96-97)

高松コンテンポラリーアート・アニュアル vol.09 一時どきどき想像一  
Takamatsu Contemporary Art Annual vol.09 Imagine the presence of 'Time.'

「高松コンテンポラリーアート・アニュアル」は、独創性、将来性のある優れた作家を発掘、紹介する現代アートのグループ展として2009年から開催しています。10回目という節目を迎える2020年では「時どきどき想像」をテーマとします。

本展では、5人の作家による芸術表現を通して、さまざまな「時」を「想像」しました。

蛸牛あや(1978年、兵庫県生まれ)は、貝殻や石といった自然の創り出した形や色、模様、太古の物語を紐解き絹糸で刺繍します。波や間欠泉、新生児の瞳を被写体とした井上佐由紀(1974年、福岡県生まれ)の写真は、万物に必ず来る“終わり”を予感させるでしょう。後藤映則(1984年、岐阜県生まれ)は、旧石器時代の洞窟壁画や19世紀の映像装置を源泉に、3Dプリンティングを用いて、時を立体的に見ることを試みます。乾漆や漆、螺鈿の伝統技法や3Dデジタル技術を駆使した保井智貴(1974年、アントワープ生まれ)の木彫は、人や社会が持つ記憶、それらが影響し合う様を考えさせます。大西康明(1979年、大阪府生まれ)は、接着剤やポリエチレンシートなどの素材を用いて空洞や余白を視覚化し、“現在”を構成する空間の裏側を示唆します。

5人の作家による独自のアプローチや多様な表現に触れることで、「時」という存在について新たな「想像」が広がることができました。

“Takamatsu Contemporary Art Annual” has been held since 2009 as a group exhibition for contemporary art to discover and introduce outstanding artists with originality and potential. In the year 2020, which marks its 10th anniversary, the theme of the exhibition was “Imagine the presence of ‘Time.’”

In this exhibition, we would “imagine” the various “time” through the artistic expression of the five artists.

CAGIU Aya (b.1978, Hyogo) embroiders with silk thread, creating stories in the shapes, colors and patterns created by nature, such as shells and stones. INOUE Sayuki's (b. 1974, Fukuoka) photographs of waves, geysers, and the eyes of newborns foreshadow the inevitable “end” of all things. GOTO Akinori (b. 1984, Gifu,) uses 3D printing, based on Paleolithic cave paintings and 19th century video equipment, to create a three-dimensional view of time. YASUI Tomoki (b. 1974, Antwerp), using traditional techniques of dry lacquer, lacquer and mother-of-pearl inlays, and 3D digital technology, creates wood sculptures that make us think about the memories of people and society, and how they influence each other. ONISHI Yasuaki (b. 1979, Osaka) uses materials such as glue and polyethylene sheets to visualize voids and blank spaces, suggesting the other side of the space that constitutes the “present”.

Through the different approaches and expressions of the five artists, we provided an opportunity to expand our new “imagination” about the existence of “time”.

- ◆会期 2020年10月31日(土)～12月13日(日) 38日間
- ◆主催 高松市美術館
- ◆助成 一般財団法人自治総合センター、公益財団法人朝日新聞文化財団
- ◆協力 アートコートギャラリー、メグミオギタギャラリー、GRAIN HOUSE、MA2gallery、nap gallery、TOYTOYTOY、株式会社写真弘社、積水化学工業株式会社
- ◆入場料 一般800円、大学生500円、高校生以下無料
- ◆入場者数 2,435人
- ◆担当学芸員 尾形絵里子



(チラシ表)



(チラシ裏)



(図録)



(B2ポスター)



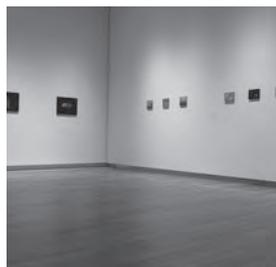
(B3ポスター)



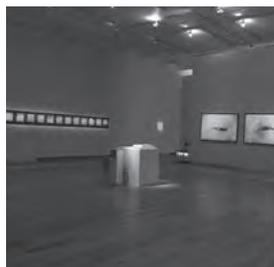
(Webサイト)



アーティストトーク



蝸牛あや



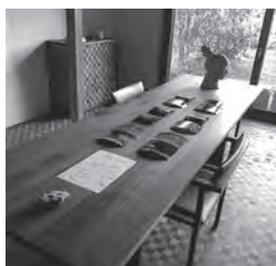
井上佐由紀



後藤映則



保井智貴



保井智貴「彫刻の家」



大西康明



後藤映則

#### ◆講演会

アーティスト・トーク  
 日時：10月31日(土) 14:00～16:00  
 講師：全出品作家  
 場所：1階講堂  
 参加者数：34人

#### ◆イベント

連携企画 特別展示「まちにある家という彫刻」  
 保井智貴(出品作家)の作品をオルタナティブスペース  
 「彫刻家の家」とギャラリー「TOYTOYTOY」で鑑賞。  
 町全体を「展示空間」、そこにある建物や自然を「彫刻」として  
 見立て、町の移り変わりを感じるプロジェクトを開催した。

場所：彫刻家の家、TOYTOYTOY  
 会期：会期中の土曜日(10月31日を除く)  
 11月3日(火・祝)、20日(金)、22日(日)、  
 12月11日(金)、13日(日) 各日13:00～17:00  
 入場者数：延べ70人

「自然の中で見つけたものをよく見て、鉛筆で描いてみよう」(p.111)  
 「時間のかたち」(p.111)  
 「保井智貴ワークショップ」(p.112)  
 ミニコンサート「刻まれる時の中で変容する空間」(p.113)

#### ◆ギャラリートーク

日時：11月1日(日) 14:00～  
 講師：尾形絵里子(当館学芸員)  
 場所：2階展示室  
 料金：無料(観覧券要)  
 参加者数：20人

日時：会期中の日曜日・祝日(11月1日を除く) 14:00～(6回)  
 講師：美術館ボランティアcivi(シヴィ)  
 料金：無料(観覧券要)  
 参加者数：延べ84人

#### ◆主な新聞・雑誌等関連記事

愛媛こまち 10月20日発行号  
 ナイスタウン 11月号  
 アートコレクターズ 11月号  
 ウォーカープラス 11月上旬より掲載  
 MIRAI  
 Kita-colle ART  
 ケーブルメディア四国 「美術館からの招待状」  
 IMA online  
 web版美術手帖  
 毎日新聞社

#### ◆図録

『高松コンテンポラリーアート・アニュアル vol.09  
 時どきどき想像』  
 編集：尾形絵里子(高松市美術館学芸員)  
 編集補助：井上奈緒(高松市美術館)  
 デザイン：佐々木茜(有限会社デジタルモリス)  
 写真：表 恒(p4-11、13-18、20-25、27-28、31-37、41-47)  
 蝸牛あや(p7右上)、  
 印刷・製本：有限会社河端商会  
 発行：高松市美術館  
 仕様：16.7×24.2cm、64頁

#### ◆ポスター・チラシ

デザイン：佐々木茜(有限会社デジタルモリス)

#### ◆特設Webサイト

URL：https://annual09.takamatsu-art-museum.jp/  
 デザイン：福田賢治(有限会社デジタルモリス)

#### ◆出品リスト(p.97)

## 野口哲哉展—THIS IS NOT A SAMURAI

Noguch Tetsuyai—THIS IS NOT A SAMURAI

鎧と人間をテーマに、現代性や人間性を問いかける美術作家、野口哲哉(1980年、高松市生まれ)。多様な文化や感情が混ざり合うユニークな世界観は国内外の幅広い層に支持されています。鎧を着た人物が所在なくたたずんでいるかと思えば、風船を見つめたり、空中に浮かんだり、時にはブランドロゴの付いた鎧を自然に着こなしたり。一見ユーモラスに見える作品は、どこか物悲しい雰囲気を帯びており、そこには目まぐるしく移り変わる文明の中で、喜びや苦悩といった矛盾を抱えながら生きる人間の姿が鋭い視点で映し出されています。

本展では、鎧をまとう人々の彫刻や絵画など、初期から新作まで代表作180点で、野口哲哉の幅広い思考と精緻な作品に込められた優しさと悲しさ、人間への好奇心にあふれた世界を紹介しました。

Noguchi Tetsuya is a contemporary artist who questions modernity and humanity through the theme of armour and people. In his works, he presents rather realistic images of unadorned people. They may seem in juxtaposition with the traditional image of an armour at first, given that they show people who are: motionless, wearing suits of armour, relaxing, in distress, wearing trendy sneakers, or naturally wearing armour with a brand logo on it. His unique worldview, in which diverse cultures and emotions blend together, is supported by a wide range of people both in Japan and abroad.

This exhibition consisted of 180 representative works from his early years, as well as new works, including sculptured, paintings, and installations depicting people wearing armour, and introduces the world of kindness, sadness, and curiosity about human beings, filtered through Tetsuya Noguchi's broad thinking and elaborate works.

- ◆会期 2021年2月6日(土)～3月21日(日) 38日間
- ◆主催 高松市美術館、朝日新聞社
- ◆協賛 野崎印刷紙業
- ◆入場料 一般1,000円、大学生500円、高校生以下無料
- ◆入場者数 7,508人
- ◆担当学芸員 牧野裕二



(チラシ表)



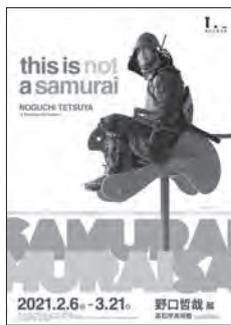
(チラシ裏)



(図録)



(3館スタンプラリー謹製カード)



(B2ポスター)



(B3ポスター)



内覧会



学芸員ギャラリートーク



フォトスポット



◆内覧会

日時：2月5日(金) 13:30～16:30  
場所：2階展示室  
参加者数：30人

◆講演会

記念鼎談「野口哲哉とは何か」  
日時：2月6日(土) 13:30～15:00  
出演：野口哲哉(出品作家)、玉屋喜崇(ギャラリー玉英)、  
牧野裕二(当館学芸員)  
場所：1階講堂  
参加者数：58人

記念講演会「野口哲哉、自作を語る」  
日時：2月7日(日) 13:30～15:00  
講師：野口哲哉  
場所：1階講堂  
参加者数：51人

◆イベント

3館スタンプラリー  
3館でスタンプを集めた方に謹製カードをプレゼント  
実施期間：前期／2020年10月24日(土)～2021年1月17日(日)  
後期／2月6日(土)～3月28日(日)  
実施施設：香川県立ミュージアム・高松市歴史資料館・高松市美術館

◆ギャラリートーク

日時：2月11日(木・祝) 14:00～  
講師：牧野裕二(当館学芸員)  
場所：2階展示室  
料金：無料(観覧券要)  
参加者数：50人  
  
日時：会期中の日曜日・祝日(2月7、11日を除く) 14:00～(8回)  
講師：美術館ボランティア civi(シヴィ)  
料金：無料(観覧券要)  
参加者数：延べ253人

◆主な新聞・雑誌等関連記事

ままといっしょ	2020.冬号
四国新聞	1月28日「人間の普遍的な姿描く 鎧姿の武者彫刻など180点」、2月4日、2月11日、2月25日、3月4日
美術屋百兵衛	1月号No.56
広報たかまつ	1月号、2月号、3月号
朝日新聞	2月10日「鎧の中は同じ人間」高松出身 野口哲哉さん個展 市美術館 2月17日「鎧の中 息づくリアル 高松で個展 野口哲哉さんに聞く」 2月22日「野口哲哉展①BIAS」(作品紹介)、 3月1日「野口哲哉展②Clumsy heart」(作品紹介) 3月8日「野口哲哉展③Cat-walk2020」(作品紹介)
読売新聞	2月27日「鎧アート 人間味 現代美術 野口哲哉さん個展 出身地・高松で」
美連協ニュース	2月号No.149
月刊美術	2月号No.545
美術展びあ2021	2月号「テーマは「侍」ではなく「鎧と人間」
ギャラリー	

◆図録

『野口哲哉展—THIS IS NOT A SAMURAI』  
編集：朝日新聞社、木村しのぶ(福本事務所)  
執筆：野口哲哉、  
John Wee Tom (インディペンデントキュレーター、トロント・カナダ)、  
牧野裕二(高松市美術館)  
翻訳：Patrik Czekaj、阿達佳子、森内誠子、八出千寿乃  
校閲：朝日新聞総合サービス出版校閲部  
デザイン・制作：上原正彦(ヌードウェア)、TITO、  
野口一将(ザ・ドキュンカンパニー)、原 瑞穂(野崎印刷紙業株式会社)  
発行：朝日新聞社  
仕様：21.2×29.7cm、272頁

◆ポスター・チラシ

デザイン：上原正彦(ヌードウェア)

◆出品リスト(pp.98-99)

作品リスト

絵本原画ニャー！  
猫が歩く絵本の世界

所属先：記載のないものは作家蔵

① 仲間

世界は「自分だけ」  
「これだけ」じゃない

1. きくちちき  
しろねこくろねこ  
学研プラス、2012年  
手製本一部個人蔵
2. 石黒亜矢子  
おおきなねこちいさなねこ  
長崎出版 2010年  
好学社 2016年
3. ささめやゆき  
あしたうちにねこがくるの  
文・石津ちひろ  
講談社 2000年
4. あきびんど  
ねこだらけ  
くもん出版 2015年
5. 町田尚子  
ネコツメのよる  
WAVE 出版 2016年
6. 石黒亜矢子  
ばけねこぞろぞろ  
あかね書房 2015年
7. 瀬川康男  
ふたり  
富山房 1981年  
ちひろ美術館蔵
8. きむらよしお  
ねこガム  
大福音館書店、2005年
9. 石黒亜矢子  
えとえとがっせん  
WAVE 出版 2016年
10. ささめやゆき  
ねこのチャッピー  
小峰書店 2011年
11. 100%ORANGE  
(及川賢治・竹内籐子)  
ひとりごと絵本  
リトルモア 2012年
- ② 歩いて数歩の小宇宙  
あるいは、大自然に感じる  
身近さ、親密さ
12. きくちちき  
ねこのそら  
講談社 2015年
13. 大道あや  
けとばしやまのいばりんぼ  
小峰書店 1980年  
個人蔵
14. 大道あや  
ねこのごんごん  
福音館書店 1975年  
(『こどものとも』229号)  
個人蔵
15. 大道あや  
けとばし山  
1982年  
個人蔵

16. 大道あや  
キウーイも実った  
1984年  
個人蔵
17. 加藤休ミ  
きょうのごはん  
偕成社 2012年
18. 町田尚子  
いるのいないの  
作・京極夏彦、編・東雅夫  
岩崎書店 2012年
19. 100%ORANGE  
(及川賢治・竹内籐子)  
ねこのセーター  
学研プラス 2006年  
文溪堂 2016年
20. にしまきかやこ  
えのすきなねこさん  
童心社 1986年
21. ハンス・フィッシャー  
長ぐつをはいたねこ  
訳・矢川澄子、福音館書店  
1980年  
小さな絵本美術館蔵
- ③ 絵本を閉じて、  
もれてくるたのしさ  
世代をこえて伝わる、気持ち
22. 馬場のぼる  
11びきのねこ ふくろのなか  
こぐま社 1982年
23. 牧野千穂  
うきわねこ  
文・蜂飼耳  
ブロンズ新社 2011年  
ブロンズ新社蔵
24. ハンス・フィッシャー  
こねこのびっち  
訳編・岩波書店 1954年、  
訳・石井桃子、  
岩波書店 1987年  
小さな絵本美術館蔵
25. 馬場のぼる  
ぶたためききつねねこ  
こぐま社 1978年  
こぐま社蔵
26. 大道あや  
こえどまつり  
福音館書店 1976年  
(『こどものとも』247号)  
個人蔵
27. きくちちき  
ちきばんにやー  
学研プラス 2014年
28. 片岡まみこ  
まんげつの夜、どかんねこの  
あしがいつぼん  
作・朽木 祥、小学館 2016年
29. 大道あや  
たぬきじゃんけん  
うた・関根栄一、  
小峰書店 1978年  
個人蔵

飯川雄大デコレータークラブ  
—知覚を拒む

所属先：記載のないものは作家蔵

a.DECORATOR CRAB:

Intercepting Perception  
2020年

b.デコレーター・クラブ

「衝動とその周辺にあるもの」  
2016-18年

c.デコレーター・クラブシリーズの

展示・政策記録映像  
2017-20年

館内各所

デコレータークラブ：  
Very Heavy Bag  
2010年-

高松市美術館コレクション+  
(プラス)身体とムービング

高松市美術館「具体」コレクション

- t① 吉原治良  
《Peinture》  
1960年
- t② 嶋本昭三  
《作品》  
1959年
- t③ 元永定正  
《作品》  
1959年
- t④ 金山 明  
《作品》  
1958年
- t⑤ 田中敦子  
《電気服》  
1956年(1986年再制作)
- t⑥ 坪内晃幸  
《作品》  
1959年
- t⑦ 山崎つる子  
《作品》  
1967年
- t⑧ 白髪富士子  
《作品No.1》  
1961年
- t⑨ 吉田稔郎  
《SPRAY》  
1964年
- t⑩ 向井修二  
《Work 1》  
1964年
- t⑪ 松谷武判  
《WORK 65-1》  
1965年
- t⑫ ヨシダミノル  
《JUST CURVE '67  
Cosmoplastic》  
1967年
- t⑬ ヨシダミノル  
《作品コンセプト》  
1988年
- t⑭ 前川 強  
《麻・赤》  
1963年
- t⑮ 白髪一雄  
《地威星百勝将韓滔》  
1961年
- t⑯ 白髪一雄  
《天威星雙鞭呼延灼》  
1964年
- t⑰ 白髪一雄  
《小豆島風景  
(1950年頃のスケッチ)》  
1950年頃

## 「白髪一雄」発信プロジェクト

- S⑩《難航》  
1949年  
尼崎市蔵
- S⑩《妖家具》  
1952年  
尼崎市蔵
- S⑩《本能の展開》  
1952年  
個人蔵
- S⑩《流脈1》  
1953年  
尼崎市蔵
- S⑩《文B》  
1954年  
尼崎市蔵
- S⑩《Xのまわりを指で強く  
押し下さい》  
1955-56年  
個人蔵(公益財団法人  
尼崎市文化振興財団寄託)
- S⑩《\*》  
1955-56年  
個人蔵(公益財団法人  
尼崎市文化振興財団寄託)
- S⑩《無題》  
1959年  
尼崎市教育委員会  
(尼崎市立成文小学校)蔵
- S⑩《天福星撲天雕》  
1963年  
尼崎市蔵
- S⑩《無題》  
1964年  
尼崎市教育委員会  
(尼崎市立竹谷小学校)蔵
- S⑩《大威徳尊》  
1973年  
尼崎市蔵
- S⑩《文殊菩薩讀》  
1975年  
個人蔵
- S⑩《密呪》  
1975年  
尼崎市蔵
- S⑩《群青》  
1985年  
尼崎市教育委員会  
(尼崎市立尼崎高等学校)蔵
- S⑩《うすさま》  
1999年  
個人蔵
- S⑩《天女の舞》  
2000年  
尼崎市蔵
- S⑩ 白髪一雄使用画材一式  
1975年  
個人蔵(公益財団法人  
尼崎市文化振興財団寄託)

## G 具体美術協会 映像資料

1957年、1959年2月  
大阪中之島美術館蔵、  
高松市美術館編

## 高松市美術館コレクション

- t⑩ 石田尚志  
《REFLECTION》  
2009年
- t⑨ 石田尚志  
《夏の絵》  
2010年
- t⑩ さわひらき  
《eight minutes》  
2009年
- t⑩ ログズギャラリー  
《DELAY\_2007.10.25》  
2009年
- 中国孔二
- N1 《無題》  
2010年頃  
長瀬夕子・長瀬雅之蔵
- N2 《無題》  
2010年頃  
中国雅勝・中国信子蔵
- N3 《無題》  
2010年  
中国雅勝・中国信子蔵
- N4 《無題》  
2012年  
白木聡・鎌田道世  
コレクション
- N5 《無題》  
2012年または2013年頃
- N6 《無題》  
2012年  
中国雅勝・中国信子蔵蔵
- N7 《無題》  
制作年不明
- N8 《無題》  
2013年  
NSコレクション
- N9 《無題》  
制作年不明  
中国雅勝・中国信子蔵
- N10 《無題》  
2014年  
中国雅勝・中国信子蔵
- N11 《無題》  
2014年  
中国雅勝・中国信子蔵
- N12 《無題》  
2015年頃  
中国雅勝・中国信子蔵
- N13 《無題》  
制作年不明  
中国雅勝・中国信子蔵
- N14 《無題》  
2015年頃  
中国雅勝・中国信子蔵

- N15 《無題》  
2012年または2013年頃  
中国雅勝・中国信子蔵
- N16 《無題》  
制作年不明  
中国雅勝・中国信子蔵
- N17 《無題》  
2015年頃  
中国雅勝・中国信子蔵
- N18 《無題》  
2015年頃  
中国雅勝・中国信子蔵
- N19 《無題》  
2015年頃  
中国雅勝・中国信子蔵
- N20 《無題》  
制作年不明  
中国雅勝・中国信子蔵

- N21 《無題》  
2015年頃  
中国雅勝・中国信子蔵
- N22 《無題》  
2015年  
中国雅勝・中国信子蔵

## 近藤亜樹

- K1 《HOUSE》  
2017年  
作家蔵
- K2 《春眠》  
2019年  
作家蔵
- K3 《僕は今夢の入り口にいる》  
2019年  
作家蔵
- K4 《眠り》  
2019年  
作家蔵
- K5 《マイベスト  
オールスターズ》  
2019年  
作家蔵
- K6 《ボカボカ》  
2019年  
作家蔵
- K7 《わが家にただいま》  
2019年  
作家蔵
- K8 《お父さんといっしょ》  
2019年  
作家蔵
- K9 《さえずり》  
2020年  
作家蔵
- K10 《いつもあの島をみていた》  
2020年  
作家蔵
- K11 《ただそこにあるという  
幸せ》  
2020年  
作家蔵

- K12 《約束》  
2020年  
作家蔵
- K13 《おしるし》  
2020年
- K14 《不死鳥》  
2020年  
作家蔵
- K15 《母子像》  
2020年  
作家蔵
- K16 《ふるさと》  
2020年  
作家蔵
- K17 《母を想うとき》  
2020年  
作家蔵
- K18 《きらきらひかるひと》  
2020年
- n んまつーポス パフォーマンス  
「空想オリンピック  
short version」上演風景  
(2020年7月23日 18:00～/  
高松市美術館エントランス  
ホール/約30分)

作品リスト

世界が絶賛した浮世絵師  
北斎展

北斎習作期～春朝の時代～

- 1. 青面金剛図  
掛物額装
- 2. 岩井半四郎のかしく  
錦絵細判
- 3. 市川団十郎の犬星由良之助  
錦絵細判
- 4. 嵐村次郎のせうせう  
錦絵細判
- 5. 二世瀬川富三郎の十内  
いもうと片貝  
錦絵細判
- 6. 金太郎と鷺と熊  
錦絵大判
- 7. 江戸見坂夜雨  
錦絵中判
- 8. 風流江戸百日の出  
錦絵中判
- 9. 新版浮絵浦島龍宮入之図  
錦絵大判
- 10. 七福神  
錦絵大判
- 11. 江都两国橋夕涼火花之図  
錦絵大判

北斎修業・壮年期～宗理・可候・不  
染居・北斎・戴斗の時代～

- 12-23. 新版浮絵忠臣蔵  
初段鶴ヶ岡、第二段目、  
第三段目、第四段目、  
第五段目、第六段目、  
第七段目、第八段目、  
第九段目、第十段目、  
第十一段目、第十二回  
錦絵間判、錦絵中判
- 24-54. 東海道五十三次  
絵本驛路鈴 表紙、序文  
序文、日本橋/品川、  
川崎/神奈川、程ヶ谷/戸塚、  
藤澤/平塚、大磯/小田原  
箱根/三島、沼津/原  
吉原/蒲原、由井/興津  
江尻/府中、駒子/岡部  
藤枝/葛田、金谷/日坂  
掛川/袋井、見附/濱松  
舞坂/荒井、白須賀/雙川  
吉田/御油、赤坂/藤川  
岡崎/池鯉鮒、鳴海/宮、  
桑名/四日市 石薬師/庄野、  
亀山/關、坂の下/土山  
水口/石邊、草津/大津  
京都/大内山  
中判二丁掛
- 55. 東海道五十三次名所一覽  
(鳥瞰図)  
錦絵大々判

風景画完成期  
～北斎改爲一の時代～

- 56-77. 富嶽三十六景  
神奈川沖浪裏、  
凱風快晴、凱風快晴(青刷り)、  
尾州不二見原、  
信州諏訪湖、甲州石班沢、  
常州牛堀、相州梅沢左、  
甲州三嶋越、  
東都浅草本願寺、  
駿州江尻、下目黒、登戸浦、  
甲州三坂水面、  
江都駿河町三井見世略図  
五百らかん寺さざみどう、  
隠田の水車、  
相州江の島、  
從千住花街眺望ノ不二、  
身延川裏不二、  
東海道金谷ノ不二、  
諸人登山、  
錦絵大判
- 78-82. 百物語  
こはだ小平二  
笑ひはんにや  
さらやしき  
お岩さん  
志うねん  
錦絵中判

摺物・戯画・鳥羽絵

- 83. よつや十二そう  
錦絵間判(洋風画)
- 84. くだんう志がふち  
錦絵間判(洋風画)
- 85. ぎやうとくしほはまよりの  
ぼとのひかたをのぞむ  
錦絵間判(洋風画)
- 86. 羽根田弁天之図  
錦絵間判(洋風画)
- 87. 小野小町(文字絵)  
錦絵大判
- 88. 大伴黒主(文字絵)  
錦絵大判
- 89～90. 三国妖狐伝  
唐土尉王館の段、  
第一斑足王御てんのだん  
錦絵大判二枚続

91. 白象に唐女図(普賢菩薩見立て)  
錦絵大判(四枚続きの内一枚)

92. 鎌倉・江ノ嶋・大山  
新版往来双六  
錦絵大々判

93. 百人一首  
字波が糸とき 藤原繁行朝臣  
錦絵大判

94. 百人一首  
姥が恵とき 大中正能宣朝臣  
錦絵大判 95. 諸国瀧廻り  
木曾海道小野ノ瀑布  
錦絵大判

96. 諸国名橋奇覧  
山城あらし山吐月橋  
錦絵大判

97-99. 詩歌写真鏡  
李白、木賊苜、少年行  
錦絵長大判

100. 渡辺の源吾綱・  
猪の熊入道雷雲  
錦絵大判

101. 風流おどけ百句  
小判四枚

102. 鳥羽絵 駕籠かき  
錦絵中判

103. 日の出  
横長判摺物

104. 母と子供(扇)  
横長判摺物

105. 見立二十四孝・田毎月丸  
摺物

106. 葛五・歌仙・小野小町  
摺物

107. 母娘  
横長判摺物

108. 通人拳遊び  
摺物

109. 松茸狩り二美人  
摺物

110. 十千の内 千金の春  
小判摺物

111. 馬尽 駒草蒲  
摺物

112. 唄物尽し図(歌麿ほか合作)  
横長判摺物

113. 三囲神社を望む  
摺物

114. 七福神見立  
摺物

北斎漫画

115. 北斎漫画・十五編

116. 富嶽百景・三編

肉筆画

117. 北斎自画像  
紙本着色

118. おいらん道中図  
紙本着色

119. ほうき星  
紙本着色

120. 西行図  
紙本墨書

121. 海老に炭図  
絹本着色

122. 三蝶の図  
絹本着色

北斎とその弟子たち  
～版画・摺物～

123. 昇亭北寿  
上総九十九里地引綱  
大漁撰正写之図  
錦絵大判

124. 魚屋北溪  
諸国名所 上州三国越不動峠  
錦絵横判

125. 蹄齋北馬  
花見の図  
横長判摺物

126. 柳々居辰斎  
六郷渡  
錦絵大判

127. 藤亭北紫  
行楽の図  
錦絵大判

128. 葛飾北島  
摂州大浦浦平家怨霊頭の図  
錦絵大判三枚続

129. 葛飾北洋  
新町中扇屋瓜生野太夫  
若野 枝折  
錦絵大判

130. 柳川重信  
松葉屋代々山  
錦絵大判

131. 柳川重山  
風流窓の月  
錦絵大判

132. 影齋北曜  
松本幸四郎  
錦絵細判

133. 齋寛鷲  
春日神殿鑄馬之写  
大々判摺物

134. 岳亭春信(五岳)  
大阪天保山夕の景  
錦絵大判

135. 春好齋北洲  
『妹背山婦女庭訓』  
金輪五郎今国(中村歌右衛門)、  
おみわ(嵐小六)  
錦絵大判

136. 幸齋拱一  
油坊主の故事  
角判摺物二枚続

北斎とその弟子たち  
～肉筆画～

137. 蹄齋北馬  
年始あいさつ廻りの芸者  
絹本着色

138. 蹄齋北馬  
おんな十二態(十二図)  
絹本画帳

139. 葛飾北明  
手紙を読む美人図  
紙本着色

140. 葛飾北鼎  
手鏡を持つ美人図  
絹本着色

141. 抱亭五清  
手鏡を見る女  
絹本着色

142. 柳々居辰斎  
太夫道中  
絹本着色

143. 葛飾北子 花魁 絹本着色	北斎に魅せられた パリの浮世絵師 アンリ・リヴィエール	高松コンテンポラリー アート・アニヴァーサリー vol.09 時ときき想像	i3-4 《私は初めてみた光を 覚えていない》 2014 - 19年 東京都写真美術館蔵
144. 抱亭北齋 五月節句幀 紙本着色	154-191. アンリ・リヴィエール エッフェル塔三十六景 1 「扉絵」 2 「エッフェル塔の建築現場」 3 「建造中のエッフェル塔 トロカデロからの眺め」 4 「塔の上部で」 5 「ペーターベン街」 6 「グルネルの菜園より」 7 「サン・ペール橋より」 8 「コンフェランス河岸より」 9 「ノートル・ダム寺院より」 10 「クリシー大通りより」 11 「ボワン・ドゥ・ジュール 波止場から」、 12 「セーヌ川の祭、7月14日」 13 「パッシー河岸より」 14 「ラマルグ街より」 15 「ロシュアール街より」 16 「パッシー河岸より、雨」 17 「パトー・ムーシュ (遊覧船)にて」 18 「グルネル河岸より」 19 「アベス街より」 20 「グルネル橋より」 21 「屋根の上」 22 「プーローニュの森より」 23 「コンコルド広場より」 24 「シーニュ島より」 25 「塔より」 26 「オーステルリッツ橋より」 27 「フレミエの大鹿の後ろ より(トロカデロ)」 28 「ジャヴェル河岸より (転轡手の小屋)」 29 「バ・ムードン、古い 共同洗濯場」 30 「塔の配管工」 31 「パッシー・シャルボニエ 河岸より」 32 「バ・ムードン駅より」 33 「棧橋より」 34 「トロカデロの公園より、秋」 35 「川船」 36 「塔のペンキ塗り」 リトグラフ・紙	所属先：記載のないものは作家蔵 蝸牛あや k 1 《青》 2020年 k 2 《讃歌》 《黄》《紅梅》《銀》《月草》 《緑青》《縹》《青》《銀灰》 《緋》《薔薇》《藤》《桔梗》 2016-20年 k 3 《雪》 2013年 k 4 《王国》 2019年 k 5 《王国II》 2020年 k 6 《女》 2018年 k 7 《女II》 2020年 k 8 《星々》 2020年 k 9 《星々II》 2020年 k 10 《光の石》 2015年 k 11 《蝶》 2014-20年 (1点のみ個人蔵) k 12 《夜の舟》 2017年 k 13 《青》 2020年 井上佐由紀 i1 《意思のない生物》 2009-10年/2010-18年 i2 《くりかえし》 2011年/2012-13年 i3-1 《私は初めてみた光を 覚えていない》 2011年/2018年 2014 - 19年 20点 2014/2019年 10点 2015/2019年 2018/2019年 東京都写真美術館蔵 i3-2 《私は初めてみた光を 覚えていない》 2014 - 19年 東京都写真美術館蔵 i3-3 《私は初めてみた光を 覚えていない》 2018年	後藤映則 g1 《NUMBERS #01》 2018年 高松市美術館 g2 《ENERGY #01》 2018年 g3 《Untitled》 2020年 g4 《CROSSING #04》 2020年 g5 《CROSSING #01》 2016年 g6 《Rediscovery of anima》 2018年 g7 《壁画の牛》 2020年 保井智貴 y1 《sign》 2016年 MA2gallery 蔵 y2 《Recalling Spring》 2012年 y3 《pillar of light》 2019年 y4 《Misty》 2019年 y5 《Next》 2020年 y6 《small cube》 2019年 y7 《left》 + 《光のつみき》 2019年、2019年 y8 《from Misty》 2019年 y9 《to Misty》 2019年 y10 《A of Misty》 2019年 y11 《まちにある家という彫刻》 2020年 y12 《私と庭、家と町、 あなたと何か》 2020年 大西康明 《虚実の距離》 2020年
145. 鶴雲亭北山 雪の情景 紙本着色			
146. 葛飾為斎 赤穂浪士 紙本着色			
147. 蜂房秋鯉 遊女 絹本着色			
148. 葛飾遊馬 柳下芸者 絹本着色			
149. 葛飾逸馬 立美人 絹本着色			
150. 葛飾北鷹 鐘馗(画稿) 紙本・墨画			
151. 高井鴻山 もののけ 紙本・墨画			
152. 魚屋北溪 新春門松の前の花魁 絹本着色			
153. 葛飾北雲 羽根つき 絹本着色			
	190-191. アンリ・リヴィエール 序文 リトグラフ・紙		
	192. アンドレ・マルタン エッフェル塔(写真集)		

## 作品リスト

### 野口哲哉展 —THIS IS NOT A SAMURAI

所属先：記載のないものは作家蔵

#### 第1章 IN THE ARMOUR ～鎧の中へ～

1. 作者武拾四歳寿像  
2004年
2. Heart shot  
2019年
3. Dead sad head  
2019年
4. 黒漆塗鯉形兜  
2013年
5. 金箔押桃形兜  
2009年
6. Phantom of a helmet  
2011年
- 7-9. ～ Japanese armour variation  
加賀具足之事～加賀具足図  
2012年 ほか2点
10. SAMURAI WING  
2013年
11. サムライ・スタンス  
～武士のみちたる姿～  
2013年
12. Red Man  
2008年
13. The Hanged Man  
(吊るされた男)  
2008年
14. lady beetle  
2016年
15. 小武人 肘掛様態像  
2017年
16. Three Wise Monkeys  
2015年
17. Folding fan -扇-  
2016年
18. リーフ  
2017年
19. Small sweet passion  
～南北朝の花～  
2018年
20. THE DEER -鹿-  
2016年
21. The gradation  
-河津伊豆守祐邦像-  
2014年
22. Shoulder bag and  
Sneaker and SAMURAI  
2013年
23. small & Giant  
2012年
24. Traveler ～旅する侍～  
2013年

25. SAMURAI BOX  
2013年
26. after the rain  
2013年
- 第2章 REAL IN UNREAL  
～仮想現実の中で～
27. Talking Head  
2010年
28. Sleeping Head  
2010年
29. 着甲武人自転車乗車出陣影  
2008年
30. ホバリングマン浮遊図  
2008年
31. Cat-walk 2020  
2020年  
高松市美術館
32. Cat-option 1  
2020年
33. Cat-option 2  
2020年
34. 猫寿像  
2008年
35. 猫鑑  
2008年
36. シャネル侍着甲座像  
2009年
37. 紗鎌家伝来青図(部分)  
2009年
38. シャネル紋入二枚胴具足図  
2009年
39. シャネル侍着甲座像  
2009年
40. Rabbit Type  
2008年
41. 誰も喋ってハイケナイ  
2008年
42. Rocket Man-hommage to  
miniature model-  
2009年
43. Rocket Man -hommage to  
miniature model-  
パッケージ原画  
2009年
44. THE EGG MAN -hommage to  
miniature model-  
2012年
45. THE EGG MAN -hommage to  
miniature model-  
パッケージ原画  
2012年
46. Target Marks 1580 - 1610  
2009年

47. Thing of the operation  
稼働する事  
-Haramaki Style  
紫系威腹巻 筋兜鉢付-  
2010年
48. WHO ARE YOU  
～木下利房と仮定～  
2020年
49. 魅  
2020年
50. 風船追物語図  
2017年
51. 鞆廻図  
2019年
52. 鞆廻乗者図  
2019年
53. 武人幽宙図  
2019年
54. Traveller  
2019年
55. samurai armour and nice  
driving yellow  
2014年
56. samurai armour and nice  
driving silver  
2014年
- 第3章 ARMoured DREAM  
～鎧を着て見る夢～
57. Sleep Away  
2015年
- 58-60. Package of Past man  
-armour Black "NIMAIDO"  
and Big "SASHIMONO" 17C style  
2012年 ほか2点
61. 二人の清正  
2012年 ほか3点
65. BLACK MAN & HIS OPTION  
2016年
66. 小人連帯像  
2017年
- 67-71. Samurai Wing 2014 (Type A)  
2014年 ほか4点
- 72-79. ビット・マン 鉢巻  
2016年 ほか7点
73. ビット・マン 鹿角  
2016年
74. ビット・マン 番瓦  
2016年
75. ビット・マン 一之谷  
2016年
76. ビット・マン 金烏帽子  
2016年
77. ビット・マン 貝  
2016年
78. ビット・マン 熊耳  
2016年

79. ビット・マン 金桃形  
2018年
80. PERFECTION ARMOUR-具足-  
2016年
81. GREAT ARMOUR -大鎧-  
2016年
82. OLD MAN  
2016年
83. small sleep  
2019年
84. 騎乗昇空図 -SAMURAI AND  
BALLOON-  
2019年
- 第4章 TRIP TO THE WORLD  
～別世界旅行～
85. Pointed Helm & White Goose  
「限定9個のエディション」  
2015年
86. Pointed Helm  
2015年
87. The Goose  
2015年
88. Night Drive  
2015年
89. The Yellow Coat  
2015年
90. The Night Watch  
2015年
91. Square and Triangle  
2015年
92. Big Man  
2015年
93. 断簡(Fragment)  
2015年
94. 鹿角<antler>  
2015年
95. 紳士(Gentleman)  
2015年
96. 双子(Gemini)  
2015年
97. Iron King  
2015年
98. Lunch Viking  
2015年
99. Crown Helm  
2015年
100. Ring Helm  
2015年
101. Phantom of Helmet series  
"Pointed Helm and White  
Goose"  
2015年
102. Feather Helm  
2015年
103. Samurai Wing 2015 (織)  
2015年

104. Samurai Wing 2015 (蜻蛉)  
2015年
105. The Ghost  
2015年
106. Phantom of Helmet series  
"Iron Face"  
2015年
107. 別世界旅行  
2015年
108. AD1565 ～音楽の寓意～  
2017年
109. AD1620 ～筋兜を被った男～  
2017年
110. AD1660 ～日本の兜を  
被ったレンブラント～  
2017年
111. AD1230 ～紫裾濃白妻取の  
鎧と雀～  
2017年
112. AD1430 ～藍革肩赤威の  
鎧に同毛の兜～  
2017年
113. AD1450 ～朱波紋入綾包の  
胴丸～  
2017年
114. AD1490 ～色威の腹巻と  
フランドルの景色～  
2017年
115. AD1530 ～鹿角の立物と  
水玉紋入りのカフタン～  
2017年
116. AD1555 ～三日月の兜と  
釣鐘草～  
2017年
117. AD1637 ～大波の前立兜～  
2017年
118. 17C ～濁朱の大鹿角～  
2017年
119. 17C ～大水牛角の兜と  
南蛮胴～  
2017年
120. 17C ～音楽の寓意～  
フェルメールに基づく  
2017年
121. AD1400 ～地学の寓意～  
2017年
122. AD1510 ～美食の寓意～  
2017年
123. AD1585 ～赤母衣と空～  
2017年
- 124-128. 「Helm Pinakothek  
- ヘルムピナコテーク -」・  
細巻貝の兜を被った男  
2017年 ほか4点
129. 21st Century Light Series  
～ Classic Domaru ～  
2020年
130. 21st Century Light Series  
～ Black Armour ～  
2020年
131. 21st Century Light Series  
～ Red Armour ～  
2021年
132. 21st Century Light Series  
～ The Tap ～  
2020年  
高松市美術館
133. 21st Century Light Series  
～ The Slide ～  
2020年
134. 21st Century Light Series  
～ Yellow-green Armour ～  
2021年
135. PANDA IS COMING  
2020年
136. THE SWING  
2020年
- 第5章 THIS IS NOT A SAMURAI  
～鎧を纏うひとびと～
137. cheap wings  
2019年  
秋水美術館蔵
138. 白虎  
2010年
139. Thing of the operation  
稼働する事  
-Engineering Armour  
工学の鎧-  
2010年
140. Think of Operation  
- 桃山の鎧 -  
2011年
141. Think of Operation  
- 工学の鎧 -  
2011年
142. THE RED MAN 2013  
2013年
143. CLEVER BIRD  
2016年
144. Avatar 1 - 現身 -  
2016年
145. Avatar 2 - 現身  
2016年
146. AD16 末 ～唐冠の兜～  
2017年
147. AD17 初 ～海洋生物の兜～  
2017年
148. Strawberry head and Black  
bottom  
2019年
149. POCKET  
2017年
150. TRANSMISSION  
～ジャーマン・スペシャル～  
2017年
151. ARMOUR STYLE ～備前風～  
2017年
152. IRON ARMOUR ～雑賀風～  
2018年
153. Action Man 無形之弓  
2016年
154. Action Man 大地讃頌  
2016年
155. Action Man 太陽賛美  
2016年
156. Action Man 銅之身体  
2016年
157. Action Man 泰然自若 - 割蛤 -  
2016年
158. HUMAN RACE  
2018年
159. DOG HOOD  
2016年
160. Un samurai vient  
2012年
161. Armoured Dream  
2015年
162. Little man sleeping  
2019年
163. Moon and Star  
2011年
164. ビッグホーン  
2017年
165. deep sleep  
2016年
166. STRIPE  
2018年
167. Clumsy heart  
2018年
168. black armour & Fronteer  
2019年
169. Tiger tail  
2019年  
秋水美術館蔵
170. THE MET  
2020年
171. Grand Helm & Cheap  
Japanese  
2019年
172. ONE'S SOME LIE  
2019年
173. BIAS  
2019年
174. WOODEN HORSE  
2020年  
高松市美術館
175. PRISM  
2019年
176. Mask -The iron-  
2019年
177. Mask -The red-  
2019年
178. FACE MASK  
2020年
179. knave of heart  
2020年
180. Convex mirror 凸面鏡の画像  
2020年

## 第1期常設展

- ◆会期 2020年4月7日(火)～6月21日(日) 49日間  
※4/22(水)～5/10(日)臨時休館 17日間
- ◆入場料 一般200円、大学生150円、  
65歳以上・高校生以下無料
- ◆入場者数 1,549人
- ◆担当学芸員 毛利直子



(パンフレット/常設1)



(パンフレット/常設2)

### 【常設展示室1】

#### 美術にみる動物たち Animals in Art Works

美術に現れた動物たちを通して、芸術表現の多様性や豊かさを楽しむことができる。実在の動物はもちろんのこと、想像上の動物「麒麟」など24人の美術家による作品を展示。特別展「絵本絵画ニャー！」に関連して企画。

No.	作家名	作品名	制作年	No.	作家名	作品名	制作年
1.	浅井裕介	青犬	2015	14.	菅井 汲	無題	1954
2.	粟津 潔	花札想	1981	15.	鈴木 治	仔馬像	1983
3.	安藤正子	竜の背中	2007	16.	田名網敬一	『常盤松』シリーズ	1986
4.	磯辺行久	WORK-63	1965	17.	土屋仁応	麒麟	2014
5.	猪熊弦一郎	鳥と少女	1939	18.	鯉越春湖	紅樹林	1973
6.	猪熊弦一郎	赤い服と猫	1949	19.	松井智恵	LABOUR I III V	1995
7.	岡本信治郎	アリスの猫	1974	20.	松尾直樹	ねずみの冒険	1985
8.	岡本信治郎	アリスの猫	1974	21.	丸山直文	bees & wind	2006
9.	小野耕石	Inducer.03	2016	22.	三沢厚彦	Dog 2004-02	2004
10.	桂 ゆき	鼻	1967	23.	八木一夫	ライオン	1964
11.	鎌倉秀雄	砂漠へ	1985	24.	山尾薫明	白牛と女	1952
12.	鴻池朋子	皮絵 オオカミ	2015	25.	山口 薫	荒寥・焼野のきじ	1959
13.	工藤哲巳	マザー・コンプレックス・パラダイス	1980	26.	脇田 和	解体する五つの顔と鳥	1960

### 【常設展示室2】

#### 工芸にみる鳥と蝶 Birds and Butterflies in Lacquerware

飛翔する「鳥」と「超」をモチーフにした12作家28点の漆芸作品を展示。

No.	作家名	作品名	制作年	No.	作家名	作品名	制作年
1.	藤川蘭斎	存清 饌盒		15.	佐々竹僊	堆漆香盆 花物之図	1943
2.	石井馨堂	堆朱蜀葵山鵲圖香盆		16.	佐々竹僊	狹貫彫手筥 瑞雲鳴鳳之圖	1951
3.	鎌田稼堂	堆朱月茶入盒		17.	磯井正美	蒔罽存清 林間爽風 箱	1987
4.	香川宗石	讃岐漆 存清花蝶紋 色紙箱	1965頃	18.	磯井正美	蒔罽 むらさき 箱	1990
5.	磯井如真	存清六角香盆	1942頃	19.	磯井正美	蒔罽 あまちゃ 箱	1998
6.	磯井如真	蒔罽 香盆 瑞鳥	1947頃	20.	磯井正美	蒔罽 梅花吸蜜 箱	2003
7.	磯井如真	鶴 香盆	1939	21.	磯井正美	蒔罽 梅花冬蝶 水指	2004
8.	磯井如真	雉子 香盆	1940	22.	太田 備	藍胎蒔罽 色紙箱	1974
9.	磯井如真	彫漆蒔罽 色紙宮 梅二八哥鳥	1946	23.	太田 備	藍胎蒔罽 茶箱 春風	1998
10.	磯井如真	堆黒 香盆 麒麟之圖	1946	24.	太田 備	藍胎蒔罽 茶箱 浅春	2004
11.	磯井如真	彫漆 硯箱 合唱之図	1954	25.	大西忠夫	宵 文筥	1950
12.	磯井如真	蒔罽 干菓子盆 遊鳥之圖	1963	26.	明石朴景	群蝶夢スクリーン	1959
13.	音丸耕堂	彫漆七面鳥香盆	1928	27.	明石朴景	春秋圖日	1979
14.	音丸耕堂	彫漆蘇鐵文食籠	1948	28.	真子実也	こころみ	1962

## 第2期常設展

- ◆会期 2020年6月27日(土)～9月22日(火・祝) 76日間  
 ◆入場料 一般200円、大学生150円、65歳以上・高校生以下無料  
 ◆入場者数 4,382人  
 ◆担当学芸員 尾形絵里子



(パンフレット/常設1)



(パンフレット/常設2)

## 【常設展示室1】

## New Collection ~現代アート編~ New Collection of Contemporary Art

当館独自の展覧会で展示された作品を多く収蔵した。4作家11作品を展示。

No.	作家名	作品名	制作年	No.	作家名	作品名	制作年
1.	大西伸明	Glass	2018	7.	照沼敦朗	ミエナイノゾミちゃんとユウモクセイ	2018
2.	大西伸明	Stepladder	2018-2020	8.	照沼敦朗	ミエテルノゾム君とユウモクセイ	2019
3.	大西伸明	Plumment	2018-2020	9.	宮永愛子	ポストー景色	2010
4.	田淵太郎	Barbaric White B II	2017	10.	宮永愛子	waiting for awakening -wall clock-	2019
5.	田淵太郎	Barbaric White P I	2019	11.	宮永愛子	lens-sanukite-	2019
6.	照沼敦朗	ミエテルカー	2016				

## 【常設展示室2】

## New Collection ~漆芸編~ New Collection of Lacquerware

個人所蔵家より寄贈を受けた漆芸作品19作家42点を展示。

No.	作家名	作品名	制作年	No.	作家名	作品名	制作年
1.	玉緒蔵黒	堆黒香盒		25.	池内荷芳	彫漆 虫之囀 香盒	
2.	川上石雲	讃岐彫 堆黒香盒 忘貝圖	1931	26.	池内荷芳	堆黒甲虫香盒	1932
3.	石井馨堂	紅花緑葉 桐鳳凰之圖 香盒	1928	27.	池内荷芳	白檀材 翁面帶止	1939
4.	石井馨堂	堆黒香盒		28.	池内荷芳	彫漆 梅之圖平棗	
5.	石井馨堂	堆朱香盒 葦蟹之図	1927	29.	池内荷芳	蒟醬 金魚文小箱	
6.	石井馨堂	堆黒香盒		30.	池内荷芳	洋蘭文小筥	1959
7.	石井馨堂	讃岐彫		31.	岡部敬象	彫漆茶入	
8.	石井馨堂	堆朱香盆	1924	32.	岡部敬象	彫漆蓋置	
9.	高橋皖山	手向山圖 堆黒香合		33.	岡部敬象	堆漆香合	
10.	高橋皖山	堆黒香盒	1918	34.	北岡省三	彫漆渦文香合	
11.	森象堂	堆朱香合 竹之図		35.	神崎軒水	堆朱 華甲 香盒	1921
12.	森象堂	蒟醬 棗		36.	神崎軒水	堆朱 魚籃観音 香合	1921
13.	森象堂	狭貫彫 香合 蝶之囀		37.	神崎軒水	堆黒 風月三昆 香盒	
14.	鎌田稼堂	堆朱 唐子香合		38.	山本象石	小筥	1954
15.	鎌田稼堂	忘貝 香合		39.	逸見東洲	堆黒 蠟螂 香合	
16.	鎌田稼堂	堆漆 若草 香盒		40.	内藤俊一	裏 菊桐	
17.	鎌田稼堂	鶴 香盒		41.	内藤俊一	堆朱 立田香盒	
18.	鎌田稼堂	堆黄 海老 香合		42.	富山昇斎	木彫棗	
19.	佐々竹庵	讃岐彫堆黒 肉池 風月三昆之圖					
20.	音丸耕堂	堆黒琳和靖香合					
21.	音丸耕堂	彫漆 茶入 雲鶴					
22.	山下光雪	蟹香合					
23.	山下楊哉	堆黒香合 蒟臺					
24.	浅田真水	群鶴 香合					

◆大谷早人重要無形文化財「蒟醬」保持者追加認定に伴う記念展示

No.	作家名	作品名	制作年
	大谷早人	藍胎蒟醬 文箱	1989
	大谷早人	藍胎蒟醬箱 網代文	1997
	大谷早人	藍胎蒟醬 十二角食籠 蝶蜻蛉	2013

### 第3期常設展

- ◆会期 2020年9月26日(土)～12月27日(日) 80日間
- ◆入場料 一般200円、大学生150円、  
65歳以上・高校生以下無料
- ◆入場者数 6,113人
- ◆担当学芸員 橘美貴

- ◆特設Webサイト  
URL : <https://josetsu202003.takamatsu-art-museum.jp/>  
デザイン：福田賢治(有限会社デジタルモリス)  
大木裕之《木(ム) 120311》を上映



(パンフレット/常設1)



(パンフレット/常設2)

#### 【常設展示室1】

#### 不安とともに Facing the uncertainties

美術作品にあらわされた「不安」に着目。12作家21点の作品を紹介。

No.	作家名	作品名	制作年	No.	作家名	作品名	制作年
1.	大木裕之	木(ム) 120311	2003～2011	12.	佐藤 敏	カブトマン	1971
2.	O JUN	津波	2010	13.	佐藤 敏	ビットママ	1971
3.	風間サチコ	バベル	2019	14.	西村陽平	伝道之書V知識を増す者は憂いを増す	1977
4.	木村光佑	現在位置ー存在A	1971	15.	前田常作	大光(その一)	1964
5.	木村光佑	現在位置ー存在C	1971	16.	前田常作	快樂の園	1959
6.	木村光佑	現在位置ーフレーミングA	1971	17.	前田常作	人間星座(丸)	1962
7.	木村光佑	現在位置ーフレーミングB	1971	18.	町田久美	深夜帯	2005
8.	草間彌生	無限の網 H.H	1961	19.	町田久美	山	2011
9.	草間彌生	Airmail Accumulation, Untitled	1961	20.	ダミアン・ハースト	最後の晚餐	1999
10.	草間彌生	Untitled	1961	21.	フランシス・ベーコン	Triptych (3連画) 1974-77	1974
11.	合田佐和子	燃える街	1973				

#### 【常設展示室2】

#### うるみ会～明日の漆芸をめざして～ a craft team URUMI-kai Toward the future of lacquer art

讃岐漆芸の祖である玉椿象谷から現代活躍する人間国宝に至る讃岐漆芸の系譜を、所蔵品から選りすぐった26作家の作品35点により紹介。

No.	作家名	作品名	制作年	No.	作家名	作品名	制作年
1.	明石朴景	蒔罽 水仙華紋篋	1947	10.	窪田良次	牛の図	1958
2.	明石朴景	蒔罽紅梅紋篋	1948	11.	酒井敬之助	器	1957
3.	明石朴景	雕漆 菖蒲華紋篋	1952	12.	高橋静道	初秋堆朱色紙罽	1946
4.	明石朴景	漆 松樹 屏風	1954	13.	真子実也	漆器榜彫蒔罽 貝文 箱	1949
5.	大島唯史	白峰華 篋	1952	14.	真子実也	或る日	1961
6.	大島唯史	深秋図 飾盆	1957	15.	真鍋光男	蘭の花 茶ひつ	1953頃
7.	大西忠夫	宵 文罽	1950	16.	三村比呂志	律	
8.	大西忠夫	宋磁	1959	17.	力丸卓司	遠い夜の囁	1997
9.	加島信夫	アマリリス 小屏風	1955		参考資料	加島信夫筆「うるみ会記録」	

## 第4期常設展

- ◆会期 2021年1月5日(火)～3月28日(日) 70日間  
「画家の痕跡」1月5日(火)～3月10日(水)  
「第38回日本伝統漆芸展」3月13日(土)～3月28日(日)  
※3月11日(木)、3月12日(金)は展示替えの為、休室。
- ◆入場者料 一般200円、大学生150円、  
65歳以上・高校生以下無料
- ◆入場者数 4,138人(第38回日本伝統漆芸展入場者数を含む)
- ◆担当学芸員 石田智子

- ◆イベント  
林葵衣ワークショップ「唇拓を体験してみよう！」(p.112)  
林葵衣公開制作(p.113)
- ◆ギャラリートーク  
日時：1月16日(土) 14:00～  
講師：石田智子  
参加者数：5人



(パンフレット/常設1)



(パンフレット/常設2)



(伝統漆芸展)

### 【常設展示室1】

#### 画家の痕跡 Artists' traces in their works

作品を芸術家たちの痕跡として捉え、動きの軌跡が読み取れる作品を紹介。さらに、林葵衣をゲスト作家に招き、音を“唇拓”で表現する作品も紹介。

No.	作家名	作品名	制作年	No.	作家名	作品名	制作年
1.	李禹煥	Drawing	1966	10.	加藤泉	無題	2008
2.	李禹煥	Drawing	1967	11.	木村忠太	アムステルダム港	1976
3.	李禹煥	刻みより No.97	1972	12.	木村忠太	ミモザとパン	1958
4.	根岸芳郎	88-7-23	1988	13.	小川信治	恋文	2006
5.	大竹伸朗	A.シュワップ #1	1989	14.	村上隆	Red Rope	2001
6.	白髪一雄	天威星雙鞭呼延灼	1964	15.	大西伸明	shoha burokku	2008
7.	村岡三郎	空化-未確認の記録	1971	16.	鳴剛	団地 T&T	1974
8.	斎藤義重	作品	1962	17.	林葵衣	Phonation - palindrome -	2021※
9.	伊藤存	森	2006				※公開制作作品

### 第38回日本伝統漆芸展

日本伝統漆芸展は、伝統の継承と現代生活への応用を目指し、日本伝統工芸展の漆芸部会展として開催。第38回となる本展は、東京・輪島・高松・広島・熊本の5会場を巡回し、受賞作品8作品を含む入選作品全87点を展示した。

- ◆会期 2021年3月13日(土)～3月28日(日)
- ◆主催 高松市美術館、公益社団法人日本工芸会
- ◆後援 文化庁・香川県香川県教育委員会・朝日新聞社、公益財団法人岡田茂吉美術文化財団、四国新聞社、NHK高松放送局、KSB瀬戸内海放送・OHK岡山放送、RNC西日本放送・RSK山陽放送、TSCテレビせとうち
- ◆入場者数 1,735人

### 【常設展示室2】

#### 讃岐漆芸に見る吉祥図 Auspicious omen motifs in Sanuki lacquer works

様々な吉祥図が見られる作品をその図様の由来や意味とともに紹介。

No.	作家名	作品名	制作年	No.	作家名	作品名	制作年
1.	藤川蘭齋	存清 饌盒	1890頃	17.	大谷早人	藍胎蒔罨 十二角食籠 蝶蜻蛉	2013
2.	石井馨堂	紅花緑葉 桐鳳凰之圖 香盒	1928	18.	音丸耕堂	彫漆蘇鐵文食籠	1948
3.	岡田章人	彫漆鳳凰文鉢	1937	19.	香川宗石	讃岐漆 存清花蝶紋 色紙箱	1965頃
4.	磯井如真	存清六角香盆	1940	20.	磯井正美	蒔罨存清 林間爽風箱	1987
5.	磯井如真	瑞鳥蒔罨香盆	1947頃	21.	磯井正美	蒔罨 むらさき箱	1990
6.	佐々竹庵	狭貴彫 手筈 瑞雲鳴鳳之圖	1951	22.	磯井正美	蒔罨 紫 水指	1990
7.	玉椿象谷	印宮		23.	磯井正美	蒔罨 梅花吸蜜箱	2003
8.	高橋皖山	福祿壽 牡丹華之圖 堆黒香盒		24.	磯井正美	蒔罨 梅花冬蝶 水指	2004
9.	高橋皖山	風月三毘 福祿壽 紅華緑葉香合	1919	25.	玉椿象谷	狭貴彫堆黒 松ヶ浦香合	1851
10.	森象堂	狭貴彫 紅花緑葉茶量 福自天来之圖	1931	26.	玉椿象谷	堆朱香合	1910頃
11.	石井馨堂	狭貴彫 堆黒 香卓	1931	27.	音丸耕堂	堆黒讃岐富士香合	1929
12.	石井馨堂	狭貴彫 堆朱堆黒硯屏	1932	28.	鎌田稼堂	堆黒 蘆蟹 香盒	1947
13.	森象堂	紅花緑葉香合 福寿天来図	1966	29.	磯井正美	蒔罨月あかり食籠	1973
14.	石井馨堂	紅花緑葉香盆 水草虫之図	1928	30.	太田加津子	藍胎蒔罨 盛器 波文	1986
15.	磯井如真	蜻蛉之圖 香盒	1937	31.	山下義人	蒔罨色紙箱 波がさね	1988
16.	鎌田稼堂	堆黒 蜻 香盒					

(1) 新収蔵作品

収集対象を香川の美術と戦後の美術に大きく分け、香川美術では伝統的な漆工と金工に重点を置いて収集し、戦後の美術としては、油彩画と彫刻を収集することとし、国内作家については、1945年以降の現代美術に的を絞り、外国作家は日本の戦後美術史の流れに多大な影響を与えた20世紀初頭から現代にいたる作品を版画で系統的に収集する。

新収蔵作品点数						
区分	洋画	日本画	彫刻	工芸	書	計
購入	8	—	1	1	—	10
寄贈	—	—	—	—	—	—
計	8	—	1	1	—	10

収蔵作品総点数						
区分	洋画	日本画	彫刻	工芸	書	計
購入	651	24	238	395	12	1,320
寄贈	150	22	32	178	4	386
計	801	46	270	573	16	1,706

令和2(2020)年度新収蔵作品一覧

中国孔二

《無題》

2012-2013年頃  
油彩・カンヴァス  
194×162cm  
購入



中国孔二

《無題》

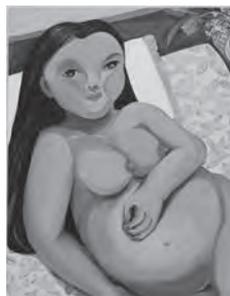
制作年不明  
油彩・カンヴァス  
45.6×33.3cm  
購入



近藤亜樹

《おしるし》

2020年  
アクリル・カンヴァス  
116.7×91cm  
購入



近藤亜樹

《きらきらひかるひと》

2020年  
アクリル・カンヴァス  
41×31.8cm  
購入



近藤亜樹

《HIKARI》

2015年  
ブルーレイ  
33分35秒、ed.10  
購入



野口哲哉

《Cat-walk 2020》

2020年  
アクリル・紙  
50.5×39.5cm  
購入



野口哲哉

《21st Century Light Series ~ The Tap ~》

2020年  
アクリル・紙  
9.2×13.8cm  
購入



野口哲哉

《WOODEN HORSE》

2020年  
ミクストメディア  
22×23×9.5cm  
購入



後藤映則

《toki - NUMBERS #01》

2017年  
ナイロン、プロジェクション  
8×30×30cm  
購入



磯井如真

《供養之図 衝立》

1926-1930年頃  
漆  
151.5×120×2.5cm  
購入



## (2) 貸出作品

<b>白馬のゆくえ 小林萬吾と日本洋画50年</b> 小林萬吾《自画像》	貸出先：香川県立ミュージアム	貸出期間：2020/4/11～6/7
<b>STARS展：現代美術のスターたち—日本から世界へ</b> 草間彌生《無題(金色の椅子のオブジェ)》 奈良美智《地雷探知機》(寄託作品)	貸出先：森美術館	貸出期間：2020/7/31～2021/1/3
<b>—インドと日本をつなぐ郷土の日本画家— 野生司香雪とサルナートの仏伝壁画展</b> 野生司香雪《屋島の暮色》	貸出先：香川県立ミュージアム	貸出期間：2020/9/1～9/6
<b>第9回奨学生と顕彰者による美術展</b> 太田加津子《藍胎蒔罫 盛器 波文》 太田 傳《藍胎蒔罫 食籠 朱と白》 山下義人《清海文箱 遥》 山下義人《蒔罫色紙箱 波がさね》 山下義人《蒔罫箱 くれない》	貸出先：香川県文化会館	貸出期間：2020/9/11～9/22
<b>三輪龍氣生展—行け、熱き陶の想いよ。</b> 三輪龍作《LOVE》	貸出先：山口県立秋美術館 浦上記念館	貸出期間：2020/9/12～12/20
<b>工藝2020</b> 山下義人《蒔罫箱「山笑う」》	貸出先：東京国立博物館	貸出期間：2020/9/21～11/15
<b>香川の蒔絵師展</b> 辻 照二《宝石箱》	貸出先：香川県文化会館	貸出期間：2020/9/26～11/3
<b>Connections—海を越える憧れ、 日本とフランスの150年</b> 森村泰昌《肖像(ヴァン・ゴッホ)》	貸出先：ポーラ美術館	貸出期間：2020/11/14～2021/4/4
<b>堆漆のわざ 中島光夫展</b> 中島光夫《堆漆 合せ菱文 短冊箱》	貸出先：香川県漆芸研究所	貸出期間：2020/11/20～12/20
<b>文化庁メディア芸術祭京都展</b> 池田亮司《Data.scan》 池田亮司《the transcendental( $\pi$ )[ $n^2-1-c$ ]》	貸出先：京都府京都文化博物館	貸出期間：2021/1/5～1/17
<b>詩情豊かな蒔罫の美 伊賀寛泰展</b> 伊賀寛泰《彩漆蒔罫飾箱 秋彩》	貸出先：香川県漆芸研究所	貸出期間：2021/1/13～2/17
<b>GENKYO 横尾忠則展</b> 横尾忠則《電話》	貸出先：愛知県美術館 東京都現代美術館 大分県立美術館	貸出期間：2021/1/15～4/11 2021/7/17～10/17 2121/12/4～2022/1/23

## (2) 貸出作品

## DOMANI・明日展

貸出先：国立新美術館

貸出期間：2021/1/30～3/7

春木麻衣子《either portrait or landscape 2》

春木麻衣子《either portrait or landscape 4

鬼頭健吾《tower》

花と植物のイメージ  
-自然界からのインスピレーション-

貸出先：高松市歴史資料館

貸出期間：2021/2/6～3/28

玉楮象谷《堆黒 香盒》

玉楮象谷《堆朱紅葵饌合》

文綺堂蘭斎(藤川蘭斎)《存清重箱》

文綺堂蘭斎(藤川蘭斎)《堆黒 平棗》

藤川秋郊《藍胎紅地堆黒菊花硯箱》

## (3) 図書

## 書籍

区分	図書	雑誌	逐次 刊行物	図録	計
購入	80	46	1	16	143
寄贈	40	108	114	367	629
計	120	154	115	383	772

(1) 鑑賞・ワークショップ

◆芸術士といっしょにおぼけをつくろう

「にぎにぎふにふにスクイーズおぼけ!」「おぼけランプをつくろう!」  
ハロウィン直近の日曜日に開催。風船に片栗粉を入れた、触感を楽しめるおぼけや、LEDランプで光るおぼけを作った。  
日時: 10月25日(日) ① 10:30~11:15、② 11:30~12:45、③ 13:00~14:15、④ 14:30~15:45  
講師: ①②モーリエール隆(芸術士)、③④松野礼子(芸術士)  
場所: 中2階こども+(こどもアートスペース)  
受講料: 500円  
参加者数: 延べ24人



◆ワークショップ「クリスマスカードをつくろう」

毛糸や色紙を使って、飛び出すクリスマスカードをつくった。  
日時: 12月20日(日) 13:30~15:00  
講師: 当館学芸員  
場所: 中2階ロビー  
対象: 小学生以上  
参加者数: 9人



子どものアトリエ

場所: 記載のないものは3階講座室

◆上野あづさ 子どものアトリエ「なんかすごい糸電話」

三密回避の時世を反映し、はなれていてもコミュニケーションがとれる糸電話をつくり、絵の具や色紙等で装飾した。  
日時: 8月16日(日) 10:00~12:00  
講師: 上野あづさ(美術家)  
受講料: 500円  
対象: 5歳~小学3年生(保護者同伴)  
参加者数: 8人



こども+(プラス)

子どもをはじめ、来館者が気軽にアートを楽しむことのできる空間として、リニューアルにより新設された「こども+(こどもアートスペース)」において、アートプログラムを開催。

◆イベント

「ふらっとアート」  
日時: 毎週木・土曜日 12:00~16:00  
企画: 川染奈緒(当館学芸員)

	開催期間	参加者数
1. 「ネコのお面をつくろう!」	4月~7月	79
2. 「カラフル☆ミストスプレーアート!」	8月	129
3. 「木版摺りに挑戦! / 北斎をマネてかいてみよう! / #高松市美術館三十六景」	9月~10月	469
4. 「風船おぼけをつくろう / びりびりおぼけをつくろう」	10月	26
5. 「ソーマストローをつくろう / 毛糸で色ぬり」	11月~12月	167
6. 「オーナメントをつくろう」	12月~1月	109
7. 「手形アートをつくろう!」	2月	158

計1,137人



2.



3.



5.



7.

## (2) 学校との連携

### ◆美術館で“見る・考える・話す・聴く”

アニュアル展の内容や美術館活用の紹介とともに、グループワークを通じた鑑賞を体験してもらった。授業活用のため、教員に限り当日は「無料鑑賞デー」とした。

※特別展「高松コンテンポラリーアート・アニュアル vol.09」関連

日時：11月15日(土) 13:00～15:00

参加者：高松市内等の教員

場所：1階講堂、2階展示室

参加者数：10人



### ◆第4期常設展示「ポケット学芸員」

第4期常設展示作品の「ポケット学芸員」音声ガイドを製作した。

※第4期常設展関連

日時：1月5日(火)～3月28日(日)

参加者：高松市立高松第一高等学校放送部

場所：1階常設展示室

参加者数：7人

### 美術館学習(中止)

サンクリスタル学習参加校のうちで、引き続き美術館での学習を希望する小学校を受け入れ(サンクリスタル高松ー美術館間の交通費を負担)、展覧会の団体鑑賞や施設見学、アートゲームなどの活動を行う。

※サンクリスタル学習等と連携させた美術館での鑑賞・施設学習については、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、実施されなかった。

## (1) 講演会

- ◆記念講演会「猫絵本の作り方 編集の現場から」  
※特別展「絵本原画ニャー！ 猫が歩く絵本の世界」関連 (p.83)
- ◆トークショー「絵本をつくるということ」  
※特別展「絵本原画ニャー！ 猫が歩く絵本の世界」関連 (p.83)
- ◆飯川雄大アーティストトーク「近くを拒む」  
※特別企画「飯川雄大 デコレータークラブ—知覚を拒む」関連 (p.85)
- ◆講演会「白髪一雄のフットペインティングの見どころ」  
※特別展「高松市美術館コレクション+身体とムービング」関連 (p.87)
- ◆記念講演会1「北斎、波瀾万丈九十年の人生」  
※特別展「世界が絶賛した浮世絵師 北斎展」関連 (p.89)
- ◆記念講演会2「模写して探る、北斎の技」  
※特別展「世界が絶賛した浮世絵師 北斎展」関連 (p.89)
- ◆アーティスト・トーク  
※特別展「高松コンテンポラリーアート・アニユアルvol.09」関連 (p.91)
- ◆記念鼎談「野口哲哉とは何か」  
※特別展「野口哲哉展—THIS IS NOT A SAMURAI」関連 (p.93)
- ◆記念講演会「野口哲哉、自作を語る」  
※特別展「野口哲哉展—THIS IS NOT A SAMURAI」関連 (p.93)

### まぶさび教室

篠原資明(当館館長)を講師とした館長講座「まぶさび教室」を開講した。

日時：毎回11:00～12:00  
対象：高校生以上  
場所：1階講堂  
受講料：無料

シーズン8「キャラクターの美術史」	開催月日	参加者数
レオナルド・ダ・ヴィンチ	6月6日(土)	38
ジョルジョ・デ・キリコ	7月4日(土)	45
ジャン・コクトー	8月1日(土)	43
アンディ・ウォーホル	9月5日(土)	42
村上隆と奈良美智	10月3日(土)	37
		計205人



シーズン8

シーズン9「九鬼周造と美の散歩」	開催月日	参加者数
いき	11月7日(土)	44
風流	12月5日(土)	32
情緒	1月9日(土)	25
日本	2月6日(土)	31
偶然	3月6日(土)	36
		計168人



シーズン9

## (2) ワークショップ

場所：記載のないものは3階講座室

### ◆ワークショップ「どんな猫ができるかな」(中止)

※特別展「絵本原画ニャー！猫が歩く絵本の世界」関連

日時：5月2日(土) 10:00～11:00

講師：きくちちき(出品作家)

場所：1階エントランスホール

対象：中学生以下

受講料：500円

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止

### ◆ワークショップ「クレヨンで描いた“ねこのごはん”～ねこのえさをつくるよ！」(中止)

※特別展「絵本原画ニャー！猫が歩く絵本の世界」関連

日時：5月3日(日) 10:00～12:00

講師：加藤休ミ(出品作家)

場所：中2階こども+

対象：小学生

受講料：500円

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止

### ◆ワークショップ「高松くっぴりお」

逆さをおもしろがるダンスワークショップ。

※特別展「コレクション+身体とムービング」関連

日時：7月24日(金・祝) 10:00～15:00

講師：んまつー波斯(豊福彬文、みのわそうへい、児玉孝文)

場所：1階エントランスホール

対象：小学生

受講料：500円

参加者数：8人



### ◆飯川雄大ワークショップ「偶然をみつけよう！」

ビデオカメラの使い方を教えてもらい、美術館の中や外にある「偶然」を探して撮影した。最後に集めた「偶然」を編集して上映会を行った。

※特別企画「飯川雄大 デコレータークラブ 知覚を拒む」関連

日時：9月6日(日) 13:30～16:30

講師：飯川雄大

場所：中2階ロビー、高松市立中央公園

対象：小学4年生以上

受講料：500円(材料費：500円)

参加者数：8人



### ◆ワークショップ「浮世絵摺りを体験してみよう！」

タイラコ氏が復元した北斎の名作「富嶽三十六景 神奈川沖浪裏」の版を使って浮世絵摺りを体験した。

※特別展「世界が絶賛した浮世絵師 北斎展」関連

日時：10月10日(土) ①10:30～12:30、②14:00～16:00

講師：タイラコウ(創作版画家)

対象：小学生以上

受講料：500円(材料費：400円)

参加者数：延べ10人



### ◆ワークショップ「自然の中で見つけたものをよく見て、鉛筆で描いてみよう」

貝殻や木の実など自然のものをデッサンし、ものをよく見て想像を広げる楽しさを体験した。

※特別展「高松コンテンポラリーアート・アニユアル vol.09」関連

日時：11月1日(日) 9:30～12:00

講師：蝸牛あや(展出品作家)

対象：小学3年生以上

受講料：500円

参加者数：7人



### ◆ワークショップ「時間のかたち」

紙でソーマトロップ(回転のぞき絵)を作り、アニメーションの原理について学んだ後、身体を使ったコマ撮りアニメーションを作った。

※特別展「高松コンテンポラリーアート・アニユアル vol.09」関連

日時：11月14日(土) 14:00～16:30

講師：後藤映則(展出品作家)

場所：1階講堂

対象：小学3年生以上

受講料：500円

参加者数：6人



## (2) ワークショップ

### ◆保井智貴ワークショップ

高松市仏生山町近辺を散策しながら街の移り変わりを感じる写真を撮影し、上映会を行った。  
※特別展「高松コンテンポラリーアート・アニュアル vol.09」関連

日時：11月21日(土) 10:00～14:00  
講師：保井智貴(アニュアル展出品作家)  
場所：高松市仏生山町付近  
対象：中学生以上  
受講料：500円  
参加者数：6人



### ◆林葵衣ワークショップ「唇拓を体験してみよう！」

好きな言葉や形として残したい言葉を考え、その言葉を発しながら、口紅を縫った唇を紙に押し当てて形を残した。

※第4期常設展「画家の痕跡」関連

日時：1月9日(土) 14:30～16:00  
講師：林葵衣  
対象：5歳以上  
受講料：500円  
参加者数：8人



### (3) パフォーマンス・その他

場所：記載のないものは1階エントランスホール

#### ◆ミニコンサート「猫と戯れる音楽家たち」(中止)

※「絵本原画ニャー！猫が歩く絵本の世界」関連

日時：5月23日(土) 13:30～14:00

演奏者：宮本早苗(ソプラノ)、稲垣泰子(メゾソプラノ)、西浦弘美(ヴァイオリン)、三井菜奈生(チェロ)、大山まゆみ(ピアノ)

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止

#### ◆近藤亜樹 映画《HIKARI》(2015年)ループ上映

※特別展「高松市美術館コレクション+身体とムービング」関連

監督・脚本：近藤亜樹(ゲスト作家)

日時：上映日時：会期中の土・日曜日および8月10日(月・祝)全14回

各日9:30～17:00(ループ上映)

場所：1階講堂

参加者数：延べ444人



#### ◆パフォーマンス「空想オリンピック short version」観戦

※特別展「高松市美術館コレクション+身体とムービング」関連

日時：7月23日(木・海の日) 18:00～18:30

出演：んまつーボス(豊福彬文、みのわそうへい、児玉孝文)

場所：1階エントランスホール

参加者数：54人



#### ◆ミニコンサート「異文化への憧憬」

※特別展「世界が絶賛した浮世絵師 北斎展」関連

日時：9月26日(土) 13:30～14:00

演奏者：秦直樹、長岡佐和(ピアノ)

監修：青山夕夏(香川大学教授)

参加者数：36人



#### ◆ミニコンサート「刻まれる時の中で変容する空間」

※特別展「高松コンテンポラリーアート・アニヴァーサリー vol.09」関連

日時：11月28日(土) 13:30～14:00

演奏者：波多翼(ピアノ)

参加者数：34人



#### ◆林葵衣 公開制作

ゲスト作家林葵衣による公開制作。声を出しながら口紅を塗った口で、壁に痕跡を残す「唇拓」の作品を制作した。

※第4期常設展「画家の痕跡」関連

日時：1月9日(土) 13:00～14:00

出演：林葵衣

場所：1階常設展示室

参加料：無料(ただし要観覧券)

参加者数：25人



### 美術館の日

平成21(2009)年度より、美術館の開館記念日(1988年8月7日)に近い8月第1土曜日を「美術館の日」と定め、展示会の観覧料を無料にしたほか、ゲームを用意した「ふらっとアート」やミニコンサートなど、市民が気軽に美術館を訪れて楽しめる催しを開催。

8月1日(土)	参加者数
特別展	336
常設展	248
ふらっとアート	36
映画「HIKARI」上映	54
	計674人



ふらっとアート



特別展

## (4) 出前講座

開催月日	場所	講師(当館学芸員)	参加者数
6月29日(月)	高松大学	毛利直子	200
10月7日(水)	鬼無コミュニティーセンター	早川美穂・川染奈緒	4
11月30日(月)	香川県建設労働組合	早川美穂・川染奈緒	19
12月11日(金)	役戸コミュニティ広場「ふれあい会」	早川美穂・川染奈緒	17
1月6日(水)	アフタースクール香川	早川美穂・川染奈緒	30
1月11日(月・祝)	かがわ総合リハビリテーション福祉センター	早川美穂・川染奈緒	9
1月17日(日)	瀬戸内こえびネットワーク事務局	毛利直子	27
3月9日(火)	香南老人介護支援センター	早川美穂・川染奈緒	中止
			計306人



## (5) インターンシップ・ボランティア

### ◆高松市美術館図書整理ボランティア

日程：8月、9月、11月～1月  
参加者数：3人

### ◆徳島文理大学「博物館展示論」

日程：9月2日(水)  
場所：1階講堂  
参加者数：6人

### 博物館実習

博物館学芸員資格取得希望者を対象に、施設・展覧会・他館の見学、講義(美術館と作品収集、作品及び二次資料の保安全管理、教育普及、ボランティア活動)、実習(作品取り扱い、ワークショップ補助)を毎年8月初旬に行っている。

日程：7月28日(火)～8月2日(日)  
参加者数：5人(立命館大学1人、同志社女子大学1人、京都芸術大学2人、京都外国語大学1人)

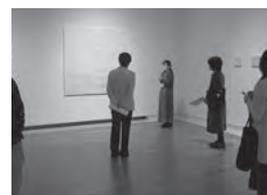
### ボランティアcivi(シヴィ)

市民の美術活動の支援と展覧会観覧者の利便を図るため、美術作品解説ボランティアを平成11年度に設置した。毎月定例会(原則第1土曜日)を開き活動を続けている。

### ◆登録者数：15人

### ◆ギャラリートーク

特別展	開催数	参加者数
絵本原画ニヤー！猫が歩く絵本の世界(p.83)	中止	中止
高松市美術館コレクション+身体とムービング(p.87)	中止	中止
世界が絶賛した浮世絵師 北斎展(p.89)	中止	中止
高松コンテンポラリーアート・アニユアルvol.09(p.91)	6	84
野口哲哉展(p.93)	8	253
	計14回	337人



### ◆その他の活動

開催月日	活動内容
7月21日(火)	特別展「コレクション+」チラシ発送作業アシスタント
—	特別展「世界が絶賛した浮世絵師 北斎展」紹介動画ナレーション、ポケット学芸員ナレーション
—	特別展「世界が絶賛した浮世絵師 北斎展」誌上ギャラリートーク「civiレター」執筆
10月10日(土)	ワークショップ「浮世絵摺りを体験してみよう！」アシスタント
—	特別展「高松コンテンポラリーアート・アニユアルvol.09」作品素材(食器)提供
11月3日(火)	特別展「高松コンテンポラリーアート・アニユアルvol.09」連携企画 特別展示「まちにある家という彫刻」見学
11月7日(土)、11月14日(土)、 11月28日(土)、12月5日(土)	特別展「高松コンテンポラリーアート・アニユアルvol.09」連携企画 特別展示「まちにある家という彫刻」看視
12月12日(日)	ワークショップ「対話を介した鑑賞と、きくこと」(講師：福田千恵)

## (6) 商店街との連携

### サポートショップ

会期中の特別展チケットの半券、又は有効期間中の定期観覧券(年間パスポート)を提示すると、参加店舗で割引などの特典を受けることができる高松市美術館サポートショップ事業を平成24年度から実施している。また、平成25年度から新たに、各サポートショップに「高松市美術館サポートショップ利用者割引券」を設置し、サポートショップ利用のお客様がその割引券を美術館に持参すると特別展観覧料が割引になる相互割引制度を導入し、令和2年度も継続している。

- ◆参加店舗数 126店舗
- ◆割引利用者 延べ400人
- ◆高松市美術館サポートショップマップ  
発行：2020年3月



(マップ表)



(マップ裏)

### ランチギャラリー

高松市丸亀町商店街に移転オープンした「しごとプラザ」ショーウィンドーにおいて、高松市美術館の新しい展示空間「ランチギャラリー」を令和3年3月13日に開設した。

#### ◆オープニングイベント

子ども向けワークショップ「ポップアップカード とびだすバルーンをつくろう」を開催。

日時：3月13日(土) 14:00～15:00

講師：当館学芸員

場所：高松市美術館ランチギャラリー前

受講料：無料

参加者数：30人



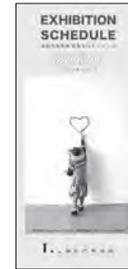
#### ◆藤 浩志展

会期：3月13日(土)～7月9日(金)



## (1) その他の印刷物

- ◆年間スケジュール  
発行：2020年3月



## (2) ホームページ・SNS

高松市美術館ホームページは、当館の活動について利用者に分かりやすく情報を伝える媒体である。また、ホームページ以外にも、昨今のインターネットの利用形態の変化に対応するため「ソーシャルネットワークサービス(SNS)」等インターネット上の各種ウェブサービスの利用を行い、展覧会や関連イベントの情報など、高松市美術館とその活動を広く伝えられるように日々情報発信している。

- ◆ホームページ  
URL：<https://www.city.takamatsu.kagawa.jp/museum/takamatsu/>  
アクセス件数：129,117件
- ◆Facebook (@takamatsuartmuseum) 2019年4月1日開設  
年間投稿件数：110件  
フォロワー数：836人
- ◆Instagram (@takamatsuartmuseum) 2019年4月1日開設  
年間投稿件数：218件  
フォロワー数：1,794人
- ◆Twitter (@takamatsu\_art\_m) 2020年7月24日開設  
年間投稿件数：152件  
フォロワー数：457人
- ◆Youtube (@takamatsu\_art\_m) 2020年5月28日開設  
年間投稿件数：43件  
フォロワー数：179人

**篠原資明**

## ◆執筆

「時どきどき想像の光たち」『高松コンテンポラリーアート・アニュアルvol.09 / 時どきどき想像』図録(2020年11月29日)

## ◆その他

館長講座「まぶさび教室」(p.110)

**毛利直子**

## ◆執筆

「近藤亜紀」「中園孔二」『高松市美術館コレクション+ 身体とムービングー特別企画 飯川雄大 | デコレータークラブー知覚を拒む』図録(2020年9月7日)

「アートによる地域創生いろいろ」『ZENBI 全国美術館会議機関紙 vol.18』(2020年9月1日)

## ◆その他

高松大学「総合講座」講師(高松大学本館)(2020年6月29日)

京都教育大学 中学美術科教育Ⅲ 授業「美術館教育及び学校と美術館の連携」講師(京都教育大学)(2021年1月7日)

令和2年度せとうち島旅ガイドスキル強化研修「高松の今昔アート状況」講習講師(瀬戸内こえびねっとワーク)(2021年1月17日)

高松アーティスト・イン・レジデンス選考委員

詩と絵が出会う詩集絵本「いっしょに」選考委員

高知県立美術館資料収集審査会委員

芸術文化振興基金文化団体活動専門委員会委員

**牧野裕二**

## ◆執筆

「ログズギャラリー」『高松市美術館コレクション+ 身体とムービングー特別企画 飯川雄大 | デコレータークラブー知覚を拒む』図録(2020年9月7日)

「野口哲哉とは何か」『野口哲哉展—THIS IS NOT A SAMURAI』図録(2021年2月6日)

推薦作家作家論(八木佑介)『VOCA展2021』図録 上野の森美術館

**橋 美貴**

## ◆執筆

「飯川雄大」『高松市美術館コレクション+ 身体とムービングー特別企画 飯川雄大 | デコレータークラブー知覚を拒む』図録(2020年9月7日)

「美術館での収集・保存の現状と課題——高知県立美術館「収集→保存 あつめてのこす」展を受けて」(artspace) (WEB) (2020年3月1日)

「アートを撮取すること——「猪熊弦一郎展 アートはバイタミン」」(artspace) (WEB) (2020年9月15日)

「自然の匂いを描く——「竹崎和征 雨が降って晴れた日」」(artspace) (WEB) (2021年2月15日)

**尾形絵里子**

## ◆執筆

「見えないものを想像する」『高松コンテンポラリーアート・アニュアルvol.09 / 時どきどき想像』図録(2020年11月29日)

**福田千恵**

## ◆執筆

「んまつーポスト」『高松市美術館コレクション+ 身体とムービングー特別企画 飯川雄大 | デコレータークラブー知覚を拒む』図録(2020年9月7日)

(1) 主催事業

			特別展					
			絵本原ニャー!	コレクション+	北斎展	アニュアル09	野口哲哉	計
有料	通常	一般	1,621	1,093	14,685	923	4,252	22,574
		大学生	62	121	354	120	208	865
	割引	一般	250	125	1,065	148	394	1,982
		大学生	1	8	14	7	15	45
	前売	一般	159	0	964	59	232	1,414
		大学生	1	0	22	0	2	25
	共通定期観覧券		244	230	615	262	461	1,812
小計		2,338	1,577	17,719	1,519	5,564	28,717	
無料	高校生		85	141	535	149	305	1,215
	中学生		61	42	399	63	147	712
	小学生		230	137	967	95	320	1,749
	就学前		163	95	299	44	185	786
	小計		539	415	2,200	351	957	4,462
免除	大学生 他		0	26	137	3	21	187
	引率者		0	4	29	8	20	61
	障がい者介添人		204	135	1,025	148	323	1,835
	行政視察		0	0	0	2	0	2
小計		204	165	1,191	161	364	2,085	
招待券等			288	629	754	404	623	2,698
観覧者総数			3,369	2,786	21,864	2,435	7,508	37,962
1日当たり入場者数			102	70	683	64	198	210
夜間(火～土曜日の17時～19時)			95	73	535	60	117	880

			常設展				
			第1期	第2期	第3期	第4期	計
有料	通常	一般	111	345	237	385	1,078
		大学生	12	47	19	42	120
	割引	一般	3	41	36	42	122
		大学生	0	1	0	0	1
	共通定期観覧券		135	169	250	198	752
	小計		261	603	542	667	2,073
無料	高校生		22	130	169	137	458
	中学生		21	45	116	58	240
	小学生		68	205	344	94	711
	就学前		41	86	81	51	259
	小計		152	466	710	340	1,668
免除	大学生 他		21	202	255	154	632
	引率者		0	23	20	17	60
	長寿		118	215	304	364	1,001
	障がい者介添人		59	138	176	111	484
	行政視察		0	0	2	3	5
小計		198	578	757	649	2,182	
招待券等			938	2,735	4,104	2,482	10,259
観覧者総数			1,549	4,382	6,113	4,138	16,182
1日当たり入場者数			32	58	76	59	59
夜間(火～土曜日の17時～19時)			45	99	288	93	525

図書コーナー													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入室者数	0	6	25	27	26	26	27	25	24	24	24	26	260
開室日数	0	107	355	378	514	730	667	387	277	258	398	422	4,493

こども+													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入室者数	0	0	248	230	289	502	925	238	265	186	238	117	3,238
開室日数	0	0	25	26	26	26	27	25	24	24	24	26	253

## (2) 貸館

一般・企画展示室			
展覧会名	会期	日数	入場者数
第47回高松市民美術展	2020/4/7～4/12	—	中止
独立美術協会展	6/9～6/14	—	中止
創元会選抜展	6/16～6/21	—	中止
第12回一楽会書展	7/10～7/12	3	469
第62回墨華書道展	9/3～9/6	—	中止
第47回毎日書道学会展	10/23～10/25	—	中止
第66回中・四国国立大学連合美術展覧会	12/18～12/20	—	中止
第50回香川県高校書道教員展	12/18～12/20	—	中止
第37回香川県高等学校総合文化祭美術・工芸展	12/24～12/27	4	804
第37回香川県高等学校総合文化祭書道部門	12/24～12/27	4	804
高松市教育文化祭	2021/1/8～1/11	—	中止
香川県小・中学校総合文化祭	1/8～1/11	—	中止
由源香川書展	1/15～1/17	—	中止
第24回硯友展	1/19～1/24	—	中止
青澄書道展	3/27～3/18	—	中止
計15		11	2,077

市民ギャラリー			
展覧会名	会期	日数	入場者数
追悼・星野文昭絵画展	2020/5/22～24	3	226
第47回 チャーチル会高松展	7/14～7/19	6	427
樋口聡作品展/砂埃あけて	8/8～8/16	8	616
TOKYO2020オリンピックパラリンピック競技大会巡回展「ポスター掲示」	9/8～9/13	6	591
オリエンタル芸術の至宝	9/15～9/22	8	1,463
第10回 クループひかり絵画展	9/24～9/27	4	406
新協香川第17回近作展	10/6～10/11	6	1,169
第9回グループ尚作品展	10/13～10/18	6	715
創元会 香川支部展	10/20～10/25	6	466
四季を描く 日本画展	11/6～11/8	3	231
第38回 新構造社香川支部展	11/10～11/15	6	490
第26回 サロン・エウズン絵画展	11/17～11/23	7	932
第4回 友墨会展	12/1～12/6	6	441
蘇樂書展	12/10～12/13	4	444
Fashion Exhibition 2020 (吉田愛服飾専門学校)	12/15～12/20	6	506
星野文昭絵画展	2021/1/8～1/11	4	142
高松工芸高校美術科 作品展	2/9～2/14	6	645
第10回英明高等学校美術デザイン系展	2/16～2/21	6	558
INSPIRING ARTS AND CULTURE	3/2～3/14	12	1,170
第21回アイズ絵画作品展	3/16～3/21	6	471
創造するチカラ 狛犬コンベンション2021	3/23～3/31	8	386
計21		127	12,495

講堂													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用人数	0	0	0	0	0	0	15	0	80	0	0	130	225
利用回数	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	3	5

講座室													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用人数	107	0	458	606	410	626	649	580	463	405	450	451	5,205
利用回数	8	0	31	38	26	44	45	38	34	32	31	37	364

#### 塩江美術館凡例

収集作品のデータは、原則として以下の通りに記した。

収集区分(購入、寄贈、寄託)

分類(平面、映像、立体、工芸・漆工、工芸・金工)

作家名(50音順)

作品名

制作年

技法・材質

寸法(平面=縦×横/立体=高さ×幅×奥行き、高さ×直径の順)

また作品リストは、以下の通りに記した。

作家名

作品名

制作年

所蔵先

# 高松市塩江美術館

／ 平成30(2018)年度

／ 令和元(2019)年度

／ 令和2(2020)年度

## 大地の贈り物

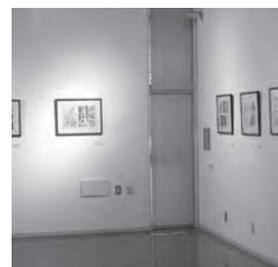
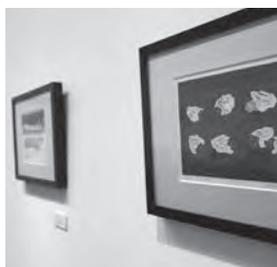
私たちの身近にある植物は、美術表現の重要な題材の一つです。成長と共に刻々と姿を変えていく植物。その植物の持つ生命力や儚さ、魅力的な花の色、形は、私たちをいつも魅了してくれます。作家も同様に、その存在に感動を覚え、大地からの恵みに感謝し、うつくしさに魅了され作品として表現しています。植物の持つ様々な魅力を暖かみのある木版画で表現した作品37点を紹介しました。

- ◆会期 2018年4月3日(土)～5月6日(日) 30日間
- ◆入場者数 570人
- ◆担当学芸員 小田有紗

- ◆主な新聞・雑誌等関連記事
- ワイヤーママ 5月号
- 四国新聞 4月5日
- NICE TOWN 5月号



(チラシ)



No.	作品名	制作年	技法・材質	所蔵	
1.	春の七草	「わたしの植物誌」より	2000	木版	全て塩江美術館蔵
2.	チューリップ狂物語	「わたしの植物誌」より	2000	木版	
3.	花暦	「わたしの植物誌」より	2000	木版	
4.	海浜植物－5月の有明浜	「わたしの植物誌」より	2000	木版	
5.	植物観察－11月の八峯	「わたしの植物誌」より	2000	木版	
6.	コーヒー伝播	「わたしの植物誌」より	2000	木版	
7.	源内と本草学	「わたしの植物誌」より	2000	木版	
8.	メタセコイヤと三木博士	「わたしの植物誌」より	2000	木版	
9.	ジャガイモ伝播	「わたしの植物誌」より	2000	木版	
10.	冬至と南瓜	「わたしの植物誌」より	2000	木版	
11.	森のレストラン	「わたしの植物誌」より	2000	木版	
12.	屠蘇	「わたしの植物誌」より	2000	木版	
13.	葱坊主	「森から野から1」より	2002	木版	
14.	樹	「森から野から1」より	2002	木版	
15.	森から	「森から野から1」より	2002	木版	
16.	麦	「森から野から1」より	2002	木版	
17.	秋の七草	版画集「植物図鑑」より	1998	木版	
18.	ツリフネソウ	版画集「植物図鑑」より	1998	木版	
19.	ナンバンギセル	版画集「植物図鑑」より	1998	木版	
20.	ツククサ 花の一生	版画集「植物図鑑」より	1997	木版	
21.	チゴユリ	版画集「植物図鑑」より	1998	木版	
22.	サギソウ	版画集「植物図鑑」より	1998	木版	
23.	春の野草	版画集「植物図鑑」より	1998	木版	
24.	オオマツヨイグサ	版画集「植物図鑑」より	1998	木版	
25.	カラスウリの生活史	版画集「植物図鑑」より	1998	木版	
26.	カタクリの生活史	版画集「植物図鑑」より	1998	木版	
27.	赤蕪	版画集「野の贈りもの」より	1997	木版	
28.	蕪	版画集「野の贈りもの」より	1997	木版	
29.	蕨	版画集「野の贈りもの」より	1997	木版	
30.	林檎	版画集「野の贈りもの」より	1997	木版	
31.	胡瓜と茄子	版画集「野の贈りもの」より	1997	木版	
32.	西瓜	版画集「野の贈りもの」より	1997	木版	
33.	玉葱	版画集「野の贈りもの」より	1997	木版	
34.	新豆	版画集「野の贈りもの」より	1997	木版	
35.	筍	版画集「野の贈りもの」より	1997	木版	
36.	山うど	版画集「野の贈りもの」より	1997	木版	
37.	干柿	版画集「野の贈りもの」より	1997	木版	

## 富本七絵展 - 情景の意志 -

徳島県徳島市在住の日本画家富本七絵。武蔵野美術大学造形研究科日本画コースを修了後、徳島と東京を中心に作品を発表し活動しています。富本の作品のモチーフは、自然の風景です。この風景は、写実的に描かれるのではなく、木々や草花に存在している目に見えない生命の循環を鮮やかな色彩で表現しています。富本の作品23点を紹介しました。

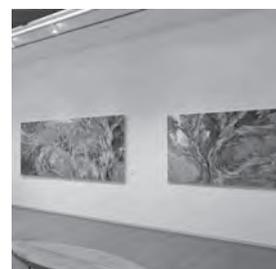
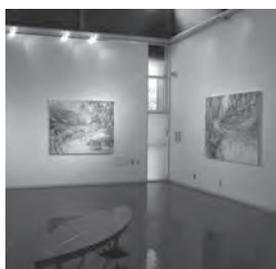
- ◆会期 2018年5月26日(土)～7月1日(日) 32日間  
 ◆入場者数 845人  
 ◆担当学芸員 小田有紗

- ◆イベント  
 アーティストレクチャー(p.126)  
 「木の気持ち、季節の気持ちー水彩で描こうー」(p.126)

- ◆主な新聞・雑誌等関連記事  
 ケーブルメディア四国 チャンネルガイド6月号  
 ワイヤーママ 6月号  
 四国新聞 6月21日  
 NICE TOWN 6月号  
 FMたかまつ「ステップ」 6月13日  
 ケーブルメディア「美術館からの招待状」  
 RNCラジオ



(チラシ)



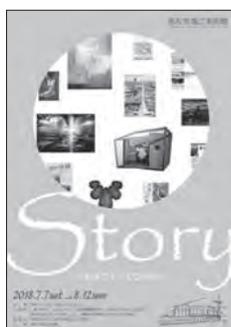
No.	作品名	制作年	技法・材質	所蔵
1.	夜を司る木	2018	パネルに麻紙/岩絵の具、木炭、色鉛筆	全て作家蔵
2.	あの地の色	2017	パネルに麻紙/岩絵の具、木炭、色鉛筆	
3.	漫食する季節	2017	パネルに麻紙/岩絵の具、木炭、色鉛筆	
4.	生長する季節	2018	パネルに麻紙/岩絵の具、木炭、色鉛筆	
5.	growin.night	2016	パネルに麻紙/岩絵の具、木炭、色鉛筆	
6.	芽吹く朝	2015	パネルに麻紙/岩絵の具、木炭、色鉛筆	
7.	その瞬間のために - I	2017	パネルに麻紙/岩絵の具、木炭、色鉛筆	
8.	その瞬間のために - II	2017	パネルに麻紙/岩絵の具、木炭、色鉛筆	
9.	春、ながれてゆく	2018	パネルに水彩紙/透明水彩	
10.	春のシルエット	2017	パネルに水彩紙/透明水彩	
11.	flow	2017	パネルに水彩紙/透明水彩	
12.	雨水-USUI-	2015	パネルに麻紙/岩絵の具、木炭、色鉛筆	
13.	白い夜	2016	パネルに麻紙/岩絵の具、木炭、色鉛筆	
14.	芽吹く日	2012	パネルに麻紙/岩絵の具、木炭、色鉛筆	
15.	芽吹く秋	2013	パネルに麻紙/岩絵の具、木炭、色鉛筆	
16.	春と夏のすきま	2014	パネルに麻紙/岩絵の具、木炭、色鉛筆	
17.	風がつれていく	2015	パネルに麻紙/岩絵の具、木炭、色鉛筆	
18.	雨の夜が花をよぶ	2014	パネルに麻紙/岩絵の具、木炭、色鉛筆	
19.	白い朝	2018	パネルに麻紙/岩絵の具、木炭、色鉛筆	
20.	オアシス	2018	パネルに麻紙/岩絵の具、木炭、色鉛筆	
21.	季節のむこうがわ	2015	パネルに麻紙/岩絵の具、木炭、色鉛筆	
22.	時間に色をつける水	2015	パネルに麻紙/岩絵の具、木炭、色鉛筆	
23.	水彩クロッキー		水彩紙、透明水彩、一部の作品で色鉛筆	

## Story - これまで そしてこれから -

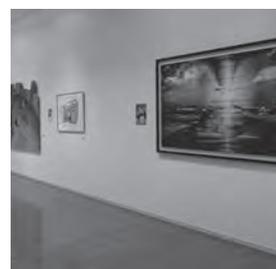
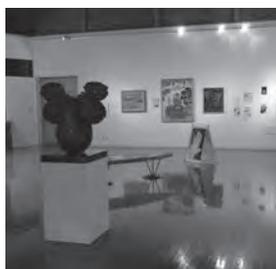
塩江美術館は1994(平成6)年4月25日に開館しました。開館以来初めての本格的な建物・設備の経年劣化に伴う改修工事を8月中旬から約7ヶ月の期間、施工しました。この休館に先立ち、これまで300展を超える展覧会を企画してきた美術館の歩みを振り返り、開催した常設展・企画展で出品された作品やフライヤー等を展示して紹介しました。

- ◆会期 2018年7月7日(土)～8月12日(日) 32日間
- ◆入場者数 713人
- ◆担当学芸員 三宅靖之・小田有紗

- ◆主な新聞・雑誌等関連記事
- 四国新聞 7月26日
- ワイヤーママ 8月号
- NICE TOWN 8月号
- 毎日新聞 8月6日
- 朝日新聞 8月3日



(チラシ)



No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	所蔵
1.	熊野俊一	ニースの海岸通り	1969	油彩	全て塩江美術館蔵
2.	小林正六	森の食卓	1986	油彩	
3.	山田 等	子供	1955	油彩	
4.	田島さゆり	無題	1995	印画紙	
5.	宮武 綾	無題	1995	印画紙	
6.	比嘉良治	無題	1995	印画紙	
7.	宮武 綾	無題	1995	印画紙	
8.	吉川直哉	無題	2002	インクジェットプリント	
9.	幡幸太郎	ブラック・マンデー	1987	油彩	
10.	川田保一	ローマの夕暮れ(サン・ピエトロ大寺院)		油彩	
11.	川瀬巴水	さぬき高松城	1922	木版	
12.	川瀬巴水	高松栗林公園	1937	木版	
13.	西岡茂八郎	讃岐国分寺前の住人		木版、水彩	
14.	辻野榮一	CACTUS	1993	木彫、碎石	
15.	伊東義久	津軽平野からの岩木山	1998	水彩	
16.	伊東義久	コート・センターからの眺め (サンタバーバラ)	1993	水彩	
17.	西澤智子	音羽川II	1994	岩絵の具	
18.	江戸 健	裸婦デッサン	1996	紙、パステル	
19.	江戸 健	裸婦デッサン		紙、パステル	
20.	江戸 健	L.M.E.海(油彩画のための習作)	1980	紙、パステル	
21.	江戸 健	ルクサンプール公園	1982	油彩	
22.	田中祐一	乃木坂の見える丘	1964	油彩	
23.	森田政雄	有馬朗人句碑		拓本	
24.	田淵太郎	landscape-大地に生ける-	2003	陶土ほか	
25.	クリスト	Wrappe.Monument.Cristbola.Colon. Projectfo.Barcelone	1977	リトグラフ	
26.	四宮金一	光を求めて	1996	アクリル、変形キャンバス	
27.	四宮金一	変形してゆく部屋(宙に浮く人)		シルクスクリーン	
28.	所 幸則	Decembe.3.201.14 : 17 : 1. @.Velocit.o.83.33333333m / s	2014	印画紙、ポリカーボネイト板	

●塩江美術館資料、塩江美術館開催展覧会チラシ(1994-2017)

## (2) 常設展

### 【第1期常設展】

#### 花と海－移ろいゆく表情－

画家たちが描く花や海の世界から、移りゆく季節や自然の美しさや表情を楽しんでいただきました。23点を紹介しました。

- ◆会期 2018年4月21日(土)～8月12日(日) 98日間
- ◆入場者数 2,253人
- ◆担当学芸員 小田有紗



(チラシ)



## (1) 講演会

### ◆アーティスト・レクチャー

作家本人による作品制作などに関するレクチャー。

※「富本七絵展 -情景の意志-」展関連

日時：5月27日(日) 13:00～14:00

講師：富本七絵(出品作家)

場所：企画展示室(要観覧券)

参加者数：28人



## (2) ワークショップ

### ◆フラワーアート in 塩江 2018

チューリップの花びらを使って、塩江小学校3、4年生と作家井本英樹が共同制作。

日時：4月27日(金) 9:30～11:30

講師：井本英樹(美術家)

場所：庭園

参加者数：27人



### ◆つくえの上にこいのぼり

楽焼粘土を使用して卓上において飾れるオリジナルのこいのぼりを制作。

日時：4月29日(日) 10:00～12:00

講師：美術館職員

場所：デッキ

参加者数：5人



### ◆木の気持ち、季節の気持ち -水彩で描こう-

水彩絵の具を使って、カラフルで不思議な風景画を描きます。

※「富本七絵展 -情景の意志-」展関連

日時：6月24日(日) 10:00～12:00

講師：富本七絵(出品作家)

場所：デッキ

参加者数：18人



### ◆金継ぎ体験ワークショップ

日本古来の技法である「金継ぎ」を使って器を修復する体験。(2日間連続講座)

日時：①8月12日(日)②8月19日(日) 各 10:00～12:00

※7月29日(日)、8月12日(日)の予定を台風接近のため日程変更

講師：浅野絵莉

場所：陶芸室

参加者数：延べ28人



### ◆風鈴作り教室

陶土を使ったオリジナルの風鈴を制作。

日時：7月15日(日)、7月16日(月・祝) 各日 10:00～12:00

講師：貴志 勉(陶芸家)

場所：陶芸室

受講料：500円(材料費800円)

参加者数：延べ40人



### ◆陶芸教室

全6回の日程で受講者を募り、基礎コースと経験者コースに分かれて陶芸作品を制作。  
(6日間連続講座)

日時：5月12日(土)、19日(土)、26日(土)、6月2日(土)、9日(土)、23日(土)  
各日 10:00～12:30

講師：田淵太郎(陶芸家)

場所：陶芸室

受講料：1,200円(材料費3,800円)

参加者数：延べ96人



### (3) パフォーマンス・その他

#### ◆アコースティックコンサート(中止)

地元で活動しているカントリーミュージックのデュオの演奏会を開催。

日時：7月29日(日) 18:30～19:30

入場料：500円

※台風接近のため中止

#### ◆美術館の日

展覧会の観覧料を無料にしたほか、ワークショップを開催。

日時：8月4日(土)

入場料：無料

参加者数：205人



#### ◆改修工事による長期休館

期間：2018年8月14日(火)～2019年3月31日(日)

## 塩江美術館リフレッシュオープン企画展 中井弘二郎展 - feels through it -

11年前(2008年)に、“塩江アートプロジェクト”という美術作家と地元の子供達との交流を図る展覧会を企画したとき、塩江町に在住して活動をしていた中井弘二郎に出展依頼をしたのが初めての出会いでした。その後も県内外で作品を発表しており近年では、香川県美術展覧会において2度の知事賞を受賞するなど目覚ましい活躍をしています。

鉄の素材を使った立体作品のほか、鉄に木や他の素材を組み合わせた作品を紹介しました。

- ◆会期 2019年4月2日(火)～5月12日(日) 37日間
- ◆入場者数 1,659人
- ◆担当学芸員 三宅靖之

### ◆イベント

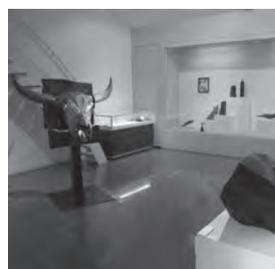
- ワークショップ「動物を作ろう！」(p.137)
- 公開制作(p.138)

### ◆主な新聞・雑誌等関連記事

- 四国新聞 4月1日、4月4日、4月11日
- NICE TOWN 4月号
- CMSチャンネルガイド 5月号
- リビングたかまつ 4月12日



(チラシ)



No.	作品名	制作年	技法・材質	所蔵
1.	少女	2016	石膏・台座木(ケヤキ)	1-29まで作家蔵
2.	南風	2016	木(サクラ) / 木彫	
3.	蒼い鳥	2016	木(クス)・台座鉄 / 木彫・溶接	
4.	のはな	2016	木(クス) / 木彫	
5.	大地を喰らう	2015	鉄 / 溶接	
6.	Walk this way	2009	鉄 / 溶接	
7.	風を感じて	2017	鉄・木(クス) / 木彫・溶接	
8.	兎	2018	ブロンズ / 铸造	
9.	水温む	2016	鉄 / 溶接	
10.	無題	2014	鉄・木(カシ) / 溶接	
11.	サントゥア-リオ	2017	鉄 / 溶接	
12.	サントゥア-リオ2017	2017	鉄 / 溶接	
13.	習作	2018	土	
14.	風を受けて	2016	木(クス) / 木彫	
15.	閃光	2016	鉄・ステンレス / 溶接	
16.	久遠-終わりのない時間-	2018	真鍮・木(クス)・鉄 / 木彫・溶接	
17.	ヤマネ	2016	木(クス) / 木彫	
18.	閃光(習作)	2015	白磁	
19.	コトリウォール	2017	木(クス)・鉄 / 木彫・溶接	
20.	クジラ I	2016	木(クス)・台座鉄 / 木彫・溶接	
21.	夢の時間	2017	木(クス)・台座鉄 / 木彫・溶接	
22.	孤高に生きるシリーズ アイベックスII	2018	鉄・木(ノグルミ) / 木彫	
23.	孤高に生きるシリーズ アイベックスI	2018	木(神代クス) / 木彫	
24.	孤高に生きるシリーズ 亥	2018	木(神代クス) / 木彫	
25.	孤高に生きるシリーズ 家	2018	木(神代クス) / 木彫	
26.	無題	2016	鉄 / 溶接	
27.	natureal senery	2017	鉄 / 溶接	
28.	アイデアノート			
29.	水神(god of water)、竹籠(KAGO) *塩江林産業想声共同体「しっちく」との共同制作作品	2019	竹、棕櫚、金属	
30.	生活圏	2010	ステンレス・アルミ・鉛	塩江美術館蔵 屋外常設展示

## 開館25周年記念 学芸員が選ぶ 収蔵品ベストセレクション展

2018年、8月から3月末の改修工事を経て、2019年4月に開館25周年を迎える年にリフレッシュオープンをしました。当館がこれまでに収蔵してきた塩江町出身の洋画家熊野俊一の絵画作品に始まり、香川県内在住作家や出身作家の作品を購入又は、寄贈を受けてきました。現在まで、約1,200点の作品が収蔵されています。

今日まで美術館を支え勤務してきた歴代学芸員(4名)にご協力いただくとともに、現職学芸員(2名)の目線により、当館収蔵品の中からセレクトして紹介しました。

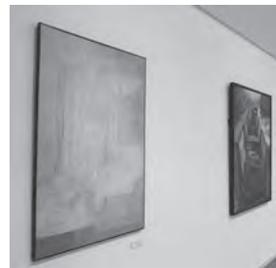
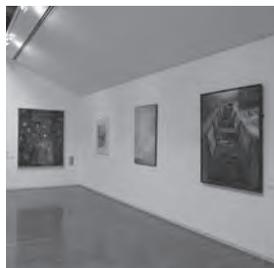
- ◆会期 2019年5月18日(土)～6月23日(日) 32日間
- ◆入場者数 697人
- ◆担当学芸員 三宅靖之・小田有紗

### ◆主な新聞・雑誌等関連記事

- 四国新聞 5月30日、6月6日、6月7日
- 毎日新聞 5月30日
- NICE TOWN 6月号
- Komachi 6月号
- ジバング倶楽部 6月号



(チラシ)



No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	所蔵
1.	川島 猛	100-10	1968	シルクスクリーン	全て塩江美術館蔵
2.	川島 猛	No.3	1968	シルクスクリーン	
3.	川島 猛	蓮華の舞	1992	シルクスクリーン	
4.	川島 猛	Venus	1972	シルクスクリーン	
5.	四宮金一	変形してゆく部屋(宙に浮く人)		シルクスクリーン	
6.	四宮金一	光を求めて	1996	アクリル、変形キャンバス	
7.	田淵太郎	landscape -大地に生ける- 2003	2003	陶土、磁土	
8.	岡田憲一	サークル	1997	インド石	
9.	力丸卓司	青い夜の囁	1996	漆	
10.	池田利夫	秋の七草(版画集『植物図鑑』より)	1998	木版	
11.	歌川広重(初代)	諸国名所百景「讃岐五剣山」		木版	
12.	歌川広重(初代)	六十余州名所絵図「讃岐象頭山遠望」	1853	木版	
13.	歌川広重(二代)	諸国六十八景シリーズ「土佐龍串」 「伊予石鎚山」「讃岐津田浦」「阿波北泊」	1862	木版	
14.	伊東義久	津軽平野からの岩木山	1998	水彩	
15.	熊野俊一	人物(顔)	1955	油彩	
16.	熊野俊一	大氷河とスターフィール	1988	油彩	
17.	熊野俊一	キャニユの裏通り	1969	油彩	
18.	熊野俊一	初夏のカヌ	1979	油彩	
19.	小林正六	遠い日	1991	油彩	
20.	木村忠太	無題		リトグラフ	
21.	江戸 健	ルクサンブール公園	1982	油彩	
22.	西澤智子	音羽川 I	1993	岩絵の具、パネル	
23.	比喜良治	流れ	2004	印画紙	
24.	所 幸則	December30 2014 14:17:14 @AVelocity of 83.33333333m2014	2014	印画紙・ポリカーボネート板	

## 山口一郎展 トリトリどり

山口一郎は、セツ・モードセミナーの学生時代からイラストレーターとして活動しています。雑誌広告の仕事をして数年後、より大きな絵が描きたくなり、自身のブログへの作品掲載がきっかけとなり、ギャラリーの個展を開催。そこから画家としての生活が始まりました。

動物や花をモチーフに独創的なスケッチ画や色鮮やかで大胆な抽象画を描いてきた中から、「鳥」をテーマにして館内の展示室いっぱいに作品を展示しました。

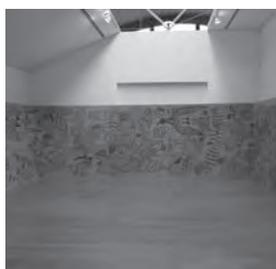
- ◆会期 2019年6月29日(土)～8月4日(日) 32日間
- ◆入場者数 1,450人
- ◆担当学芸員 小田有紗

- ◆イベント
- トークイベント (p.137)
- ライブパフォーマンス (p.138)

- ◆主な新聞・雑誌等関連記事
- 四国新聞 7月11日
- ワイヤーママ 7月号
- NICE TOWN 7月号
- Komachi 7月号



(チラシ)



No.	作品名	制作年	技法・素材	所蔵
1.	《鳥群像》2019	2019	段ボール・油性マジック	全て作家蔵
2.	《BIRD1》2019	2019※	段ボール・油性マジック	
3.	《BIRD2》2019	2019※	段ボール・油性マジック	
4.	《BIRD3》2019	2019※	段ボール・油性マジック	

※音楽／渡邊和三郎

## 塩江温泉鉄道 ―風景と記憶―

1929（昭和4）年から1941（昭和16）年までの12年間、塩江町への交通手段として、「塩江温泉鉄道(ガソリンカー)」が、利用されてきました。このガソリンカーを復元するため、塩江町地域おこし協力隊や地元住民、香川大学、香川高等専門学校（高松キャンパス）、塩江町歴史資料館、当館学芸員などが参加して、2018（平成30）年3月に「ガソリンカー復元実行委員会」を発足させ、復元事業を進めました。復元過程で得られた資料・模型などを軸に、塩江町の華やかな時代の風景と記憶を展示空間に紹介しました。

- ◆会期 2019年8月10日(土)～9月23日(月・祝) 39日間
- ◆入場者数 2,364人
- ◆担当学芸員 小田有紗

## ◆イベント

- 写真コラージュワークショップ「走れ！ガソリンカー」(p.137)
- 立体ガソリンカー塗り絵にチャレンジ！(p.137)
- ミニガソリンカーに乗ってみよう！(p.137)

## ◆主な新聞・雑誌等関連記事

- 四国新聞 8月10日
- 読売新聞 8月31日
- 毎日新聞 8月22日
- NICE TOWN 9月号
- ワイヤーママ 9月号
- Komachi 9月号



(チラシ)



No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	所蔵
1.	柴田悠基・高松市立塩江中学校生徒	反復される風景	2019	木・アクリル	
2.	香川高等専門学校	ガソリンカー模型(1/20)			鉄道博物館(埼玉県)蔵
3.	カタログ(エンジン)				鉄道博物館(埼玉県)蔵
4.	設計図(三面図)				
5.	塩江温泉鉄道株式会社 認許可書綴・印				高松琴平電気鉄道株式会社蔵
6.	設計図(運転台)				鉄道博物館(埼玉県)蔵
7.	設計図(ボギー台車)				鉄道博物館(埼玉県)蔵
8.	設計図(動輪)				鉄道博物館(埼玉県)蔵
9.	宮武綾	中井チツ子さん、83才	1995	ゼラチンシルバープリント	塩江美術館蔵
10.	江本 悟	無題	2000	ゼラチンシルバープリント	塩江美術館蔵
11.	土居邦雄	中徳の風景	1955	油彩	塩江美術館蔵
12.	マンドレイン・W・ルイス	塩江の風景	1993	油彩	塩江美術館蔵
13.	松尾彩加	いざないー岩部トンネルー	2019	キャンパス・油彩	個人蔵
14.	溝淵隆光	船岡駅のスケッチ	1941	紙に墨	個人蔵
15.	幡幸太郎	春の塩江温泉	1989	キャンパス・油彩	塩江美術館蔵
16.	大日本帝国陸地測量部	5万分の1地形図「志度」			塩江町歴史資料館蔵
17.	塩江温泉鉄道記録写真				個人蔵
18.	花屋旅館史料				塩江町歴史資料館蔵
19.	観光案内・時刻表				塩江町歴史資料館蔵
20.	香川大学創造工学部	ガソリンカー模型(1/20)			
21.	昭和8年塩江温泉鉄道路線図				
22.	柴田悠基	反復される記憶	2019	7分ステレオ・カラー	
23.	塩江温泉鉄道関連史料				塩江町歴史資料館蔵

## かがわ・山なみ芸術祭2019 SHIONOE ～山のひかりを求めて～

高松市の南に位置する塩江町は、古くから温泉と宿駅の街として知られてきました。歴史の刻まれたさまざまな文化遺産が点在しています。これらはいずれも、生の営みを繰り返す中で生まれてきた人々の精神の痕跡です。この地の歴史、文化、自然を反映した「ひかり」となるアートが誕生を誕生させました。芸術祭参加者で、当館で展示した作家8人の作品を紹介しました。

- ◆会期 2019年9月27日(金)～10月20日(日) 21日間
- ◆入場者数 962人
- ◆担当学芸員 三宅靖之

- ◆イベント
- 「Myぬりかべ」四宮 龍(p.138)
- 「タイココ」村井知之(p.139)

- ◆主な新聞・雑誌等関連記事
- 読売新聞 10月3日
- 毎日新聞 9月28日
- 四国新聞 9月28日
- NICE TOWN 10月号
- ワイヤーママ 11月号



(チラシ)



No.	作家名	作品名	所蔵
1.	長谷川隆子	塩江大蛇 - Shionoe orochi-	全て作家蔵
2.	四宮 龍	浮遊2019 ①浮遊2019 ②浮遊2019 (光を求めて)	
3.	上樂博之	Category	
4.	松尾真由美	あした天気になあれ	
5.	貴志 勉	Voice is small, but I'm here	
6.	オスカー・ロベラス	Memories of the day and the night 1/the soul of the wind...	
7.	サクサベウシオ	支えられているモノ - holding thing 2019	
8.	高田芳樹	仮耕牛のみた、もの・こと	
9.	塩江こども園(3歳児、4歳児、5歳児)	おもっしょいかお	

## 島村敏明展 on my way home

島村敏明(1976-)は大学時代から精力的に個展を開催し、2004年に拠点を関西から岡山へと移し制作活動を続けています。若手作家の登竜門である「VOCA展2006」や岡山県ゆかりの新進美術作家の育成を目的とした「I氏賞選考展(2010,2015)」への選抜出品など、これまで数多くの作品を発表しています。「描くことは、周りの世界の有り様や自身を知る為の術なんだと思う」と語る島村。島村が、日々の中で感じた光景を、スケッチやドローイング、油彩作品で紹介しました。

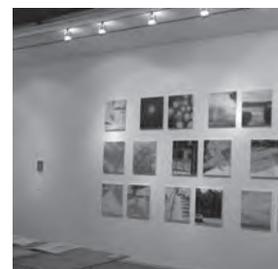
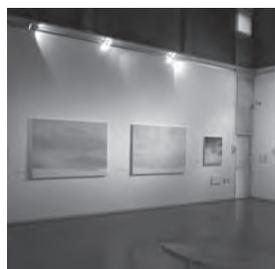
- ◆会期 2019年11月12日(火)～12月22日(日) 36日間  
 ◆入場者数 625人  
 ◆担当学芸員 小田有紗

- ◆イベント  
 「ひろがるいろ」(p.138)  
 クロージングライブ(p.139)

- ◆主な新聞・雑誌等関連記事  
 四国新聞 11月24日、12月5日  
 山陽新聞 12月4日  
 ワイヤーママ 12月号  
 NICE TOWN 12月号  
 Komachi 12月号



(チラシ)



No.	作品名	制作年	技法・材質	所蔵
1.	緯度 -s-	2019	キャンバス・油彩	全て作家蔵
2.	緯度 -w-	2019	キャンバス・油彩	
3.	緯度 -b-	2019	キャンバス・油彩	
4.	overflow (充溢) -west-	2019	キャンバス・油彩	
5.	overflow (充溢) -east-	2019	キャンバス・油彩	
6.	overflow (充溢) -n-	2019	キャンバス・油彩	
7.	parallel	2019	キャンバス・油彩	
8.	drawing	2019	キャンバス・油彩	
9.	drawing books	2019	紙にアクリル、テープ他	
10.	空の感触	2019	キャンバス・油彩	
11.	parallel	2019	キャンバス・油彩	
12.	fragment	2019		
13.	not titled yet	2019	キャンバス・油彩	
14.	空の分解	2019	カルトン(画板)にアクリル、テープ他	
15.	drawing	2019	紙にアクリル、テープ他	
16.	polaroid drawings	2018	カルトン(画板)にアクリル、テープ他	
17.	drawing	2018	紙にアクリル、テープ他	
18.	drawing books	2019		
19.	-h.m-	2019	キャンバス・油彩	
20.	-s.s-	2019	キャンバス・油彩	
21.	-g.t-	2019	キャンバス・油彩	
22.	on my way home	2019	キャンバス・油彩	
23.	drawing books	2019		

## 景色めぐり - 讃岐を旅する -

当館では、香川県の由緒ある名所旧跡や自然の景観に魅了された作家たちが描いた作品がコレクションされています。油彩画や版画など制作された豊かな作品から風光明媚な場所が、数多く所在する香川(讃岐)を旅するように巡ることができる作品を紹介しました

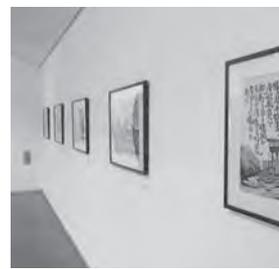
- ◆会期 2020年1月4日(土)～1月26日(日) 20日間
- ◆入場者数 414人
- ◆担当学芸員 三宅靖之

◆主な新聞・雑誌等関連記事

- 四国新聞 12月26日、1月9日、1月16日
- NICE TOWN 1月号
- Komachi 2月号



(チラシ)



No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	所蔵
1.	武田三郎	本山寺	1981	紙・木版	全て塩江美術館蔵
2.	中井好苑	豊稔池		紙・岩絵の具	
3.	幡幸太郎	春の塩江温泉	1993	キャンバス・油彩	
4.	川田保一	不動の滝		紙・水彩	
5.	浜田泰介	画集「香川新五十景を歩く」塩江美術館周辺	1995	紙・水彩	
6.	歌川広重	諸国名所百景 讃岐五剣山	1860	紙・木版	
7.	歌川広重	六十余州名所絵図 讃岐象頭山遠望	1853	紙・木版	
8.	関野準一郎	琴平	1987	紙・木版	
9.	佐藤隆夫	瀬戸内の夕	1983	シルクスクリーン	
10.	辻一摩	版画集「金毘羅絵図」高燈籠	1983	麻漉紙・木版	
11.	辻一摩	版画集「金毘羅絵図」金比羅宮秋の大祭	1983	麻漉紙・木版	
12.	辻一摩	版画集「金毘羅絵図」金比羅宮本社	1983	麻漉紙・木版	
13.	辻一摩	版画集「金毘羅絵図」五人百姓と櫻馬場	1983	麻漉紙・木版	
14.	辻一摩	版画集「金毘羅絵図」重要文化財金丸座	1983	麻漉紙・木版	
15.	辻一摩	版画集「金毘羅絵図」浮橋と呼ばれた蛸橋	1983	麻漉紙・木版	
16.	市原輝士	栗林公園		紙・不透明水彩	
17.	奥村厚一	淡古嶺の夏(屋島)	1952	紙・木版	
18.	川瀬巴水	讃岐海岸寺の浜	1934	紙・木版	
19.	川瀬巴水	讃岐多度津	1936	紙・木版	
20.	川瀬巴水	香川県和田浜	1954	紙・木版	
21.	川瀬巴水	讃岐普通寺	1954	紙・木版	
22.	川瀬巴水	さぬき高松城	1922	紙・木版	
23.	川瀬巴水	高松栗林公園	1937	紙・木版	
24.	川瀬巴水	さぬき金毘羅	1948	紙・木版	

## 松村武夫展 —ふたつの仕事から—

香川県で大学教員として広く美術教育に携わり、作家活動をおこなっている松村武夫の二つのシリーズ作品《Paper Formations》と《Fall Diary》を軸に本展は、構成されました。松村は、紅葉の時期によく目にする地面に散っている落ち葉に注目し、鮮やかな色彩に惹かれている目とその周辺の背景(地面)を見ている目の視覚的な相関関係を形として表現した作品を紹介しました。

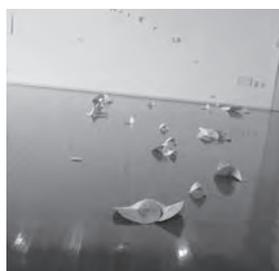
- ◆会期 2020年2月11日(火)～3月29日(日) 42日間  
 ◆入場者数 510人  
 ◆担当学芸員 三宅靖之

## ◆主な新聞・雑誌等関連記事

- ケーブルテレビ 2月16日  
 NICE TOWN 2月号  
 ワイヤーママ 2月号  
 四国新聞 2月27日



(チラシ)



No.	作品名	制作年	技法・材質	所蔵
1.	Pobre de mi	2003	紙・金箔・鉛筆	全て作家蔵
2.	Paper Formations-2020	2020	紙	
3.	Pale Moon	1996	紙・鉛筆・アクリル	
4.	作品見本(手に取って鑑賞可能)			
5.	Ring	1994	パネル・タイルに顔料・針金	
6.	Untitled	1994	紙・アクリル	
7.	和解	2006	石・ステンレス	
8.	和解	2006	石・鉄	
9.	和解	2006	石・ステンレス・アクリル塗装	
10.	和解	2006	石・ステンレス・アクリル塗装	
11.	Pieta	2011	紙・墨	
12.	石鏡-2019	2019	紙・墨	
13.	Fall Diary -2018	2018	紙・アクリル	
14.	Fall Diary -2012	2012	紙・アクリル	
15.	Fall Diary -2011	2011	紙・アクリル	
16.	Fall Diary -2012	2012	紙・アクリル	
17.	Fall Diary -2012	2012	紙・アクリル	
18.	Fall Diary -2012	2012	紙・アクリル	
19.	Fall Diary -2015	2015	紙・アクリル	
20.	Fall Diary -2017	2017	紙・アクリル	
21.	Untitled	2010	紙・アクリル	
22.	ポラリスの海	2003	紙・石・金箔・水	
23.	Untitled	2010	紙・アクリル	
24.	Fall Diary -2015	2015	紙・アクリル	
25.	Fall Diary -2011	2011	紙・アクリル	
26.	Fall Diary -2015	2015	紙・アクリル	
27.	Fall Diary -2015	2015	紙・アクリル	
28.	Fall Diary -2012	2012	紙・アクリル	
29.	Fall Diary -2010	2010	紙・アクリル	
30.	Fall Diary -2015	2015	紙・アクリル	
31.	Fall Diary -2012	2012	紙・アクリル	
32.	Fall Diary -2015	2015	紙・アクリル	
33.	Fall Diary -2015	2015	紙・アクリル	

## (2) 常設展

### 【第Ⅰ期常設展】

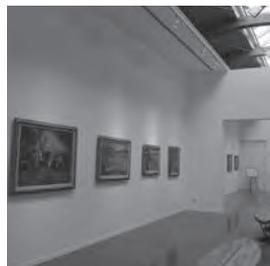
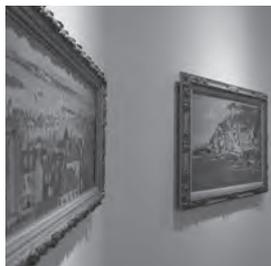
#### 美術館収蔵25周年記念 熊野俊一 ―ふるさとへの贈り物―

作品の中に現れる物理的な光だけにとどまらず、そこに込められた希望や輝く存在感を描いた作品に注目。当館コレクションから20点を紹介。併せて、ヨーロッパから持ち帰った当時の資料を紹介しました。

- ◆会期 2019年4月2日(火)～8月12日(日) 116日間
- ◆入場者数 4,136人
- ◆担当学芸員 三宅靖之



(チラシ)



### 【第Ⅱ期常設展】

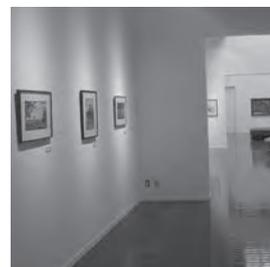
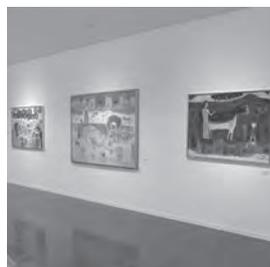
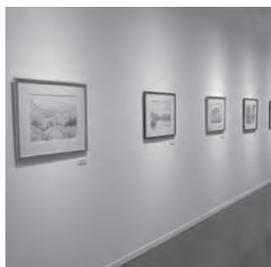
#### 画家たちのまなざし

4人による異なるジャンルで、各画材が持つ特徴を生かし描かれた作品約24点を紹介しました。

- ◆会期 2019年8月20日(火)～12月8日(日) 97日間
- ◆入場者数 3,394人
- ◆担当学芸員 三宅靖之



(チラシ)



### 【第Ⅲ期常設展】

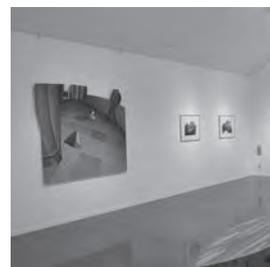
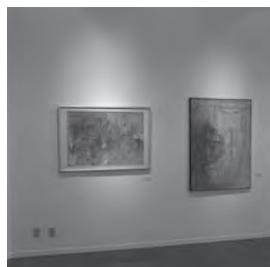
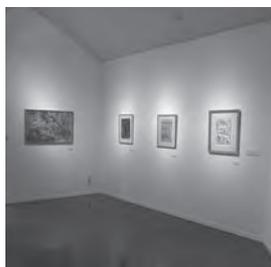
#### 感性との出会い！

3人の作家作品から画面全体に滲み出る感性により表現された作品を紹介しました。

- ◆会期 2019年12月14日(金)～2020年4月12日(日) 101日間(3月31日まで：89日間)
- ◆入場者数 1,160人
- ◆担当学芸員 三宅靖之



(チラシ)



## (1) 講演会

### ◆トークイベント

山口一郎(出品作家)と大池翼(デザイナー)によるトーク。  
※「山口一郎展 トリとリドリ」関連  
日時：6月29日(土) 13:00～14:00  
講師：山口一郎(出品作家)・大池 翼(デザイナー)  
場所：企画展示室(要観覧券)  
参加者数：26人



## (2) ワークショップ

### ◆動物を作ろう！

銅板をはんだごてで接着して動物を制作。  
※「中井弘二郎展 - feels through it -」関連  
日時：4月28日(日) 10:00～12:00  
講師：中井弘二郎(出品作家)  
場所：陶芸室  
参加者数：6人



### ◆スプレーアート体験 ワークショップ

缶スプレーを使って、絵画作品を描く体験。  
日時：5月3日(金) 10:00～12:00  
講師：DAISUKE(スプレーアーティスト)  
場所：デッキ  
参加者数：4人



### ◆bampooシェード作ろう！

竹にドリルで穴をあけてランプを制作。  
日時：5月5日(日) 10:00～12:00、13:00～15:00  
講師：藤嶋則仁 他  
場所：デッキ  
参加者数：10人



### ◆写真コラージュワークショップ 走れ！ガソリンカー

塩江の昔の写真などを使用してコラージュ作品を制作。  
※「塩江温泉鉄道 -風景と記憶-」関連  
日時：7月28日(日) 10:00～12:00  
講師：香川大学生 他  
場所：陶芸室  
参加者数：1人



### ◆立体ガソリンカーぬり絵にチャレンジ！

段ボールで立体にしたガソリンカーを自分色で着色をする。  
※「塩江温泉鉄道 -風景と記憶-」関連  
日時：8月12日(月) 10:00～12:00  
講師：地域おこし協力隊 他  
場所：喫茶室  
参加者数：8人



### ◆ミニガソリンカーに乗ってみよう！

ガソリンカーを模した5インチゲージ電車の乗車体験。  
※「塩江温泉鉄道 -風景と記憶-」関連  
日時：8月17日(土)、18日(日) 10:00～12:00、13:00～15:00(初日は11時開始予定)  
講師：ミニミニゆめ鉄道 中條伸一  
場所：塩江美術館前遊歩道  
対象：企画展来場者(未就学児は保護者同乗)



## (2) ワークショップ

### ◆myぬりかべ

紙粘土の上に竹を組んで漆喰を塗って木の実やわらを貼り絵の具で絵を描く体験。  
※「かがわ・山なみ芸術祭2019 SHIONOE」関連

日時：10月6日(日) 13:00～15:00  
講師：四宮 龍(出品作家)  
場所：デッキ  
参加者数：6人



### ◆ひろがるいろ

マジックとエタノールを使い布に描いた色の滲みを楽しむ。  
※「島村敏明展 on my way home」関連

日時：11月23日(土) 13:00～15:00  
講師：島村敏明(出品作家)  
場所：陶芸室  
参加者数：14人



### ◆風鈴作り教室

陶土を使ったオリジナルの風鈴を制作。1日2回開催。

日時：7月14日(日)、15日(月) 各日10:00～12:00、13:30～15:30  
講師：貴志勉(陶芸家)  
場所：陶芸室  
受講料：500円(材料費800円)  
参加者数：延べ46人



### ◆陶芸教室

全6回の日程で受講者を募り、基礎コースと経験者コースに分かれて陶芸作品を制作。  
(6日間連続講座)

日時：9月21日(土)、28日(土)  
各日10:00～12:30、10月5日(土)、12日(土)、19日(土)、11月2日(土)  
講師：田淵太郎(陶芸家)  
場所：陶芸室  
受講料：1,200円(材料費3,800円)  
参加者数：延べ90人



## (3) パフォーマンス・その他

### ◆高松市塩江美術館 リフレッシュオープンイベント

塩江温泉感謝祭実行委員会企画主催による美術館オープンイベント

日時：4月6日(土) 13:30～15:00  
出演者：瀬戸内サーカスファクトリー、ツチャサーキット&いづみこ(カントリーミュージック)、  
青柳妃姫(ヴァイオリン)  
場所：デッキ及び中庭  
入場料：無料  
参加者数：130人



### ◆公開制作

木彫を制作する様子を来館者に公開

※「中井弘二郎展 - feels through it -」関連

会期：展覧会開催期間中の土曜日・日曜日 終日  
講師：中井弘二郎(出品作家)  
場所：デッキ  
参加者数：不特定多数

### ◆ライブパフォーマンス

山口一郎展の関連イベントとしてエレクトロニック&ミュージックライブパフォーマンス。

※「山口一郎展 トリとリどり」関連

日時：7月27日(日) 18:00～19:00  
出演者：渡邊和三郎、カミイケタクヤ  
場所：ホール  
参加者数：30人



### (3) パフォーマンス・その他

#### ◆タイココ

演奏経験・国籍・性別・年齢不問、数十種の打楽器を囲んで叩けば極楽。  
※「かがわ・山なみ芸術祭2019 SHIONOE」関連

日時：9月28日(土) 29日(日)、10月19日(土)、20日(日)

出演者：村井知之(芸術士、駄楽器奏者)

場所：デッキ

参加者数：不特定多数



#### ◆クロージングライブ

Luzhinのボーカル西村の弾き語りを中心に演奏し、展覧会のテーマから着想を得た楽曲などを披露。

※「島村敏明展 on my way home」関連

日時：12月22日(日) 14:00～14:30

出演者：バンドルージュン

場所：ホール

入場料：展覧会観覧料が必要

参加者数：24人



#### ◆美術館の日

展覧会の観覧料を無料にしたほか、ワークショップを開催。

日時：8月3日(土)

入場料：無料

参加者数：221人



## Step on the Snow 三村昌道展

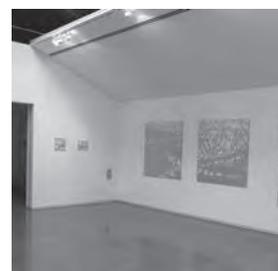
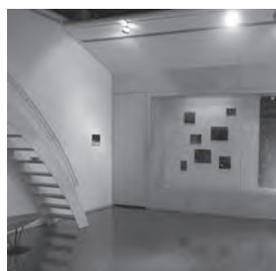
香川に制作拠点を置き、発表を続けている三村昌道(美術家)の作品を紹介しました。2000年の個展「Various Ending Betty Blue」(コバヤシ画廊(東京)で発表したインスタレーションでは、悲劇に向かうヒロインが登場する小説「オートバイ」(アンドレ・ピエール・ド・マンディアルグ著)とフランス映画「ベティ・ブルー」(ジャン・ジャック・ベネックス監督)から、「すべてのものに終わりがあることは避けられないが、そこには絶望だけでなく、ほんの少しではあるが救済がある。」という独自の死生観を表現。この死生観の表現は、雪が降りしきる夜の風景との出会いにより、絵画に描かれた情景からは作者自身の喪失感や絶望、そして充足感や安堵などの複雑な心理により表現された作品を紹介しました。

- ◆会期 2020年4月7日(火)～5月10日(日) 13日間  
※4月22日(水)～5月6日(水)は臨時休館
- ◆入場者数 171人
- ◆担当学芸員 三宅靖之
- ◆イベント  
アーティストレクチャー (p.148)  
ワークショップ「マスキングインクで遊ぼう！」(p.148)  
公開制作(p.148)

- ◆主な新聞・雑誌等関連記事  
四国新聞 4月9日、4月16日  
読売新聞 4月18日  
Komachi 5月号



(チラシ)



No.	作品名	制作年	技法・材質	所蔵
1.	春の狩り IV	2020	アクリル・キャンバス	全て作家蔵
2.	春の狩り III	2020	アクリル・キャンバス	
3.	Moran I	2019	アクリル・キャンバス	
4.	Moran II	2019	アクリル・キャンバス	
5.	温かい光に引きつけられて II	2019	アクリル・キャンバス	
6.	明るく温かい場所 II	2018	アクリル・キャンバス	
7.	Ghost Farm II	2015	油彩・キャンバス	
8.	シリーズ《心象風景》	2014-2015	油彩・キャンバス	
9.	Iceland Boy I	2009	油彩・キャンバス	
10.	Skelton II	2015	油彩・キャンバス	
11.	明るく温かい場所 III	2018	アクリル・キャンバス	
12.	明るく温かい場所 IV	2018	アクリル・キャンバス	
13.	Moran III	2017	アクリル・キャンバス	
14.	Moran IV	2017	アクリル・キャンバス	
15.	春の狩り II	2020	アクリル・キャンバス	
16.	明るく温かい場所 I	2018	アクリル・キャンバス	
17.	春の狩り I	2020	アクリル・キャンバス	

## －植物を彫る－ 木版画展

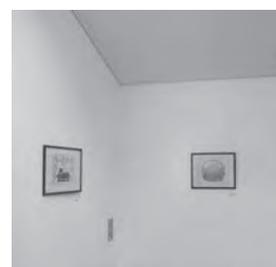
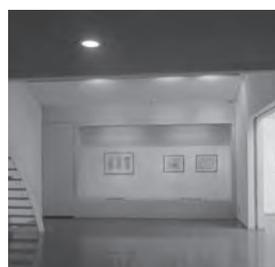
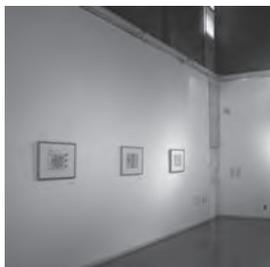
当館コレクションの中から香川県内で活動していた美術団体「讃岐・版の会」に所属し、木版画制作への情熱を傾けてきた池田利夫の作品を当館コレクションの中から紹介します。池田の作品は、身近な自然の植物に目を向け、植物の特徴をよく観察して独特の視点で捉えて、版木に彫り起こした作品を制作しています。木版画から溢れでる味わいのある作品を紹介しました。

- ◆会期 2020年5月16日(土)～6月13日(土) 25日間
- ◆入場者数 364人
- ◆担当学芸員 三宅靖之

- ◆主な新聞・雑誌等関連記事
- 四国新聞 6月9日
- ワイヤーママ 6月号



(チラシ)



No.	作品名	制作年	技法・素材	所蔵	
1.	ツリフネソウ	版画集『植物図鑑』より	1998	紙・木版	全て塩江美術館蔵
2.	チゴユリ	版画集『植物図鑑』より	1998	紙・木版	
3.	ツクサ花の一生	版画集『植物図鑑』より	1998	紙・木版	
4.	オオマツヨイグサ	版画集『植物図鑑』より	1998	紙・木版	
5.	春の野草	版画集『植物図鑑』より	1998	紙・木版	
6.	夏の野草Ⅰ～Ⅲ	版画集『植物図鑑』より	1998	紙・木版	
7.	チューリップ狂物語	版画集『わたしの植物誌』より	2000	紙・木版	
8.	花暦	版画集『わたしの植物誌』より	2000	紙・木版	
9.	屠蘇	版画集『わたしの植物誌』より	2000	紙・木版	
10.	春の七草	版画集『わたしの植物誌』より	2000	紙・木版	
11.	植物観察-11月の八峯	版画集『わたしの植物誌』より	2000	紙・木版	
12.	コーヒー伝播	版画集『わたしの植物誌』より	2000	紙・木版	
13.	海浜植物-5月の有明浜	版画集『わたしの植物誌』より	2000	紙・木版	
14.	メタセコイアと三木博士	版画集『わたしの植物誌』より	2000	紙・木版	
15.	源内と本草学	版画集『わたしの植物誌』より	2000	紙・木版	
16.	ジャガイモ伝播	版画集『植物図鑑』より	1998	紙・木版	
17.	カタクリの生活史	版画集『植物図鑑』より	1998	紙・木版	
18.	サギソウ	版画集『植物図鑑』より	1998	紙・木版	
19.	ナンバンギゼル	版画集『植物図鑑』より	1998	紙・木版	
20.	カラスウリの生活史	版画集『植物図鑑』より	1998	紙・木版	
21.	秋の七草	版画集『植物図鑑』より	1998	紙・木版	

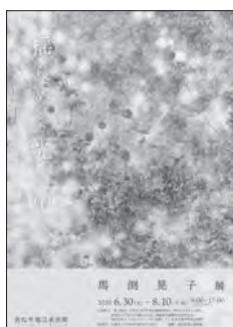
## －揺らめく光の中へ－ 馬淵晃子展

私たちの日常は、日々目まぐるしく変化する時間の中で暮らしています。馬淵晃子の描く作品は、時間の存在を忘れてしまうかのようにゆったりと穏やかな気配が漂う、心地よい空間を生み出しています。馬淵は作品を描く際に、“微かに違う香りや光、その時の湿度や音などの変化を画面の中に閉じ込めていきたい”と語っています。幾重にも繊細に描きこまれた作品のマチエールからは、馬淵の研ぎ澄まされた感覚が共感できる作品を紹介しました。

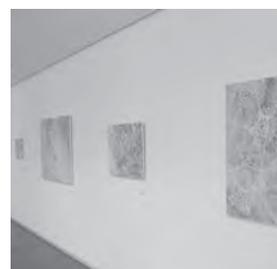
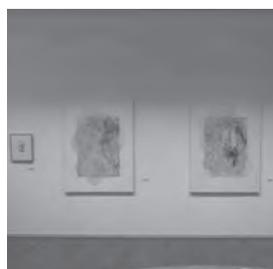
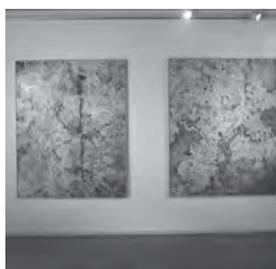
- ◆会期 2020年6月30日(火)～8月10日(月・祝) 37日間
- ◆入場者数 953人
- ◆担当学芸員 三宅靖之

- ◆イベント  
アーティストレクチャー (p.148)

- ◆主な新聞・雑誌等関連記事
- 四国新聞 7月8日
- 朝日新聞 7月3日
- Komachi 6・7月合併号
- ワイヤーママ 7月号
- CVT四国 7月4日



(チラシ)



No.	作品名	制作年	技法・材質	所蔵
1.	works 2010-1	2010	油彩・キャンバス	全て作家蔵
2.	works 2010-5	2010	油彩・キャンバス	
3.	works 2009-31	2009	油彩・パラフィン紙・水彩・紙・パネル	
4.	works 2009-18	2009	油彩・パステル・色鉛筆・キャンバス	
5.	works 2010-17	2010	油彩・キャンバス	
6.	works 2009-25	2009	油彩・パラフィン紙・水彩・紙	
7.	works 2009-26	2009	油彩・キャンバス	
8.	works 2009-24	2009	油彩・パラフィン紙・水彩・紙	
9.	works 2009-28	2009	油彩・パラフィン紙・水彩・紙・パネル	
10.	works 2009-30	2009	油彩・パラフィン紙・水彩・紙・パネル	
11.	works 2009-23	2009	油彩・パラフィン紙・紙	
12.	すいめい	2019	油彩・キャンバス	
13.	あえか	2019	油彩・キャンバス	
14.	いぶき	2019	油彩・キャンバス	
15.	しょうけい	2020	油彩・キャンバス	
16.	こうき	2019	油彩・キャンバス	
17.	せきぜん	2020	油彩・キャンバス	
18.	しょうこう	2019	油彩・キャンバス	
19.	しずりゆき	2018	シルクスクリーン・水彩・紙	
20.	かんよう	2018	シルクスクリーン・水彩・紙	
21.	きすう	2018	シルクスクリーン・水彩・紙	
22.	ざんか	2015	水彩・油彩・パネル	
23.	よえい	2014	水彩・油彩・パネル	
24.	ろこう	2015	水彩・油彩・パネル	

## こころの奥にある風景 —原風景を訪ねて—

原風景とは、人の心の奥にあり、歩んできた人生の原初を想起させる風景であることから、懐かしさや安らぎが伴われることが多いものです。当館のコレクションの中から、だれもが持つ「こころの故郷(ふるさと) ”へと立ちかえり、懐かしみの感情に誘われ、様々な素材や表現方法を通して制作された作品からご自身の原風景を思い起こし、重ね合わせながらお楽しみいただける作品を紹介しました。

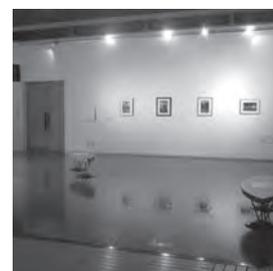
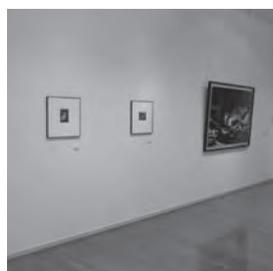
- ◆会期 2020年8月18日(火)～9月22日(火・祝) 32日間
- ◆入場者数 711人
- ◆担当学芸員 高嶋良子

### ◆主な新聞・雑誌等関連記事

- 四国新聞 8月18日、8月22日
- CVT四国 8月20日
- Komachi 9月号



(チラシ)



No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	所蔵
1.	川瀬巴水	さぬき高松城	1922	木版	全て塩江美術館蔵
2.	川瀬巴水	鯉のぼり	1948	木版	
3.	川瀬巴水	讃岐豊浜	1936	木版	
4.	川瀬巴水	讃岐海岸寺の浜	1934	木版	
5.	池田利夫	胡瓜と茄子(版画集「野の贈りもの」より)	1977	木版	
6.	池田利夫	新豆(版画集「野の贈りもの」より)	1977	木版	
7.	池田利夫	西瓜(版画集「野の贈りもの」より)	1977	木版	
8.	山下晴義	春色の径	1995	金工	
9.	西澤智子	音羽川Ⅰ	1993	日本画	
10.	坂村真民	念ずれば花ひらく	1993	書	
11.	宮脇仲次郎	津田松原(錦絵讃岐名所より)	1901	石版	
12.	宮脇仲次郎	寒霞溪(錦絵讃岐名所より)	1901	石版	
13.	宮脇仲次郎	粟林公園(錦絵讃岐名所より)	1901	石版	
14.	宮脇仲次郎	観音寺琴弾公園(錦絵讃岐名所より)	1901	石版	
15.	池原昭治	秋の雑木林	1994	水彩・紙	
16.	佐野隆夫	瀬戸内の夕	1983	シルクスクリーン	
17.	北岡文雄	快晴石鎚	1976	シルクスクリーン	
18.	奥村厚一	談古嶺の夏(屋島)	1952	木版	
19.	伊東義久	八幡堀(滋賀県近江八幡市)	1997	水彩・紙	
20.	伊東義久	津軽平野からの岩木山(青森県)	1998	水彩・紙	
21.	伊東義久	雨後竹林(香川県高松市塩江町)	1992	水彩・紙	
22.	比嘉良治	香東川	2004	ピンホール・印画紙	
23.	比嘉良治	流れ	2004	ピンホール・印画紙	
24.	比嘉良治	内場ダム	2004	ピンホール・印画紙	
25.	所幸剛	January 8 2015 14:45:20 @A Velocity of 83.333333333m/s	2015	ポリカーボネイト板・印画紙	

## 岩とイワ展

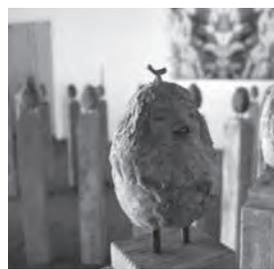
陶芸家・及川みのる(香川県在住)と写真家・上樂博之(神奈川県在住)による二人展。及川は、2012年に茨城県から香川県に移住、陶土による陶彫作品を制作しています。及川は、制作活動の途中で人間の力では自然に抗えないことに気づき自然の偉大さ、厳しさを知りました。自然を受け入れた及川は、人間の原点へと戻り、自然と共生する制作活動をしています。上樂は、自然への畏敬の念を抱いて、自然を被写体に対峙しています。撮影には、雄大な自然の中に自分自身の身を置き、そこに確かに存在している古層の光を肌で感じ、撮影をしています。この二人によるインスタレーション作品を紹介しました。

- ◆会期 2020年9月29日(火)～11月8日(日) 36日間
- ◆入場者数 1,294人
- ◆担当学芸員 高嶋良子

- ◆主な新聞・雑誌等関連記事
- 四国新聞 10月8日
- Komachi 10月号
- NICE TOWN 10月号



(チラシ)



No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	所蔵
1.	及川みのる	唇つや子(小品) 94点	2019-2020	陶・鉄・木	全て作家蔵
2.	及川みのる	唇つや子(大) 1点	2020	陶・鉄・木	
3.	及川みのる	御水くみ子	2018	陶	
4.	及川みのる	葉っぱとる子	2018	陶	
5.	及川みのる	鳥羽じゃらし子	2019	陶	
6.	及川みのる	火守明子	2018	陶	
7.	及川みのる	天秤はかり子	2020	陶	
8.	及川みのる	光合成子	2020	陶	
9.	及川みのる	タマガ	2020	スタイロフォーム	
10.	及川みのる	鳥居柱	2020	スタイロフォーム	
11.	上樂博之	銚のあ、うん#1	2017	インクジェット・アルミ板	
12.	上樂博之	銚のあ、うん#2	2017	インクジェット・アルミ板	
13.	上樂博之	銚のあ、うん#3	2017	クロムジェニックプリント	
14.	上樂博之	Mrの朝	2017	クロムジェニックプリント	
15.	上樂博之	さわらずの森	2017	クロムジェニックプリント	
16.	上樂博之	派生#5	2017	インクジェット・アルミ板	
17.	上樂博之	派生#6	2017	インクジェット・アルミ板	
18.	上樂博之	ここにコロソ	2020	自然石・電球	

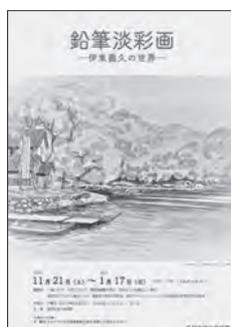
## 鉛筆淡彩画 — 伊東義久の世界 —

伊東義久(1917-2003)は、移り行く自然に魅了され、水彩を用いた透明感のある風景作品を描き残しています。無駄のないびやかな鉛筆の線で描き、水彩により淡彩がほどこされた作品には趣きと空気感が生み出されています。伊東はドイツの文豪ヘルマン・ヘッセの自然を愛でる姿、そしてありのままを受け入れる姿勢に敬愛したことから、ヘッセの生活ぶりにならい、「絵を描く日」と「庭仕事の日」を区別した生活を送りました。ヘッセに共感した伊東が描いてきた鉛筆淡彩画作品を紹介し、自然とともに生きる姿や心にしたものを描きだす姿勢を楽しんでいただきました。

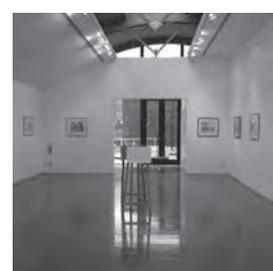
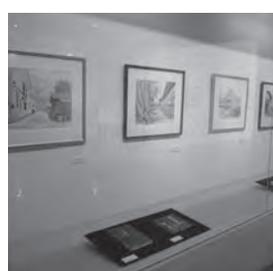
- ◆会期 2020年11月21日(土)～2021年1月17日(日) 44日間  
 ◆入場者数 933人  
 ◆担当学芸員 高嶋良子

## ◆主な新聞・雑誌等関連記事

- 四国新聞 11月16日  
 読売新聞 12月21日  
 Komachi 12月号  
 ままといっしょ 冬号



(チラシ)



No.	作品名	制作年	技法・材質	所蔵
1.	木崎湖にて(長野県大町市)	1987	水彩・紙	全て塩江美術館蔵
2.	八ヶ岳南麓にて(長野、山梨県境)	1989	水彩・紙	
3.	穂高川河畔にて(長野県穂高町)	1990	水彩・紙	
4.	石廊崎(静岡県賀茂郡南伊豆町)	1991	水彩・紙	
5.	下流にて(静岡県賀茂郡南伊豆町)	1991	水彩・紙	
6.	蓼科湖にて(長野県茅野市北山蓼科)	1992	水彩・紙	
7.	雨飾山遠望(長野県北安曇郡小谷村)	1992	水彩・紙	
8.	礫山美術館(長野県穂高町)	1992	水彩・紙	
9.	ホテル「いそかぜ」より(静岡県下田市須崎)	1993	水彩・紙	
10.	なまこ壁通り(静岡県賀茂郡松崎町)	1994	水彩・紙	
11.	瘤櫓、走り根のある裏道(埼玉県飯能市)	1995	水彩・紙	
12.	箱根駒ヶ岳(神奈川県足柄下郡箱根町)	1995	水彩・紙	
13.	北郊の民家(福島県喜多方市内)	1996	水彩・紙	
14.	置き屋根の蔵(福島県喜多方市杉山地区)	1996	水彩・紙	
15.	青い屋根の民家(福島県喜多方市三津谷地区)	1996	水彩・紙	
16.	近郊の民家(福島県喜多方市喜多方地区)	1996	水彩・紙	
17.	置き屋根つきの蔵(福島県喜多方市杉山地区)	1996	水彩・紙	
18.	うるし蔵(福島県喜多方市内)	1996	水彩・紙	
19.	島新商店の長い蔵(福島県喜多方市内)	1996	水彩・紙	
20.	海鹿島(千葉県銚子市)	1996	水彩・紙	
21.	犬吠崎(千葉県銚子市)	1996	水彩・紙	
22.	岡崎信用金庫資料館(愛知県岡崎市)	1996	水彩・紙	
23.	八丁味噌工場構内(愛知県岡崎市)	1996	水彩・紙	
24.	漁舟(静岡県東伊豆稲取漁港)	1997	水彩・紙	
25.	武蔵野市文理台公園(東京都西東京市)	1997	水彩・紙	
26.	弘前城(青森県弘前市)	1998	水彩・紙	

## ゆったりしま書♪展

私たちは生活する中で情報や感情などを伝えようとするとき、音声や文字を用いています。特に東洋の漢字文化圏では、文字は古来より記録として使用されるだけでなく、毛筆による書は芸術としても位置づけられており、リズムを以って表出できる点で、音楽的でもあり、抽象符号化された形象は美的な魅力に富んでいます。

当館コレクションの中から様々な種類の形の料紙に、筆線の肥瘦(ひそう)や墨色により躍動感のある書(屏風仕立て)を書いた香川県出身で漢学者の藤澤南岳(ふじさわ なんがく)(1842-1920)や巧みな紙面構成で流れるように伸びやかな線質、墨の濁潤が特徴的な、塩江町出身の竹下孟子(たけした もとこ)(1943-)の仮名書など、ゆったりとした気持ちになる香川にゆかりのある書作品23点を紹介しました。

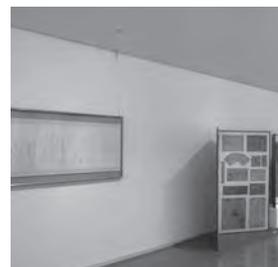
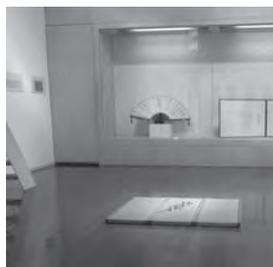
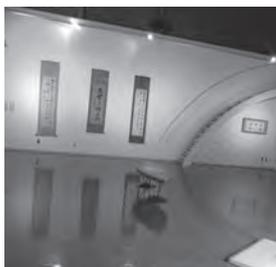
- ◆会期 2021年1月30日(土)～3月28日(日) 50日間
- ◆入場者数 733人
- ◆担当学芸員 高嶋良子

### ◆主な新聞・雑誌等関連記事

- 毎日新聞 1月31日
- 四国新聞 3月18日、3月25日
- 読売新聞 3月8日、3月28日
- NICE TOWN 2月号
- ままといっしょ 2021春号
- Komachi 4月号
- FMかがわ 2月10日
- 西日本放送ラジオ 2月20日



(チラシ)



No.	作家名	技法・材質	所蔵
1.	藤澤東暎	軸装	全て塩江美術館蔵
2.	藤澤東暎	軸装	
3.	藤澤南岳	軸装	
4.	藤澤南岳	軸装	
5.	藤澤南岳	軸装	
6.	藤澤南岳	軸装	
7.	藤澤南岳	軸装	
8.	藤澤憲一	額装	
9.	藤澤南岳	軸装	
10.	藤澤南岳	軸装	
11.	佐長貴美子	扇面	
12.	藤澤芳月	帖	
13.	藤澤芳月	色紙	
14.	藤澤芳月	額装	
15.	複数作家	屏風	
16.	藤澤南岳	屏風	
17.	藤澤美智夫	軸装	
18.	藤澤黄波	軸装	
19.	藤澤黄波	軸装	
20.	藤澤黄波	軸装	
21.	竹下孟子	軸装	
22.	竹下孟子	軸装	
23.	竹下孟子	額装	

## (2) 常設展

### 【第Ⅰ期常設展】

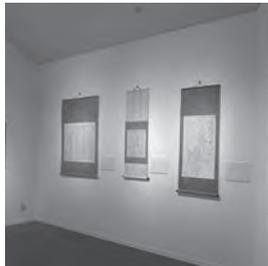
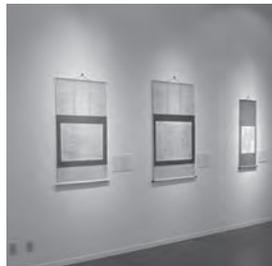
#### 民話と拓本

塩江の説話を書き記した「塩江の民話」の挿絵と美術館周辺の句碑の拓本作品を紹介しました。

- ◆会期 2020年4月18日(土)～8月16日(日) 87日間
- ◆入場者数 5,516人
- ◆担当学芸員 三宅靖之



(チラシ)



### 【第Ⅱ期常設展】

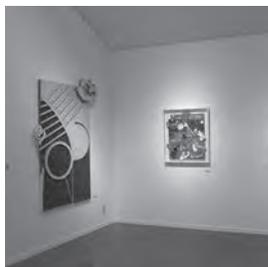
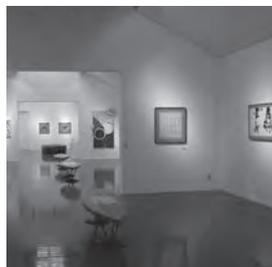
#### リズムを奏でる作品たち

作家たちのさまざまなアプローチにより生み出される、多様なリズムを奏でる作品を紹介しました。

- ◆会期 2020年8月22日(土)～12月6日(日) 92日間
- ◆入場者数 2,660人
- ◆担当学芸員 高嶋良子



(チラシ)



### 【第Ⅲ期常設展】

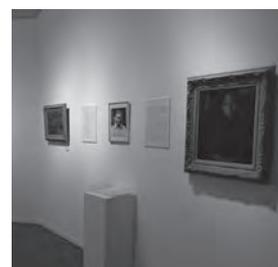
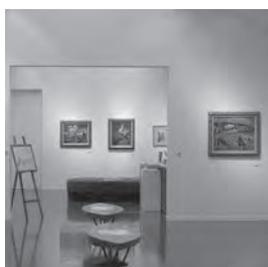
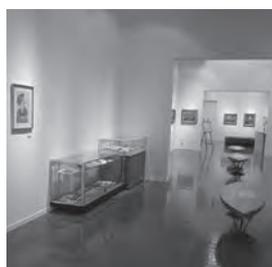
#### 光に魅せられた画家 熊野俊一

熊野俊一が、欧州の光に魅せられて描く風景画などを当時の資料と共に紹介しました。

- ◆会期 2020年12月15日(火)～2021年4月11日(日) 96日間(3月31日まで：86日間)
- ◆入場者数 972人
- ◆担当学芸員 三宅靖之



(チラシ)



## (1) 講演会

- ◆アーティスト・レクチャー (中止)  
作家本人による作品制作などに関するレクチャー。  
※「Step on the Snow 三村昌道展」関連  
日時：4月19日(日) 13:00～  
講師：三村昌道(出品作家)  
場所：企画展示室(要観覧券)  
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止

- ◆アーティスト・レクチャー  
作家本人による作品制作などに関するレクチャー。  
※「一揺らめく光の中へー馬淵晃子展」関連  
日時：7月25日(土) 13:00～  
講師：馬淵晃子(出品作家)  
場所：企画展示室(要観覧券)  
参加者数：44人



## (2) ワークショップ

- ◆マスキングインクで遊ぼう(中止)  
企画展に関連し、大きなロール紙にマスキングインクでとアクリルで作品制作。  
※「Step on the Snow 三村昌道展」関連  
日時：4月26日(日) 10:00～12:00  
講師：三村昌道(出品作家)  
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止

- ◆風鈴作り教室  
陶土を使ったオリジナルの風鈴を制作。  
日時：8月22日(土)、23日(日) 各日10:00～11:30、13:30～15:00  
講師：貴志 勉(陶芸家)  
場所：デッキ  
受講料：500円(材料費800円)  
参加者数：38人



- ◆陶芸教室  
全8回の日程で受講者を募り、基礎コースと経験者コースに分かれて陶芸作品を制作。  
日時：9月19日(土)、26日(土)、10月3日(土)、10日(土) 17日(土)、24日(土)、31日(土)、  
11月14日(土) 各日10:00～12:30  
講師：田淵太郎(陶芸家)  
場所：陶芸室  
受講料：2,000円(材料費3,800円)  
参加者数：延べ64人



## (3) パフォーマンス・その他

- ◆公開制作  
美術館デッキにて制作する様子を来館者に公開。  
※「Step on the Snow 三村昌道展」関連  
会期：展覧会開催期間中の土曜日・日曜日 終日  
講師：三村昌道(出品作家)  
場所：デッキ  
参加者数：延べ10人



- ◆美術館の日  
展覧会の観覧料を無料。ワークショップは中止。  
日時：8月1日(土)  
入場料：無料  
参加者数：92人



## (1) 新収蔵作品

新収蔵作品点数						
区分	洋画	日本画	彫刻	工芸	書	その他(資料)
平成30年度購入	—	—	—	—	—	—
平成30年度寄贈	—	—	—	—	—	—
令和元年度購入	1	—	—	—	—	—
令和元年度寄贈	6	—	—	—	—	—
令和2年度購入	—	—	—	—	—	—
令和2年度寄贈	7	—	—	—	—	—

収蔵作品総点数							
区分	洋画	日本画	彫刻	工芸	書	その他(資料)	計
購入	47	—	6	7	—	1	61
寄贈	626	7	6	6	119	458	1,222
計	673	7	12	13	119	459	1283

## ◆令和元年度購入

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	規格
1.	四宮 龍	Seaman(浮遊)2019	2019	流木・廃材・発砲スチロール・ 紙粘土・樹脂・アクリルなど	150×125×25cm(枠板) 117.5×91×25cm(本体)

## ◆令和元年度寄贈

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	規格
1.	江戸 健	マドモアゼル		銅版・紙	17×11cm
2.	江戸 健	いずこへ		銅版・紙	19.8×13cm
3.	江戸 健	高速バスはバッカロ湖へ 向かって利根川光人さんを偲ぶ		銅版・紙	22×16.5cm
4.	江戸 健	無題	1981	銅版・紙	25×16.3cm
5.	江戸 健	望郷Ⅰ		銅版・紙	24×18cm
6.	江戸 健	望郷Ⅱ	1981	銅版・紙	25×16cm

## ◆令和2年度寄贈

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	規格
1.	江戸 健	パリの裏街	1988	油彩・キャンバス	56.5×64cm
2.	江戸 健	雪の公園 Paris17区	1975	パステル・紙	41.5×51.5cm
3.	江戸 健	パリの街角		パステル・紙	45.5×65.5cm
4.	江戸 健	サクレクール寺院	1978	パステル・紙	42.5×54.5cm
5.	江戸 健	パリ第七大学より		パステル・紙	60.5×45.5cm
6.	江戸 健	アンティーブ港町	1977	パステル・紙	46×61cm
7.	江戸 健	水の記憶	1988	パステル・紙	43×55cm

(1) 貸館

【平成30(2018)年度】

企画展示室			
展覧会名	会期	日数	入場者数
戸田由美子作品展 INSPIRING	2018/5/12～12/20	8	267
計1		8	267

【令和元(2019)年度】

企画展示室			
展覧会名	会期	日数	入場者数
戸田由美子作品展 INSPIRING	2019/10/26～11/4	9	282
四国素展	2020/1/29～2/2	5	482
計2		14	764

デッキ・喫茶室			
使用用途	会期	日数	入場者数
コンサート	2019/4/13	1	107
コンサート	5/18	1	58
コンサート	6/8	1	45
ワークショップ	8/20	1	19
コンサート	11/6	1	57
企画展示室関連	2020/1/29～2/2	5	230
計6		10	516

【令和2(2020)年度】

ホール			
イベント名	会期	日数	入場者数
コンテンポラリーダンス練習	2020/6/20～6/21	2	—
コンテンポラリーダンス公演(準備日含む)	11/13～11/15	3	60
計2		5	60

# 参考資料

## 施設概要

### 高松市美術館

所在地 / 高松市紺屋町10-4

敷地面積 / 4,497.24㎡

建築面積 / 3,202.68㎡

延床面積 / 15,799.48㎡ (うち美術館部分9,875.80㎡)

構造 / 鉄骨鉄筋コンクリート造(地上部)  
鉄筋コンクリート造(地下部)

規模 / 地下2階地上5階(一部中2階)

工期 / 昭和60年12月～昭和63年2月

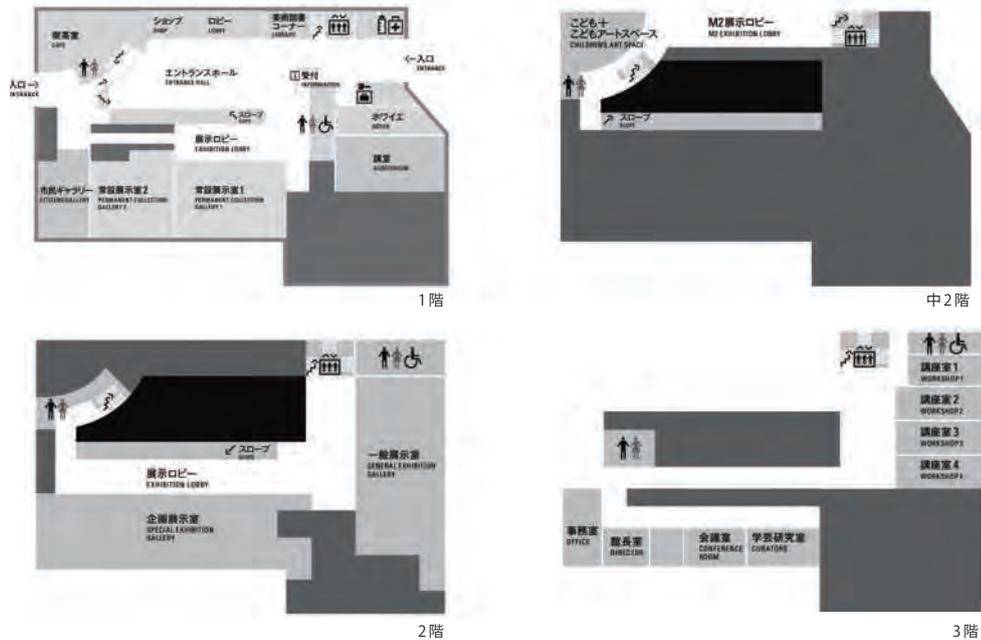
設計・監理 / (株)佐藤総合計画

令和3年4月1日現在

### 高松市美術館面積

部門	室名	階	面積(㎡)	部門	室名	階	面積(㎡)
展示	常設展示室1	1	262	管理・研究	館長室	3	41
	常設展示室2	1	179		応接室	3	41
	企画展示室	2	680		会議室	3	82
	一般展示室	2	574		事務室	3	91
	市民ギャラリー	1	140		学芸研究室	3	88
	主催者控室	1・2	14		学芸資料室	3	42
	展示室用倉庫	1・2	106		警備員室	1	23
計		1,955	監視員控室		3	34	
教育普及	講堂	1	194		清掃員控室	3	16
	効果室など	1	64		中央監視室	B2	28
	ホワイエ	1	88	更衣室・その他		108	
	こども+	M2	105	計		594	
	書庫	M2	21	エントランスホール	1	502	
	図書コーナー	1	37	ロビー・展示ロビー		936	
	講座室1	3	66	自転車置場	B1	226	
	講座室2	3	80	喫茶室	1	144	
	講座室3	3	76	機械室・その他		3,594	
	講座室4	3	79	計		5,402	
	準備室など	3	90	総計(延床面積)		9,876	
計		900					
収蔵	収蔵庫1	2	153				
	収蔵庫2	3	124				
	収蔵庫3	3	284				
	収蔵庫4	3	43				
	収蔵庫5	3	52				
	一時収蔵庫	1	56				
	荷解室その他		313				
計		1,025					

### 高松市美術館平面図



### 高松市塩江美術館

所在地 / 高松市塩江町安原上602番地

敷地面積 / 5,173.48㎡

建築面積 / 718.24㎡

延床面積 / 829.33㎡

構造 / 木造一部鉄骨造

規模 / 地上1階(一部2階)

工期 / 平成5年2月～平成5年12月

設計・監理 / アーレン・プランニング研究所

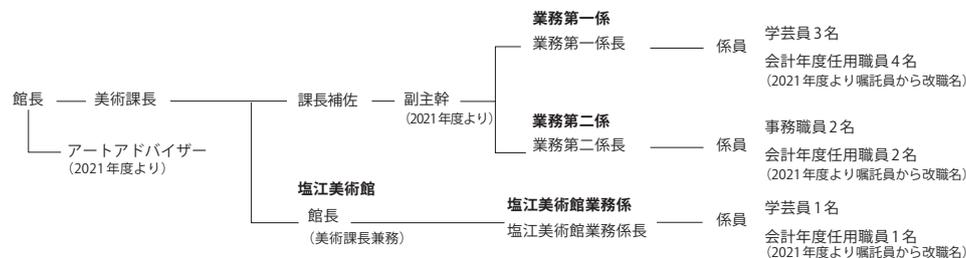
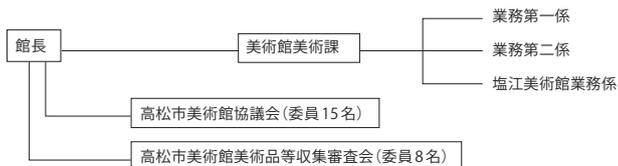
令和3年4月1日現在

### 高松市塩江美術館平面図



## 組織図

高松市創造都市推進局 文化・観光・スポーツ部美術館美術課



## 高松市美術館条例

高松市美術館条例(昭和39年高松市条例第44号)の全部を改正する。

### 設置

第1条 美術に関する市民の知識及び教養の向上と市民文化の発展に寄与するため、博物館法(昭和26年法律第285号。以下「法」という。)第18条の規定に基づき、美術館を設置する。

### 名称及び所在

第2条 美術館の名称及び所在は、次のとおりとする。

名称	所在
高松市美術館	高松市紺屋町10番地4

### 事業

第3条 高松市美術館(以下「美術館」という。)は、第1条に規定する美術館の設置目的を達成するため、次に掲げる事業を行う。

- 美術品その他美術に関する資料(以下「美術品等」という。)を収集し、保管し、及び展示すること。
- 美術に関する調査及び研究を行うこと。
- 美術に関する展覧会、講演会、講習会等を開催し、及びその奨励を行うこと。
- 美術に関する講座を開設すること。
- 美術に関する情報を提供すること。
- 美術館の施設・設備等(以下「施設等」という。)を美術に関する集会、展示等(施設のうち、講堂にあっては、文化に関するものを含む。)のために提供すること。
- 前各号に掲げるもののほか、目的を達成するために必要な事業

### 観覧料

第4条 美術館が主催して展示する美術品等を観覧しようとする者は、別表第1に規定する観覧料を納付しなければならない。

### 施設等の使用許可

第5条 施設等を使用しようとする者は、あらかじめ高松市教育委員会(以下「委員会」という。)の許可を受けなければならない。許可された事項を変更する場合も、同様とする。

### 使用許可の基準等

第6条 委員会は、次の各号のいずれかに該当するときは、使用を許可しない。

- 美術館の設置目的に反する使用をするおそれがあると認められるとき。
  - 館内の秩序を乱すおそれがあると認められるとき。
  - 施設等を損傷するおそれがあると認められるとき。
  - その他美術館の管理上支障があると認められるとき。
- 2 委員会は、管理上必要があると認めるときは、使用の許可に条件を付すことができる。

### 使用目的の変更等の禁止

第7条 第5条の規定により使用の許可を受けた者(以下「使用者」という。)は、使用の目的を許可なく変更し、又は使用の権利を譲渡し、若しくは転貸してはならない。

### 使用許可の取消し、停止等

第8条 委員会は、使用許可後において、第6条第1項各号のいずれかに該当する理由が生じたとき、又は使用者が同条第2項の許可条件若しくは前条の規定に違反したときは、使用許可を取り消し、若しくは停止し、又は条件を変更することができる。この場合において、使用者が損害を受けても、委員会は其の責めを負わない。

### 使用料の納付

第9条 使用者は、別表第2に規定する使用料を当該許可の際に前納しなければならない。ただし、国若しくは地方公共団体が使用する場合又は委員会が特別の理由があると認める場合は、この限りでない。

### 特別の設備等

第10条 使用者は、美術館に特別の設備をし、又は備付け以外の器具を使用しようとするときは、あらかじめ委員会の許可を受けなければならない。

2 委員会は、管理上必要があると認めるときは、使用者の負担において、前項の特別の設備等をさせることができる。

### 原状回復の義務

第11条 使用者は、使用後、使用した施設等及び前条の特別の設備等を使用許可期限内に原状に復さなければならない。使用許可の取消し等を受けた場合も、同様とする。

### 使用者の責任

第12条 使用者は、使用期間中善良な管理を怠ってはならない。

### 職員の立入り

第13条 美術館の職員は、管理上必要があると認めるときは、随時立入りをすることができる。

### 撮影の許可及び手数料

第14条 美術館に収蔵している美術品等について、学術研究等のため撮影をしようとする者は、あらかじめ委員会の許可を受けなければならない。

2 前項の許可を受けた者は、別表第3に規定する手数料を納付しなければならない。

### 観覧料及び使用料の返還

第15条 既納の観覧料及び使用料は、返還しない。ただし、委員会が特別の理由があると認めるときは、その全部又は一部を返還することができる。

### 観覧料の減免

第15条の2 市長は、委員会において必要と認めるときは、観覧料を減額し、又は免除することができる。

### 利用の制限

第15条の3 委員会は、次の各号のいずれかに該当する者に対しては、入館を拒み、又は退館を命ずることができる。

- 秩序を乱し、若しくは公益を害し、又はそのおそれがあると認められる者
- 美術品等又は施設等を損傷し、若しくは滅失し、又はそのおそれがあると認められる者
- その他美術館の管理上支障があると認められる者

### 損害賠償

第16条 美術館の入館者又は使用者が、自己の責めに帰すべき理由により、美術品等若しくは施設等を損傷し、又は滅失したときは、委員会の指示に従い、その損害を賠償しなければならない。

### 喫茶室の使用

第17条 委員会は、美術館内で喫茶室を経営しようとする者に対し、1年以内の期間に限り、地方自治法(昭和22年法律第67号)第238条の4第7項の規定により使用を許可することができる。この場合において、委員会が必要であると認めるときは、同一人に対し引き続き使用を許可することができる。

2 前項の許可を受けた者は、高松市行政財産の目的外使用に関する使用料条例(昭

## 高松市美術館条例

和39年高松市条例第20号)別表に掲げる使用料を納付しなければならない。  
 3 前項の使用料は、毎月10日(その日が日曜日、国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日又は土曜日に当たるときは、これらの日の翌日)までにその月分を納付しなければならない。

### 委任

第18条 この条例の施行に関し必要な事項は、委員会が定める。

### 附則

この条例は、昭和63年4月1日から施行する。ただし、第4条から第17条までの規定は、同年8月6日以後の供用に係るものから適用する。

#### 附則(昭和63年12月24日条例第27号)

この条例は、昭和64年2月1日から施行する。

#### 附則(平成元年3月29日条例第24号)

1 この条例は、平成元年5月1日から施行する。ただし、第15条の次に1条を加える改正規定は、同年4月1日から施行する。  
 2 この条例の施行の際現に使用を許可されている者に係る既納の使用料については、なお従前の例による。

#### 附則(平成6年3月28日条例第22号)

1 この条例は、平成6年4月1日から施行する。  
 2 この条例の施行の際現に使用を許可されている者に係る既納の使用料又はこの条例の施行の日前の使用に係る使用料については、なお従前の例による。

#### 附則(平成9年3月27日条例第39号)

1 この条例は、平成9年4月1日から施行する。  
 2 この条例の施行の際現に使用等を許可されている者に係る既納の使用料及び手数料については、なお従前の例による。

#### 附則(平成9年6月26日条例第53号)

この条例は、公布の日から施行する。

#### 附則(平成11年7月14日条例第19号)

この条例は、公布の日から施行する。

#### 附則(平成12年3月27日条例第6号)

この条例は、平成12年4月1日から施行する。

#### 附則(平成13年3月23日条例第38号)

1 この条例は、平成13年4月1日から施行する。  
 2 この条例の施行の際現に使用等を許可されている者に係る既納の使用料及び手数料については、なお従前の例による。

#### 附則(平成19年3月23日条例第2号抄)(施行期日)

1 この条例は、平成19年4月1日から施行する。

#### 附則(平成20年3月26日条例第29号抄)(施行期日)

1 この条例は、平成20年4月1日から施行する。

#### 附則(平成22年3月26日条例第6号)

この条例は、平成22年4月1日から施行する。

#### 附則(平成25年12月25日条例第103号)

1 この条例は、平成26年4月1日から施行する。  
 2 この条例の施行の際現に使用等を許可されている者に係る既納の使用料及び手数料については、なお従前の例による。

#### 附則(平成27年12月28日条例第73号)

1 この条例は、公布の日から起算して4月を超えない範囲内において規則で定める日から施行する。(平成28年高松市規則第4号により、平成28年3月26日から施行)  
 2 改正後の別表第2の規定は、この条例の施行の日以後の使用に係る使用料について適用する。

#### 附則(平成31年3月28日条例第62号)

1 この条例は、平成31年10月1日から施行する。ただし、別表第2第4項の表備考の改正規定は、公布の日から施行する。  
 2 この条例の施行の際現に使用を許可されている者に係る既納の使用料については、なお従前の例による。

### 別表第1 美術品等観覧料(第4条関係)

区分	観覧料(1人1回につき)		
	個人	団体(20人以上)	
常設展示観覧	一般	200円	160円
	大学生	150円	120円
特別展示観覧	2,000円の範囲内において 委員会がその都度定める額		

備考  
 1 「常設展示観覧」とは美術館が平常的に展示する美術品等の観覧をい、「特別展示観覧」とは美術館が特別に企画展示する美術品等の観覧をいう。  
 2 「一般」とは15歳以上の者(大学生及び備考3の規定の適用を受ける者を除く。)をい、「大学生」とは学校教育法(昭和22年法律第26号)第1条に規定する大学その他これに準ずるものに在学する者をいう。  
 3 就学年齢に達しない者又は学校教育法第1条に規定する小学校、中学校若しくは高等学校に在学する者若しくは委員会がこれらに準ずると認める者は、無料とする。

### 別表第2 施設等使用料(第9条関係)

#### 1 展示室使用料

室名	使用単位	使用料
一般展示室	1日	33,930円
企画展示室	1日	39,780円
市民ギャラリー	1日	8,640円

#### 備考

1 企画展示室は、委員会が特に必要と認める場合に限り、使用することができる。  
 2 使用許可を受けた期間内に、休館日(搬入のため展示室を使用する場合を除く。)がある場合は、当該休館日に係る使用料は徴収しない。

#### 2 講堂使用料

使用単位	午前	午後	夜間	午前・午後	午後・夜間	全日
	午前9時～ 正午	午後1時～ 午後5時	午後6時～ 午後9時	午前9時～ 午後5時	午後1時～ 午後9時	午前9時～ 午後9時
講堂	5,130円	6,840円	5,130円	11,970円	11,970円	17,100円

#### 備考

1 使用者が、営利を目的として使用するとき、又は入場料若しくはこれに類するものを徴収するときの使用料は、この表に規定する額の3倍の額とする。  
 2 申込時間を超過し、又は繰り上げて使用するときは、超過又は繰上時間1時間につき、別に全日の使用料の10分の1の額を徴収する。この場合、30分を超える端数については、1時間とみなす。  
 3 2日以上継続して使用許可を受けた場合において、各使用日における使用単位が全日の区分に該当するときの当該使用日分の使用料は、この表の規定にかかわらず、11,760円とする。  
 4 前項の場合において、使用許可を受けた期間内に、休館日(搬入のため使用する場合を除く。)がある場合は、当該休館日に係る使用料は徴収しない。

#### 3 講座室使用料

使用単位	午前	午後	全日
	午前9時～ 正午	午後1時～ 午後5時	午前9時～ 午後5時
講座室1	1,780円	2,380円	4,160円
講座室2	2,040円	2,780円	4,820円
講座室3	2,040円	2,780円	4,820円
講座室4	2,040円	2,780円	4,820円

#### 備考

使用者が、営利を目的として使用するとき、又は入場料若しくはこれに類するものを徴収するときの使用料は、この表に規定する額の3倍の額とする。

#### 4 附属設備及び器具使用料

省略

### 別表第3 美術品等撮影許可手数料(第14条関係)

区分	単位	手数料
学術研究を目的とする場合	1点につき1回	510円
出版等を目的とする場合	1点につき1回	5,220円

# 高松市塩江美術館条例

## 設置

第1条 美術に関する市民の知識及び教養の向上を図るとともに、市民に美術活動等の場を提供するため、高松市塩江美術館(以下「美術館」という。)を高松市塩江町安原上602番地に設置する。

## 事業

第2条 美術館は、前条に規定する美術館の設置目的を達成するため、次に掲げる事業を行う。

- (1) 美術品その他美術に関する資料(以下「美術品等」という。)を収集し、保管し、及び展示すること。
- (2) 美術に関する展覧会、講演会、講習会等を開催すること。
- (3) 美術に関する講座を開講すること。
- (4) 美術館の施設・設備等(以下「施設等」という。)を美術等に関する集会、展示等のために提供すること。
- (5) 前各号に掲げるもののほか、美術館の設置目的を達成するために必要な事業

## 観覧料

第3条 美術館が主催して展示する美術品等を観覧しようとする者は、別表第1に規定する観覧料を納付しなければならない。

## 施設等の使用許可

第4条 施設等を使用しようとする者は、あらかじめ教育委員会(以下「委員会」という。)の許可を受けなければならない。許可を受けた事項を変更する場合も、同様とする。

- 2 委員会は、次の各号のいずれかに該当するときは、前項の許可をしない。
  - (1) 美術館の設置目的に反する使用をするおそれがあると認められるとき。
  - (2) 美術館内の秩序を乱し、又は公益を害するおそれがあると認められるとき。
  - (3) 施設等を損傷し、又は滅失するおそれがあると認められるとき。
  - (4) 長期間にわたる継続使用により、他の使用を妨げるおそれがあると認められるとき。
- 3 委員会は、管理上必要があると認めるときは、第1項の許可に条件を付することができる。

## 使用許可の取消し、使用の停止等

第5条 委員会は、前条第1項の許可をした後において、同条第2項各号のいずれかに該当する理由が生じたとき、又は同条第1項の許可を受けた者(以下「使用者」という。)が次の各号のいずれかに該当するときは、当該許可を取り消し、若しくは使用を停止させ、又は当該許可に付した条件を変更することができる。この場合において、使用者が損害を受けても、委員会は、その責めを負わない。

- (1) この条例又はこの条例に基づく規則に違反したとき。
- (2) 前条第3項又はこの条の規定により前条第1項の許可に付した条件に違反したとき。
- (3) 偽りその他不正の手段により前条第1項の許可を受けたとき。

## 使用料の納付

第6条 使用者は、別表第2及び別表第3に規定する使用料を当該許可の際に前納しなければならない。ただし、国若しくは地方公共団体が使用する場合又は委員会が特別の理由があると認める場合は、この限りでない。

## 特別の設備等

第7条 使用者は、美術館に特別の設備をし、又は備付け以外の器具を使用しようとするときは、あらかじめ委員会の許可を受けなければならない。

2 委員会は、美術館の管理上必要があると認めるときは、使用者の負担において、前項の設備又は器具の使用をさせることができる。

## 原状回復の義務

第8条 使用者は、使用を終わったとき、又は使用を中止したときは、当該許可に係る使用期限までに、施設等を原状に回復しなければならない。第5条の規定による許可の取消し又は使用の停止を受けたときも、同様とする。

2 委員会は、使用者が前項に規定する義務を履行しないときは、使用者に代わり原状に回復する。この場合において、使用者は、当該原状回復に要した費用を負担しなければならない。

## 撮影の許可及び手数料

第9条 美術館に保管し、又は展示している美術品等について、学術研究等のため撮影をしようとする者は、あらかじめ委員会の許可を受けなければならない。

2 前項の許可を受けた者は、別表第4に規定する手数料を納付しなければならない。

## 観覧料等の返還

第10条 既納の観覧料及び使用料は、返還しない。ただし、委員会が特別の理由があると認めるときは、その全部又は一部を返還することができる。

## 観覧料の減免

第11条 市長は、委員会において必要と認める場合は、観覧料を減額し、又は免除することができる。

## 利用の制限

第12条 委員会は、次の各号のいずれかに該当する者に対しては、美術館への入館を拒み、又は美術館からの退館を命ずることができる。

- (1) 美術館内の秩序を乱し、若しくは公益を害し、又はそのおそれがあると認められる者
- (2) 美術品等又は施設等を損傷し、若しくは滅失し、又はそのおそれがあると認められる者
- (3) その他美術館の管理上支障があると認められる者

## 損害賠償

第13条 美術館の入館者又は使用者は、自己の責めに帰すべき理由により、美術品

等又は施設等を損傷し、又は滅失したときは、委員会の指示に従い、その損害を賠償しなければならない。

## 高松市美術館協議会への諮問

第14条 委員会は、第2条各号に掲げる事業に関する基本的な事項については、高松市歴史民俗分野及び美術分野社会教育施設協議会条例(平成20年高松市条例第29号)に規定する高松市美術館協議会に諮問するものとする。

## 職員

第15条 美術館に館長その他必要な職員を置く。

## 委任

第16条 この条例の施行に関し必要な事項は、委員会が定める。

## 附則

### 施行期日

1 この条例は、平成17年9月26日から施行する。

### 経過措置

2 この条例の施行の日前に町立塩江美術館条例(平成5年塩江町条例第9号)の規定によりなされた処分、手続その他の行為は、この条例の相当規定によりなされた処分、手続その他の行為とみなす。

## 高松市の重要な公の施設等に関する条例の一部改正

3 高松市の重要な公の施設等に関する条例(昭和39年高松市条例第5号)の一部を次のように改正する。  
(次のよう略)

### 附則(平成20年3月26日条例第29号抄)

#### 施行期日

1 この条例は、平成20年4月1日から施行する。

### 附則(平成22年3月26日条例第7号)

この条例は、平成22年4月1日から施行する。

### 附則(平成25年12月25日条例第104号)

- 1 この条例は、平成26年4月1日から施行する。
- 2 この条例の施行の際現に使用等を許可されている者に係る既納の使用料及び手数料については、なお従前の例による。

### 附則(平成31年3月28日条例第63号)

- 1 この条例は、平成31年10月1日から施行する。
- 2 この条例の施行の際現に使用を許可されている者に係る既納の使用料については、なお従前の例による。

## 別表第1 美術品等観覧料(第3条関係)

区分	観覧料(1人1回につき)	
	個人	団体(20人以上)
一般	300円	240円
大学生	150円	120円

### 備考

- 1 「一般」とは15歳以上の者(大学生及び備考2の規定の適用を受ける者を除く。)をいい、「大学生」とは学校教育法(昭和22年法律第26号)第1条に規定する大学その他これに準ずるものに在学する者をいう。
- 2 就学年齢に達しない者又は学校教育法第1条に規定する小学校、中学校若しくは高等学校に在学する者若しくは委員会がこれらに準ずると認める者は、無料とする。

## 別表第2 展示室使用料(第6条関係)

室名	使用単位	使用料
企画展示室	1日	4,400円

備考 第4条第1項の許可を受けた期間に、休館日(搬入のため企画展示室を使用する場合を除く。)がある場合は、当該休館日に係る使用料は、徴収しない。

## 別表第3 ホール及び陶芸室使用料(第6条関係)

使用単位	午前	午後	夜間	午前・午後	午後・夜間	全日
	施設名	午前9時 ～ 正午	午後1時 ～ 午後5時	午後6時 ～ 午後9時	午前9時 ～ 午後5時	午後1時 ～ 午後9時
ホール	1,630円	2,200円	1,630円	4,400円	4,400円	6,600円
陶芸室	1日(午前9時から午後5時まで)につき970円					

### 備考

- 1 使用者が、ホールについて、営利を目的として使用する場合又は入場料若しくはこれに類するものを徴収する場合の使用料は、この表に規定する額の3倍の額とする。
- 2 申込時間を超過し、又は繰り上げて使用するときの使用料は、超過又は繰上時間1時間につき、別に全日又は1日の使用料の10分の1の額を徴収する。この場合、30分を超える端数については、1時間とみなす。
- 3 冷暖房装置を使用する場合の使用料は、この表に規定する額の1.5倍の額とする。
- 4 使用料に10円未満の端数が生じたときは、10円に切り上げる。

## 別表第4 美術品等撮影許可手数料(第9条関係)

区分	単位	手数料
学術研究を目的とする場合	1点につき1回	310円
出版等を目的とする場合	1点につき1回	530円

## 沿革(開館以後)

昭和63 (1988)年8月6日	高松市美術館開館(開館記念展「ベルギー王国リージュ・美術館名画展」開催) 収蔵品図録Ⅰを刊行
平成元(1989)年	金曜日の夜間開館(9時～19時)を開始
平成2 (1990)年	市制100周年記念展「松平家所蔵名宝展—明公を偲んで—」開催
平成5 (1993)年	開館5周年記念展「讃岐漆芸の美展」開催 開館5周年記念事業として収蔵品図録Ⅱを刊行
平成6 (1994)年4月25日	塩江町立美術館開館(開館記念展「熊野俊一ゆかりの作家展」開催)
平成10 (1998)年	開館10周年記念展「ロダン展」開催 収蔵品図録Ⅲを刊行
平成11 (1999)年	管理課、学芸課の2課を美術課に統合 美術館ボランティアcivi (シヴィ)の活動開始
平成12 (2000)年	平日夜間開館(火～木曜日:9時～17時、金曜日:9時～19時)に移行
平成13 (2001)年	平日(月～金曜日)夜間開館(9時30分～19時)に移行
平成14 (2002)年	小中学生の常設展完全無料化を実施 「アートで遊ぼう!」事業開始
平成15 (2003)年	「子どものアトリエ」事業開始 歴史資料館、市民文化センターなどと共同で収蔵品情報システムを導入
平成16 (2004)年	開館15周年記念展「玉楮象谷展」開催
平成17 (2005)年	塩江町合併により、塩江美術館を組織統合
平成19 (2007)年	美術館あり方検討委員会発足(平成20年2月25日に提言書を提出)
平成20 (2008)年	市の機構改革により、市長部局(市民政策部、国際文化・スポーツ局)に改組 20周年記念展「高松市美術館コレクション+(プラス)ひびきあう音・色・形」開催 「美術館学習」事業開始
平成21 (2009)年	高松市立美術館(高松市美術館・塩江美術館)の今後の運営方針を策定 収蔵品図録Ⅳを刊行 「美術館の日」事業開始
平成22 (2010)年	開館時間の見直しにより、9時30分～17時(但し、特別展開催期間中の火～土曜日[祝日含む])は 9時30分～19時)に移行 高校生以下の観覧料無料化を実施 高松市美術館・塩江美術館の共通定期観覧券発行 瀬戸内国際芸術祭2010連携企画「森村泰昌 Mori Ennauerレ」「高松コンテンポラリーアート・ アニュアルvol.01」開催 「森村泰昌 Mori Ennauerレ/まねぶ美術史」美連協大賞「奨励賞」受賞
平成24 (2012)年	1月から3月まで臨時休館し、空調設備等の省エネ改修工事を実施 「高松市美術館サポートショップ」事業開始 「すべての僕が沸騰する 村山知義の宇宙」美連協大賞受賞
平成25 (2013)年	高松市美術館改修基本計画を策定 開館25周年記念展「チェブラーシカとロシア・アニメーションの作家たち」ほか4展を開催 開館25周年記念コンサート「坂本龍一 Playing the Piano Tribute to Shinro Ohtake」開催 高松市美術館の改修基本設計・実施設計を行った(実施設計は平成26年4月まで)
平成27 (2015)年1月	高松市美術館改修工事着手
平成28 (2016)年3月26日	高松市美術館リニューアルオープン リニューアルオープン記念特別展「いま知りたい、私たちの『現代アート』展」を開催
平成30 (2018)年	開館30周年記念展「京の美人画100年の系譜」ほか4展を開催 開館30周年記念イベント「三輪眞弘による高松市美術館開館30周年記念祝賀演奏会」ほか4本開催 高松市創造都市推進局のFacebookにて情報発信 8月塩江美術館改修工事着手 収蔵品図録Ⅴを刊行 地域創造大賞(総務大臣賞)受賞
平成31 (2019)年 平成31 (2019)年4月2日	高松市美術館のFacebook・Instagramを開設 塩江美術館リフレッシュオープン リフレッシュオープン企画展「中井弘二郎展—feels through it—」を開催 「やなぎみわ 神話機械」美連協大賞受賞
令和2 (2020)年	開館時間の見直しにより、9時30分～17時(但し、特別展開催期間中の金・土曜日は9時30分～19時)に移行 高松市美術館のYouTubeを開設、動画番組「おうちでアート」配信開始 高松市美術館のTwitterを開設 丸亀町商店街にランチギャラリーがオープン

# 高松市美術館友の会

## 1. 事業

友の会の目的を達成するため、会報の発行、コンサート等芸術的催し物の開催、美術鑑賞旅行などの各種事業を実施した。令和2（2020年度）は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止した。

## 会員数

区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度
一般会員	177	155	68
賛助会員	10	9	7

事務局：〒760-0027 高松市紺屋町10-4 高松市美術館内  
TEL：(087) 823-1711

## ◆会報誌

平成30年度 68号  
発行：2019年3月

令和元年度 69号  
発行：2020年3月



(68号)



(69号)

## (1) 講演会

## ◆友の会スペシャルイベント「クロージングトーク～社会を解剖して～」(令和元年度)

※特別展「高松コンテンポラリーアート・アニヴァーサリーvol.08」関連

日時：11月2日(土) 13:30～14:30

講師：篠原資明(当館館長)、橘美貴(担当学芸員)

場所：1階講堂

参加者数：37人



## (2) ワークショップ

場所：記載のないものは3階講座室

## ◆友の会スペシャルイベント お茶会「ほっと茶の会」(平成30年度)

※特別展「京都市美術館名品展 京の美人画100年の系譜」関連

日時：5月6日(日) ①10:00～、②11:00～ ③12:00～、

④13:00～、⑤14:00～、⑥15:00～

共催：公益財団法人中條文化振興財団

場所：中2階ロビー

受講料：会員500円、一般1,000円(お茶・お菓子代含む)

対象：友の会会員、一般

参加者数：延べ47人



## ◆友の会スペシャルイベント「文字で遊ぼう」(平成30年度)

※特別展「高松コンテンポラリーアート・アニヴァーサリーvol.07」関連

日時：8月25日(土) 10:00～12:00

講師：千葉尚実(出品作家)

受講料：会員無料、一般500円、材料費：500円(会員・一般共通)

対象：友の会会員、一般(小学生以上)

参加者数：8人



## ◆友の会スペシャルイベント「菓子木型で作る和三盆干菓子ワークショップ」(平成30年度)

※特別展「音丸耕堂展－華麗なる彫漆世界」関連

日時：9月22日(土) 13:30～15:00

講師：上原あゆみ(豆花)

場所：中2階ロビー

受講料：会員500円、一般1,000円

対象：友の会会員、一般

参加者数：14人



## ◆友の会スペシャルイベント「田淵太郎ワークショップ・七輪でやきもの！」(令和元年度)

※特別展「ギホウのヒミツーO JUN、鬼頭健吾、田淵太郎とともに」関連

日時：5月19日(日) 10:00～11:00(制作/成形)、13:00～16:00(焼成)

講師：田淵太郎(出品作家)

受講料：500円(別途材料費1,000円)

対象：小学生～大人

参加者数：15人



### (3) コンサート

#### ◆友の会ふれあいコンサート「よんでんアンサンブルコンサート」(平成30年度)

日時：7月6日(金) 18:30～  
演奏者：和田絵里子(ヴァイオリン)、矢部望美(ピアノ)、立川美香(ピアノ)、西村絵梨名(フルート)  
石川陽子(チェンバロ)、松本 彩(ハープ)、石田えりな(ソプラノ)  
主催：高松市美術館  
派遣助成：公益財団法人よんでん文化振興財団  
場所：1階エントランスホール  
入場料：会員無料、一般1,000円、高校生500円※中学生以下無料  
参加者数：117人



#### ◆友の会ふれあいコンサート「On a starry night～星ふる夜に～」(令和元年度)

日時：7月13日(土) 18:30～  
演奏者：立川美香(ピアノ)、和田絵里子(ヴァイオリン)、西村絵梨名(フルート)  
主催：高松市美術館友の会・高松市美術館  
場所：1階エントランスホール  
入場料：会員無料、一般1,000円、高校生500円※中学生以下無料  
参加者数：151人



#### ◆友の会ふれあいコンサート「Clarinet & Piano Winter Concert 音の手紙」(令和元年度)

日時：1月18日(土) 18:30～  
演奏者：西内智洋(クラリネット)、波多翼(ピアノ)  
主催：高松市美術館友の会・高松市美術館  
場所：1階エントランスホール  
入場料：会員無料、一般1,000円、高校生500円※中学生以下無料  
参加者数：109人



### (4) 旅行

#### ◆大阪アート紀行(平成30年度)

日時：10月17日(水)  
場所：あべのハルカス美術館、大阪市立東洋陶磁美術館  
参加者数：31人



#### ◆高知アート紀行(平成30年度)

日時：3月3日(日)  
場所：高知城歴史博物館、高知県立美術館  
参加者数：21人



#### ◆「瀬戸内国際芸術祭2019ツアー」ヘアサロン壽一タ暮れの島(令和元年度)

女木島内の瀬戸芸作品を廻り、ヘアサロン壽内で宮永愛子(出品作家)と玉木ひろ子(美容師)によるトークショーを行った。  
※特別展「宮永愛子：漣法」関連  
日時：10月14日(月・祝)  
場所：高松市女木島(瀬戸内ガストロノミー、Café de la Plage など)  
参加者数：17人



#### ◆神戸アート紀行(令和元年度)

日時：2月13日(木)  
場所：B B プラザ美術館、兵庫県立美術館  
参加者数：38人



## 高松市美術館友の会会則

## 名称及び事務所

第1条 この会は、高松市美術館友の会(以下「友の会」という。)とい、事務所を高松市美術館(以下「美術館」という。)内に置く。

## 目的

第2条 友の会は、美術に関心を持つ人々の美術鑑賞や研究調査の便宜を図り、会員相互の親睦を深めるとともに、美術館の活動を援助することを目的とする。

## 事業

第3条 友の会は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。

- (1) 美術の鑑賞
- (2) 芸術的催物の開催
- (3) 会報の発行
- (4) その他友の会の目的達成のために必要な事業

## 会員

第4条 会員とは、第2条の目的に賛同した次の個人及び法人で所定の会費を納入した者をいう。

- (1) 一般会員(個人)
  - (2) 賛助会員(個人及び法人)
- 2 会員に会員証を発行する。

## 会費

第5条 会費は前納とし、金額は次のとおりとする。

- |          |    |    |        |
|----------|----|----|--------|
| (1) 一般会員 | 年額 | 1人 | 1,000円 |
| (2) 賛助会員 | 年額 | 1口 | 6,000円 |
- 2 会員の中途退会による会費の払戻しは行わない。

## 特典

第6条 会員は、次の特典を受けることができる。

- (1) 一般及び賛助会員は、常設展及び美術館主催の特別展を2割引で鑑賞できる。
- (2) 賛助会員は、常設展及び美術館主催の特別展を同伴者4人まで2割引で鑑賞できる。
- (3) ミュージアム・ショップが割引で利用できる。
- (4) 友の会主催の各種催物に優先的に参加できる。
- (5) 会報等の美術情報の提供を受けることができる。
- (6) その他会長が定めるもの。

## 役員

第7条 友の会に次の役員を置き、任期は2年とする。ただし、後任者が選任されるまで在任する。

- |          |     |
|----------|-----|
| (1) 会長   | 1人  |
| (2) 副会長  | 2人  |
| (3) 常務理事 | 1人  |
| (4) 理事   | 若干名 |
| (5) 監事   | 2人  |

2 役員は、再任されることができる。

3 補欠役員の任期は、前任者の残任期間とする。

4 友の会に顧問を置くことができる。

5 理事及び監事は、理事会において選考し、総会の承認を得るものとする。

6 会長・副会長及び常務理事は、理事の互選により定める。

7 顧問は理事会で推薦し、会長が委嘱する。

## 役員の職務

第8条 役員の職務は、次のとおりとする。

- (1) 会長は友の会を代表し、会務を総理する。
- (2) 副会長は会長を補佐し、会長に事故あるときはその任務を代行する。
- (3) 常務理事は日常の会務を処理する。
- (4) 理事は理事会を構成し、会務を処理する。
- (5) 監事は会計その他を監査する。
- (6) 顧問は会長の諮問に応じ、意見を述べることができる。

## 総会

第9条 総会は毎年1回定期総会を、必要に応じて臨時総会を会長が招集し、会議の議長は会長がこれに当たる。

2 総会に付議する事項は、概ね次のとおりとする。

- (1) 会則の改廃に関する事。
- (2) 役員の承認に関する事。
- (3) 事業計画及び予算の承認に関する事。
- (4) 事業報告及び決算の承認に関する事。

## 理事会

第10条 理事会は必要の都度会長が招集し、会議の議長は会長がこれに当たる。

2 理事会は、友の会の運営について協議するとともに重要事項を審議する。

3 理事会は、構成員の過半数の出席をもって成立する。

## 企画委員会

第11条 友の会事業の執行に当たり理事会が必要と認めるときは、企画委員会を設置することができる。

2 企画委員会は、会員及び美術館関係者の中から会長が委嘱した企画委員で組織し、友の会事業の企画・立案に当たる。

## 議決

第12条 友の会の議決はすべて出席者の過半数をもって決し、可否同数のときは議長が決する。

ただし、会則の改廃については、出席者の3分の2以上の同意を得なければならない。

## 議事録

第13条 総会及び理事会の議事については、次の事項を記載した議事録を作成しなければならない。

- (1) 総会又は理事会の日時及び場所
- (2) 役員の数
- (3) 総会又は理事会に出席した役員の名氏及び総会に出席した会員の数
- (4) 審議事項及び議決事項
- (5) 議事の経過の概要及びその結果

(6) 議事録署名人の選任に関する事項

2 議事録には、当該総会又は理事会の出席者のうちから選任された議事録署名人2人以上が、議長とともに署名押印しなければならない。

## 会計

第14条 友の会の経費は、会費、寄付金、事業収入及びその他の収入をもってこれに充てる。

2 友の会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わるものとする。

## 事務局

第15条 友の会の事務を処理するため、必要な職員を置くことができる。

2 職員は会長が任免する。

## 委任

第16条 この会則に定めるもののほか、必要な事項は、理事会において定める。

## 附則

この会則は、昭和28年4月1日から施行する。

## 附則

この会則は、昭和42年7月1日から施行する。

## 附則

この会則は、昭和44年4月29日から施行する。

## 附則

この会則は、昭和49年5月19日から施行する。

## 附則

この会則は、昭和63年4月1日から施行する。

## 附則

この会則は、平成4年4月1日から施行する。

## 附則

この会則は、平成5年4月1日から施行する。

## 附則

この会則は、平成9年5月18日から施行する。

## 附則

この会則は、平成21年4月26日から施行する。

## 附則

この会則は、平成22年3月15日から施行する。

## 附則

この会則は、平成23年4月1日から施行する。

## 附則

1 この会則は、平成26年4月26日から施行する。

(平成27年度の会員の特例)

2 平成26年度に会員であった者に係る平成27年度の特例については、次に掲げるとおりとする。

(1) 平成26年度に会員であった者は、平成27年度に限り、第5条第1項各号の規定にかかわらず会費は不要とし、第4条第1項に規定する会費を納入した者とみなし、会員とする。ただし、本人から退会の申し出があった場合は、この限りでない。

(2) 前号の規定により、平成27年度の会員となる者には、第4条第2項の規定にかかわらず、会員証を発行しない。

## 附則

この会則は、令和2年4月1日から施行する。

## 附則

1 この会則は、令和3年4月1日から施行する。

(令和3年度の会員の特例)

2 令和2年度に会員であった者は、令和3年度に限り、第5条第1項各号の規定にかかわらず会費は不要とし、第4条第1項に規定する会費を納入した者とみなし、会員とする。ただし、本人から退会の申し出があった場合は、この限りでない。